

宇治市市民意識調査
報告書

平成21年9月

宇治市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施概要.....	1
3 調査票の配付・回収状況.....	2
4 集計の方法、数値の取扱いについて.....	2
第2章 市民意識調査の結果	5
1 回答者の属性.....	5
2 宇治市に対する思いについて.....	11
3 総合計画について.....	23
4 宇治市のまちづくりについて.....	37
5 地球温暖化対策について.....	40
6 災害時の情報入手について.....	51
7 子育て支援について.....	57
8 第4次総合計画の節別の施策評価及び今後の優先度について.....	68
9 宇治市政全般に対する意見.....	103
第3章 町内会・自治会調査の結果	107
1 町内会・自治会の概要.....	107
2 町内会・自治会活動の内容や問題点について.....	113
3 町内会・自治会と市の関係、住民参加について.....	123
4 宇治市のまちづくりについて.....	129
5 地球温暖化対策について.....	131
6 災害時の情報入手について.....	135
7 子育て支援について.....	137
8 町内会・自治会活動に関する意見.....	143
資料 使用した調査票	145

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

「宇治市第5次総合計画」の策定にあたり、これまで実施してきた各種施策の評価とこれからの施策の必要性を把握することで、「宇治市第5次総合計画」策定の基礎資料とする。また、「行財政運営」「まちづくりのあり方」「地球温暖化対策」「災害対策」「子育て」といった新たな行政課題や社会ニーズに対応するため、市民の意識を把握するものとする。

これにより、「宇治市第4次総合計画」策定時の調査（平成10年度）、同計画の中間見直し時の調査（平成17年度）との市民意識の変化や施策に対する市民の評価等を分析し、施策の立案や重点化の検討、総合計画審議会での審議に活用することとする。

2 調査の実施概要

（1）市民意識調査

調査対象	平成21年4月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録者の中から無作為抽出した満20歳以上の市民4,500人
調査期間	平成21年5月21日～6月5日。6月4日に礼状兼督促はがきを発送。 礼状兼督促はがきの発送時期を踏まえ、6月30日までの回収分を有効票とした。
調査方法	郵送配付・郵送回収。
調査内容	回答者の属性（問1～問7） 宇治市に対する思いについて（問8～問11） 総合計画について（問12～問13） 宇治市のまちづくりについて（問14～問17） 地球温暖化対策について（問18～問21） 災害時の情報入手について（問22～問23） 子育て支援について（問24～問26） 第4次総合計画の節別の施策評価及び今後の優先度について（問27） 宇治市政全般に対する意見

（2）町内会・自治会意識調査

調査対象	平成21年5月20日現在の市内の町内会長・自治会長594人
調査期間	平成21年5月21日～6月5日。6月4日に礼状兼督促はがきを発送。 礼状兼督促はがきの発送時期を踏まえ、6月30日までの回収分を有効票とした。
調査方法	郵送配付・郵送回収。
調査内容	町内会・自治会の概要（問1～問6） 町内会・自治会活動の内容や問題点について（問7～問9） 町内会・自治会と市の関係、住民参加について（問10～問11） 宇治市のまちづくりについて（問12） 地球温暖化対策について（問13～問16） 災害時の情報入手について（問17～問18） 子育て支援について（問19～問21） 町内会・自治会活動に関する意見

3 調査票の配付・回収状況

	配付数	有効回答票		一部無効票		回収数合計		
		回答数	回答率	回収数	回収率	回収数	回収率	
市民意識 調査	調査票 1	1,500票	852票	56.8%	7票	0.5%	859票	57.3%
	調査票 2	1,500票	858票	57.2%	5票	0.3%	863票	57.5%
	調査票 3	1,500票	840票	56.0%	5票	0.3%	845票	56.3%
	合計	4,500票	2,550票	56.7%	17票	0.4%	2,567票	57.0%
町内会・自治会調査	594票	494票	83.2%	4票	0.7%	498票	83.8%	

(注)「一部無効票」は、有効回収締切(6月30日)までに回収された調査票で白票のもの、有効回収締切を過ぎてから回収された調査票を指し、集計母数には含まれていない。

4 集計の方法、数値の取扱いについて

(1) 集計方法、集計結果の算出方法

- 市民意識調査、町内会・自治会意識調査ともに百分率(%)の集計を基本とし、小数第2位を四捨五入して数値を表記している。
- 単数回答設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 市民意識調査の「第4次総合計画の節別施策評価及び今後の優先度について」(問27)は、施策評価と今後の優先度の5段階評価の選択肢に重み付けをし、加重平均(得点)を求めることで集計を行った。5段階評価の選択肢ごとの配点、加重平均の算出方法は以下のとおり。

	施策評価	今後の優先度	配点
選 択 肢	高く評価する	優先すべき	+100点
	評価する	できれば優先すべき	+50点
	どちらともいえない	どちらともいえない	0点
	あまり評価しない	あまり優先しなくてよい	-50点
	評価しない	優先しなくてよい	-100点

$$\begin{aligned}
 \text{加重平均} = & \left[\left(\text{高く評価する} \cdot \text{優先すべきの回答数} \times +100 \right) \right. \\
 & + \left(\text{評価する} \cdot \text{できれば優先すべきの回答数} \times +50 \right) \\
 & + \left(\text{どちらともいえないの回答数} \times 0 \right) \\
 & + \left(\text{あまり評価しない} \cdot \text{あまり優先しなくてよいの回答数} \times -50 \right) \\
 & \left. + \left(\text{評価しない} \cdot \text{優先しなくてよいの回答数} \times -100 \right) \right] \div \text{無回答を除く回答数}
 \end{aligned}$$

(2) 市民意識調査の集計母数の補正

地域区分	居住地域	20歳以上の人口及び市内人口比	1,400票あたり配付数(理論上の配付数)	配付時の加算値	1,500票あたり配付数(実際の配付数)	集計時の補正係数
地域M	白川	810人・0.53%	7票	50票	44票	0.166 (10/60)
	志津川	293人・0.19%	3票		16票	
地域N	炭山	242人・0.16%	2票	50票	28票	0.074 (4/54)
	東笠取	67人・0.04%	1票		8票	
	西笠取	118人・0.08%	1票		14票	
	二尾	31人・0.02%	0票		4票	
	池尾	12人・0.01%	0票		1票	

(注) 集計時の補正件数 = 1,400票あたり配付数(理論上の配付数) ÷ 1,500票あたり配付数(実際の配付数)
 地域Nの「1,500票あたり配付数(実際の配付数)」は、整数値の総和は55票となるが、「20歳以上の市内人口比」を反映して算定された値の小数点以下の計算結果も考慮して総和を求めると54票となる。

- 市民意識調査は、問27を「1 行政・人権・経済編」「2 福祉・生涯学習編」「3 環境・安全・都市基盤整備編」の政策分野ごとに3つの調査票に分け、異なる調査対象に1,500票ずつ、合計4,500票を配付した。
- その際、1,400票は市内各地区の人口に比例して配付数を定めたが、山間地域等の人口の少ない地区の調査精度を上げるため、地域M(白川、志津川)と地域N(炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾)には、各地域の配付数を50票ずつ加算した。
- 集計時には他の地区の配付数との調整を図るため、地域Mには「0.166」、地域Nには「0.074」の補正係数を乗じた上で集計を行った。そのため、小数点以下の四捨五入の関係により、集計結果には多少の誤差が生じている。

第2章 市民意識調査の結果

第2章 市民意識調査の結果

1 回答者の属性

(1) 居住地域

図表 居住地域別及び地域別有効回答数

居住地域別有効回答数				地域別有効回答数			
居住地域	調査票 1	調査票 2	調査票 3	地域区分	調査票 1	調査票 2	調査票 3
六地藏	10	7	9	地域 A	78	86	80
木幡	63	73	64				
平尾台	5	6	7				
木幡	59	58	55	地域 B	59	58	55
五ヶ庄	67	67	67	地域 C	67	67	67
菟道	35	37	43	地域 D	62	61	70
明星町	13	12	15				
羽戸山	10	8	8				
宇治	4	4	4	地域 E	93	96	99
宇治	70	72	76				
琵琶台	7	10	8				
天神台	5	2	7				
折居台	11	12	8	地域 F	52	47	54
横島町	52	47	54				
小倉町	41	57	50	地域 G	41	57	50
宇治	27	24	14	地域 H	76	79	66
小倉町	34	42	39				
南陵町	15	13	13				
伊勢田町	30	25	28	地域 I	79	73	72
伊勢田町	47	46	43				
安田町	2	2	1				
神明	8	8	5	地域 J	42	38	40
神明	18	14	17				
開町	10	9	10				
羽拍子町	6	7	8				
大久保町	36	40	41	地域 K	36	40	41
広野町	79	71	75	地域 L	84	72	78
寺山台	5	1	3				
白川	21	17	22	地域 M	28	25	26
志津川	7	8	4				
炭山	20	11	12	地域 N	36	27	26
東笠取	5	4	3				
西笠取	8	9	9				
二尾	2	3	2				
池尾	1	0	0				
無回答	19	32	16	地域区分不明	19	32	16
合計	852	858	840	合計	852	858	840

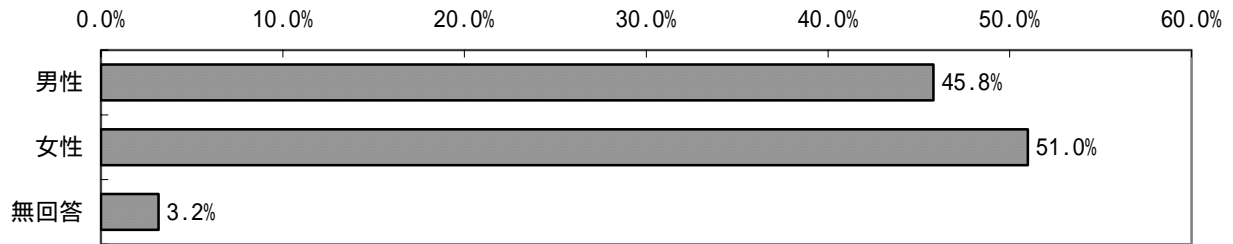
(注) 木幡 : 熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山 / 木幡 : 木幡 以外
 宇治 : 半白、蔭山、御廟 / 宇治 : 乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸 / 宇治 : 宇治、以外
 神明 : 石塚 / 神明 : 石塚以外
 小倉町 : 西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際 / 小倉町 : 小倉町 以外
 伊勢田町 : 北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田 / 伊勢田町 : 伊勢田町 以外
 地域Mと地域Nの有効回答数は、補正前の実有効回答数。

地域別の回答数は、上表のとおりとなっている。

(2) 性別

図表 性別

(N=2,402)

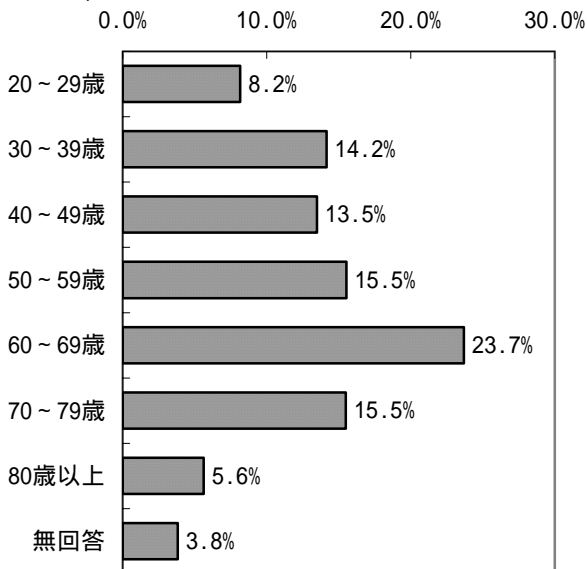


回答者の性別は、「女性」が51.0%、「男性」が45.8%となっている。

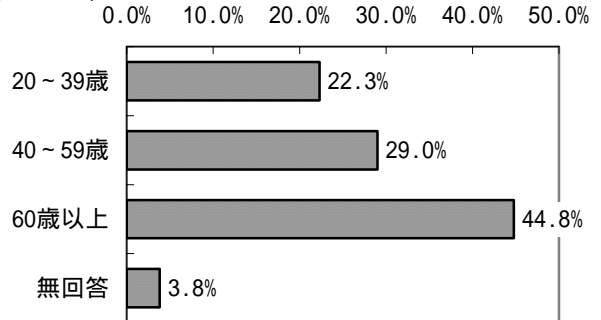
(3) 年齢

図表 年齢 (10歳階級及び3区分)

(N=2,402)

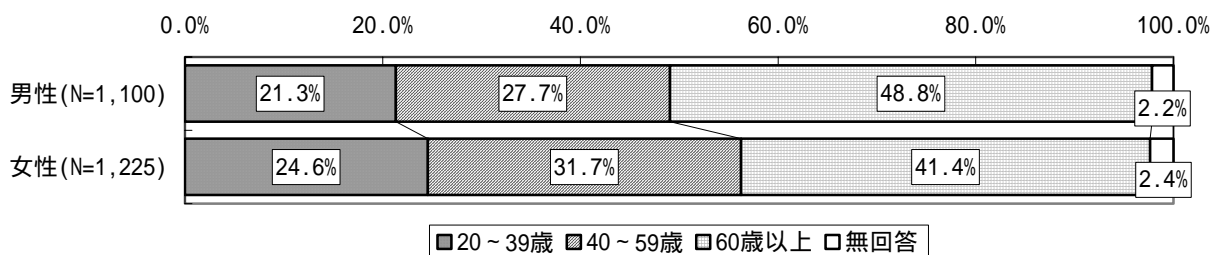


(N=2,402)



回答者の年齢 (3区分集約) は、「60歳以上」が44.8%で最も多く、以下、「40～59歳」が29.0%、「20～39歳」が22.3%となっている。

図表 性別 年齢

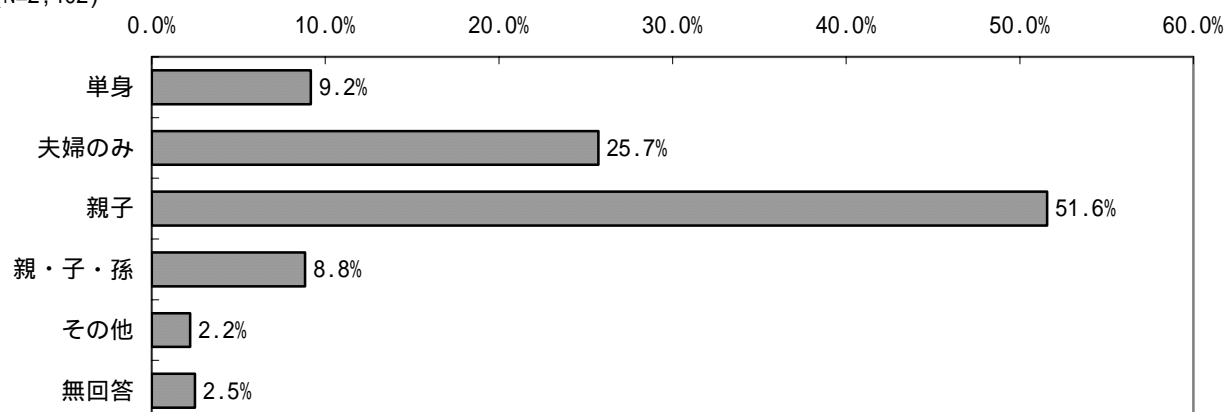


性別にみると、「60歳以上」は「男性」が「女性」を上回っているが、他の年齢層では逆転している。

(4) 家族構成

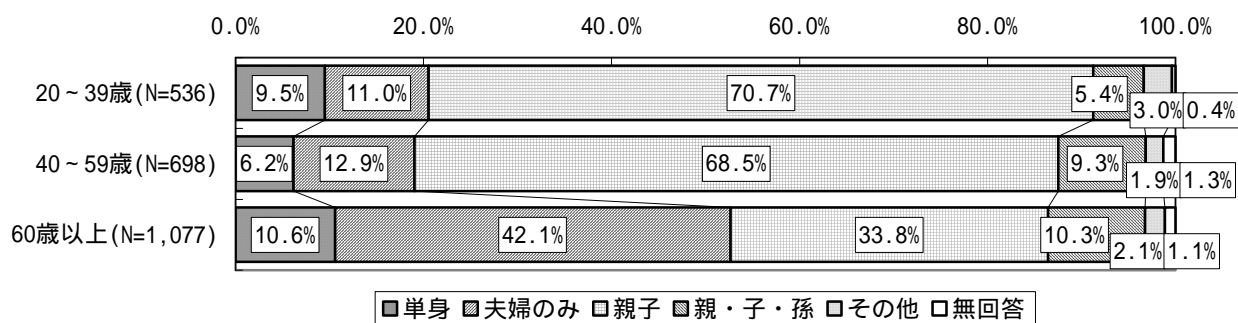
図表 家族構成

(N=2,402)



回答者の家族構成は、「親子」が51.6%で最も多い。

図表 年齢別 家族構成

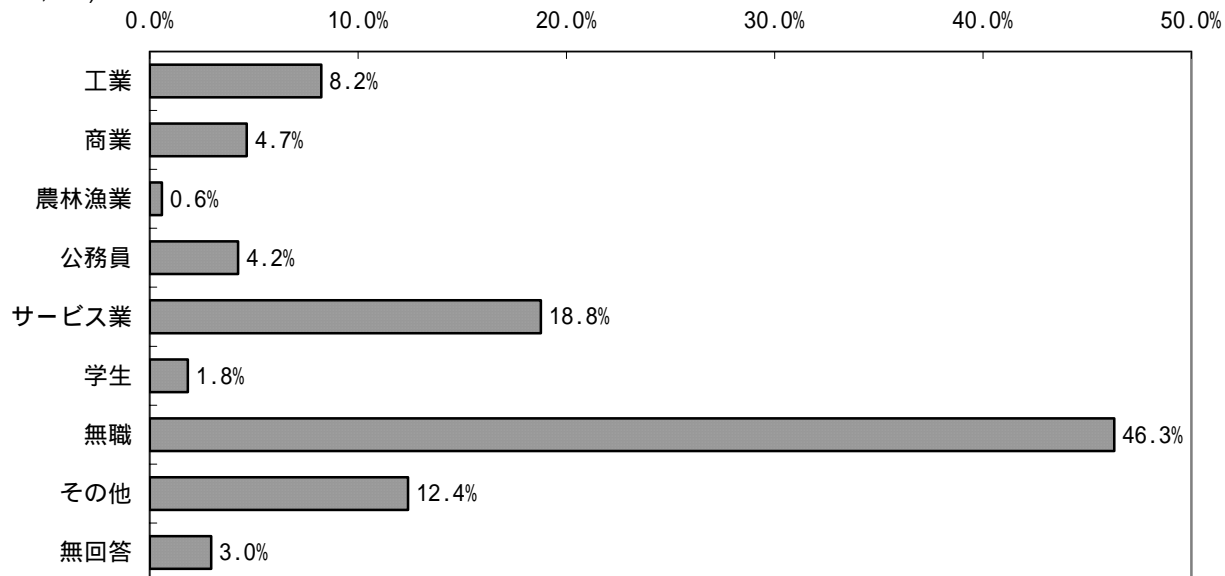


年齢別にみると、「60歳以上」では「夫婦のみ」、「59歳」以下では「親子」がそれぞれ最も多い。

(5) 職業分野

図表 職業分野

(N=2,402)

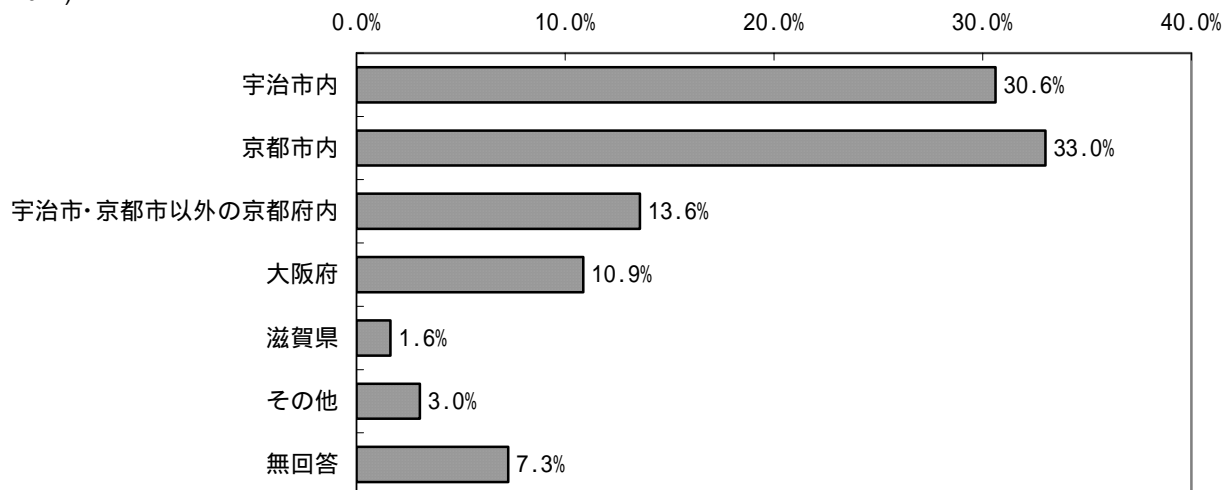


回答者の職業は、「無職」が46.3%で最も多く、以下、「サービス業」が18.8%、「工業」が8.2%などとなっている。

(6) 通勤・通学地

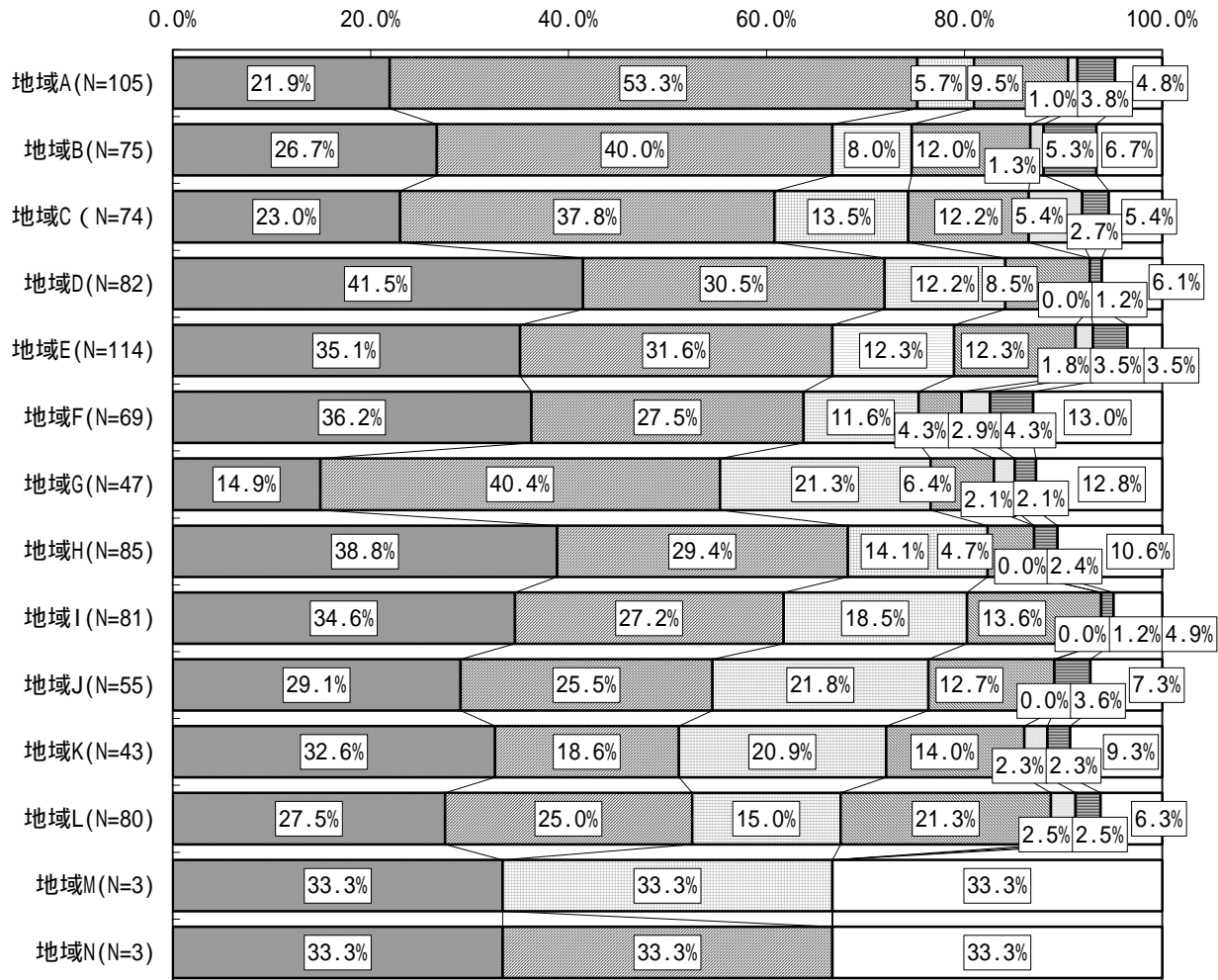
図表 通勤・通学地

(N=921)



就労・就学している回答者の通勤・通学地は、「京都市内」が33.0%で最も多く、以下、「宇治市内」が30.6%、「宇治市・京都市以外の京都府内」が13.6%、「大阪府」が10.9%などとなっている。

図表 地域別 通勤・通学地



■宇治市内 ■京都市内 □宇治市・京都市以外の京都府内 ■大阪府 □滋賀県 ■その他 □無回答

地域区分と居住地域名との対応

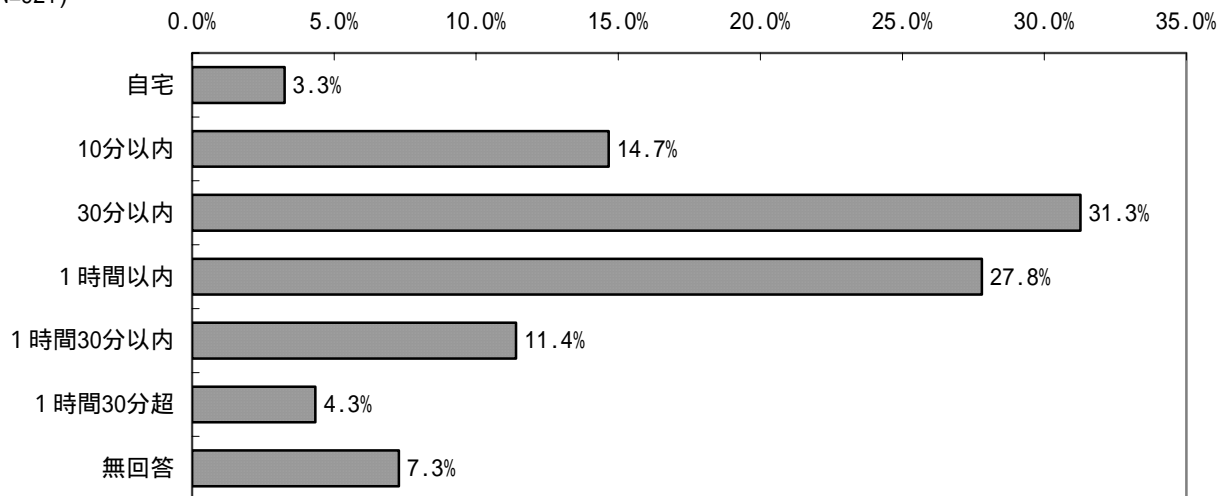
地域A：六地蔵、木幡（木幡以外）、平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町以外）、南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町以外）、安田町
 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域A」「地域B」「地域C」「地域G」では「京都市内」が最も多く、他の地域では「宇治市内」が最も多い。

(7) 通勤・通学時間

図表 通勤・通学時間

(N=921)

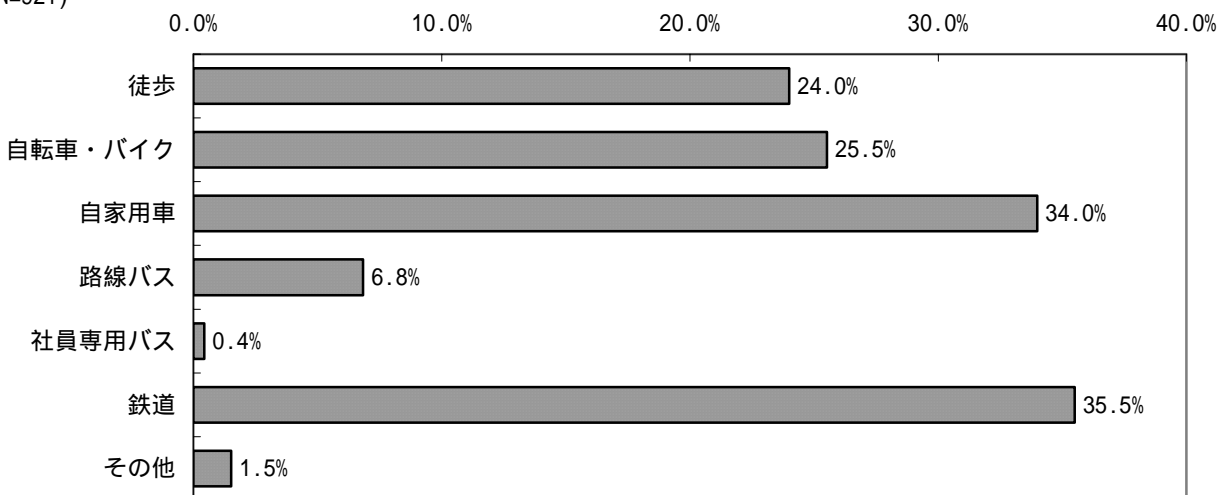


就労・就学している回答者の通勤・通学に要する時間は、「30分以内」が31.3%で最も多く、以下、「1時間以内」が27.8%、「10分以内」が14.7%などとなっている。

(8) 主な通勤・通学手段

図表 主な通勤・通学手段

(N=921)

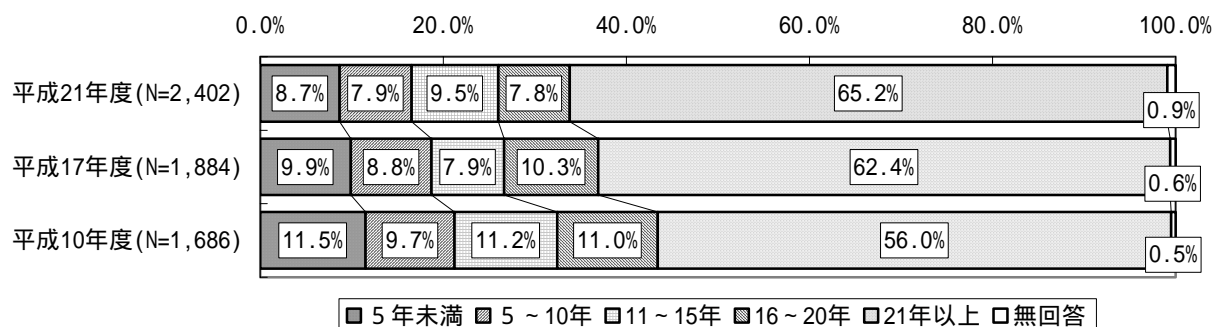


就労・就学している回答者の主な通勤・通学手段は、「鉄道」が35.5%で最も多く、以下、「自家用車」が34.0%、「自転車・バイク」が25.5%などとなっている。

2 宇治市に対する思いについて

問8 あなたが宇治市にお住まいになってから何年になりますか。

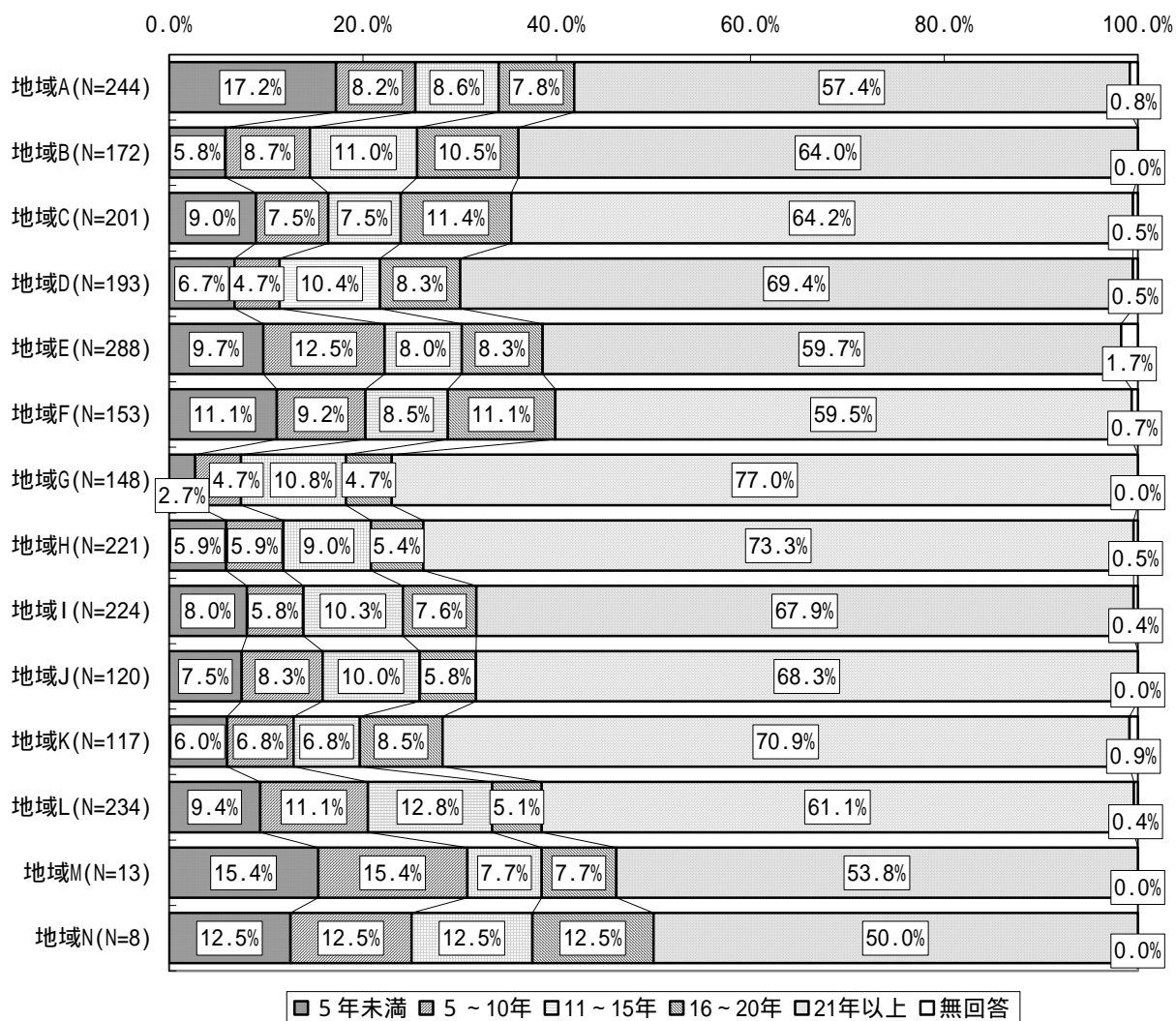
図表 宇治市での居住年数



宇治市での居住年数をたずねたところ、「21年以上」が65.2%で最も多く、以下、「11～15年」が9.5%、「5年未満」が8.7%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「21年以上」が増加傾向となっている。

図表 地域別 宇治市での居住年数



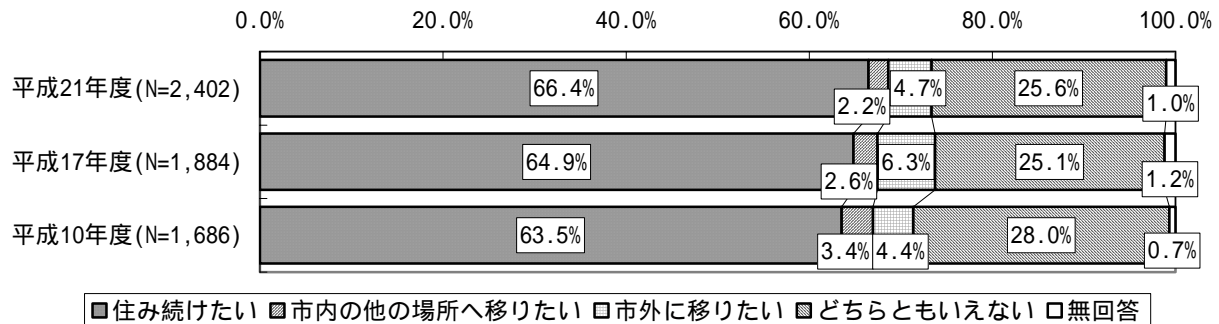
地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域G」「地域H」「地域K」では「21年以上」が70%以上を占め、他の地域に比べて多い。

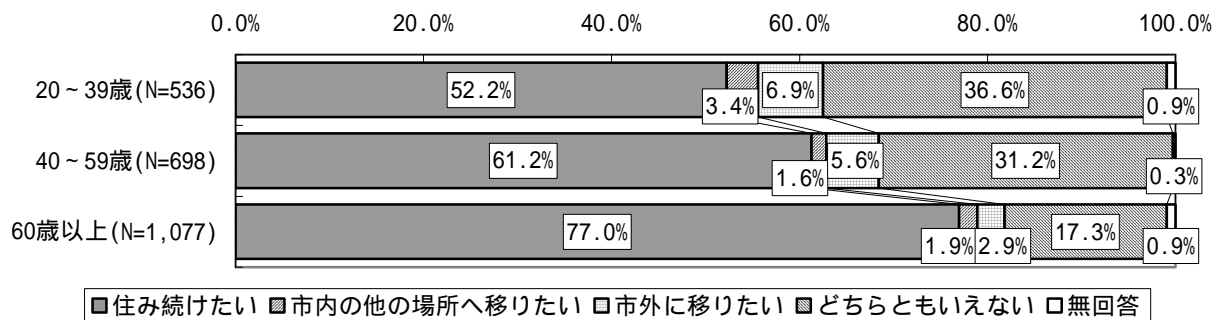
問9 あなたは、これからも宇治市に住み続けたいと思いますか。

図表 宇治市での定住意向



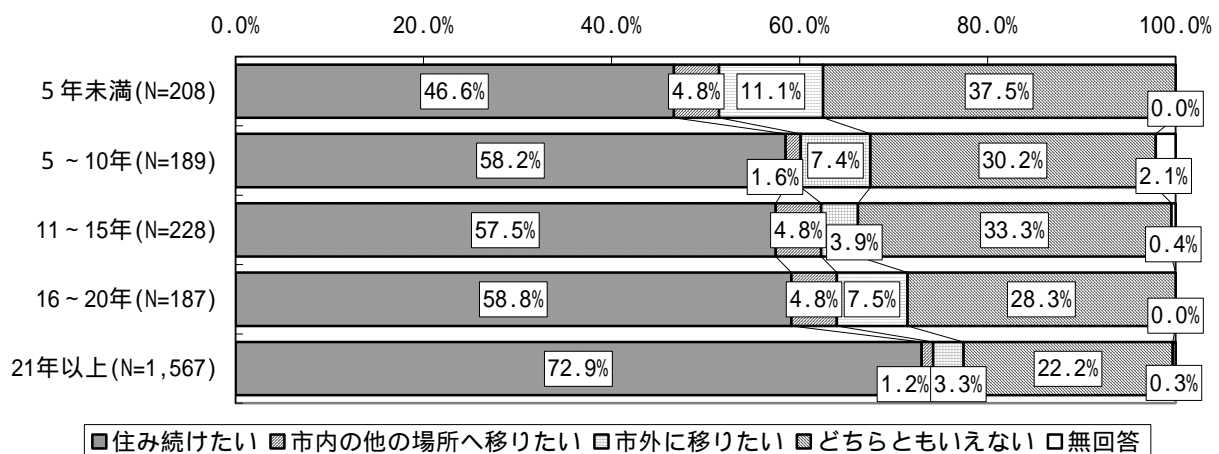
宇治市での定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」が66.4%となっており、「市内の他の場所へ移りたい」(2.2%)と合わせて、宇治市での定住意向のある人は68.6%となっている。過去の調査と比較すると、宇治市での定住意向のある人は増加傾向となっている。

図表 年齢別 宇治市での定住意向



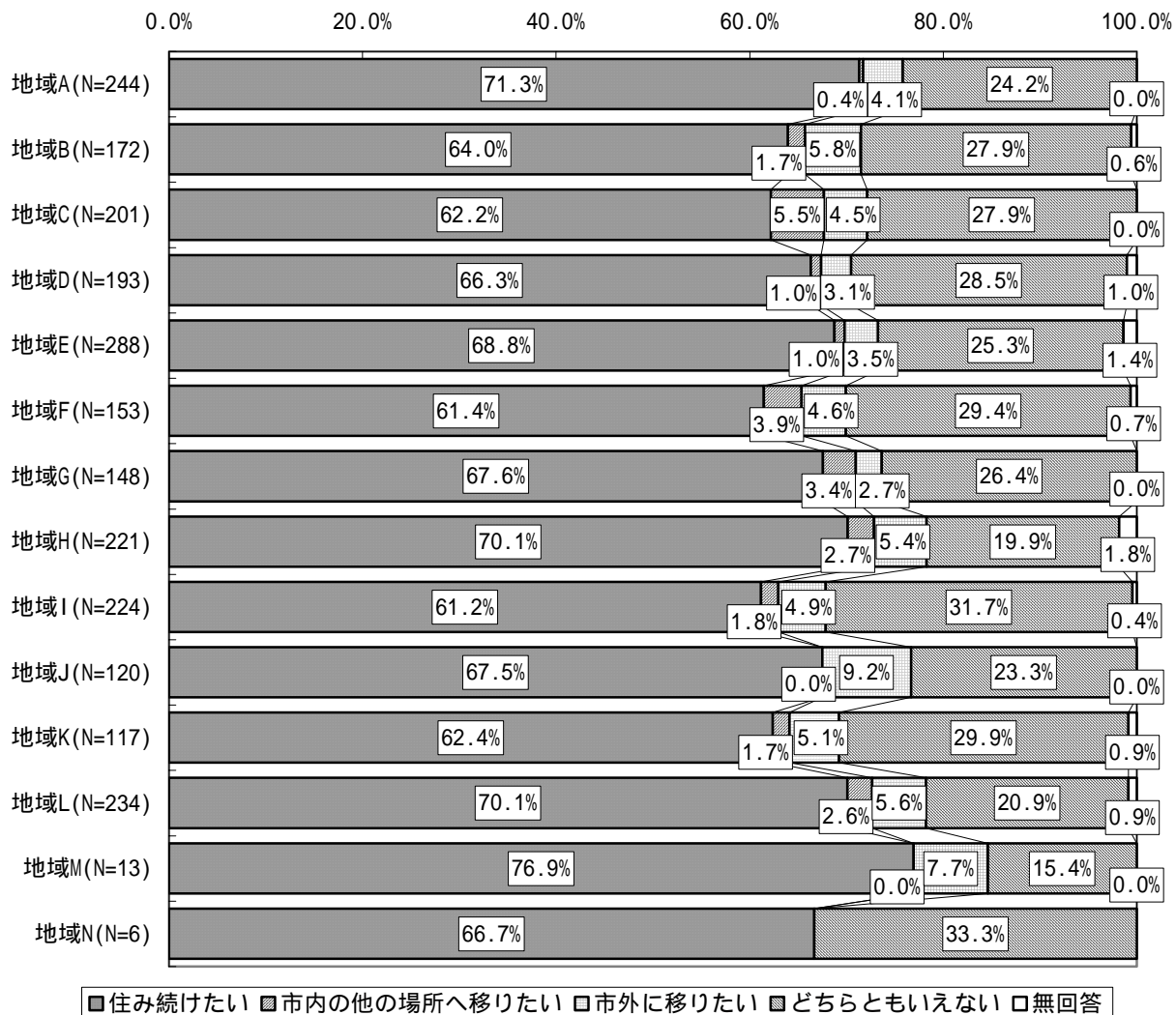
年齢別にみると、年齢層が高いほど「住み続けたい」が多い傾向となっており、逆に、年齢層が低いほど「市外へ移りたい」が多い傾向となっている。

図表 居住年数別 宇治市での定住意向



居住年数別にみると、居住年数が高いほど宇治市での定住意向のある人が多い傾向となっている。

図表 地域別 宇治市での定住意向



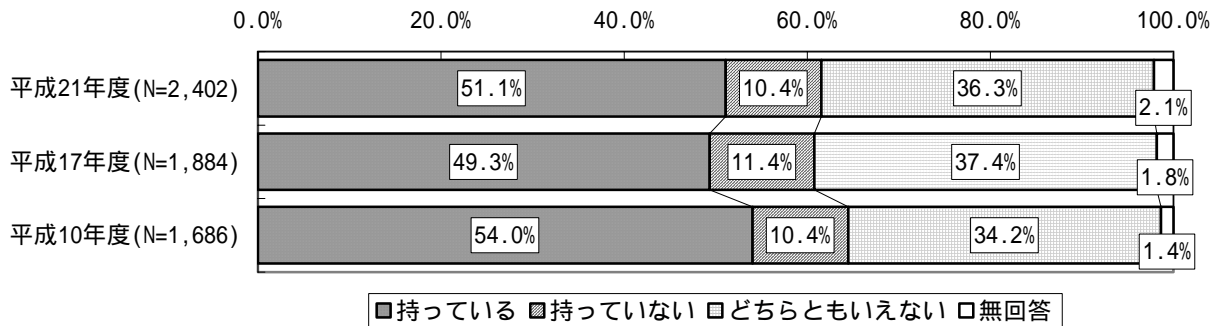
地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齊、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、宇治市での定住意向のある人は、「地域A」「地域G」「地域H」「地域L」では70%台と比較的多い。

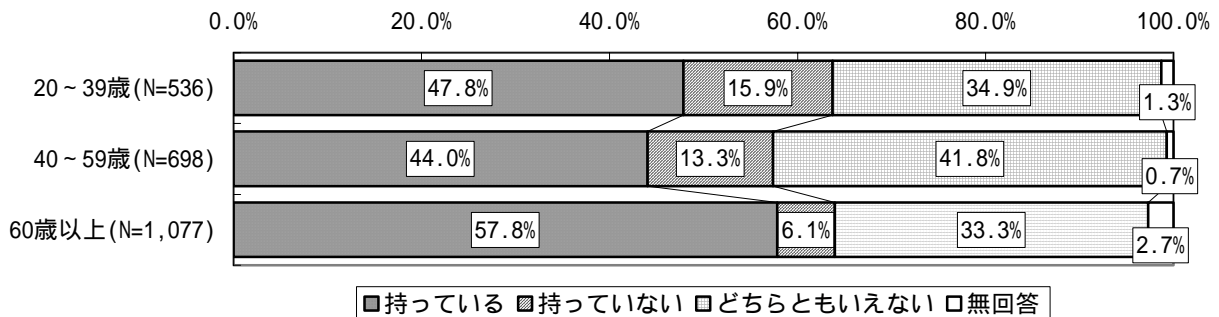
問10 あなたは、宇治市にふるさととしての愛着や誇りを持っていますか。

図表 宇治市に対する愛着や誇りの有無



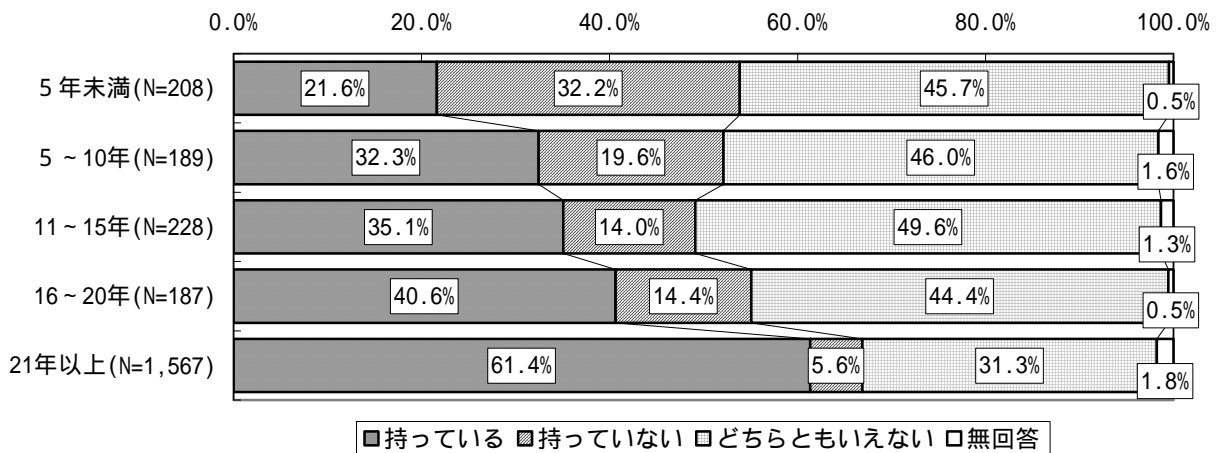
宇治市に対する愛着や誇りの有無をたずねたところ、「持っている」が51.1%で最も多く、以下、「どちらともいえない」が36.3%、「持っていない」が10.4%となっている。
過去の調査と比較すると、「持っている」は、平成17年度には平成10年度の54.0%から4.7ポイント減少しているが、今回は横ばいとなっている。

図表 年齢別 宇治市に対する愛着や誇りの有無



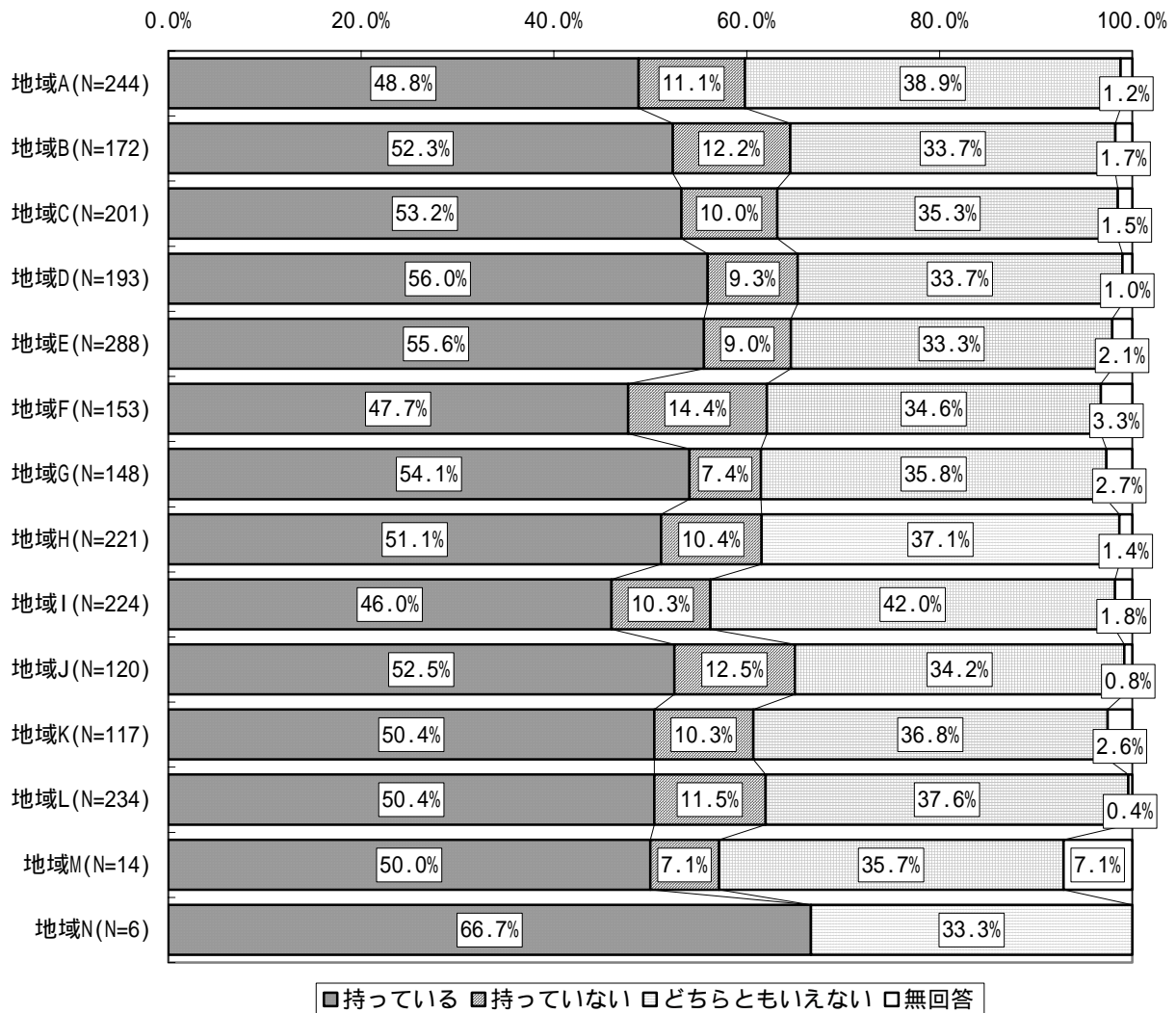
年齢別にみると、「持っている」は「60歳以上」で最も多く、過半数を占めている。「持っていない」は年齢層が低いほど多い傾向となっている。

図表 居住年数別 宇治市に対する愛着や誇りの有無



居住年数別にみると、「持っている」は居住年数が長いほど多い傾向となっている。

図表 地域別 宇治市に対する愛着や誇りの有無

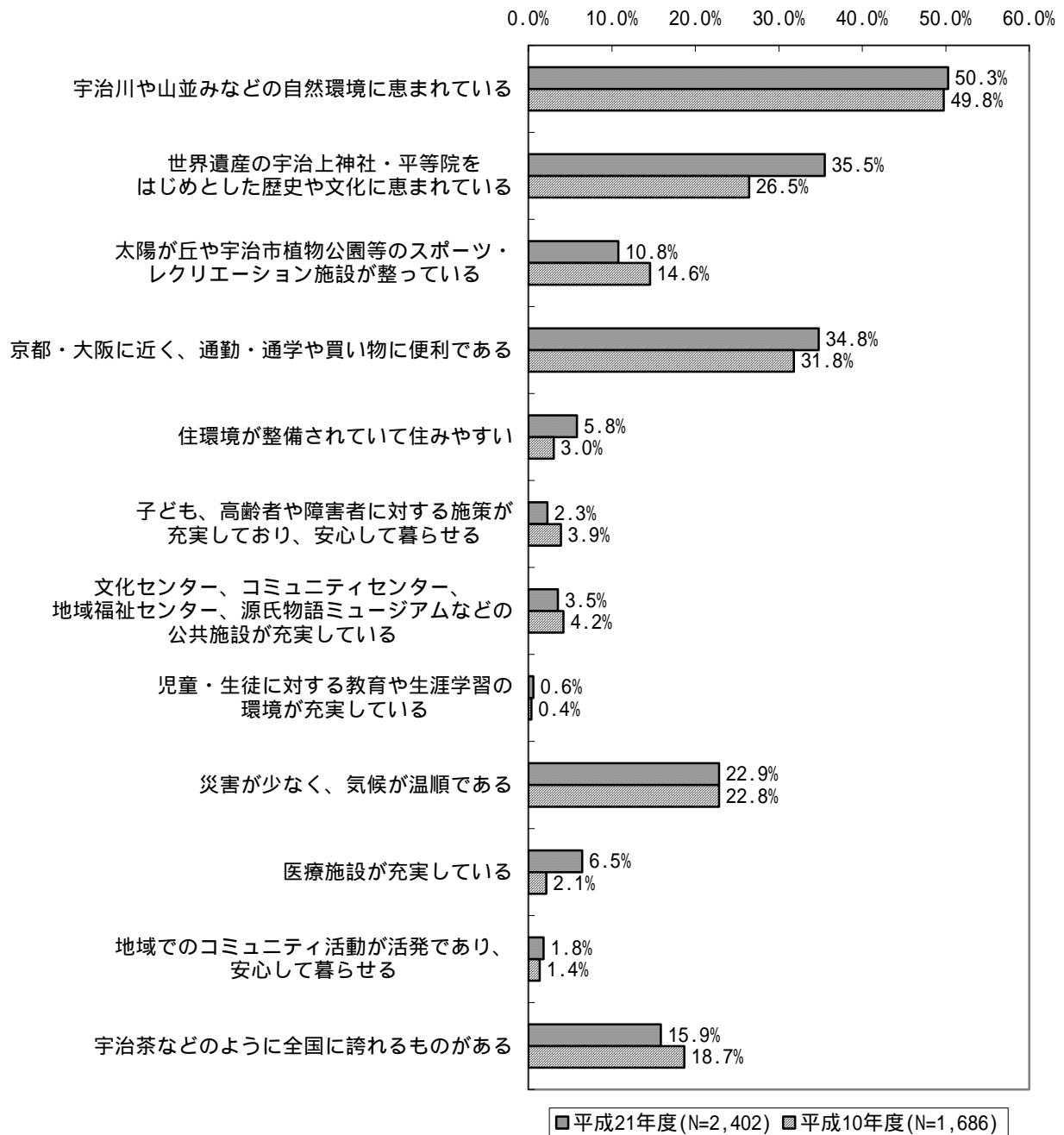


- 地域区分と居住地域名との対応
- 地域A：六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
 - 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 - 地域C：五ヶ庄
 - 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 - 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
 - 地域F：槇島町
 - 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 - 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）小倉町（小倉町 以外）南陵町
 - 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）伊勢田町（伊勢田町 以外）安田町
 - 地域J：神明（石塚）神明（石塚以外）開町、羽拍子町
 - 地域K：大久保町
 - 地域L：広野町、寺山台
 - 地域M：白川、志津川
 - 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「持っている」は「地域A」「地域F」「地域I」では半数を下回っている。

問11 宇治市のどんなところに魅力を感じますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

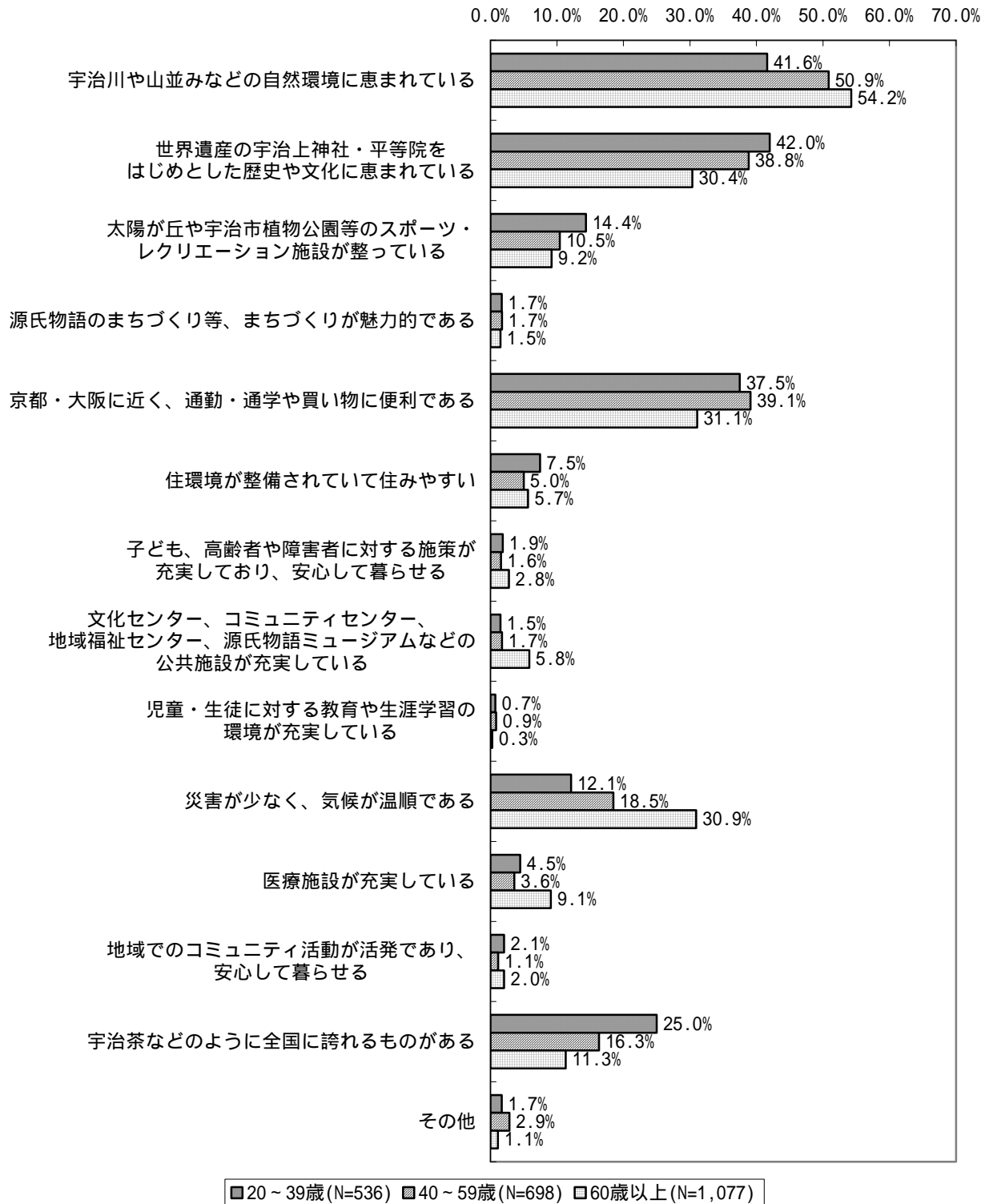
図表 宇治市の魅力



宇治市の魅力をたずねたところ、「宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている」が50.3%で最も多く、以下、「世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている」が35.5%、「京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である」が34.8%、「災害が少なく、気候が温順である」が22.9%などとなっている。

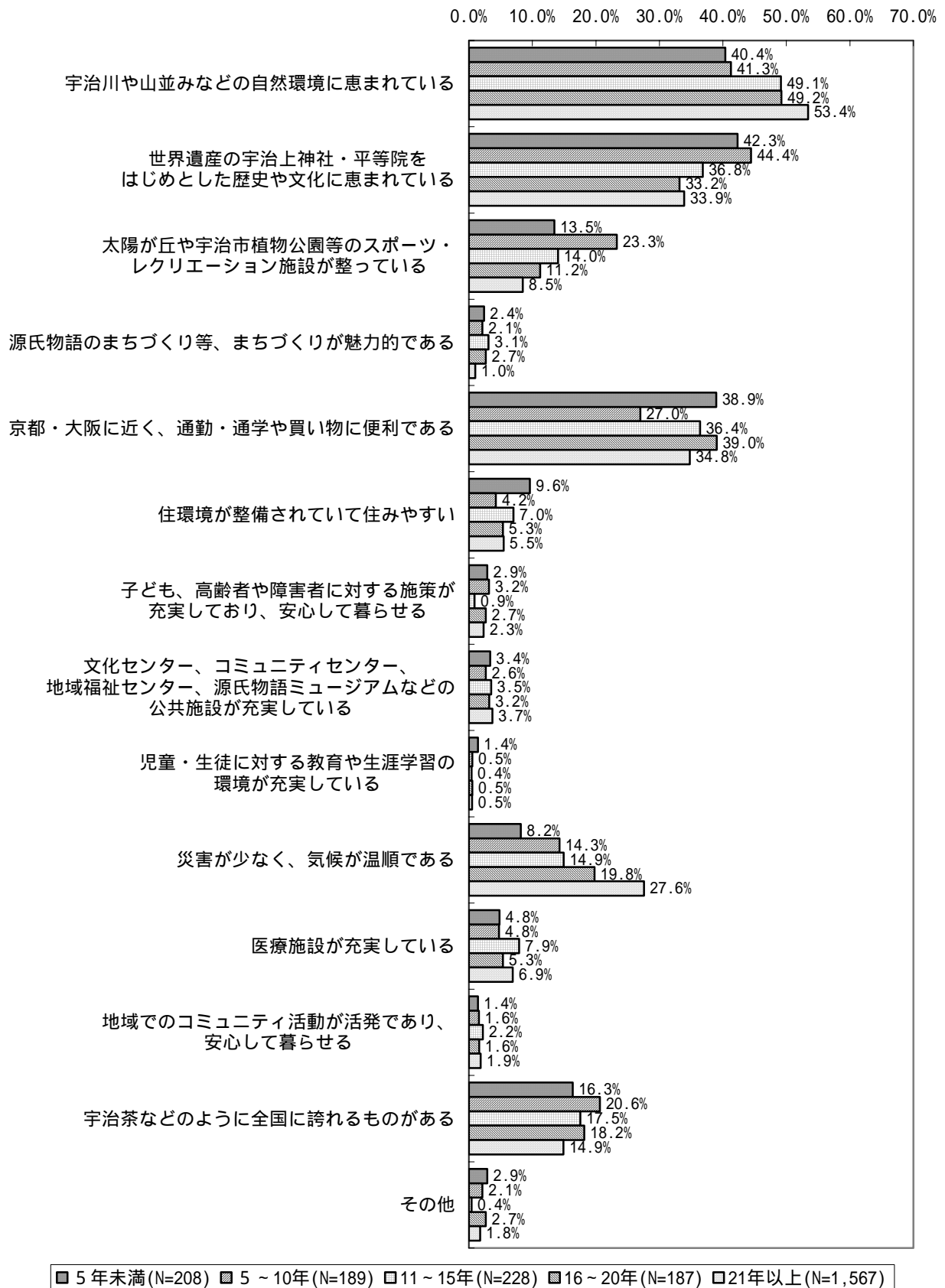
過去の調査と比較すると、「世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている」は平成10年度に比べて9.0ポイント増加し、「太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている」は3.8ポイント減少しているが、他の項目では、大きな変化はみられない。

図表 年齢別 宇治市の魅力



年齢別にみると、年齢層が高いほど「宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている」「災害が少なく、気候が温順である」が多い傾向となっている。逆に、年齢層が低いほど「世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている」「太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている」「宇治茶などのように全国に誇れるものがある」が多い傾向となっている。

図表 居住年数別 宇治市の魅力



居住年数別にみると、居住年数が長いほど「宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている」「災害が少なく、気候が温順である」が多い傾向となっている。

図表 地域別 宇治市の魅力（上位5項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
地域A(N=244)	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	48.4%	47.5%	32.0%	19.3%	13.5%
地域B(N=172)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	54.7%	40.1%	30.2%	23.3%	19.2%
地域C(N=201)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	59.2%	40.8%	35.8%	27.4%	14.4%
地域D(N=193)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	72.5%	35.8%	24.9%	21.8%	15.0%
地域E(N=288)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある	災害が少なく、気候が温順である
	57.6%	46.2%	20.8%	19.4%	18.8%
地域F(N=153)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	44.4%	37.3%	35.3%	26.1%	16.3%
地域G(N=148)	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	宇治茶などのように全国に誇れるものがある	災害が少なく、気候が温順である
	50.7%	34.5%	33.1%	16.2%	15.5%
地域H(N=221)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	医療施設が充実している
	48.0%	41.6%	36.7%	20.8%	11.8%
地域I(N=224)	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	34.8%	33.9%	33.0%	29.9%	17.4%
地域J(N=120)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である	太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている
	57.5%	37.5%	31.7%	22.5%	20.8%
地域K(N=117)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	33.3%	33.3%	29.1%	26.5%	21.4%
地域L(N=234)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である
	49.1%	34.6%	29.1%	28.6%	20.9%
地域M(N=13)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	災害が少なく、気候が温順である	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	76.9%	30.8%	23.1%	15.4%	15.4%
地域N(N=7)	宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている	世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている	京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である	災害が少なく、気候が温順である	宇治茶などのように全国に誇れるものがある
	71.4%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%

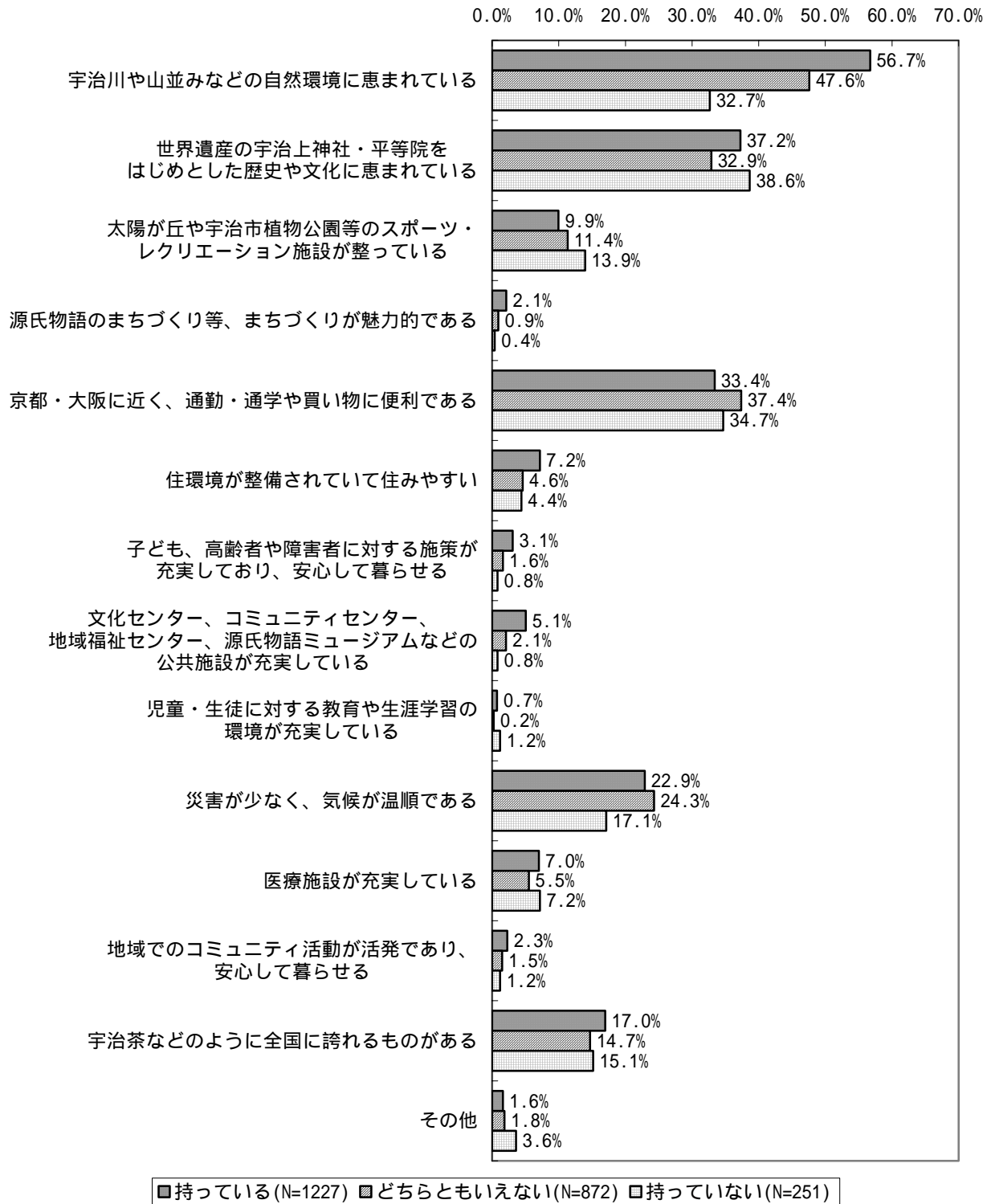
（注）上位5項目の決定には、各地域での同率・同順位は考慮していない。

地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、關町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、第3位までには多くの地域で「宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている」「京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である」「世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている」がみられる。

図表 宇治市への愛着や誇りの有無別 宇治市の魅力

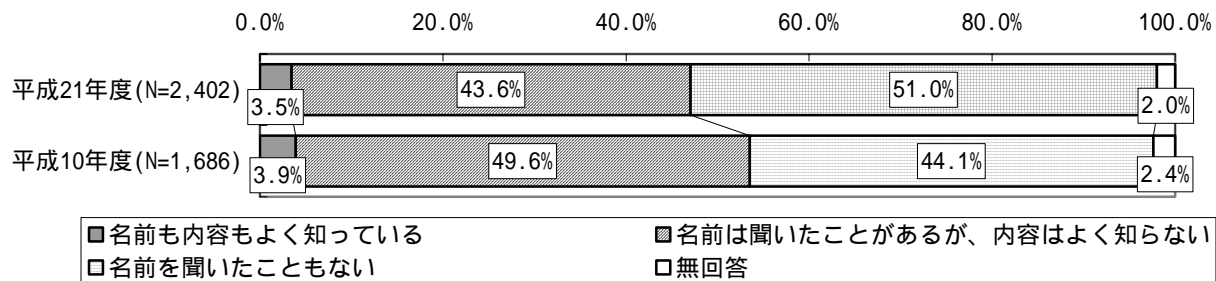


宇治市への愛着や誇りの有無別にみると、「宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている」や「災害が少なく、気候が温順である」は、愛着や誇りを「持っている」人が「持っていない」人に比べて多い。逆に、「太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている」は、愛着や誇りを「持っていない」人が「持っている」人に比べて多い。

3 総合計画について

問12 あなたは総合計画についてご存知ですか。

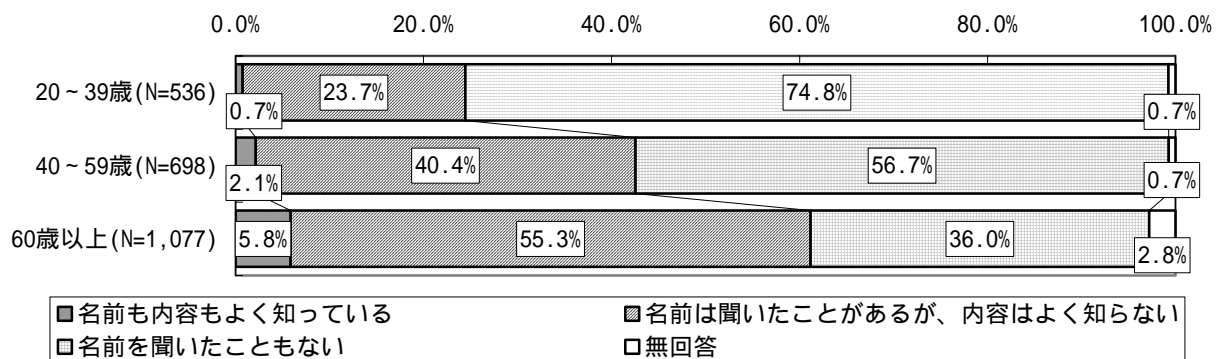
図表 総合計画の認知度



総合計画の認知度をたずねたところ、「名前を聞いたこともない」が51.0%であるのに対し、「名前も内容もよく知っている」(3.5%)と「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(43.6%)を合わせた「総合計画を知っている」人は47.1%となっている。

過去の調査と比較すると、平成10年度には「総合計画を知っている」人(53.5%)が「名前を聞いたこともない」(44.1%)を上回っていたが、今回はこれが逆転している。

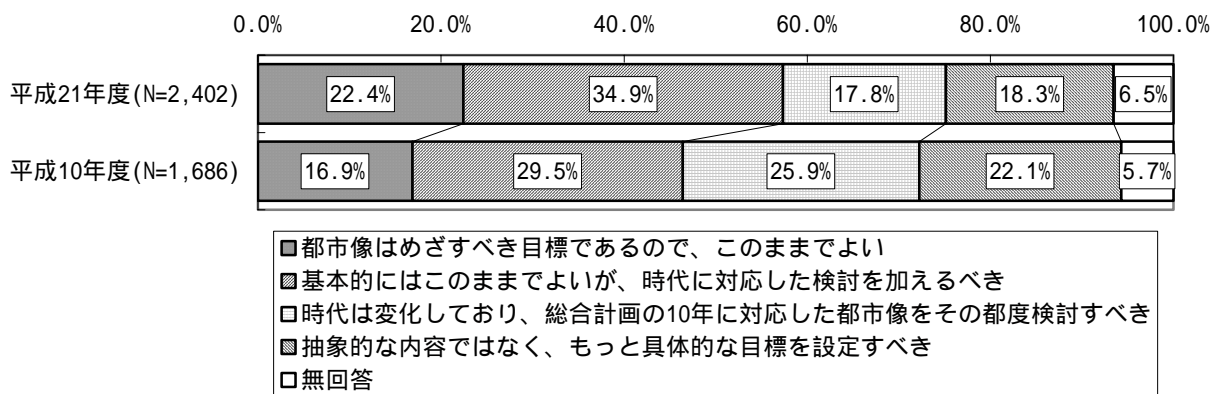
図表 年齢別 総合計画の認知度



年齢別にみると、年齢層が低いほど「名前を聞いたこともない」が多い傾向となっており、「20～39歳」では4分の3近くを占めている。

問13 宇治市のめざすべき都市像は、宇治市第1次総合計画策定以来約35年間にわたり、『みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市』をキャッチフレーズに、
 市民の参加と連帯による地域社会づくりをめざす人間都市
 ゆたかな自然環境との共生をめざす環境都市
 健康でゆたかな暮らしをめざす福祉都市
 歴史の継承と文化の創造をめざす歴史・文化都市
 伝統産業の育成と新産業の創造をめざす産業都市
 の5本柱で構成されています。このキャッチフレーズ及び、5本柱についてどう思われますか。

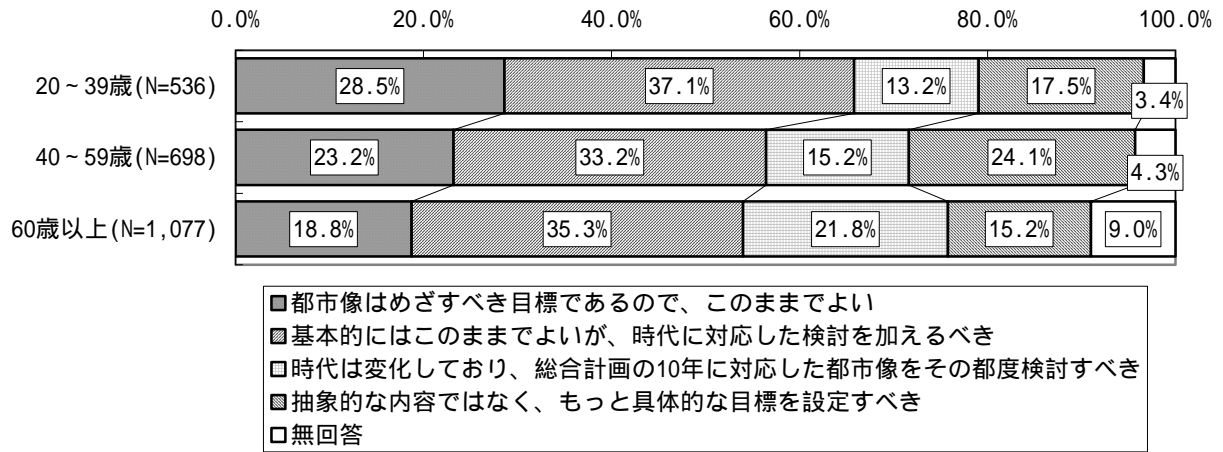
図表 宇治市総合計画のキャッチフレーズのあり方



宇治市総合計画のキャッチフレーズのあり方をたずねたところ、「都市像はめざすべき目標であるので、このままでよい」が22.4%、「基本的にはこのままでよいが、時代に対応した検討を加えるべき」が34.9%となっており、基本となる考え方の現状維持を求める意見は57.3%を占める。これに対し、「時代は変化しており、総合計画の10年に対応した都市像をその都度検討すべき」が17.8%、「抽象的な内容ではなく、もっと具体的な目標を設定すべき」が18.3%となっており、検討・変更を求める意見は36.1%を占める。

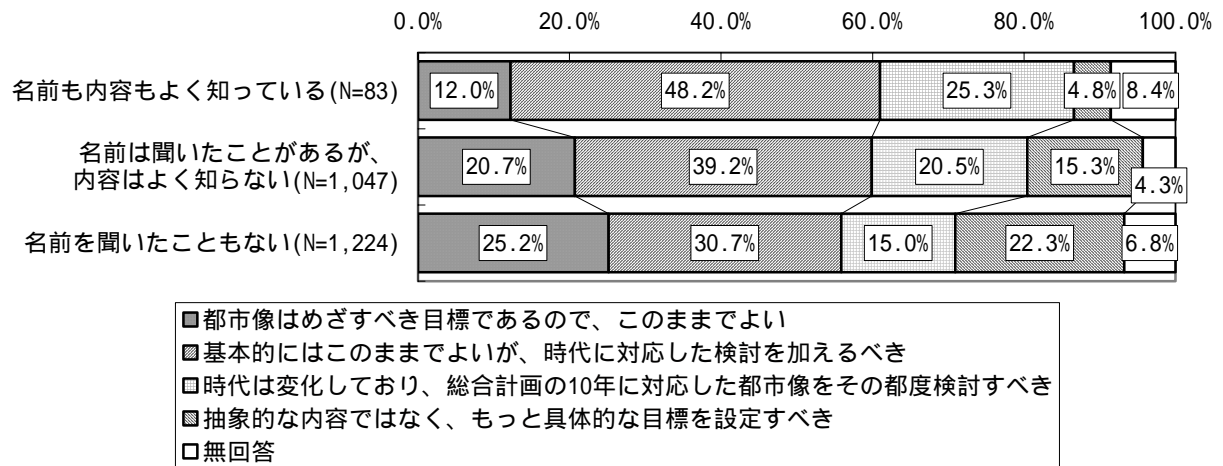
過去の調査と比較すると、「都市像はめざすべき目標であるので、このままでよい」が平成10年度に比べて5.5ポイント、「基本的にはこのままでよいが、時代に対応した検討を加えるべき」が5.4ポイントそれぞれ増加している。基本となる考え方の現状維持を求める意見が増加し、検討・変更を求める意見が減少している。

図表 年齢別 宇治市総合計画のキャッチフレーズのあり方



年齢別にみると、年齢層が低いほど基本となる考え方の現状維持を求める意見が多い傾向となっている。

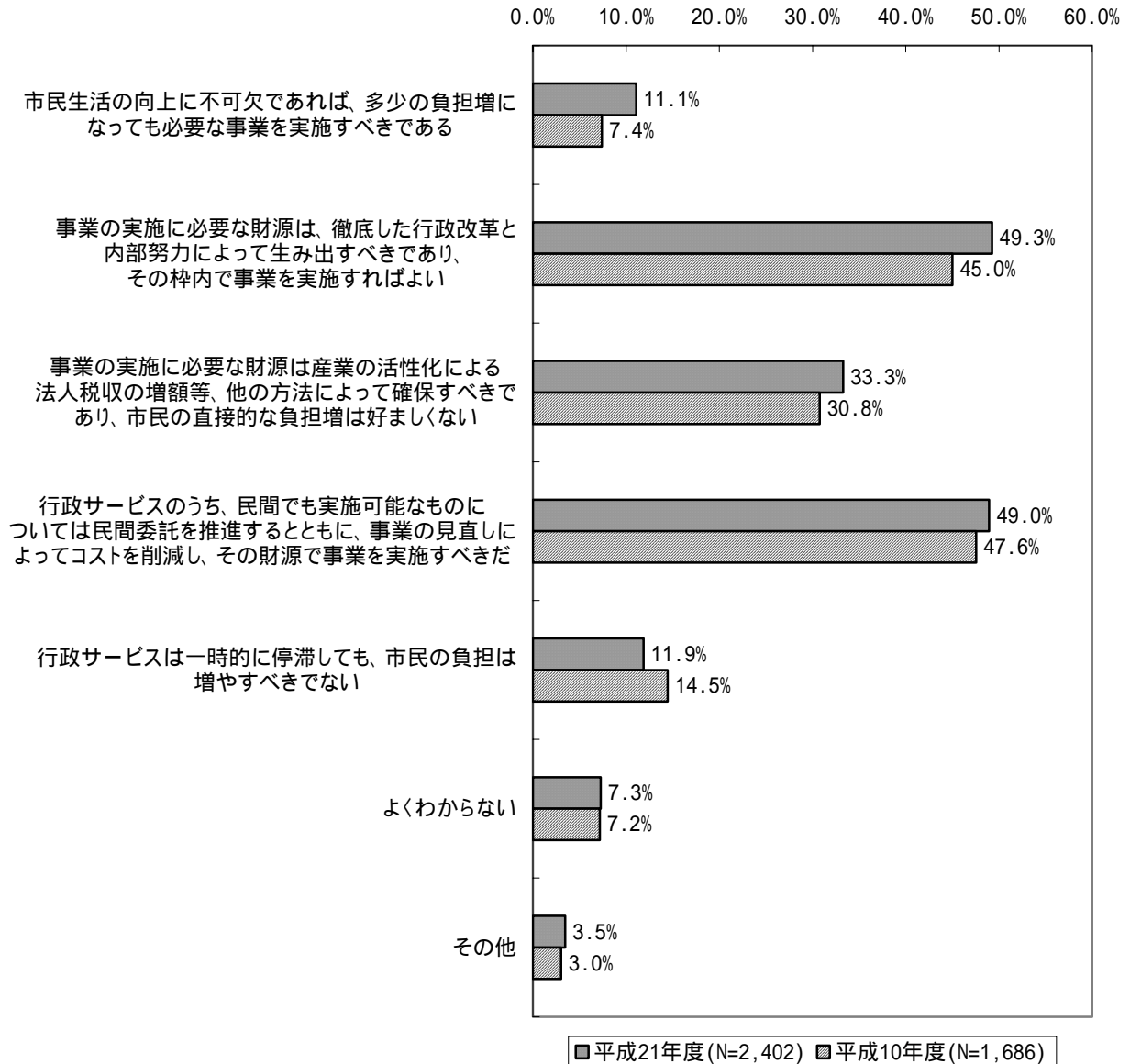
図表 総合計画の認知度別 宇治市総合計画のキャッチフレーズのあり方



総合計画の認知度別にみると、総合計画について知らない人ほど「都市像はめざすべき目標であるので、このままでよい」と「抽象的な内容ではなく、もっと具体的な目標を設定すべき」が多い傾向となっている。基本となる考え方の現状維持か、検討・変更を求めるかに着目すると、「総合計画を知っている」人ほど基本となる考え方の現状維持を求める意見が多い傾向となっている。

問14 市民の皆さんの多様なニーズに応えるためには、必要な財源を確保していくことが不可欠ですが、今後の行政運営の根幹となる市民の負担のあり方についてどのように思いますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

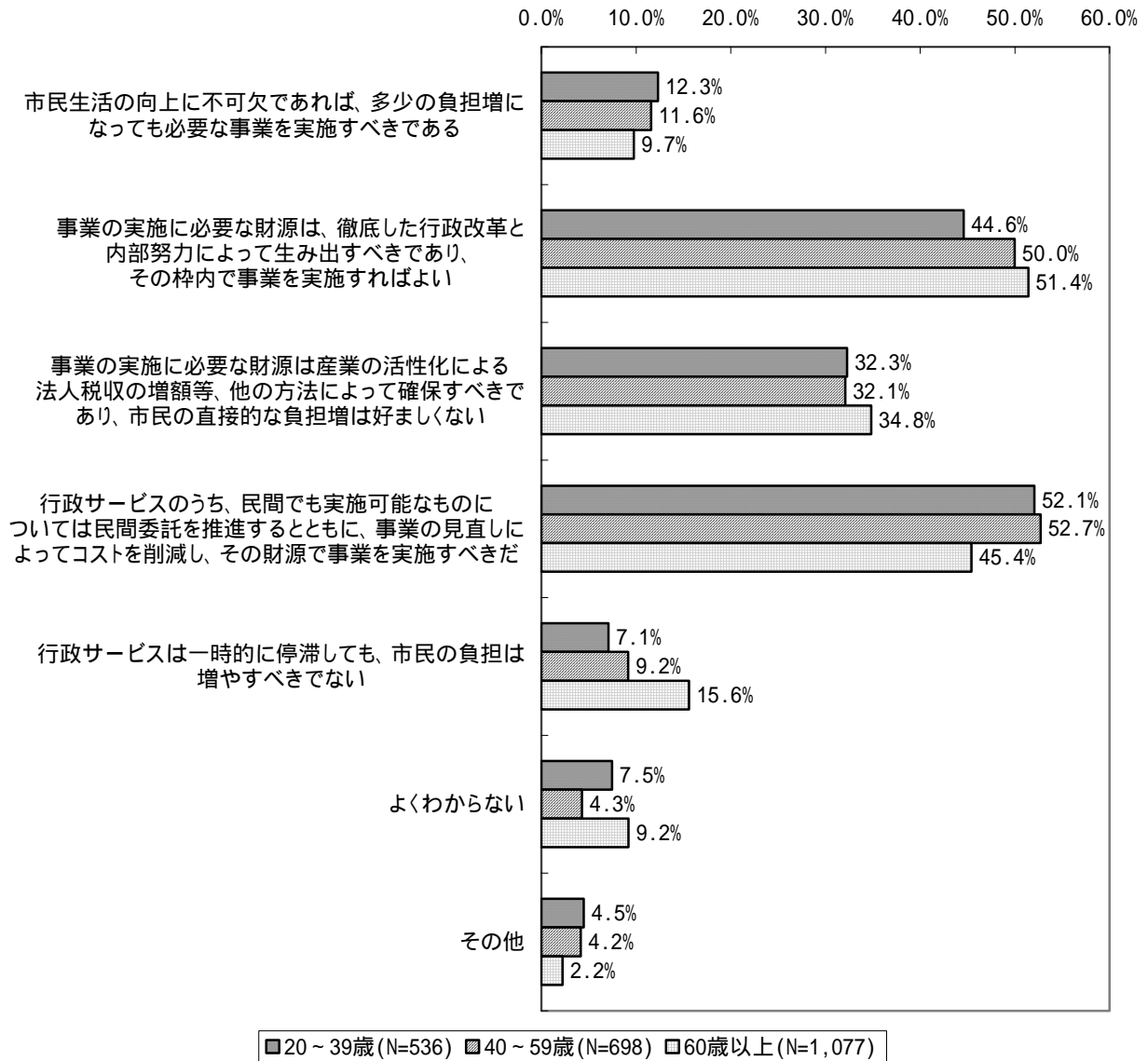
図表 行政運営における市民の負担のあり方



行政運営における市民の負担のあり方をたずねたところ、「事業の実施に必要な財源は、徹底した行政改革と内部努力によって生み出すべきであり、その枠内で事業を実施すればよい」が49.3%で最も多く、次いで、「行政サービスのうち、民間でも実施可能なものについては民間委託を推進するとともに、事業の見直しによってコストを削減し、その財源で事業を実施すべきだ」が49.0%となっている。

過去の調査と比較すると、大きな変化ではないが、「行政サービスは一時的に停滞しても、市民の負担は増やすべきでない」が平成10年度に比べて2.6ポイント減少しているのに対し、「事業の実施に必要な財源は、徹底した行政改革と内部努力によって生み出すべきであり、その枠内で事業を実施すればよい」が4.3ポイント増加している。

図表 年齢別 行政運営における市民の負担のあり方

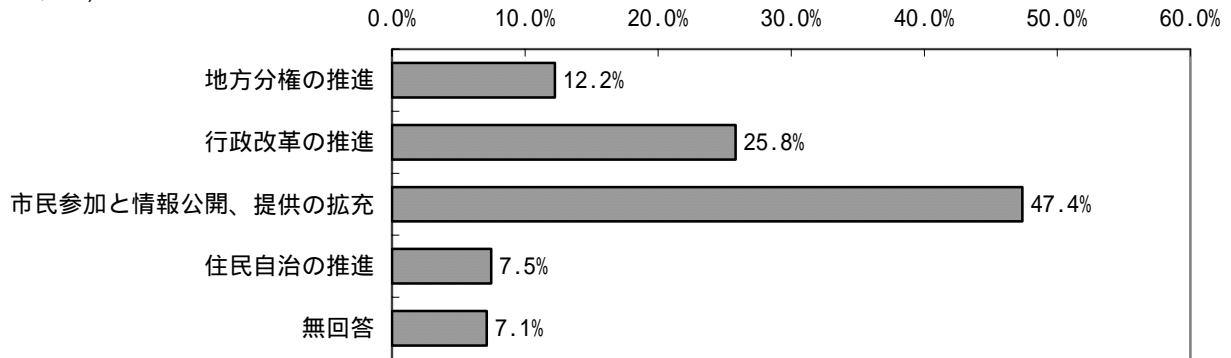


年齢別にみると、年齢層が高いほど「事業の実施に必要な財源は、徹底した行政改革と内部努力によって生み出すべきであり、その枠内で事業を実施すればよい」と「行政サービスは一時的に停滞しても、市民の負担は増やすべきでない」が多い傾向となっている。

問15 今後、次の ~ のようなまちづくりを考えた場合、どのような施策が重要になると思われますか。四角の中から、1つずつ必要だと思われる施策を選んで 印をつけてください。

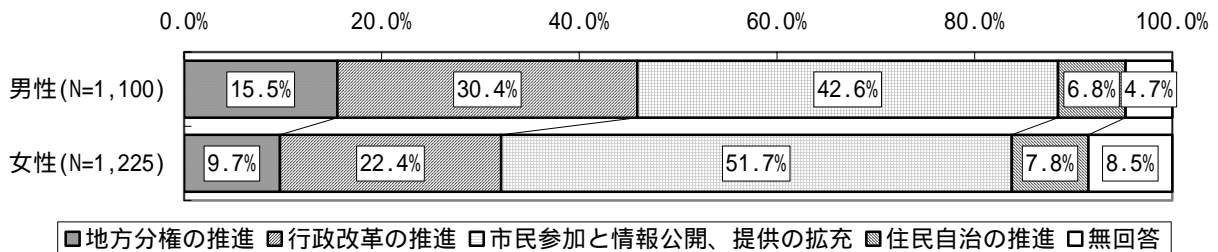
「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」

図表 「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」で重視する取り組み
(N=2,402)



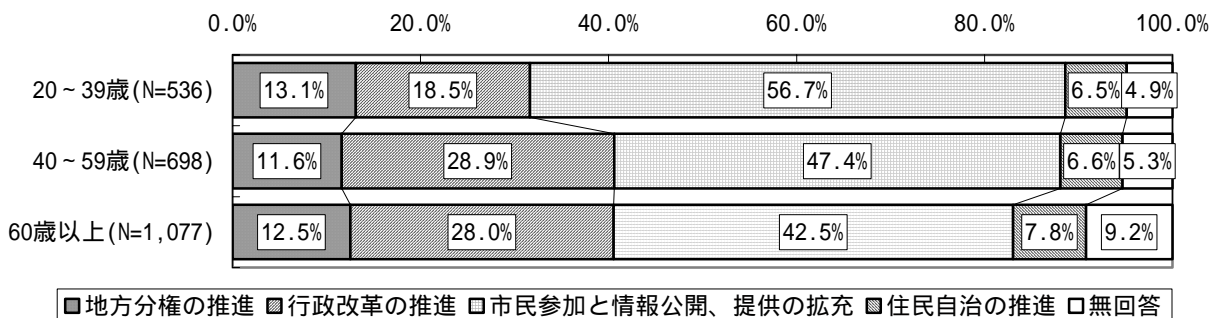
「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「市民参加と情報公開、提供の拡充」が47.4%で最も多く、以下、「行政改革の推進」が25.8%、「地方分権の推進」が12.2%、「住民自治の推進」が7.5%となっている。

図表 性別 「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」で重視する取り組み



性別にみると、「地方分権の推進」と「行政改革の推進」は「男性」が「女性」に比べて多く、「市民参加と情報公開、提供の拡充」は「女性」が「男性」に比べて多い。

図表 年齢別 「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」で重視する取り組み

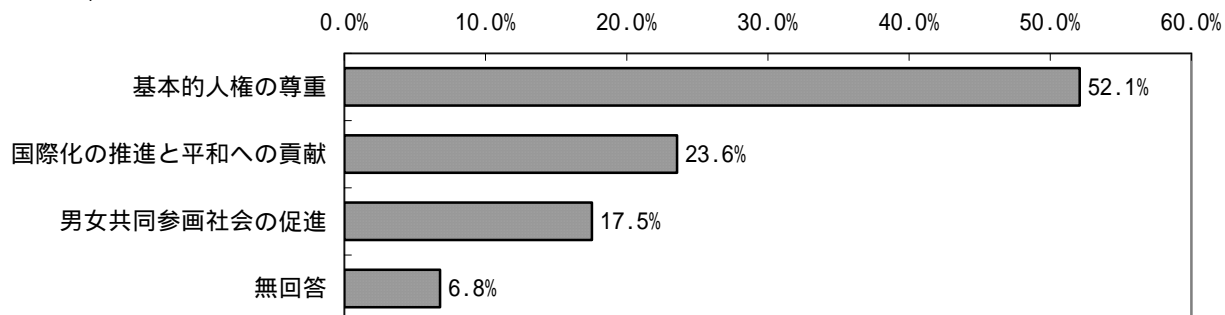


年齢別にみると、年齢層が低いほど「市民参加と情報公開」が多い傾向となっている。

「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」

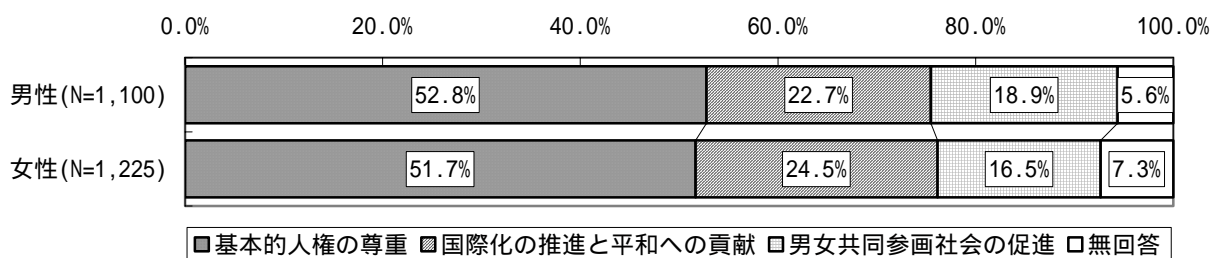
図表 「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



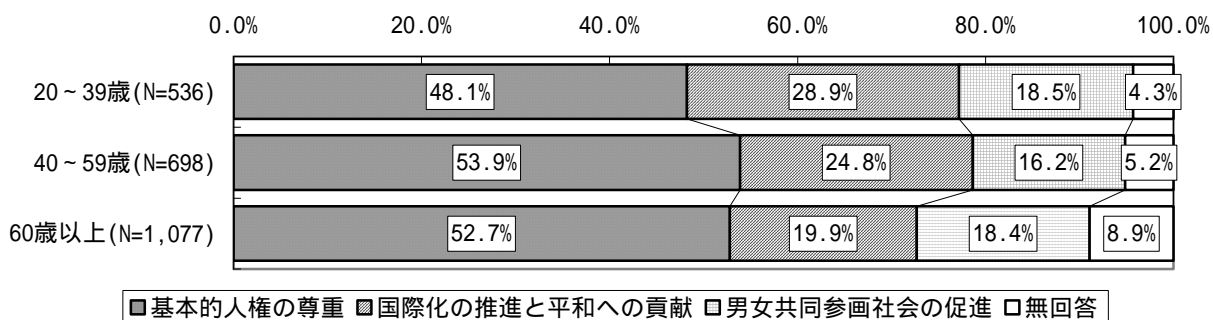
「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「基本的人権の尊重」が52.1%で最も多く、以下、「国際化の推進と平和への貢献」が23.6%、「男女共同参画社会の促進」が17.5%となっている。

図表 性別 「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」で重視する取り組み



性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」で重視する取り組み

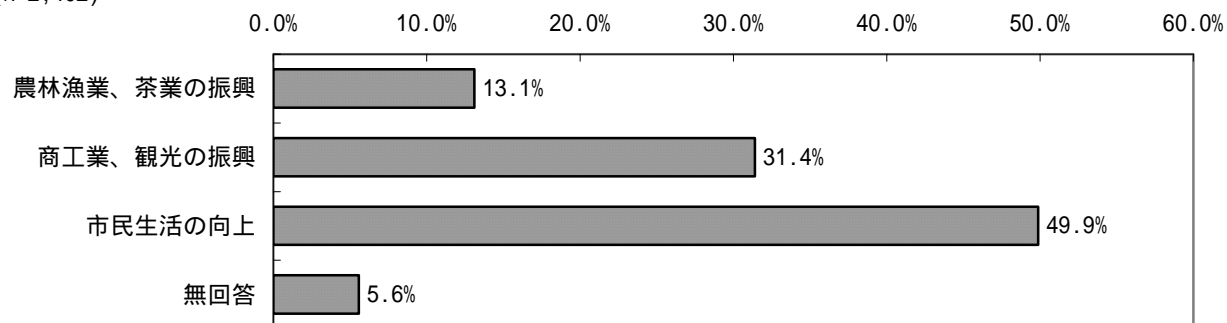


年齢別にみると、年齢層が低いほど「国際化の推進と平和への貢献」が多い傾向となっている。

「活力ある地域経済の振興をめざす」

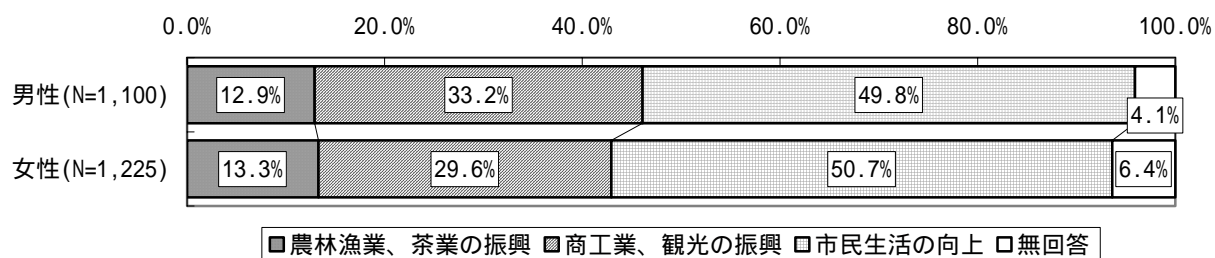
図表 「活力ある地域経済の振興をめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



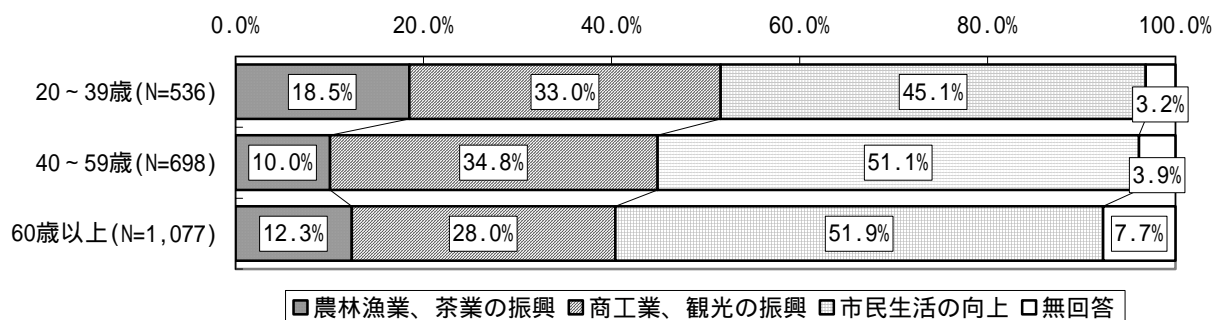
「活力ある地域経済の振興をめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「市民生活の向上」が49.9%で最も多く、以下、「商工業、観光の振興」が31.4%、「農林漁業、茶業の振興」が13.1%となっている。

図表 性別 「活力ある地域経済の振興をめざす」で重視する取り組み



性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 「活力ある地域経済の振興をめざす」で重視する取り組み

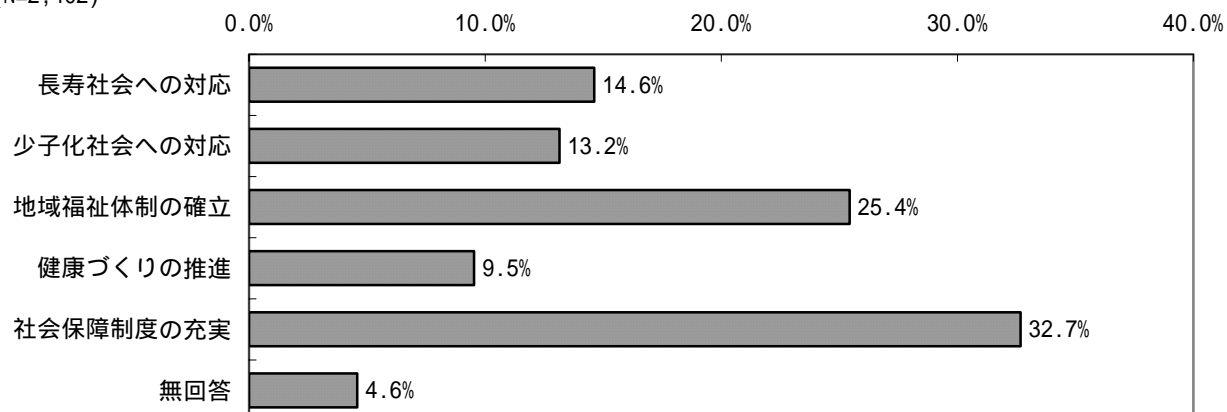


年齢別にみると、「農林漁業、茶業の振興」は「20～39歳」で最も多い。また、「市民生活の向上」は、「40歳」以上では過半数を占め、「20～39歳」に比べて多い。

「健康でゆたかな暮らしをめざす」

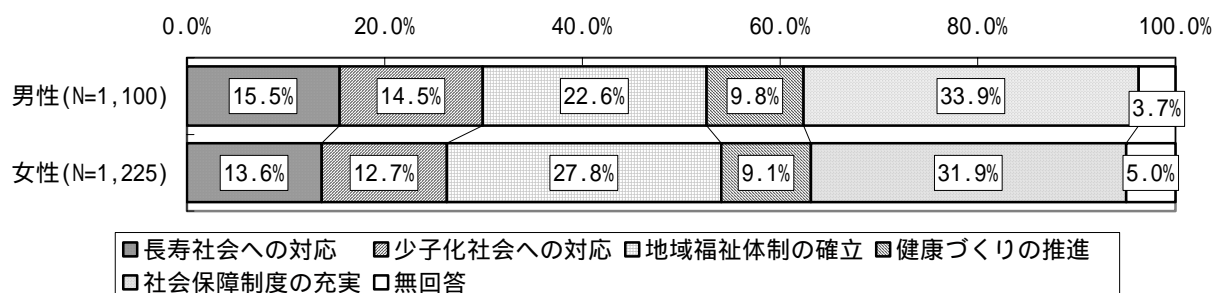
図表 「健康でゆたかな暮らしをめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



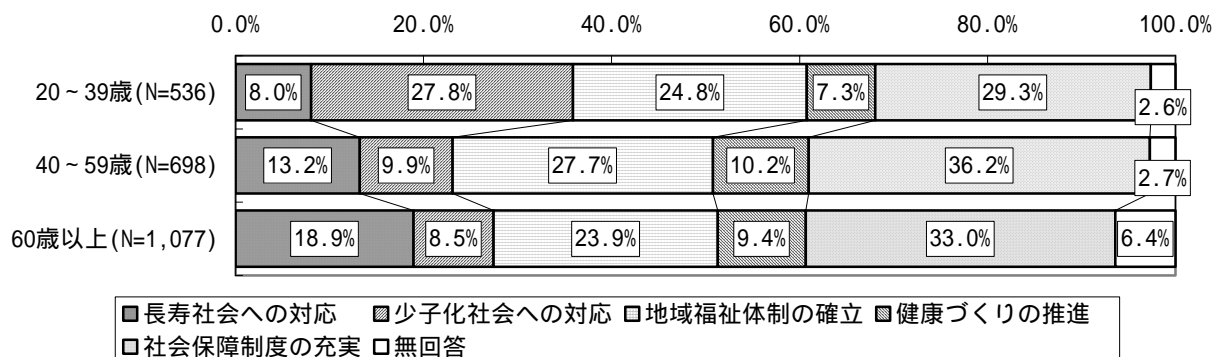
「健康でゆたかな暮らしをめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「社会保障制度の充実」が32.7%で最も多く、以下、「地域福祉体制の確立」が25.4%、「長寿社会への対応」が14.6%などとなっている。

図表 性別 「健康でゆたかな暮らしをめざす」で重視する取り組み



性別にみると、「地域福祉体制の確立」は「女性」が「男性」に比べて多いが、他の項目では大きな差はみられない。

図表 年齢別 「健康でゆたかな暮らしをめざす」で重視する取り組み

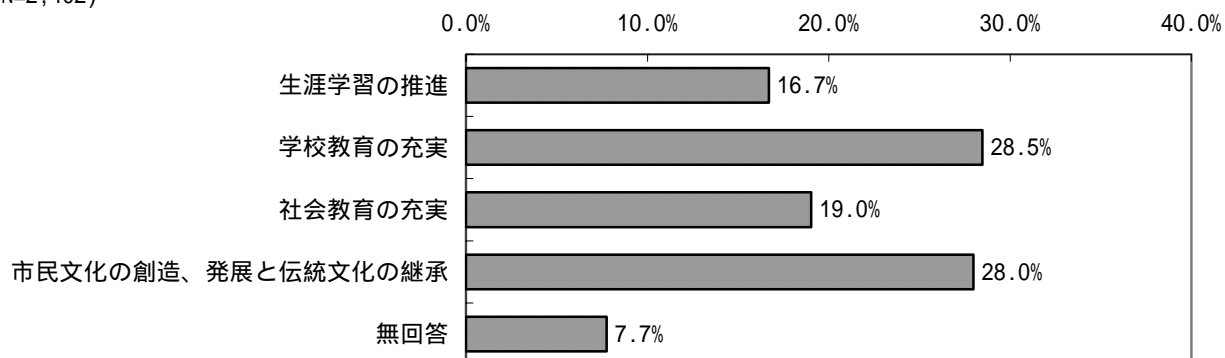


年齢別にみると、年齢層が高いほど「長寿社会への対応」が多く、年齢層が低いほど「少子化社会への対応」が多い傾向となっている。

「歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざす」

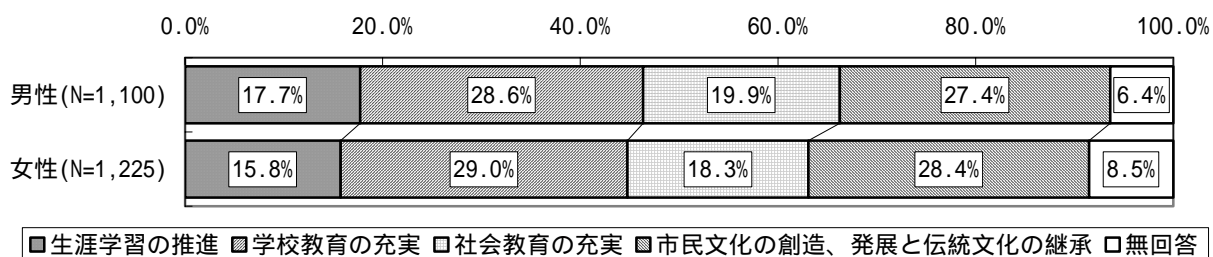
図表 「歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



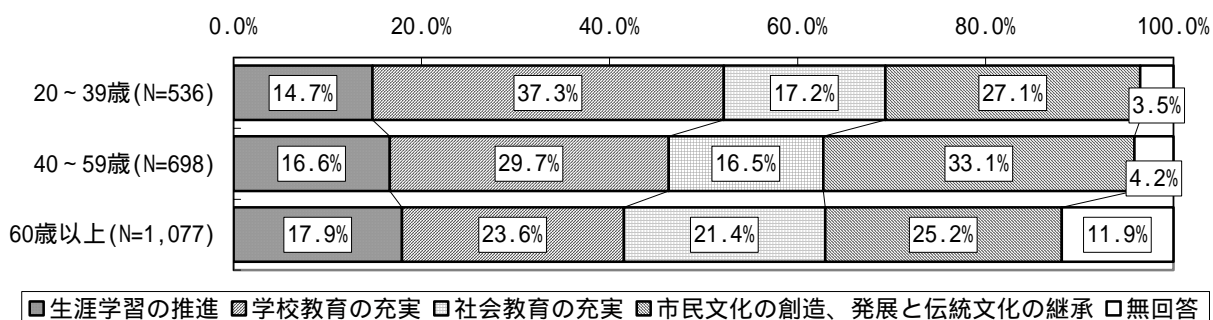
「歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「学校教育の充実」が28.5%で最も多く、以下、「市民文化の創造、発展と伝統文化の継承」が28.0%、「社会教育の充実」が19.0%、「生涯学習の推進」が16.7%となっている。

図表 性別 「歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざす」で重視する取り組み



性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 「歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざす」で重視する取り組み

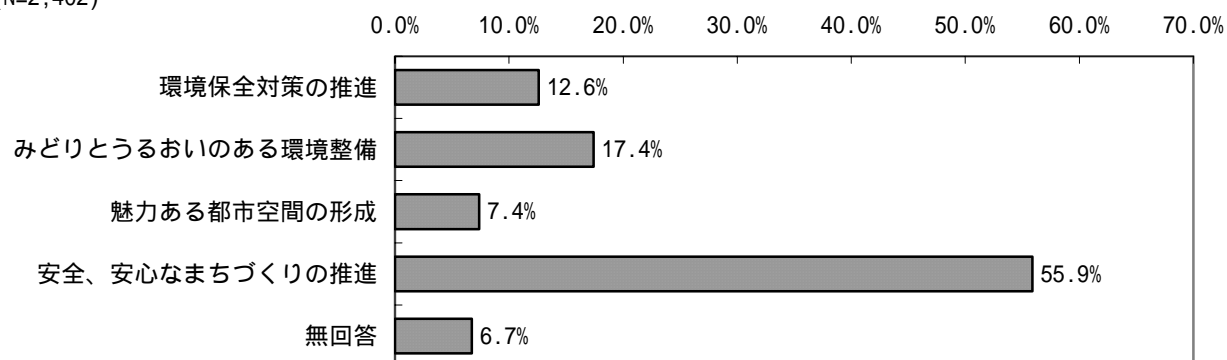


年齢別にみると、年齢層が高いほど「生涯学習の推進」が多く、年齢層が低いほど「学校教育の充実」が多い傾向となっている。

「安全でうるおいのある環境をめざす」

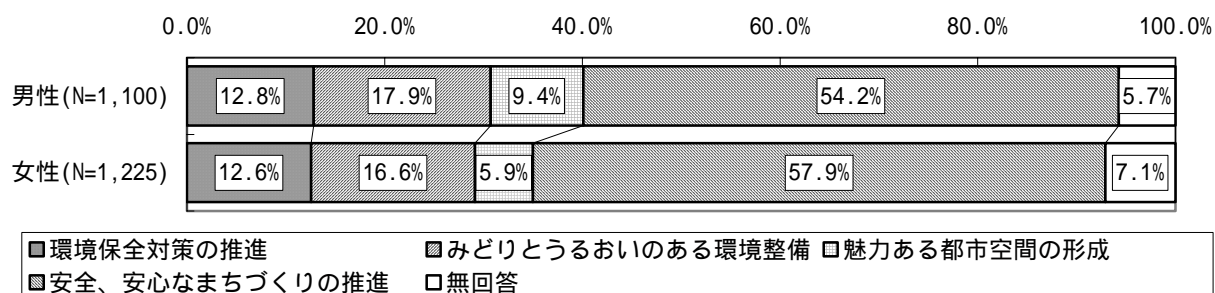
図表 「安全でうるおいのある環境をめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



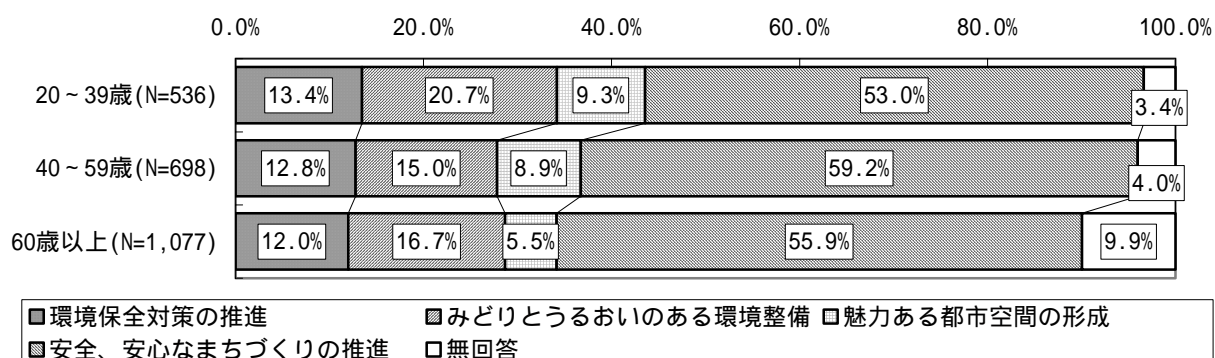
「安全でうるおいのある環境をめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「安全、安心なまちづくりの推進」が55.9%で最も多く、以下、「みどりとうるおいのある環境整備」が17.4%、「環境保全対策の推進」が12.6%、「魅力ある都市空間の形成」が7.4%となっている。

図表 性別 「安全でうるおいのある環境をめざす」で重視する取り組み



性別にみると、「魅力ある都市空間の形成」は「男性」が「女性」に比べて多く、「安全、安心なまちづくりの推進」は女性が男性に比べて多い。

図表 年齢別 「安全でうるおいのある環境をめざす」で重視する取り組み

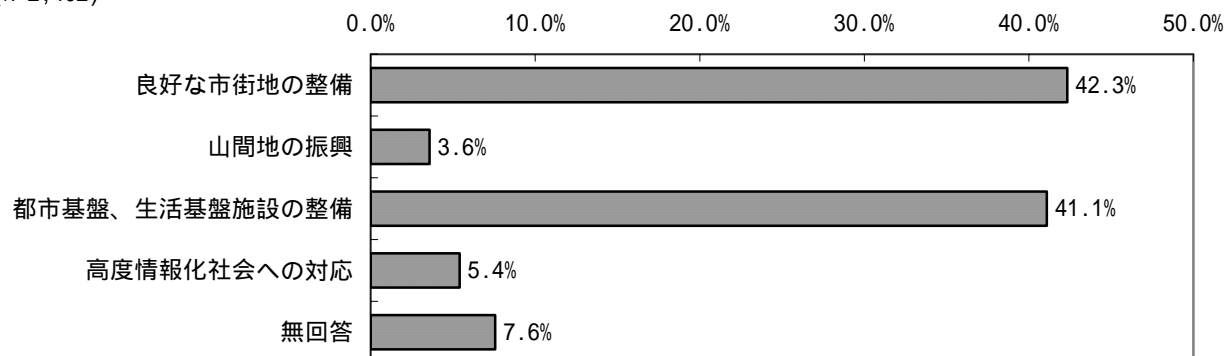


年齢別にみると、年齢層が低いほど「環境保全対策の推進」「魅力ある都市空間の形成」が多い傾向となっている。また、「みどりとうるおいのある環境整備」は「20～39歳」では20.7%で、「40歳以上」に比べて多い。

「快適で便利な都市をめざす」

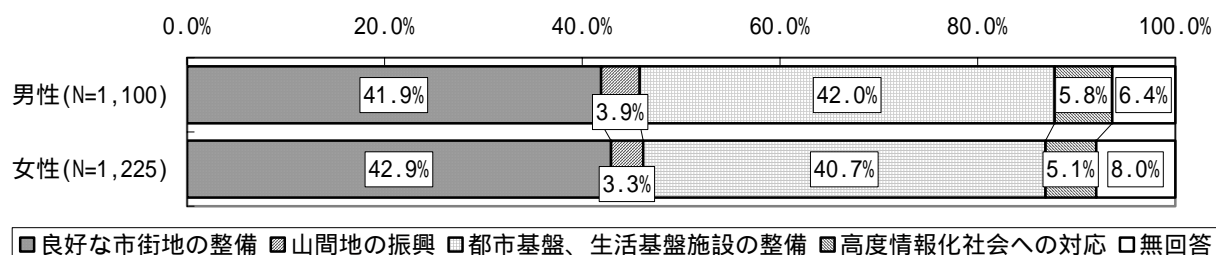
図表 「快適で便利な都市をめざす」で重視する取り組み

(N=2,402)



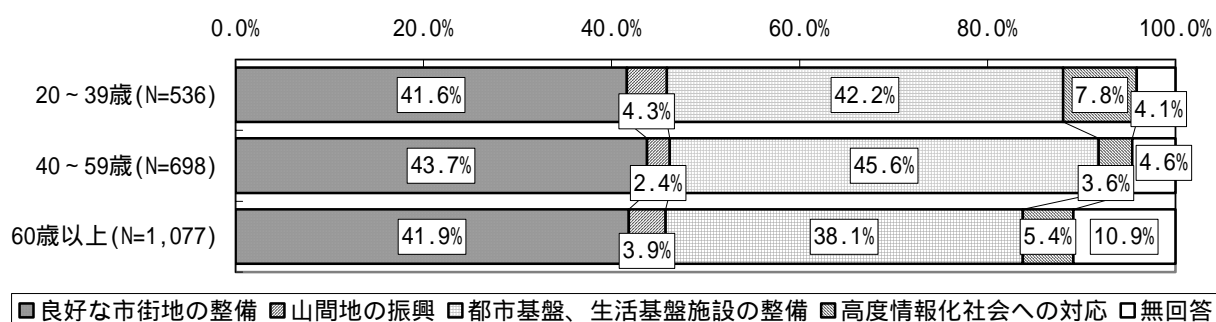
「快適で便利な都市をめざす」で重視する取り組みをたずねたところ、「良好な市街地の整備」が42.3%で最も多く、以下、「都市基盤、生活基盤施設の整備」が41.1%、「高度情報化社会への対応」が5.4%、「山間地の振興」が3.6%となっている。

図表 性別 「快適で便利な都市をめざす」で重視する取り組み



性別にみると、大きな差はみられない。

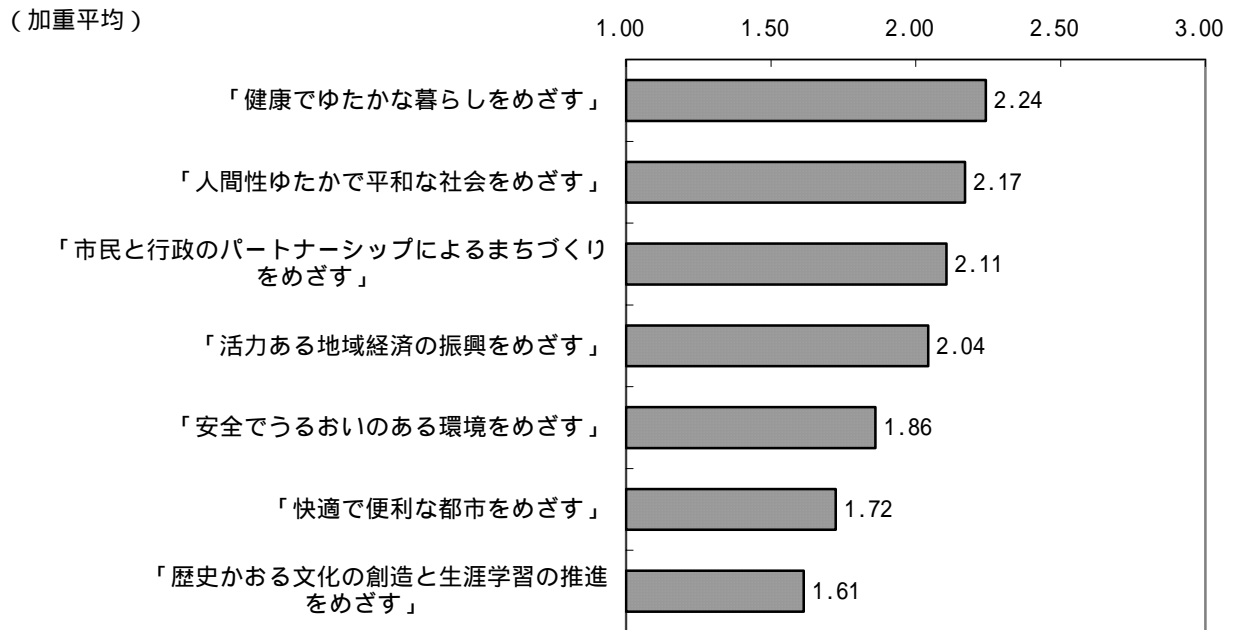
図表 年齢別 「快適で便利な都市をめざす」で重視する取り組み



年齢別にみると、「都市基盤、生活基盤施設の整備」は、「59歳」以下では40%以上を占めているのに対し、「60歳以上」では38.1%とやや少ない。

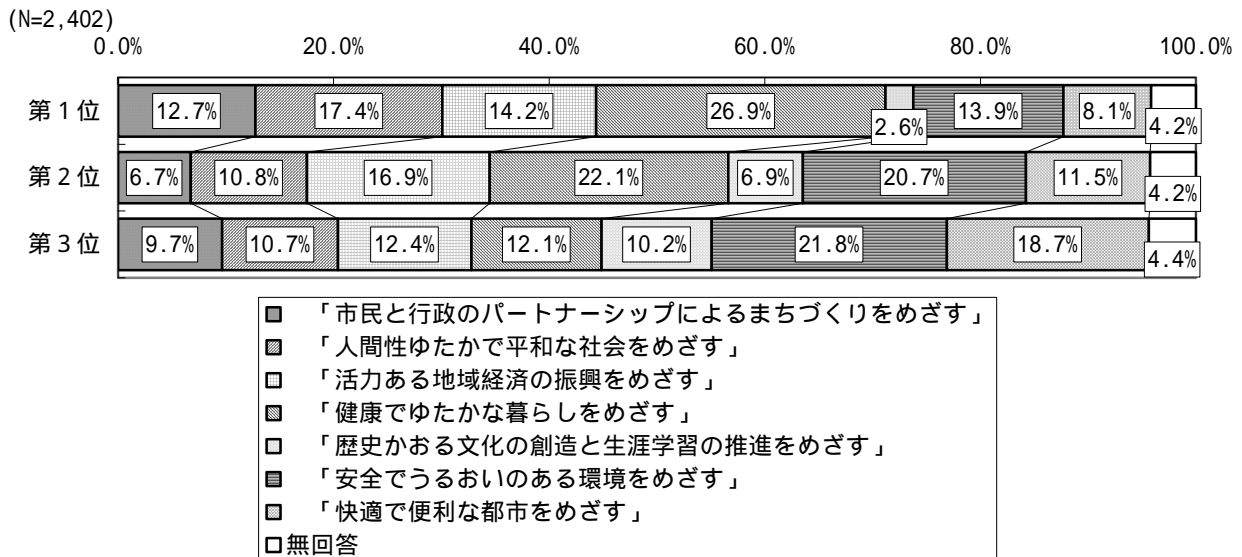
問16 前問の ~ の施策分野を総合的に見て、重要だと思われるものから上位1、2、3位をつけてください。

図表 まちづくりの施策分野の重要度（加重平均の高い順）



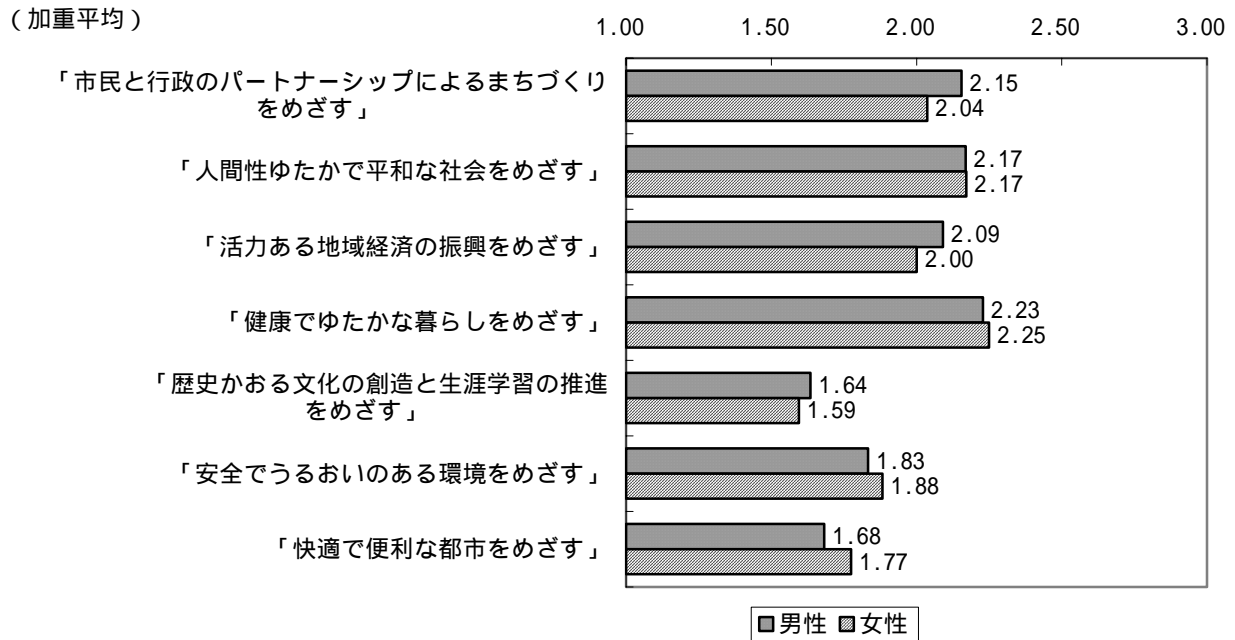
（注）加重平均は、第1位に3点、第2位に2点、第1位に1点と配点をし、以下の式により算出した。
 各項目の加重平均 = {(第1位の回答数 × 3) + (第2位の回答数 × 2) + (第3位の回答数 × 1)} ÷ 無回答を除く回答数

（参考）図表 まちづくりの施策分野の重要度（順位別構成比）



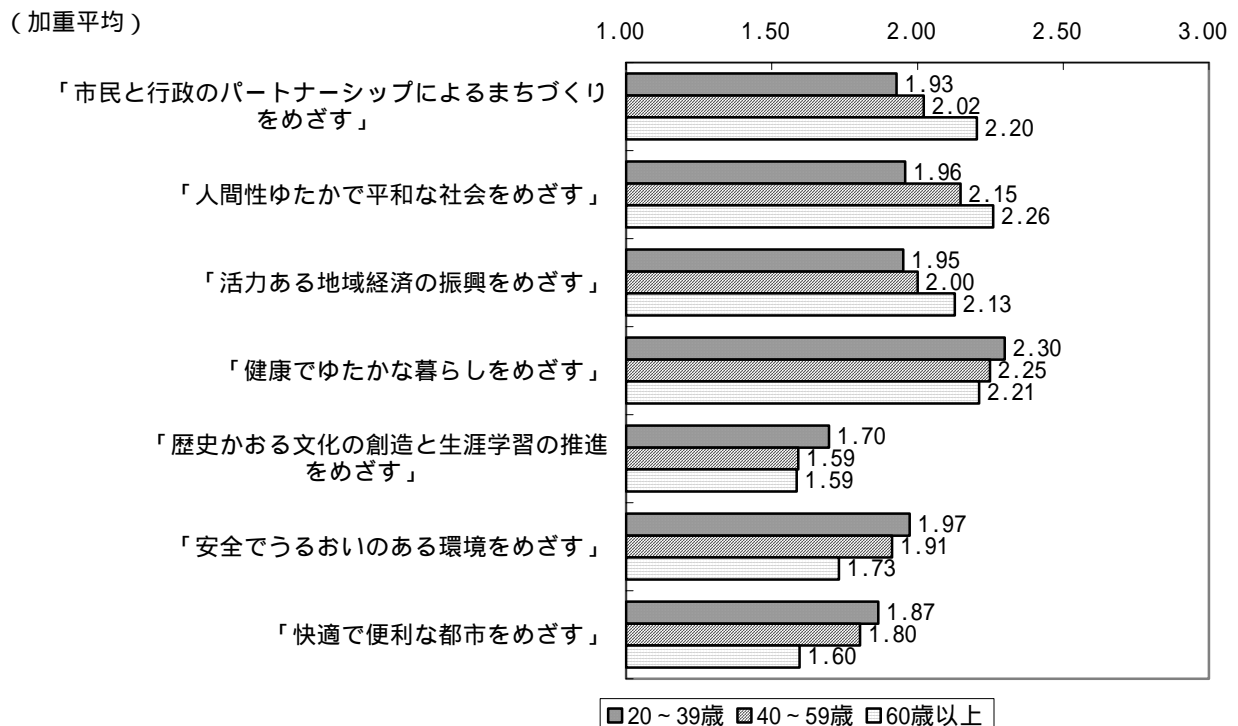
まちづくりの施策分野の重要度順位をたずねたところ、「健康でゆたかな暮らしをめざす」が2.24で最も高く、以下、「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」が2.17、「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」が2.11、「活力ある地域経済の振興をめざす」が2.04などとなっている。

図表 性別 まちづくりの施策分野の重要度（加重平均）



性別にみると、「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」や「活力ある地域経済の振興をめざす」などは「男性」が「女性」に比べて高く、「快適で便利な都市をめざす」などは「女性」が「男性」に比べて高い。

図表 年齢別 まちづくりの施策分野の重要度（加重平均）



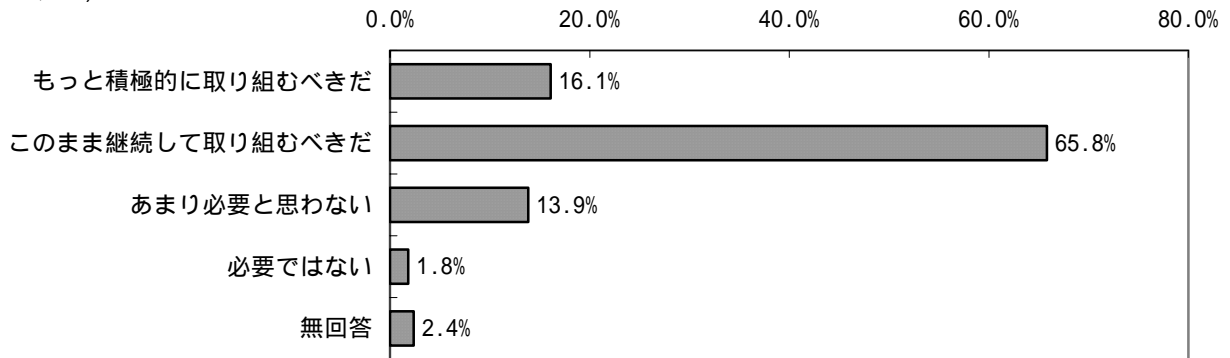
年齢別にみると、年齢層が高いほど「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」「活力ある地域経済の振興をめざす」が高い傾向となっており、他の項目は、年齢層が低いほど高い傾向となっている。

4 宇治市のまちづくりについて

問17 宇治市では、歴史・文化資源を大切に守るとともに、これらを活かしたまちづくりに取り組んでいます。最近では、中宇治地域が国から文化的景観に選定され、また宇治川太閤堤跡の活用に向けた取り組みを進めています。今後もこうした取り組みが必要と思われますか。

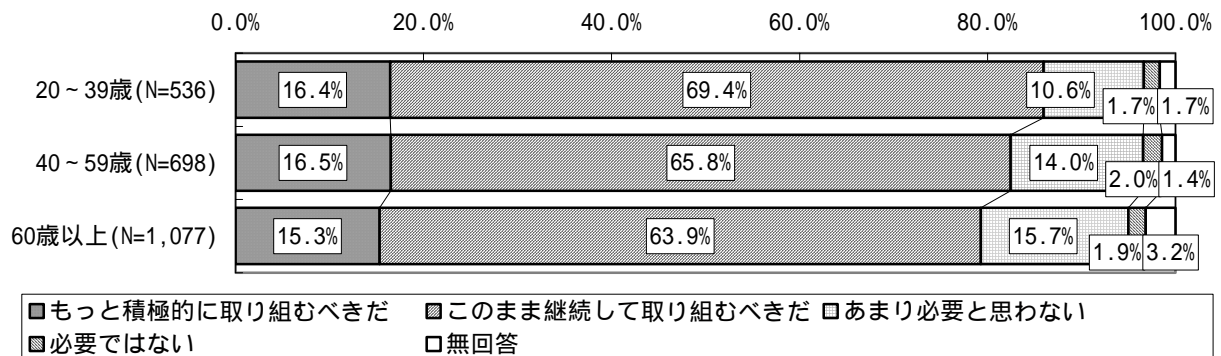
図表 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方

(N=2,402)



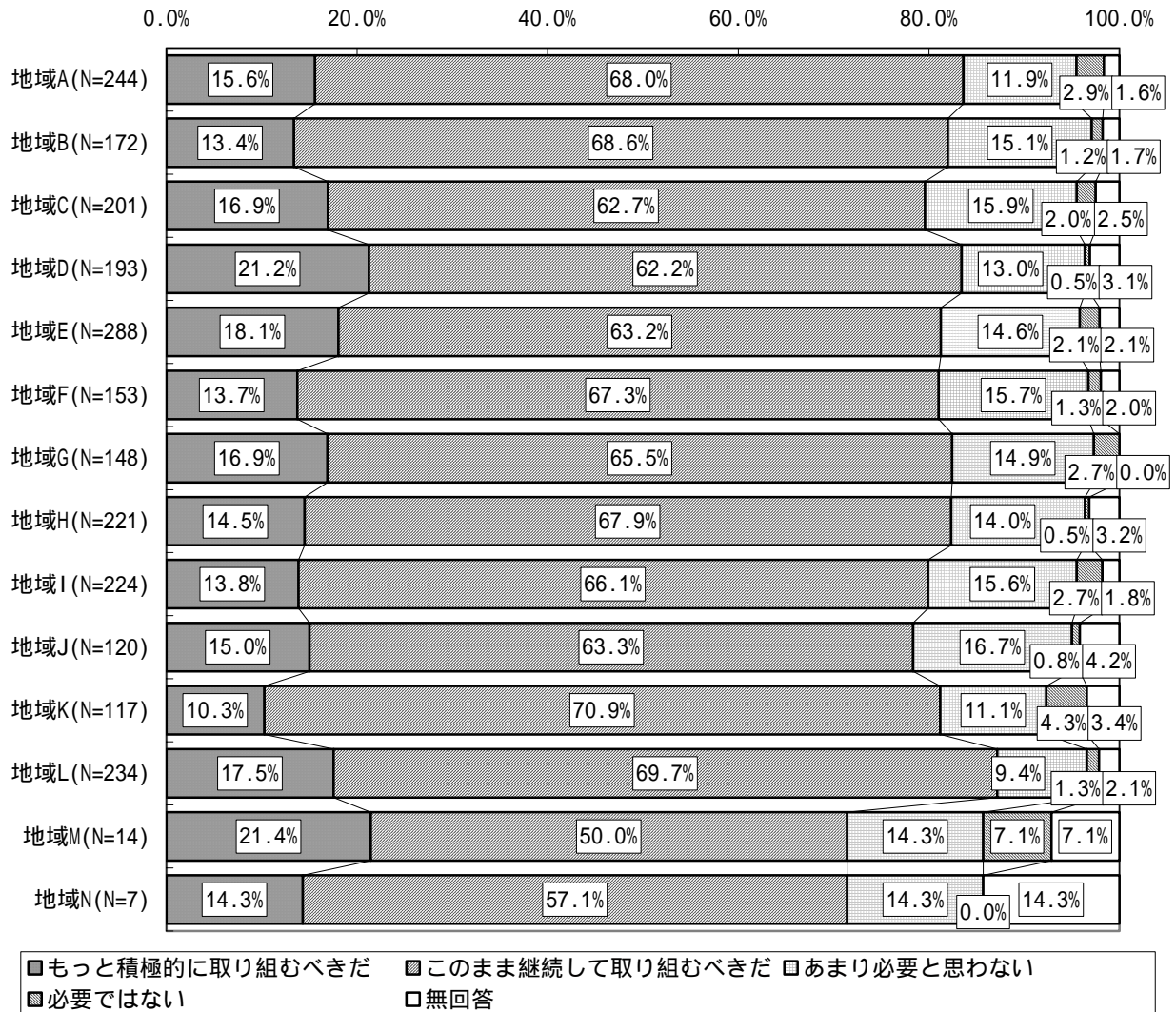
歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方をたずねたところ、「このまま継続して取り組むべきだ」が65.8%で最も多く、次いで、「もっと積極的に取り組むべきだ」が16.1%となっており、これらを合わせた「取り組みが必要である」と考えている人が81.9%となっている。「あまり必要と思わない」(13.9%)と「必要ではない」(1.8%)を合わせた「取り組みは必要でない」と考えている人は15.7%となっている。

図表 年齢別 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方



年齢別にみると、年齢層が低いほど「取り組みが必要である」と考えている人が多い傾向となっている。

図表 地域別 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方

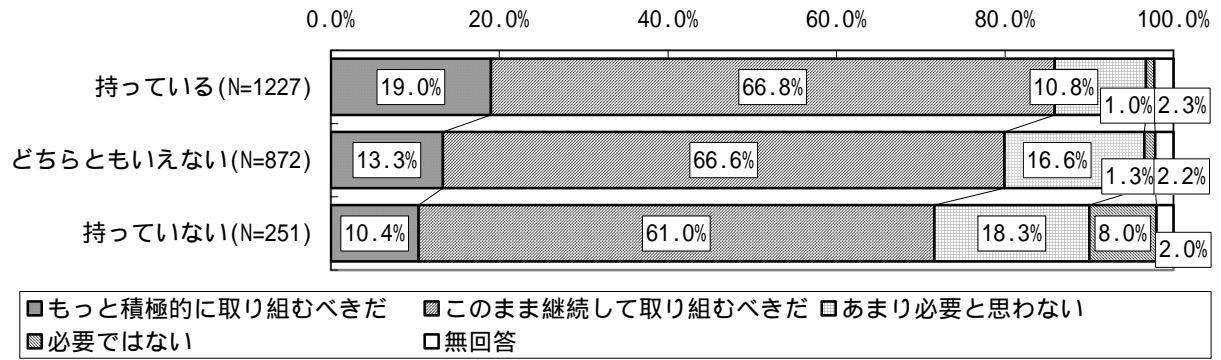


地域区分と居住地域名との対応

- 地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）平尾台
- 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
- 地域C：五ヶ庄
- 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
- 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
- 地域F：横島町
- 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
- 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）小倉町（小倉町 以外）南陵町
- 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）伊勢田町（伊勢田町 以外）安田町
- 地域J：神明（石塚）神明（石塚以外）開町、羽拍子町
- 地域K：大久保町
- 地域L：広野町、寺山台
- 地域M：白川、志津川
- 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「取り組みが必要である」と考えている人が最も多いのは「地域L」で87.2%、逆に、「取り組みは必要でない」と考えている人が最も多いのは「地域I」で18.3%となっている。

図表 宇治市に対する愛着や誇りの有無別 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方



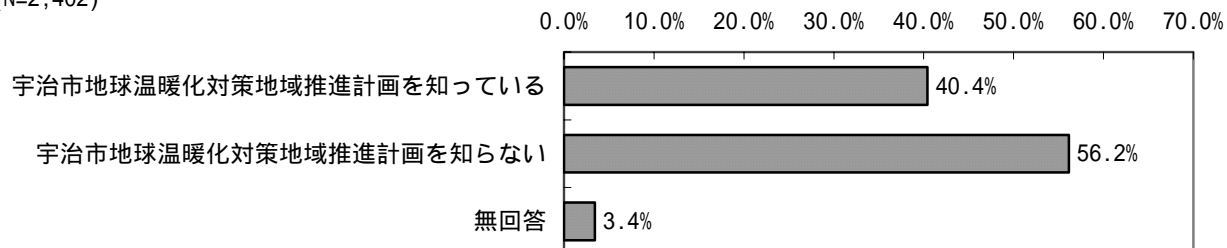
宇治市に対する愛着や誇りの有無別にみると、「取り組みが必要である」と考えている人は、愛着や誇りを「持っている」人が「持っていない」人に比べて多い。

5 地球温暖化対策について

問18 宇治市が平成20年3月に地球温暖化を防止し、宇治市域における温室効果ガスの削減目標や市民・事業者・宇治市の各主体が取り組むべき役割等を明らかにするために策定した「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」についておたずねします。

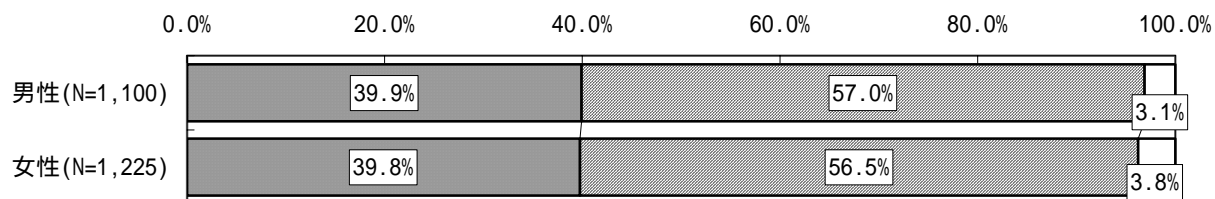
図表 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況

(N=2,402)



「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況をたずねたところ、「知らない」が56.2%、「知っている」が40.4%となっている。

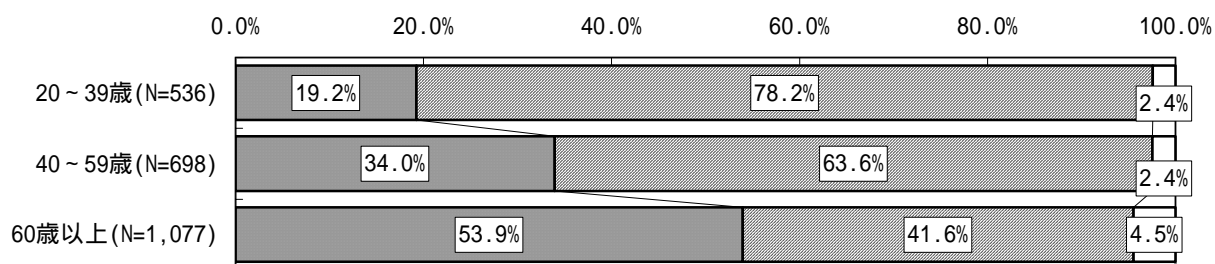
図表 性別 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況



■宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知っている ■宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知らない □無回答

性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況



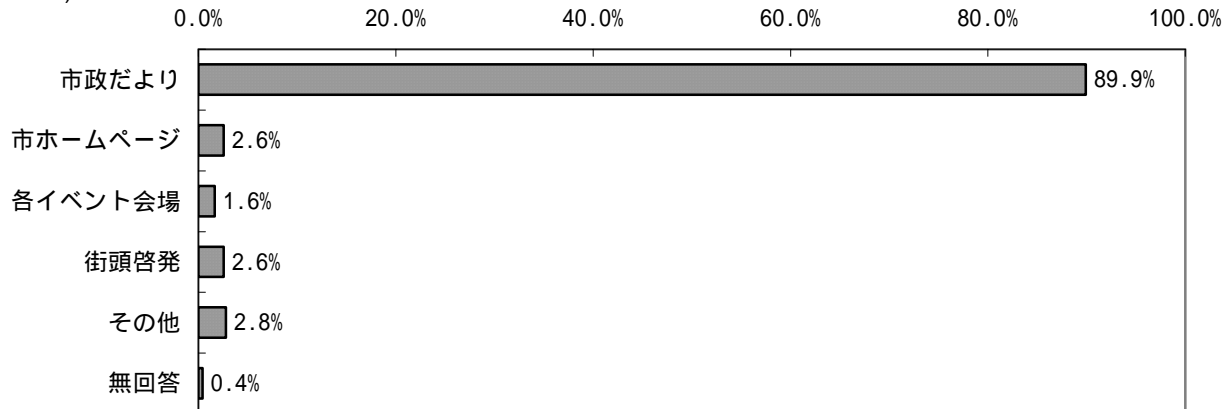
■宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知っている ■宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知らない □無回答

年齢別にみると、年齢層が高いほど「知っている」が多い傾向となっている。

問18付問 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」をどこで知りましたか

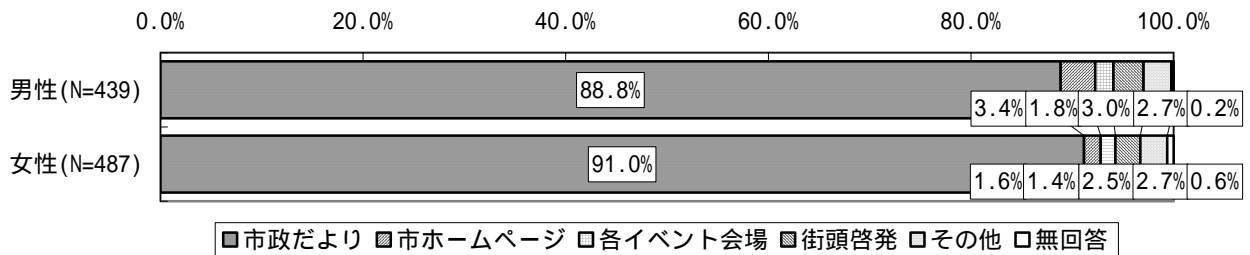
図表 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知ったきっかけ

(N=971)



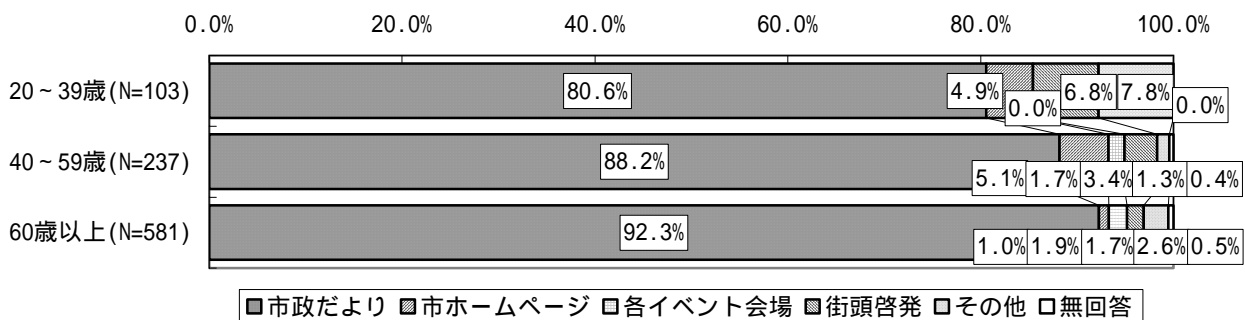
「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知っている人に対し、計画を知ったきっかけをたずねたところ、「市政だより」が89.9%で最も多い。

図表 性別 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知ったきっかけ



性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知ったきっかけ

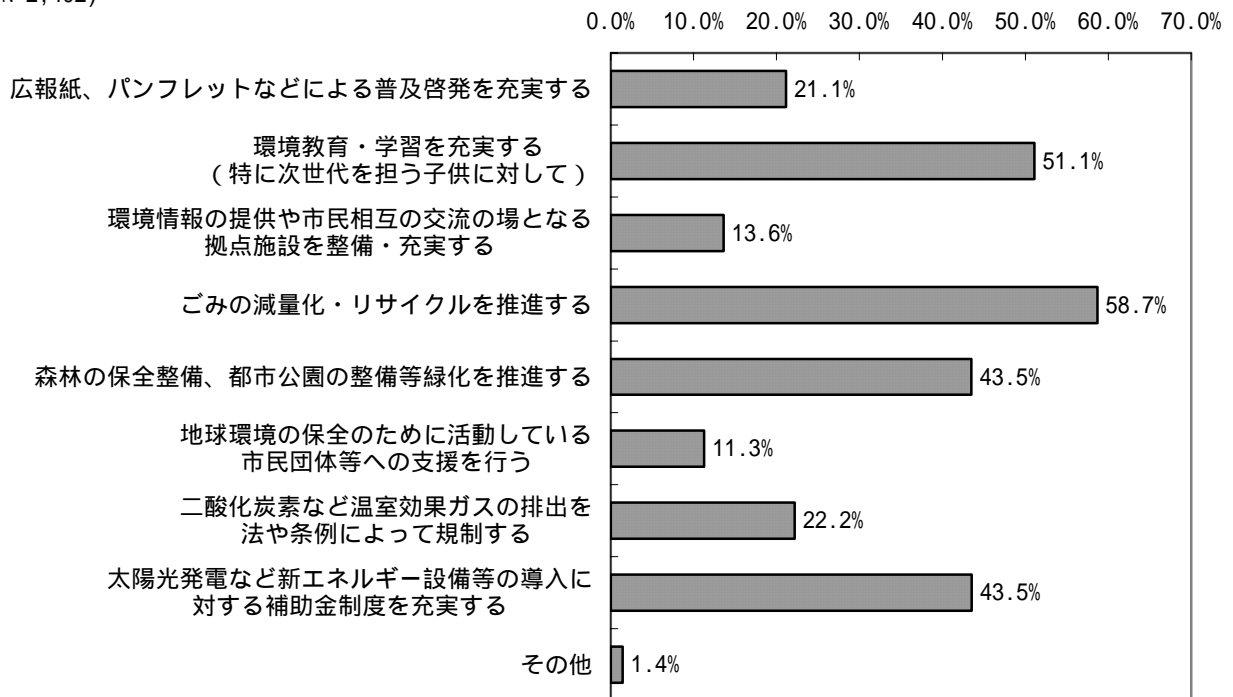


年齢別にみると、年齢層が高いほど「市政だより」が多い傾向となっている。

問19 地球温暖化防止のために、あなたが宇治市に対して特に期待していることはなんですか。
次の中から当てはまるもの3つまで 印をつけてください。

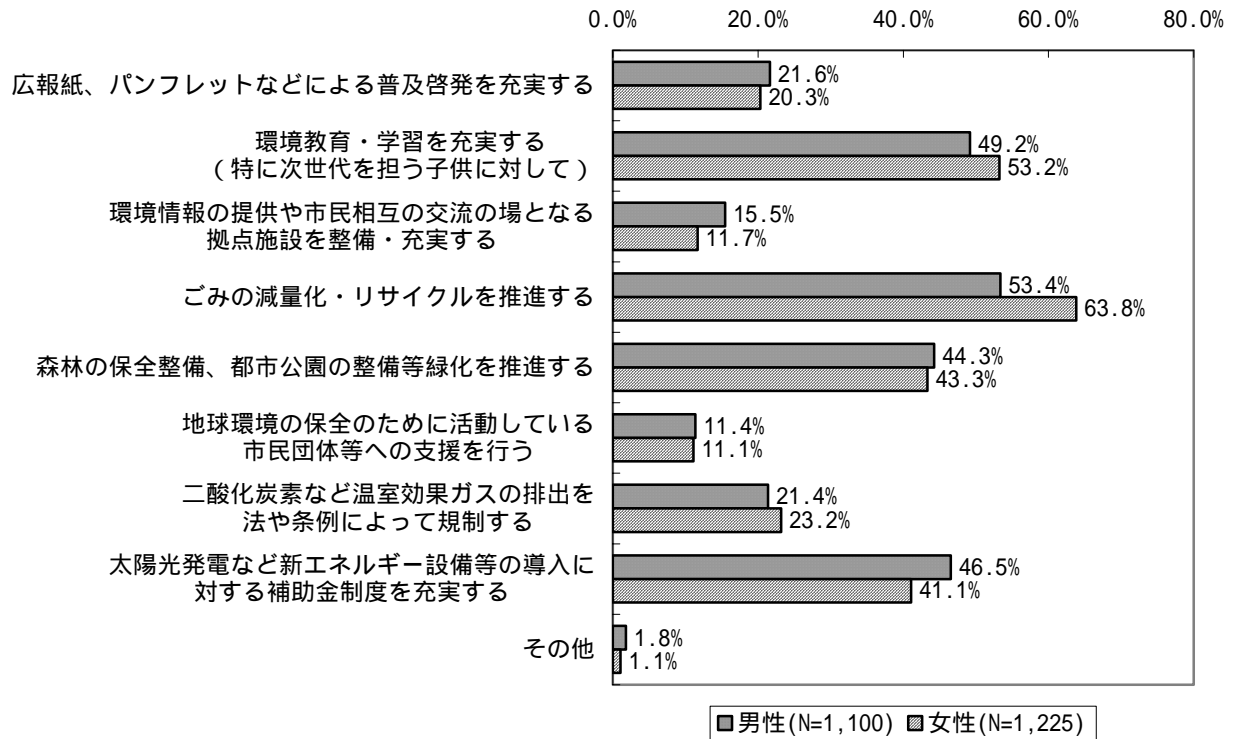
図表 地球温暖化防止のために市に期待していること

(N=2,402)



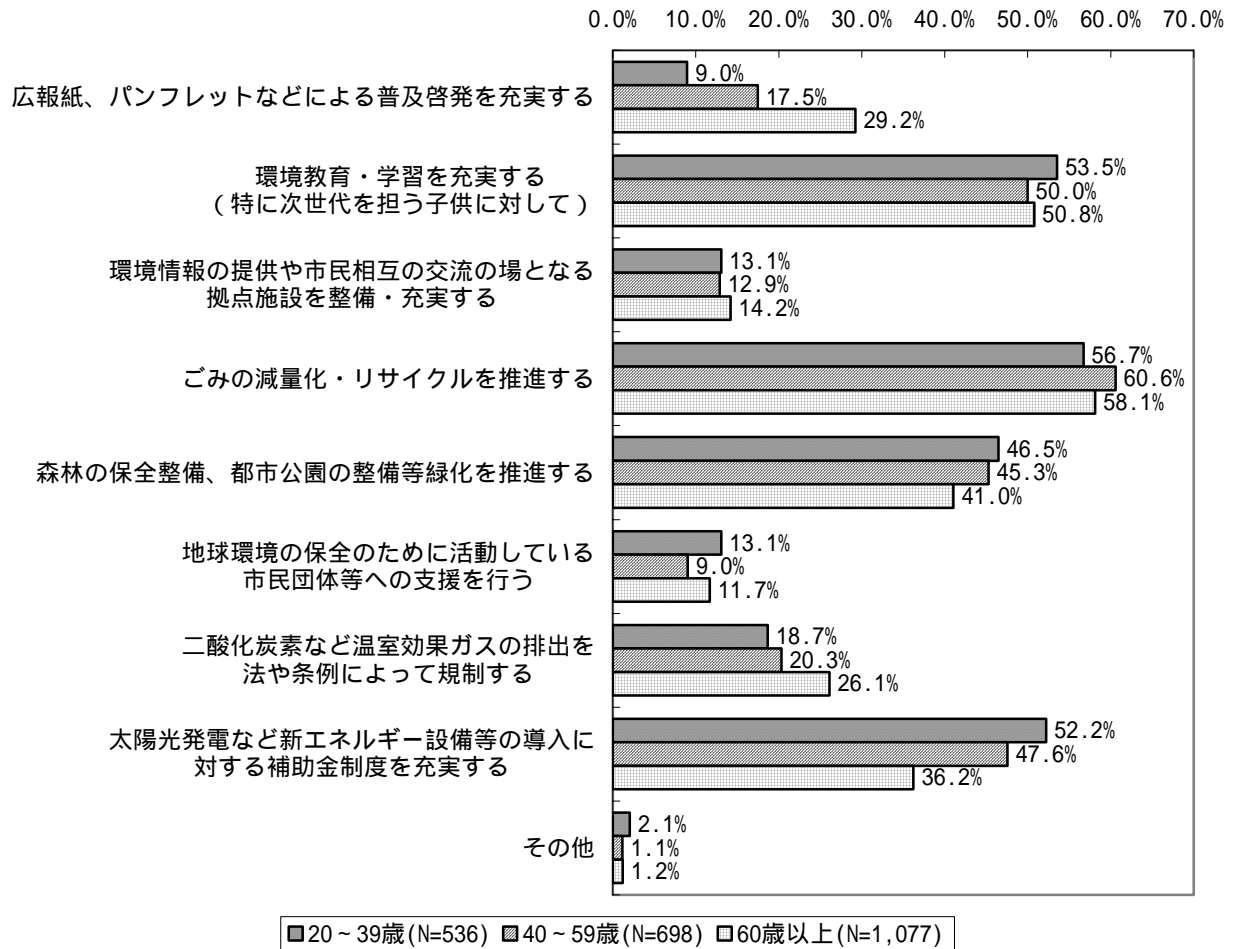
地球温暖化防止のために市に期待していることをたずねたところ、「ごみの減量化・リサイクルを推進する」が58.7%で最も多く、以下、「環境教育・学習を充実する(特に次世代を担う子供に対して)」が51.1%、「森林の保全整備、都市公園の整備等緑化を推進する」と「太陽光発電など新エネルギー設備等の導入に対する補助金制度を充実する」がともに43.5%などとなっている。

図表 性別 地球温暖化防止のために市に期待していること



性別にみると、「ごみの減量化・リサイクルを推進する」は「女性」が「男性」に比べて10.4ポイント多く、差が特に大きい。

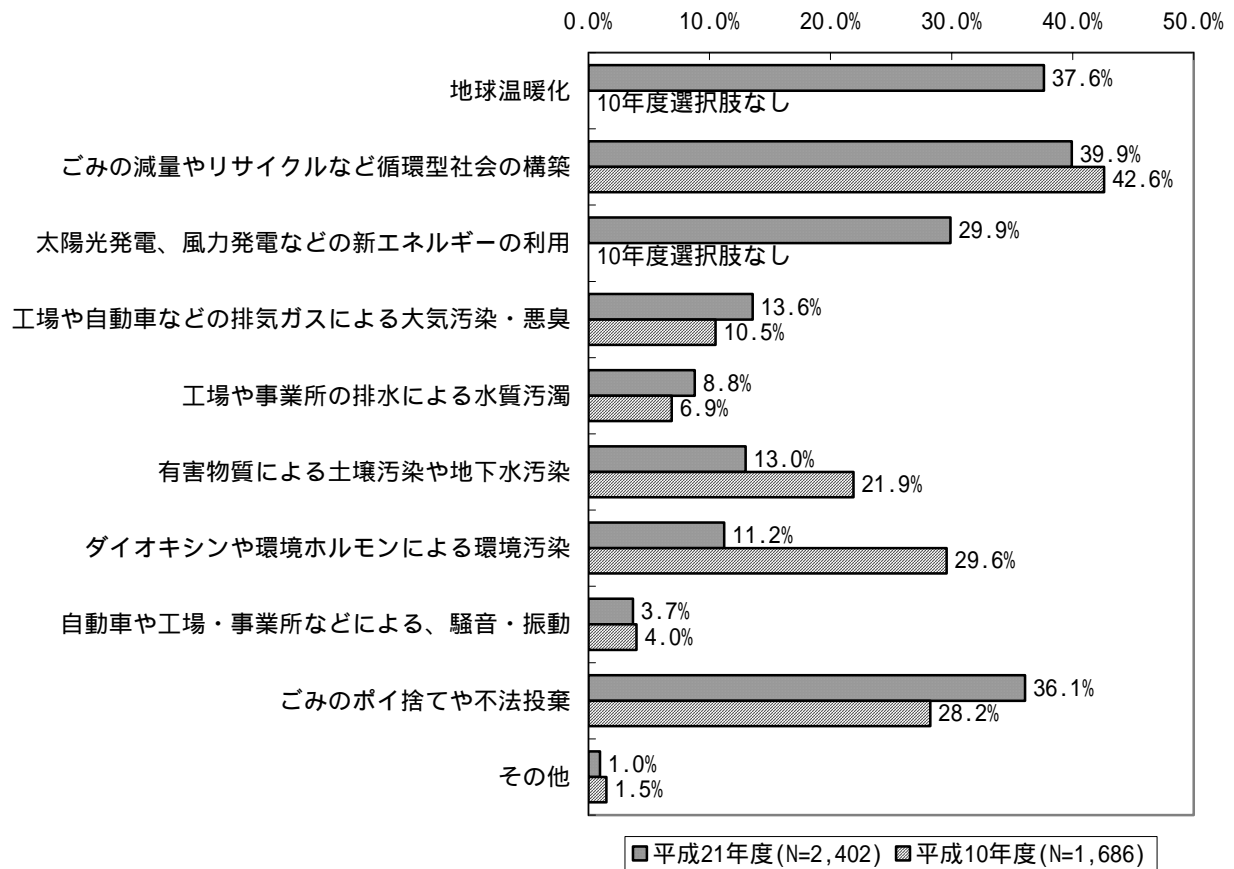
図表 年齢別 地球温暖化防止のために市に期待していること



年齢別にみると、年齢層が高いほど「広報紙、パンフレットなどによる普及啓発を充実する」「二酸化炭素など温室効果ガスの排出を法や条例によって規制する」が多い傾向となっている。逆に、年齢層が低いほど「森林の保全整備、都市公園の整備等緑化を推進する」「太陽光発電など新エネルギー設備等の導入に対する補助金制度を充実する」が多い傾向となっている。

問20 環境問題について、あなたが特に関心を持っている項目について、次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

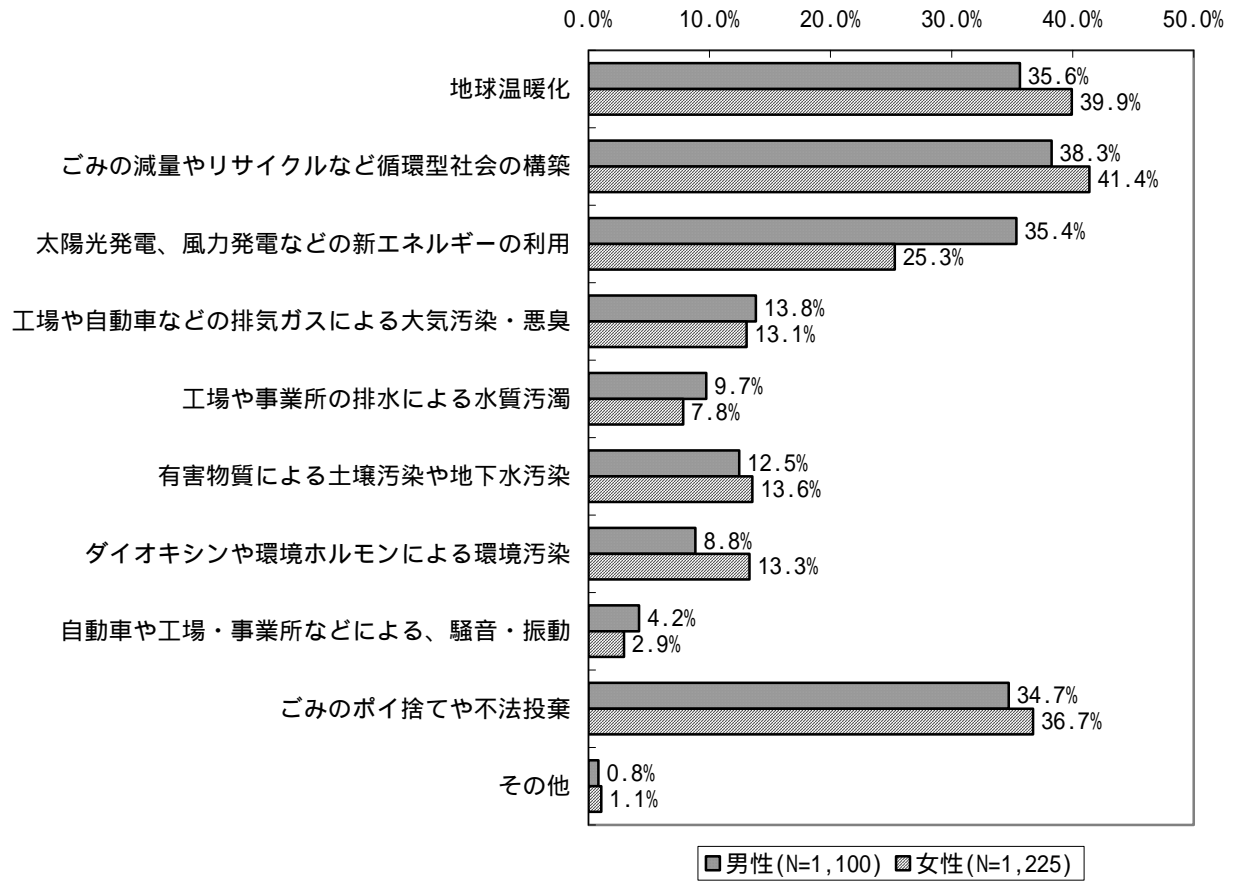
図表 市民が関心のある環境問題



市民が関心のある環境問題をたずねたところ、「ごみの減量やリサイクルなど循環型社会の構築」が39.9%で最も多く、以下、「地球温暖化」が37.6%、「ごみのポイ捨てや不法投棄」が36.1%、「太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用」が29.9%などとなっている。

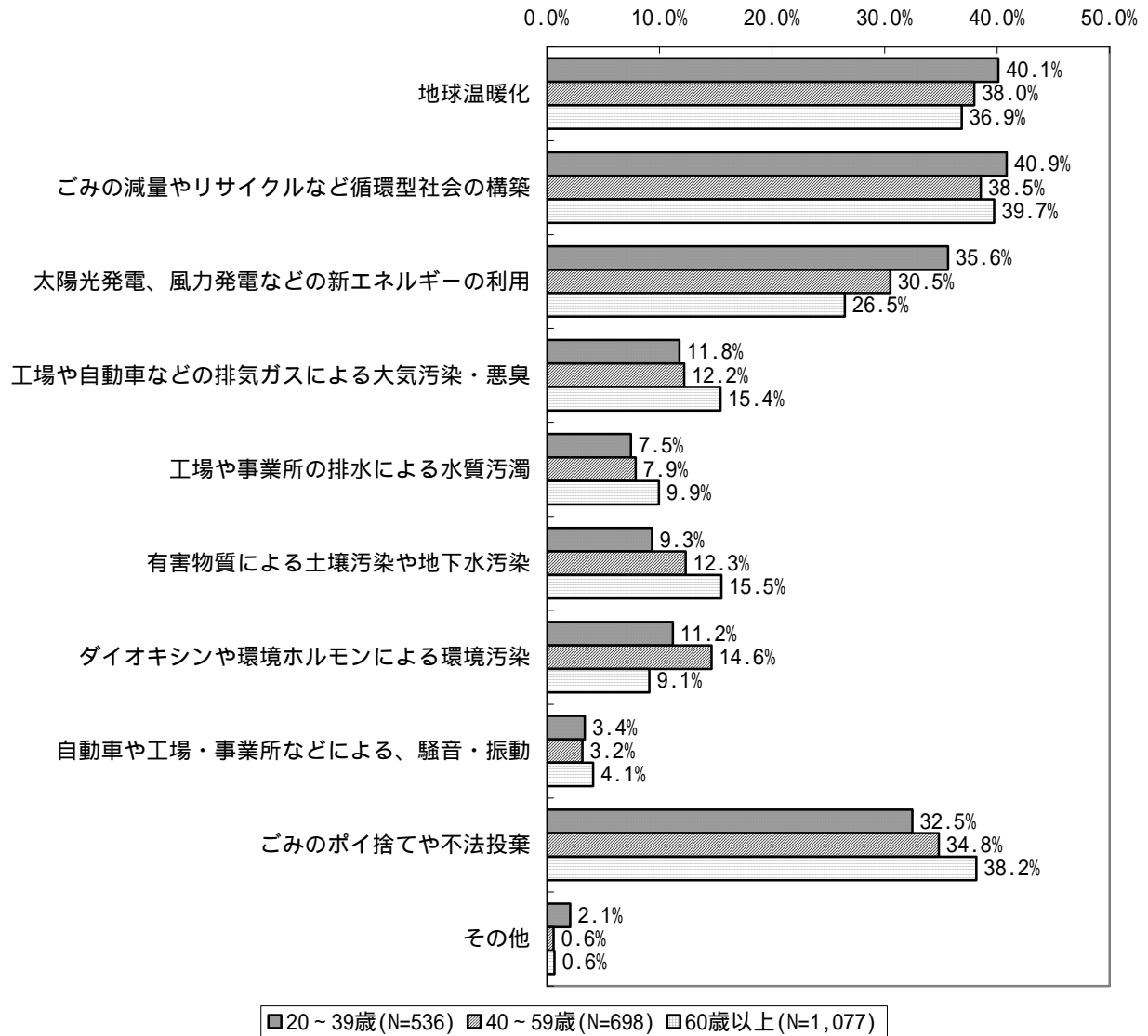
過去の調査と比較すると、「ごみのポイ捨てや不法投棄」が平成10年度に比べて7.9ポイント増加したのに対し、「ダイオキシンや環境ホルモンによる環境汚染」が18.4ポイント、「有害物質による土壌汚染や地下水汚染」が8.9ポイントそれぞれ減少している。

図表 性別 市民が関心のある環境問題



性別にみると、「太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用」は「男性」が「女性」に比べて10.1ポイント多く、差が特に大きい。

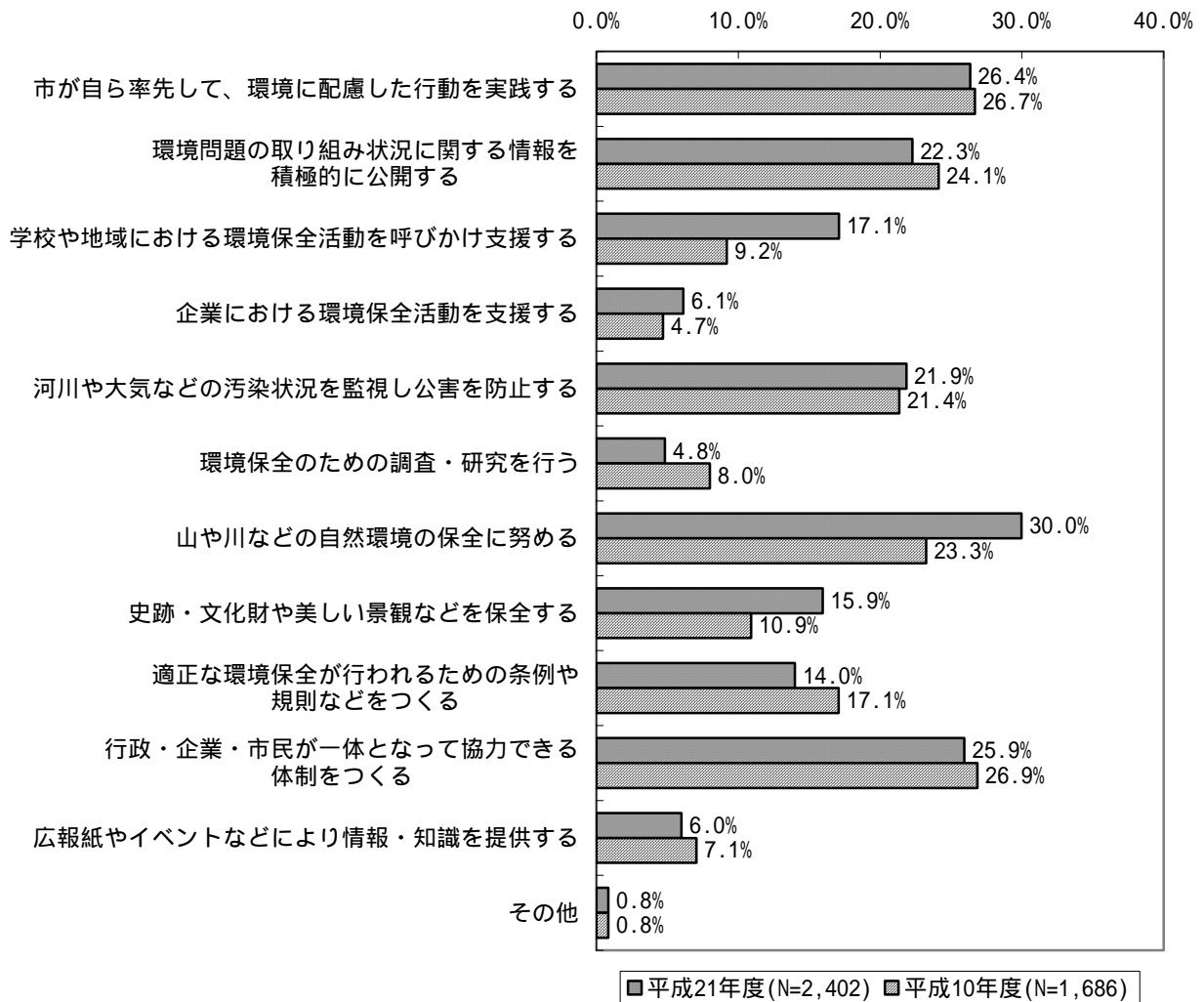
図表 年齢別 市民が関心のある環境問題



年齢別にみると、年齢層が高いほど「工場や自動車などの排気ガスによる大気汚染・悪臭」「工場や事業所の排水による水質汚濁」「有害物質による土壌汚染や地下水汚染」「ごみのポイ捨てや不法投棄」が多い傾向となっている。逆に、年齢層が低いほど「地球温暖化」「太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用」が多い傾向となっている。

問21 環境保全を推進するため、宇治市はどのようなことを中心に取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

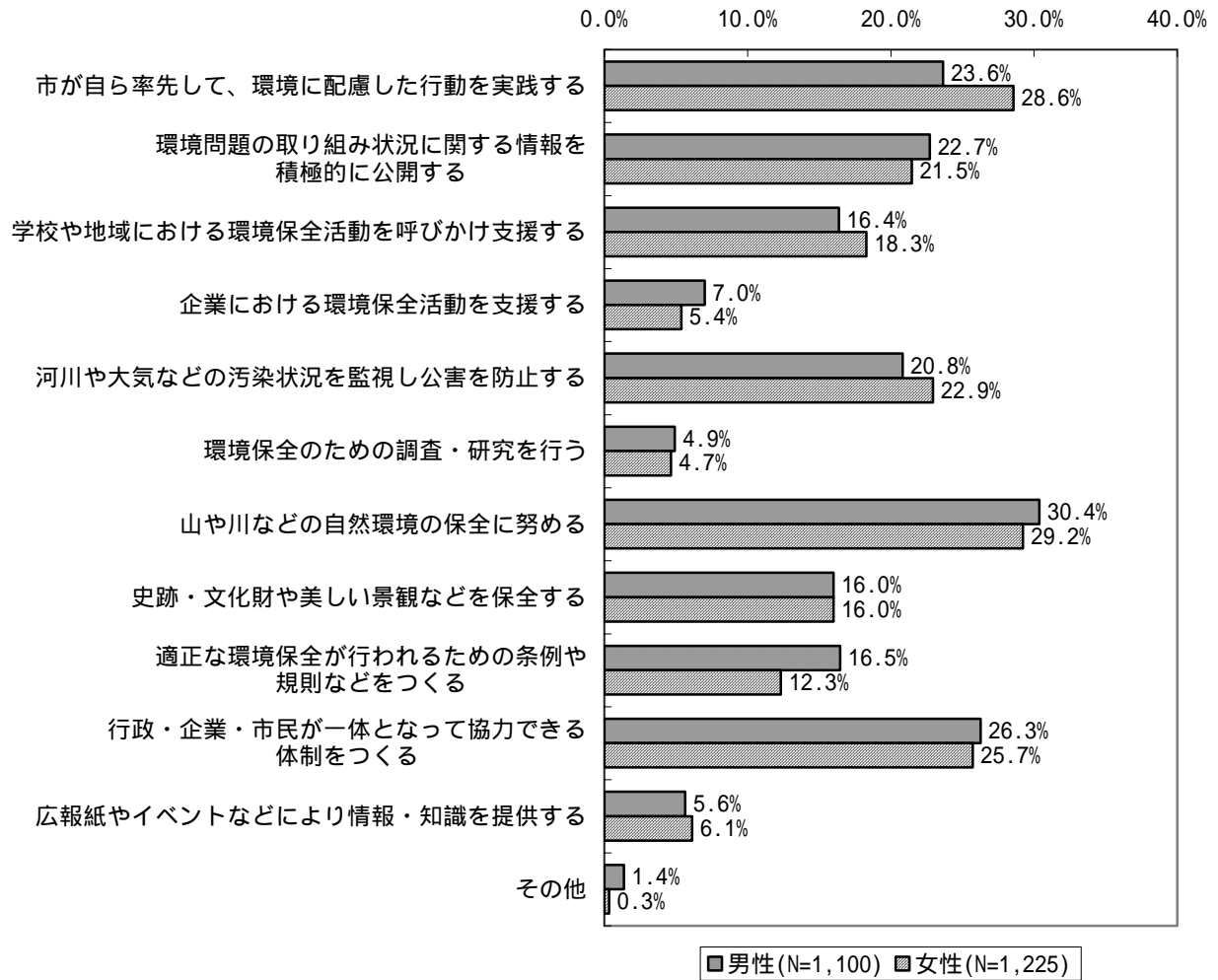
図表 環境保全のために宇治市が取り組むべきこと



環境保全のために宇治市が取り組むべきことをたずねたところ、「山や川などの自然環境の保全に努める」が30.0%で最も多く、以下、「市が自ら率先して、環境に配慮した行動を実践する」が26.4%、「行政・企業・市民が一体となって協力できる体制をつくる」が25.9%などとなっている。

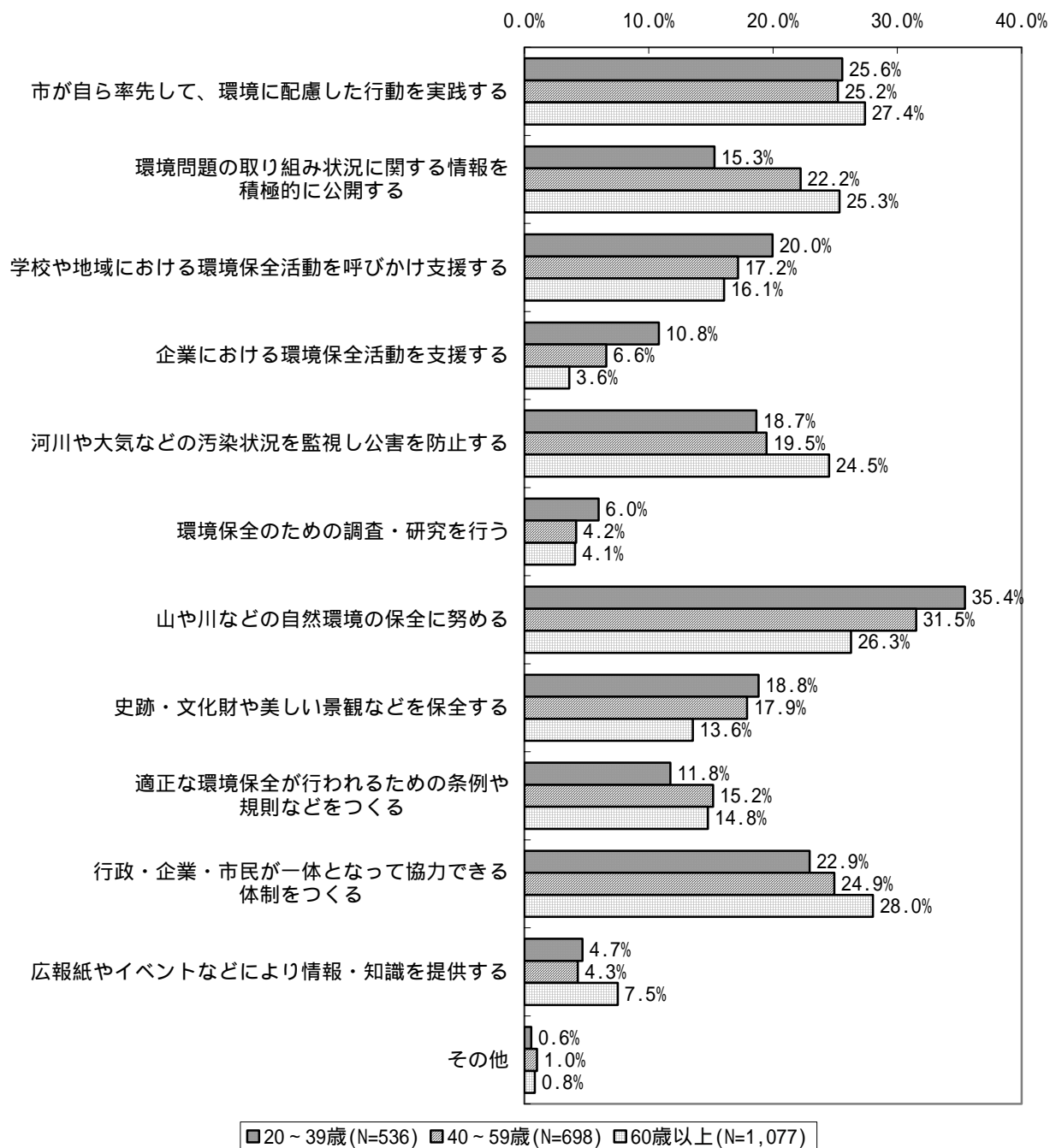
過去の調査と比較すると、「学校や地域における環境保全活動を呼びかけ支援する」が平成10年度に比べて7.9ポイント、「山や川などの自然環境の保全に努める」が6.7ポイント、「史跡・文化財や美しい景観などを保全する」が5.0ポイントそれぞれ増加しており、差が大きい。

図表 性別 環境保全のために宇治市が取り組むべきこと



性別にみると、「市が自ら率先して、環境に配慮した行動を実践する」は「女性」が「男性」に比べて5.0ポイント多く、差が最も大きい。

図表 年齢別 環境保全のために宇治市が取り組むべきこと



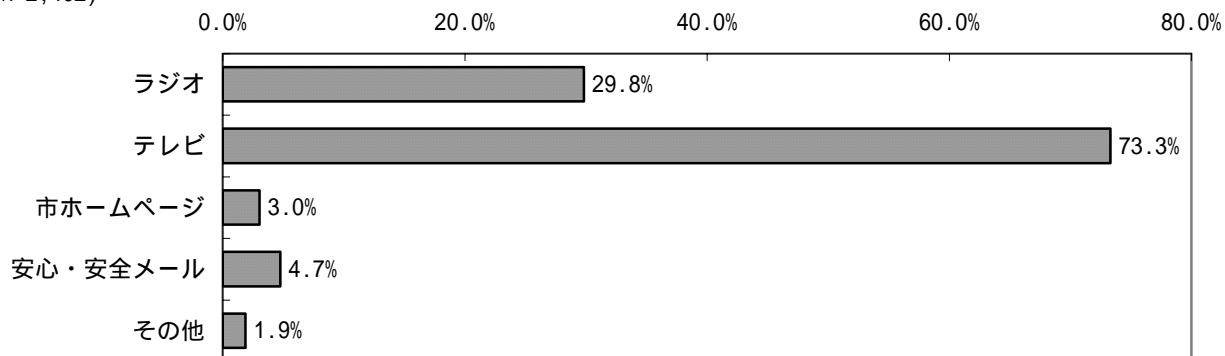
年齢別にみると、年齢層が高いほど「環境問題の取り組み状況に関する情報を積極的に公開する」「河川や大気などの汚染状況を監視し公害を防止する」「行政・企業・市民が一体となって協力できる体制をつくる」が多い傾向となっている。逆に、年齢層が低いほど「学校や地域における環境保全活動を呼びかけ支援する」「企業における環境保全活動を支援する」「山や川などの自然環境の保全に努める」「史跡・文化財や美しい景観などを保全する」が多い傾向となっている。

6 災害時の情報入手について

問22 あなたは災害時に情報をどこから得ようとしていますか。

図表 災害時の情報の入手方法

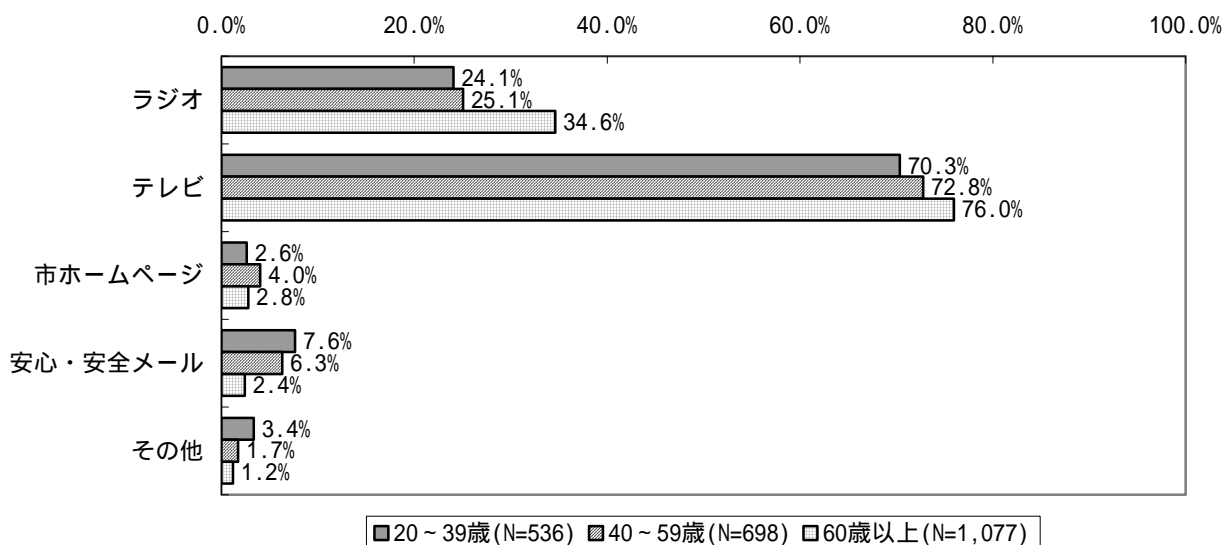
(N=2,402)



(注) 本問は、単数回答設問として調査設計したが、複数回答が想定される設問であり、実際に複数回答が相当量みられたことから、複数回答設問として集計を行った。

災害時の情報の入手方法をたずねたところ、「テレビ」が73.3%で最も多く、以下、「ラジオ」が29.8%、「安心・安全メール」が4.7%、「市ホームページ」が3.0%などとなっている。

図表 年齢別 災害時の情報の入手方法



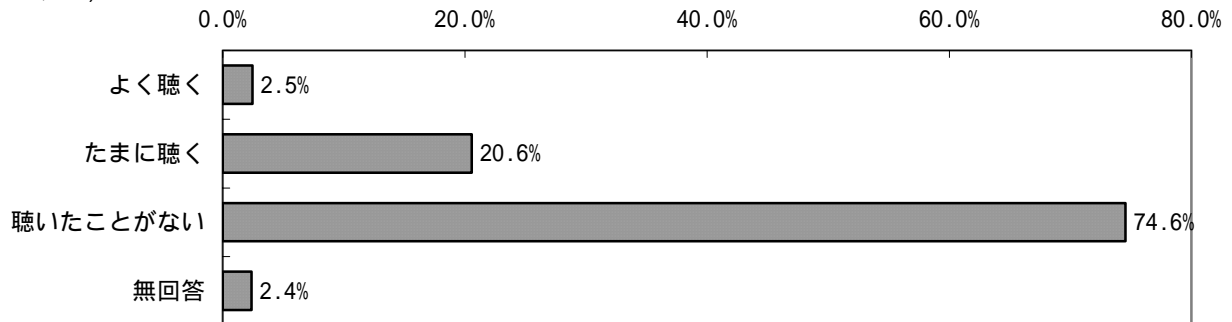
年齢別にみると、年齢層が高いほど「ラジオ」と「テレビ」が多い傾向となっている。逆に、年齢層が低いほど「安心・安全メール」が多い傾向となっている。

問23 災害発生時には「FMうじ（FMラジオ放送88.8MHz）」で災害情報を放送していますが、あなたは普段から「FMうじ」をお聴きになりますか。「1」または「2」とお答えの方はお聴きになる場所と時間帯をご記入ください。

(1)「FMうじ」の聴取状況

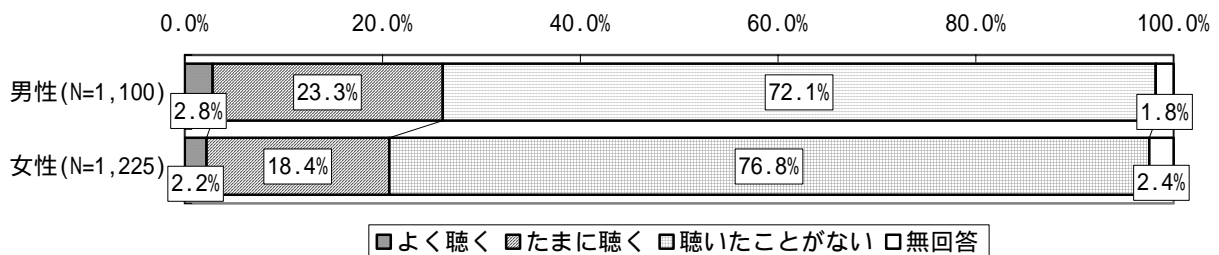
図表 「FMうじ」の聴取状況

(N=2,402)



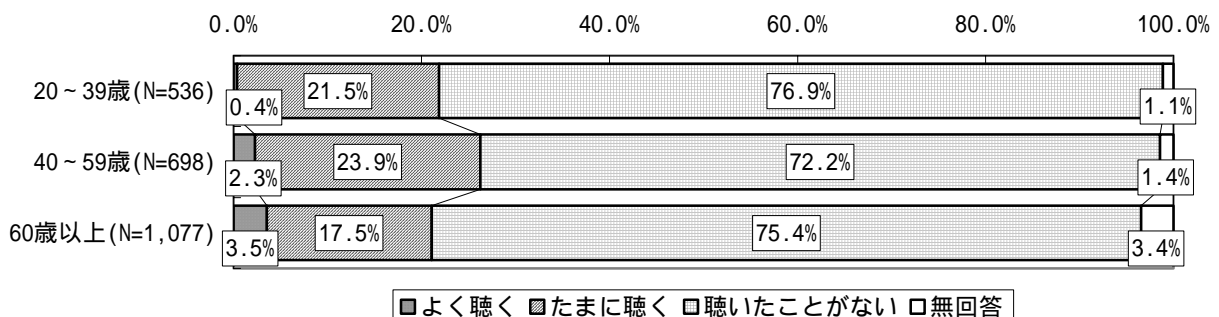
「FMうじ」の聴取状況をたずねたところ、「聴いたことがない」が74.6%で最も多く、以下、「たまに聴く」が20.6%、「よく聴く」が2.5%となっており、「聴いたことがある」人は23.1%となっている。

図表 性別 「FMうじ」の聴取状況



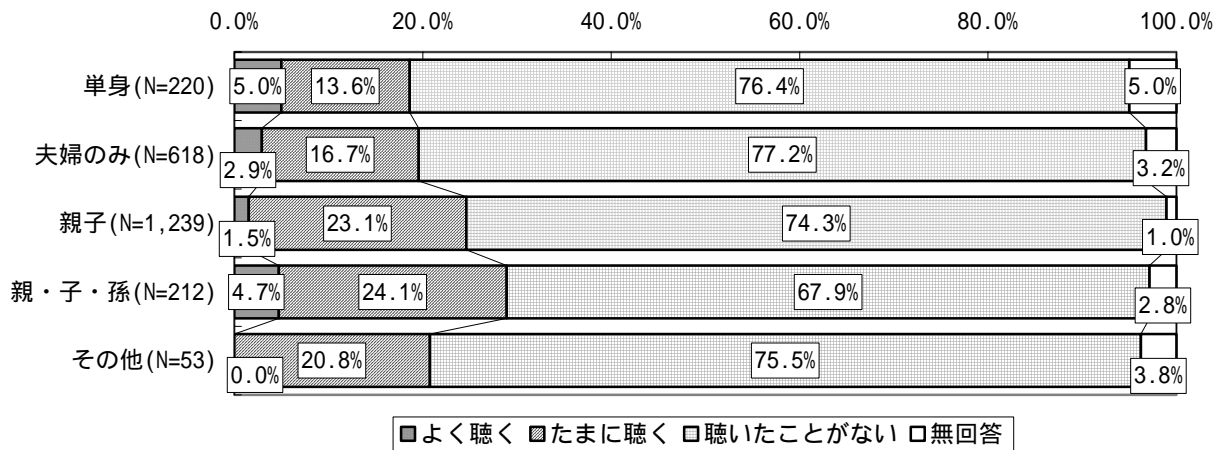
性別にみると、「聴いたことがある」人は「男性」が「女性」に比べて多い。

図表 年齢別 「FMうじ」の聴取状況



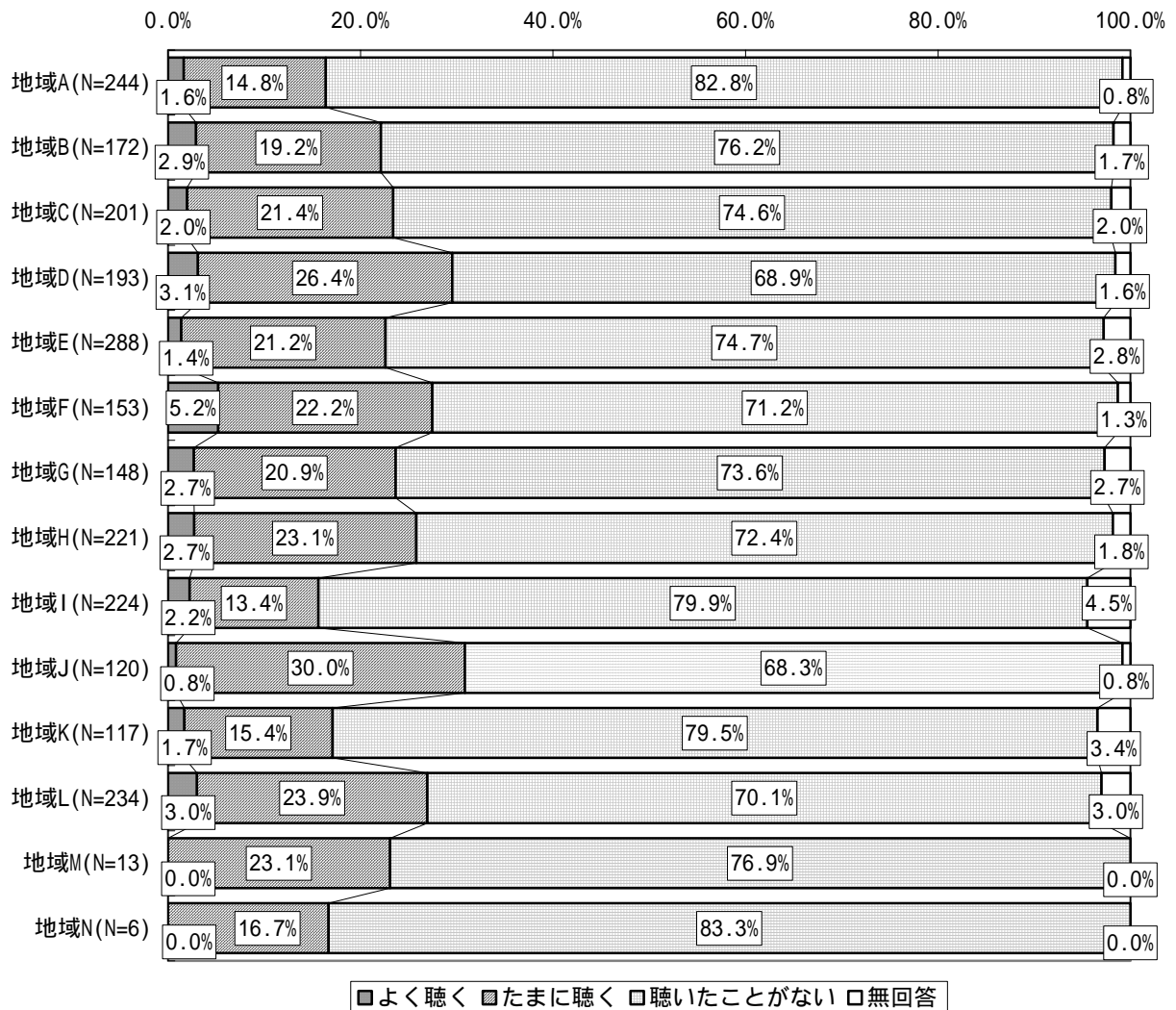
年齢別にみると、「聴いたことがある」人は「40～59歳」で最も多い。

図表 家族構成別 「FMうじ」の聴取状況



家族構成別にみると、家族人員が多いほど「聴いたことがある」人が多い傾向となっている。

図表 地域別 「FMうじ」の聴取状況

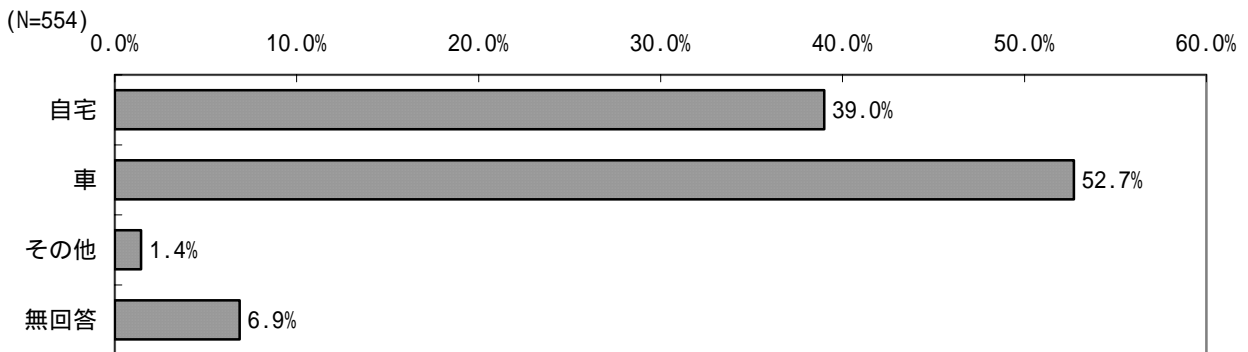


地域区分と居住地域名との対応	
地域A	六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B	木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C	五ヶ庄
地域D	菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E	宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F	槇島町
地域G	小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H	宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I	伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J	神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
地域K	大久保町
地域L	広野町、寺山台
地域M	白川、志津川
地域N	炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「聞いたことがある」人は「地域J」で最も多い。

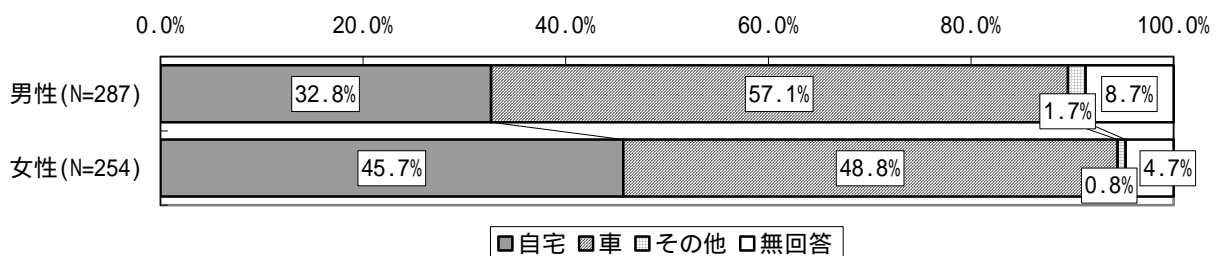
(2)「FMうじ」を聴く場所

図表 「FMうじ」を聴く場所



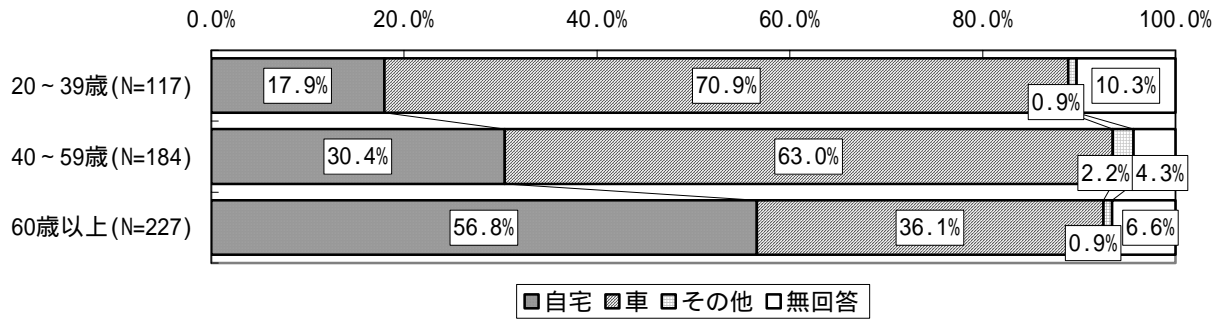
「FMうじ」を「よく聴く」人と「たまに聴く」人に対し、主に聴く場所をたずねたところ、「車」が52.7%で最も多く、次いで、「自宅」が39.0%となっている。

図表 性別 「FMうじ」を聴く場所



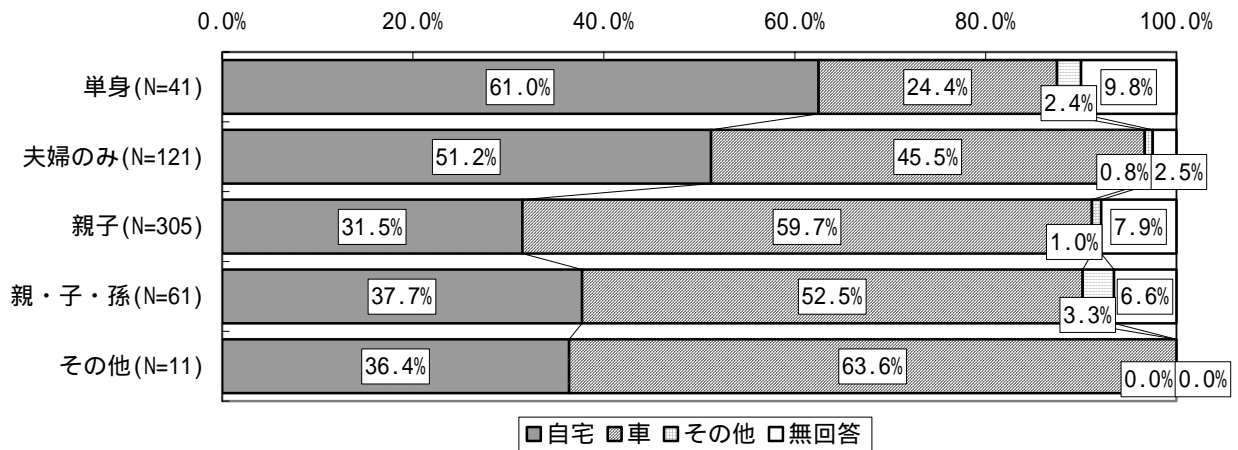
性別にみると、男女ともに「車」が最も多いが、「男性」では「自宅」との差が24.3ポイントであるのに対して、「女性」では3.1ポイントと小さく、ほぼ同程度に聴かれている。

図表 年齢別 「FMうじ」を聴く場所



年齢別にみると、年齢層が高いほど「自宅」が多く、年齢層が低いほど「車」が多い傾向となっている。

図表 家族構成別 「FMうじ」を聴く場所

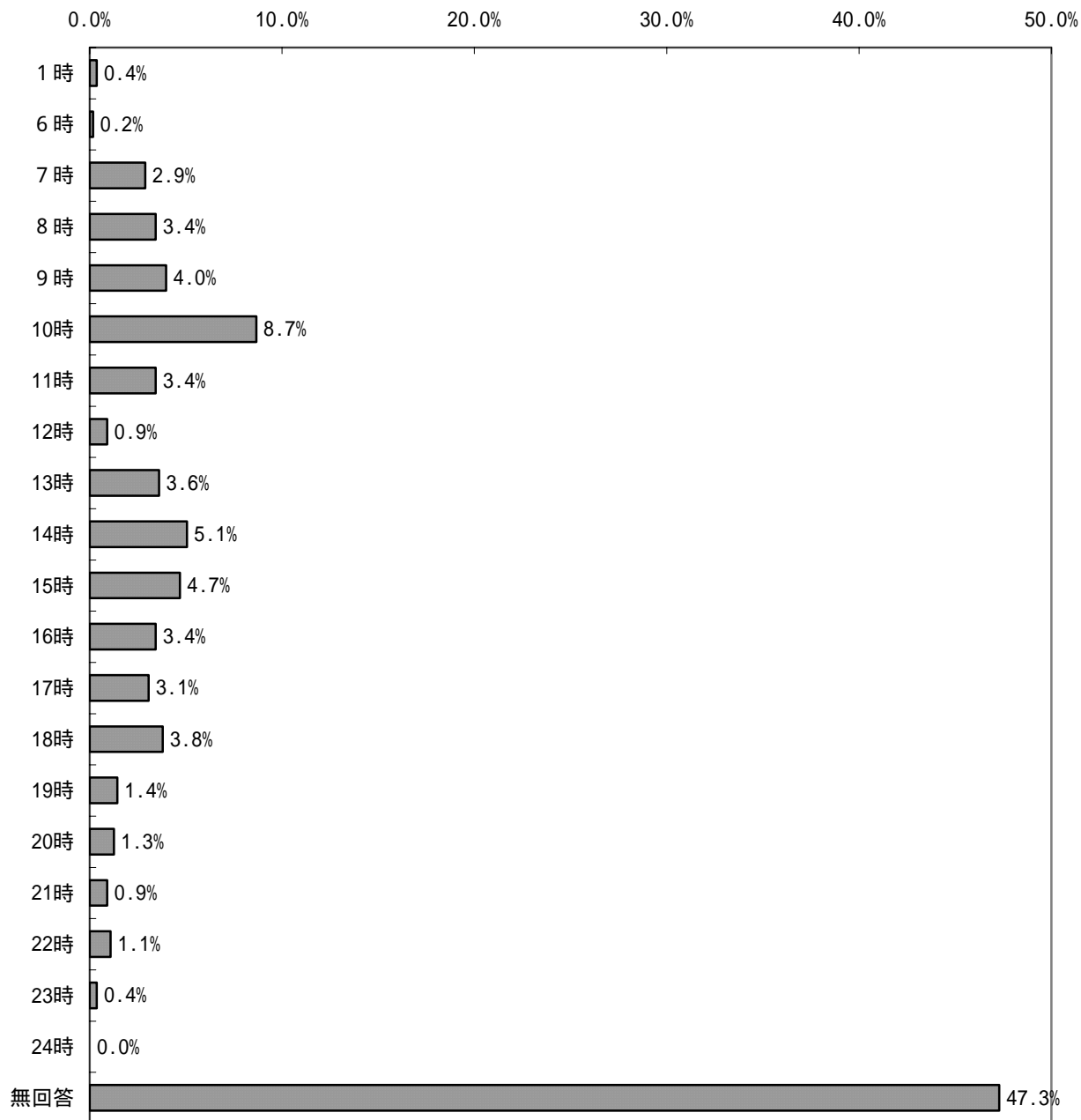


家族構成別にみると、「単身」と「夫婦のみ」では「自宅」が過半数を占めているのに対して、「親子」「親・子・孫」では「車」が過半数を占めている。

(3)「FMうじ」を聴く時間帯

図表 「FMうじ」を聴く時間帯

(N=554)



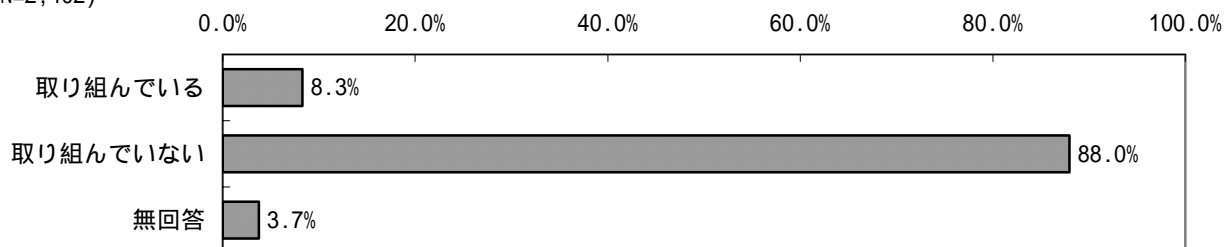
「FMうじ」を「よく聴く」人と「たまに聴く」人に対し、「FMうじ」を聴く時間帯をたずねたところ、「10時」が8.7%で最も多く、以下、「14時」が5.1%、「15時」が4.7%、「9時」が4.0%などとなっている。

7 子育て支援について

問24 現在、子育てのボランティアや子ども会活動など地域での子育て支援活動に取り組んでいますか。

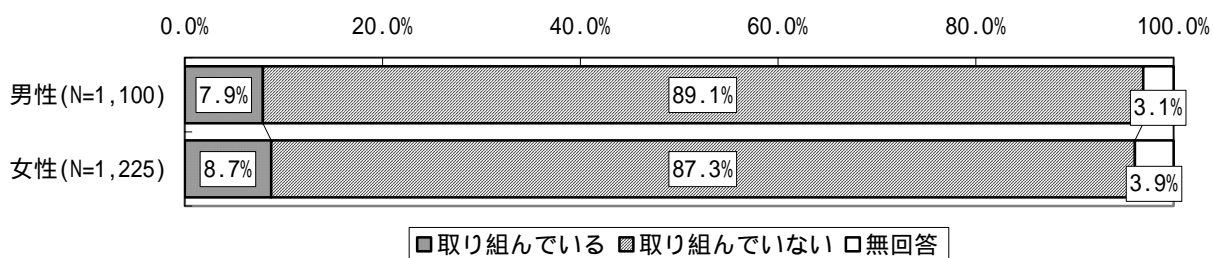
図表 地域での子育て支援活動の取り組み状況

(N=2,402)



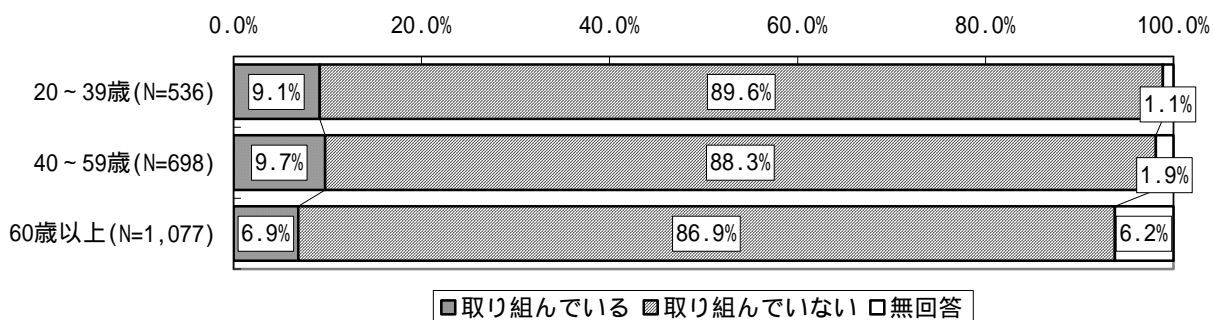
地域での子育て支援活動の取り組み状況をたずねたところ、「取り組んでいない」が88.0%、「取り組んでいる」が8.3%となっている。

図表 性別 地域での子育て支援活動の取り組み状況



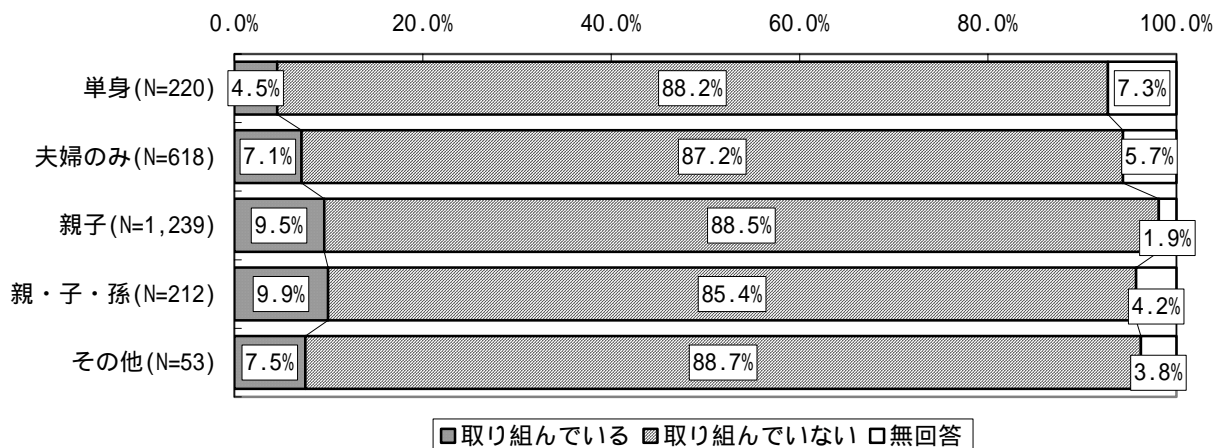
性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 地域での子育て支援活動の取り組み状況



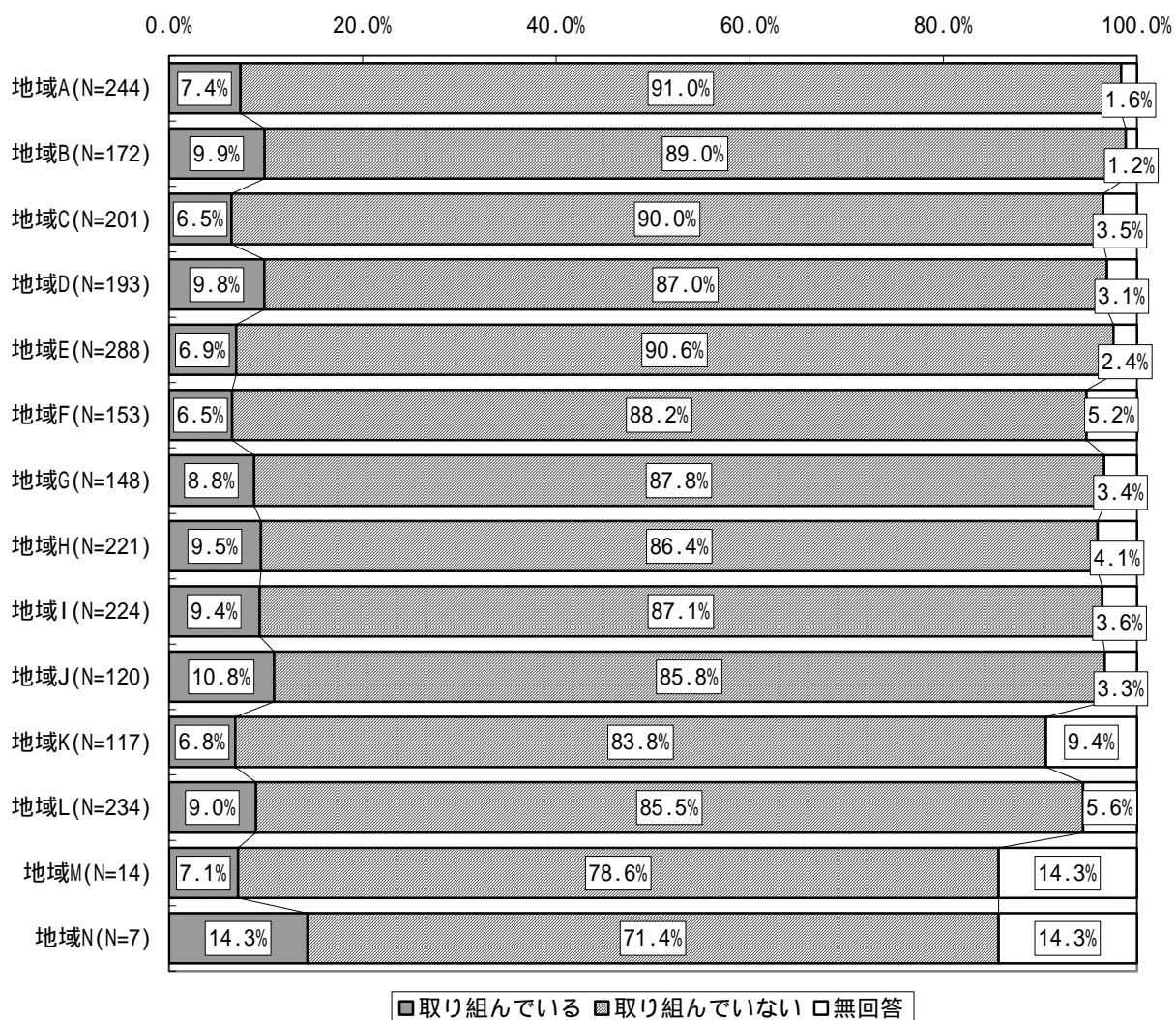
年齢別にみると、年齢層が低いほど「取り組んでいない」が多い傾向となっている。

図表 家族構成別 地域での子育て支援活動の取り組み状況



家族構成別にみると、「取り組んでいる」は「親子」と「親・子・孫」では9%台で、他の家族構成に比べてやや多い。

図表 地域別 地域での子育て支援活動の取り組み状況



地域区分と居住地域名との対応

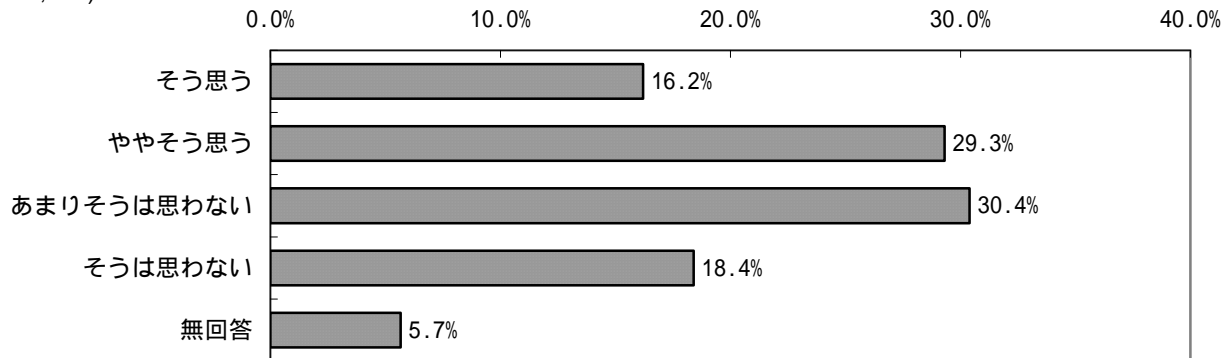
地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「取り組んでいる」は「地域J」で最も多く、「取り組んでいない」は「地域A」で最も多い。

問25 今後、地域での子育て支援活動に取り組んでみたい、また引き続き取り組みたいと思いますか。

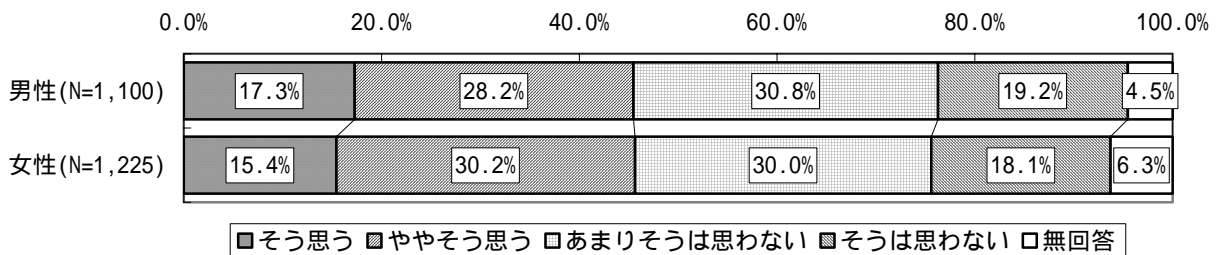
図表 地域での子育て支援活動への参加意向

(N=2,402)



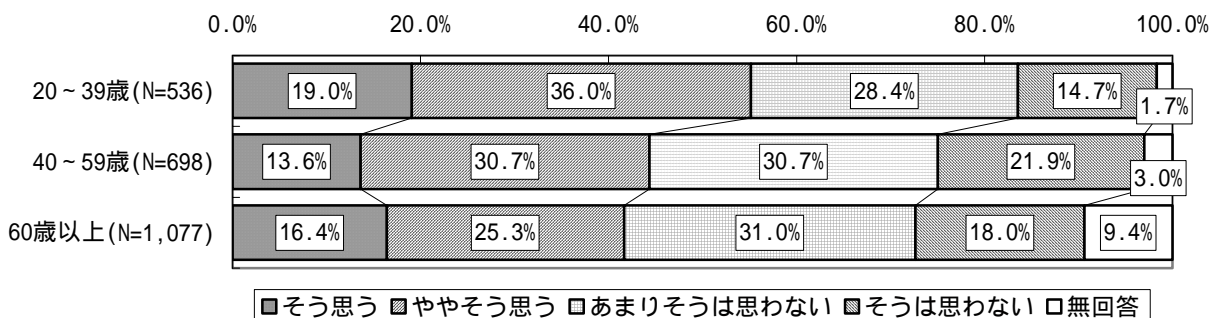
地域での子育て支援活動への参加意向をたずねたところ、「そう思う」(16.2%)と「ややそう思う」(29.3%)を合わせた「取り組みたい」人は45.5%、「そうは思わない」(18.4%)と「あまりそうは思わない」(30.4%)を合わせた「取り組みたくない」人は48.8%となっている。

図表 性別 地域での子育て支援活動への参加意向



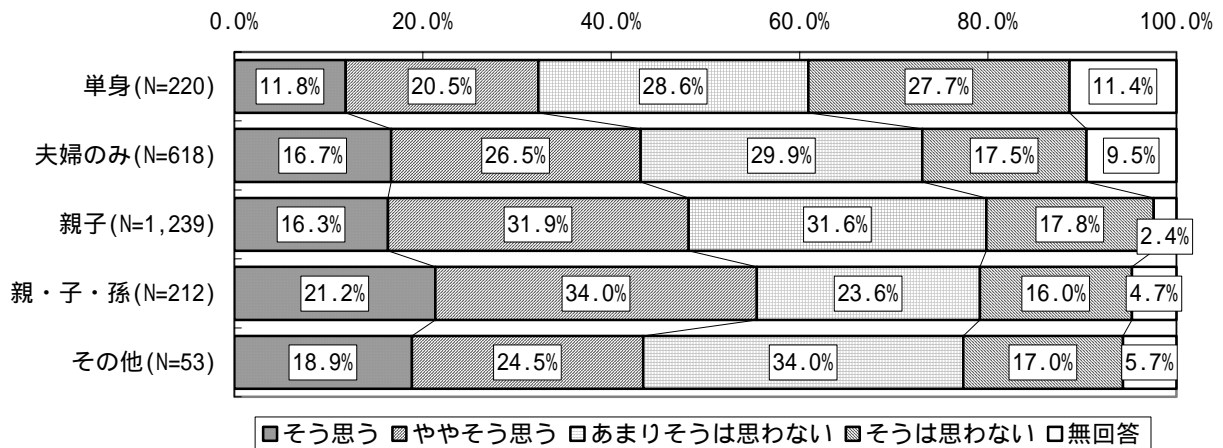
性別にみると、大きな差はみられない。

図表 年齢別 地域での子育て支援活動への参加意向



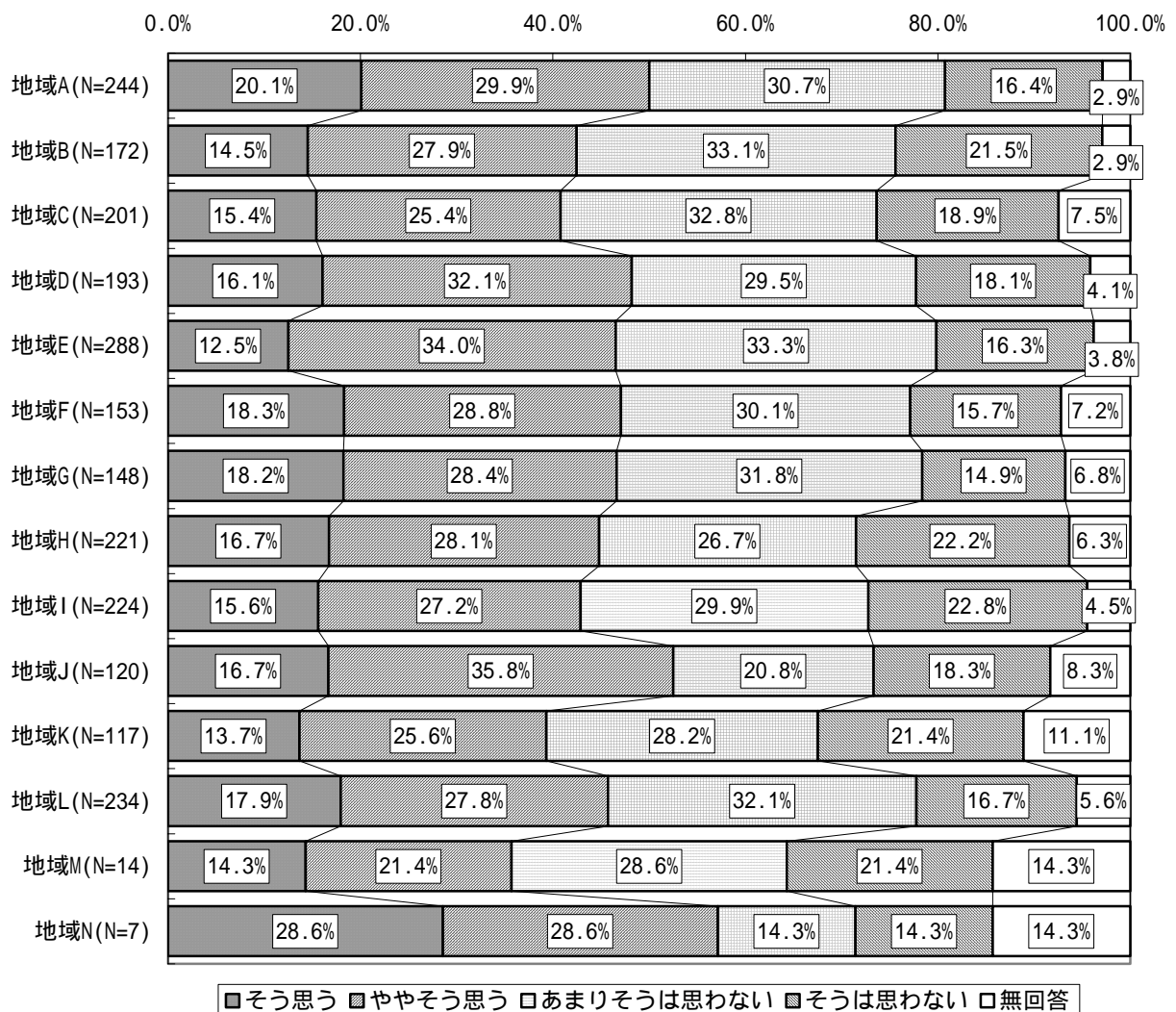
年齢別にみると、年齢層が低いほど「取り組みたい」人が多い傾向となっており、「20～39歳」では、「取り組みたい」人が「取り組みたくない」人を上回っている。

図表 家族構成別 地域での子育て支援活動への参加意向



家族構成別にみると、家族人員が多いほど「取り組みたい」人が多い傾向となっており、「親・子・孫」では、「取り組みたい」人が「取り組みたくない」人を上回っている。

図表 地域別 地域での子育て支援活動への参加意向



地域区分と居住地域名との対応

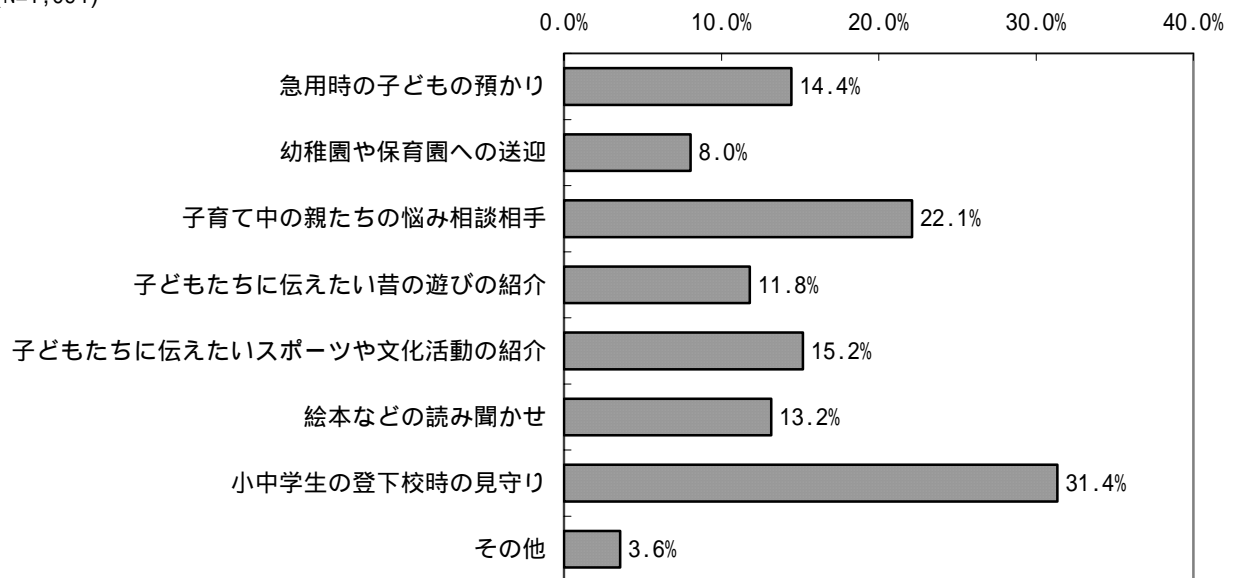
地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域A」と「地域J」では、「取り組みたい」人が過半数を占め、特に多い。

問26 前の問いで「1」、「2」とお答えの方にお伺いします。今後、取り組んでみたい活動、引き続き取り組みたい活動はなんですか。

図表 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容

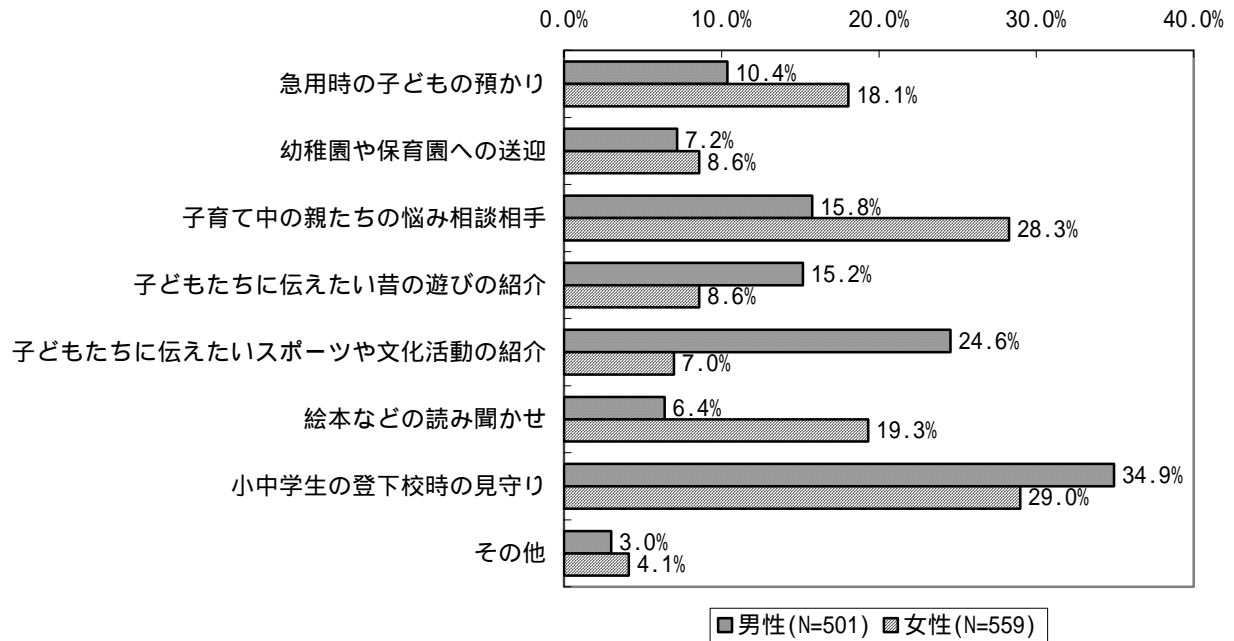
(N=1,094)



(注) 本問は、単数回答設問として調査設計したが、複数回答が想定される設問であり、実際に複数回答が相当量みられたことから、複数回答設問として集計を行った。

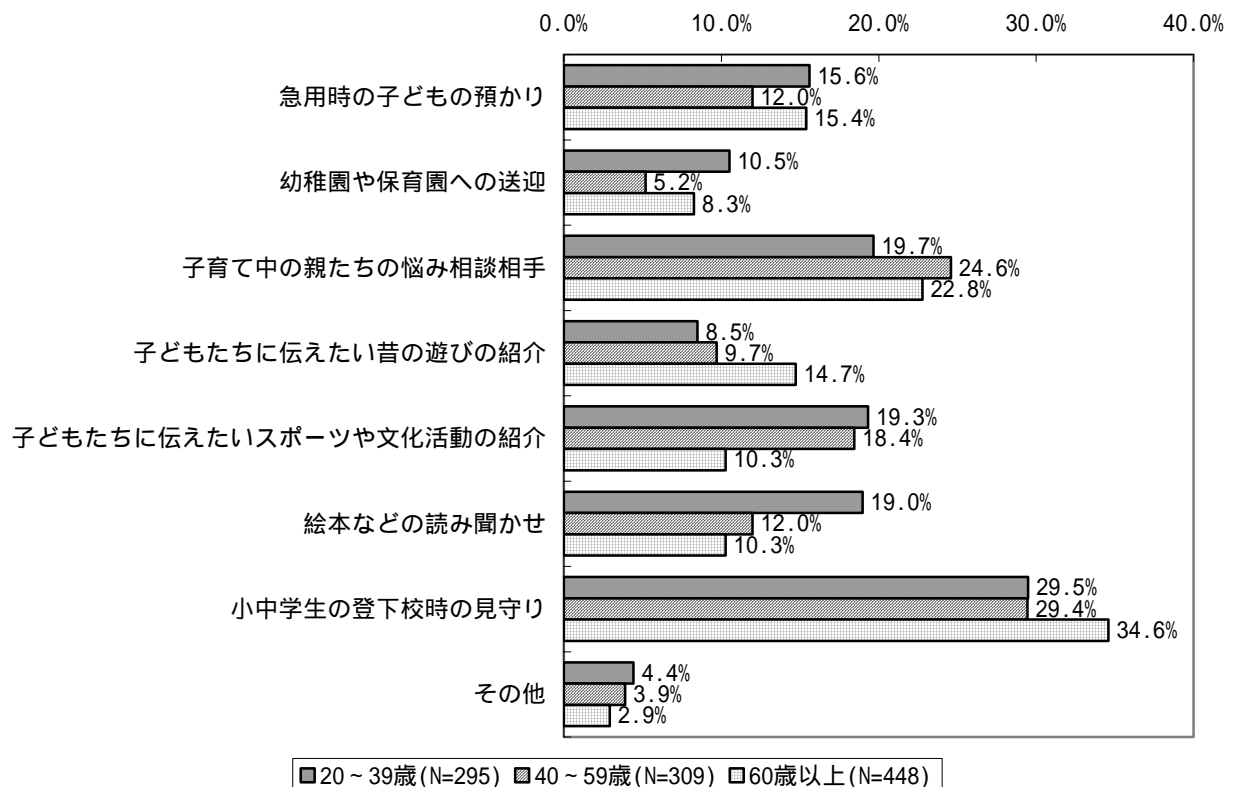
地域での子育て支援活動に「取り組みたい」人に対し、今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容をたずねたところ、「小中学生の登下校時の見守り」が31.4%で最も多く、以下、「子育て中の親たちの悩み相談相手」が22.1%、「子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介」が15.2%などとなっている。

図表 性別 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容



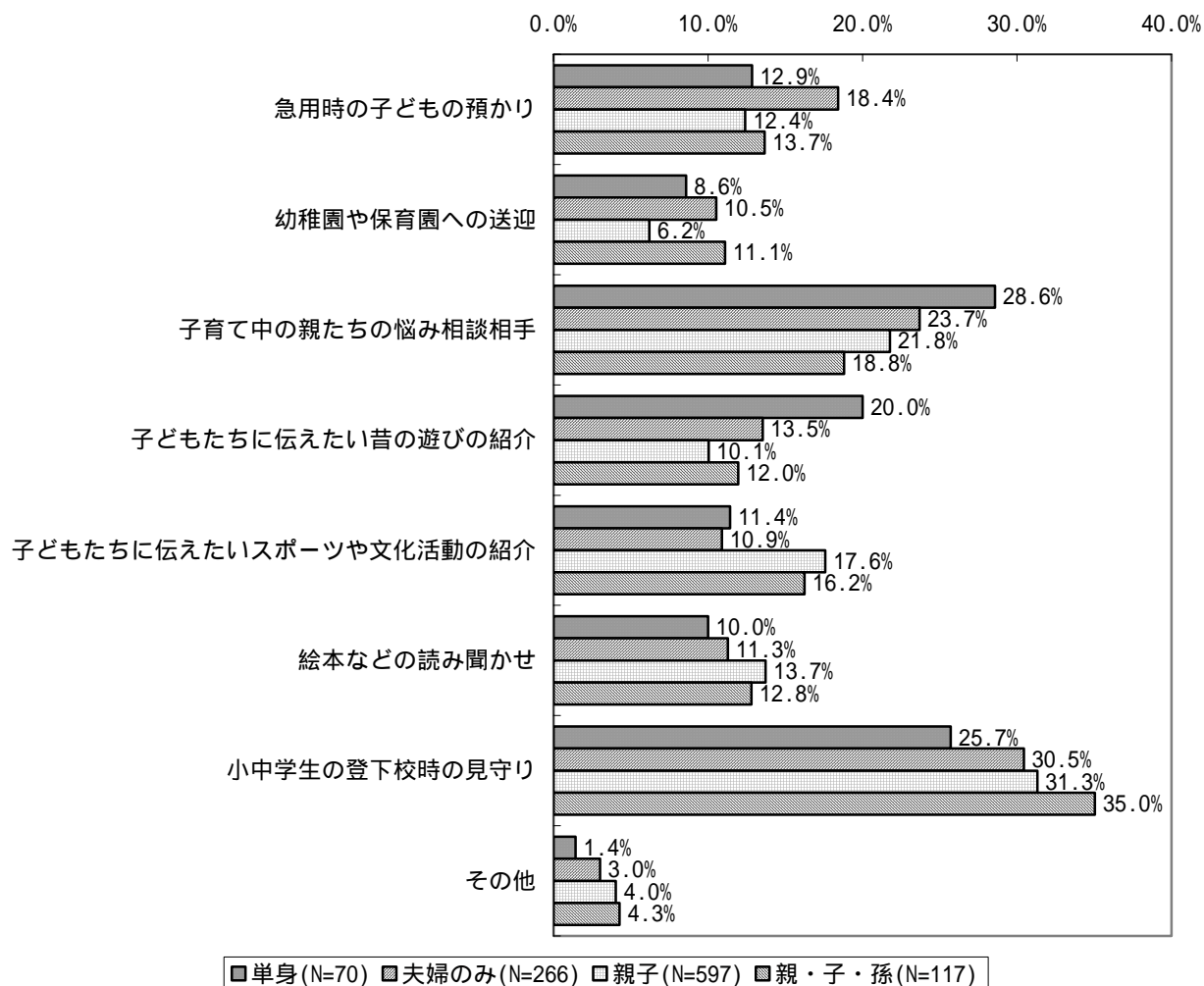
性別にみると、「子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介」「子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介」「小中学生の登下校時の見守り」は「男性」が「女性」に比べて多い。逆に、「絵本などの読み聞かせ」「子育て中の親たちの悩み相談相手」「急用時の子どもの預かり」は「女性」が「男性」に比べて多い。

図表 年齢別 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容



年齢別にみると、年齢層が低いほど「子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介」と「絵本などの読み聞かせ」が多い傾向となっている。「60歳以上」では、「子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介」と「小中学生の登下校時の見守り」が「59歳」以下に比べて多く、差が大きい。

図表 家族構成別 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容



家族構成別にみると、家族人員が多いほど「小中学生の登下校時の見守り」が多い傾向となっている。逆に、家族人員が少ないほど「子育て中の親たちの悩み相談相手」が多い傾向となっている。

図表 地域別 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
地域A(N=122)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	急用時の子どもの預かり	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	幼稚園や保育園への送迎
	36.1%	23.8%	16.4%	16.4%	13.9%	13.1%	10.7%
地域B(N=73)	子育て中の親たちの悩み相談相手	小中学生の登下校時の見守り	急用時の子どもの預かり	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	幼稚園や保育園への送迎
	27.4%	21.9%	17.8%	17.8%	11.0%	9.6%	5.5%
地域C(N=82)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	急用時の子どもの預かり	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ	幼稚園や保育園への送迎
	29.3%	22.0%	17.1%	13.4%	13.4%	11.0%	8.5%
地域D(N=93)	小中学生の登下校時の見守り	急用時の子どもの預かり	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	幼稚園や保育園への送迎
	30.1%	22.6%	22.6%	15.1%	12.9%	9.7%	7.5%
地域E(N=134)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎
	31.3%	21.6%	15.7%	12.7%	10.4%	9.0%	6.0%
地域F(N=72)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	急用時の子どもの預かり	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	幼稚園や保育園への送迎	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	絵本などの読み聞かせ
	25.0%	22.2%	19.4%	19.4%	11.1%	11.1%	11.1%
地域G(N=69)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	急用時の子どもの預かり	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	幼稚園や保育園への送迎	絵本などの読み聞かせ
	31.9%	24.6%	14.5%	14.5%	13.0%	8.7%	4.3%
地域H(N=99)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	絵本などの読み聞かせ	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎
	36.4%	25.3%	20.2%	14.1%	13.1%	12.1%	5.1%
地域I(N=96)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	急用時の子どもの預かり	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	幼稚園や保育園への送迎	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介
	27.1%	25.0%	13.5%	13.5%	11.5%	11.5%	9.4%
地域J(N=63)	小中学生の登下校時の見守り	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	子育て中の親たちの悩み相談相手	絵本などの読み聞かせ	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介
	27.0%	22.2%	17.5%	12.7%	9.5%	7.9%	7.9%
地域K(N=46)	小中学生の登下校時の見守り	絵本などの読み聞かせ	急用時の子どもの預かり	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	幼稚園や保育園への送迎
	43.5%	19.6%	15.2%	13.0%	10.9%	8.7%	4.3%
地域L(N=107)	小中学生の登下校時の見守り	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎
	35.5%	18.7%	16.8%	16.8%	14.0%	10.3%	8.4%
地域M(N=4)	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ	小中学生の登下校時の見守り	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎
	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
地域N(N=3)	子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介	小中学生の登下校時の見守り	急用時の子どもの預かり	幼稚園や保育園への送迎	子育て中の親たちの悩み相談相手	子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介	絵本などの読み聞かせ
	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注)「その他」を除く順位。

地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、第3位までには多くの地域で「小中学生の登下校時の見守り」や「子育て中の親たちの悩み相談相手」「急用時の子どもの預かり」がみられる。

8 第4次総合計画の節別の施策評価及び今後の優先度について

問27 下表の左欄の各施策に関して、あなたが感じている「これまでの施策に対する評価」と「今後の優先度」を、それぞれ5段階評価で 印をつけてください。

問27は、「第4次総合計画」の「節」(施策)ごとのこれまでの評価と今後の優先度を問う設問で、「節」(施策)が76項目あることから、「行政・人権・経済」「福祉・生涯学習」「環境・安全・都市基盤整備」の3つの分野に区分し、調査票を分野ごとに用意して調査を行った。

調査票と「節」(施策)分野との対応に加え、「第4次総合計画」の「編」及び「章」と「節」との対応は以下のとおりである。

【調査票1 - 行政・人権・経済】

編	章	節
1 市民と行政の パートナー シップによる まちづくりを めざして	1-1 地方分権の推進	(1)地方分権の推進
		(2)広域行政の推進
		(3)行政改革の推進
		(4)行政サービスの充実と改善
	1-2 行政改革の推進	(5)計画的・効率的な行財政運営の確立
		(6)行政情報化の推進
		(7)組織機構の確立と職員の人材育成
		(8)市民参加システムの確立
	1-3 市民参加と情報公開・提供の拡充	(9)情報公開・提供の推進
		(10)広報・広聴活動の充実
	1-4 住民自治の推進	(11)地域コミュニティの育成
		(12)広域交流活動の促進
2 人間性ゆたかで 平和な社会を めざして	2-1 基本的人権の尊重	(13)人権教育・啓発の推進
		(14)個人情報保護の推進
	2-2 国際化の推進と平和への貢献	(15)国際化の推進
		(16)平和への貢献
	2-3 男女共同参画社会の促進	(17)男女共同参画社会の促進
3 活力ある地域 経済の振興を めざして	3-1 農林漁業・茶業の振興	(18)農業の振興
		(19)林業の振興
		(20)漁業の振興
		(21)茶業の振興
	3-2 商工業・観光の振興	(22)商業の振興
		(23)工業の振興
		(24)観光の振興
	3-3 市民生活の向上	(25)勤労者福祉の向上
		(26)消費生活の充実

【調査票 2 - 福祉・生涯学習】

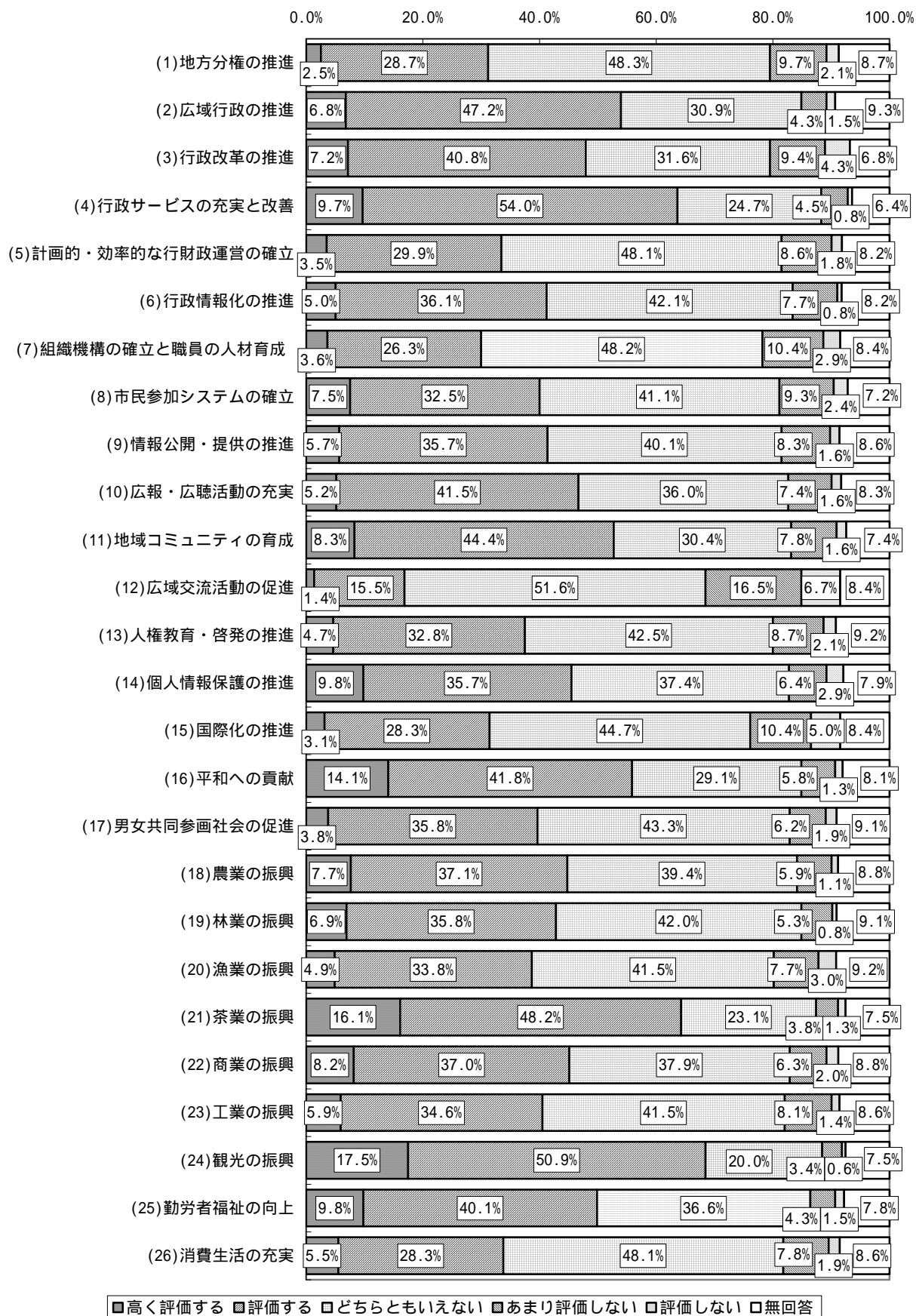
編	章	節
4 健康でゆたかな暮らしをめざして	4-1 長寿社会への対応	(27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充)
		(28)生きがい対策の充実
		(29)高齢者福祉サービスの充実
	4-2 少子化社会への対応	(30)子育て支援の充実
		(31)乳幼児保育対策の充実
		(32)放課後児童健全育成の充実
		(33)ひとり親対策の充実
	4-3 地域福祉体制の確立	(34)地域福祉社会の構築
		(35)障害者福祉の充実
	4-4 健康づくりの推進	(36)低所得者福祉の充実
		(37)健康づくりの推進
	4-5 社会保障制度の充実	(38)保健・医療の推進
		(39)国民健康保険の充実
		(40)国民年金の充実
	5 歴史かある文化の創造と生涯学習の推進をめざして	5-1 生涯学習の推進
(42)生涯学習支援体制の充実		
(43)図書館の活用		
5-2 学校教育の充実		(44)幼稚園教育の充実
		(45)小・中学校教育の充実
5-3 社会教育の充実		(46)社会教育の促進
		(47)青少年の健全育成
		(48)スポーツ・レクリエーションの普及
		(49)総合野外活動センターの活用
5-4 市民文化の創造・発展と伝統文化の継承		(50)市民文化の創造・発展
		(51)文化会館の活用
		(52)文化財保護と伝統文化の継承
		(53)歴史資料館の活用
		(54)源氏物語ミュージアムの活用

【調査票3 - 環境・安全・都市基盤整備】

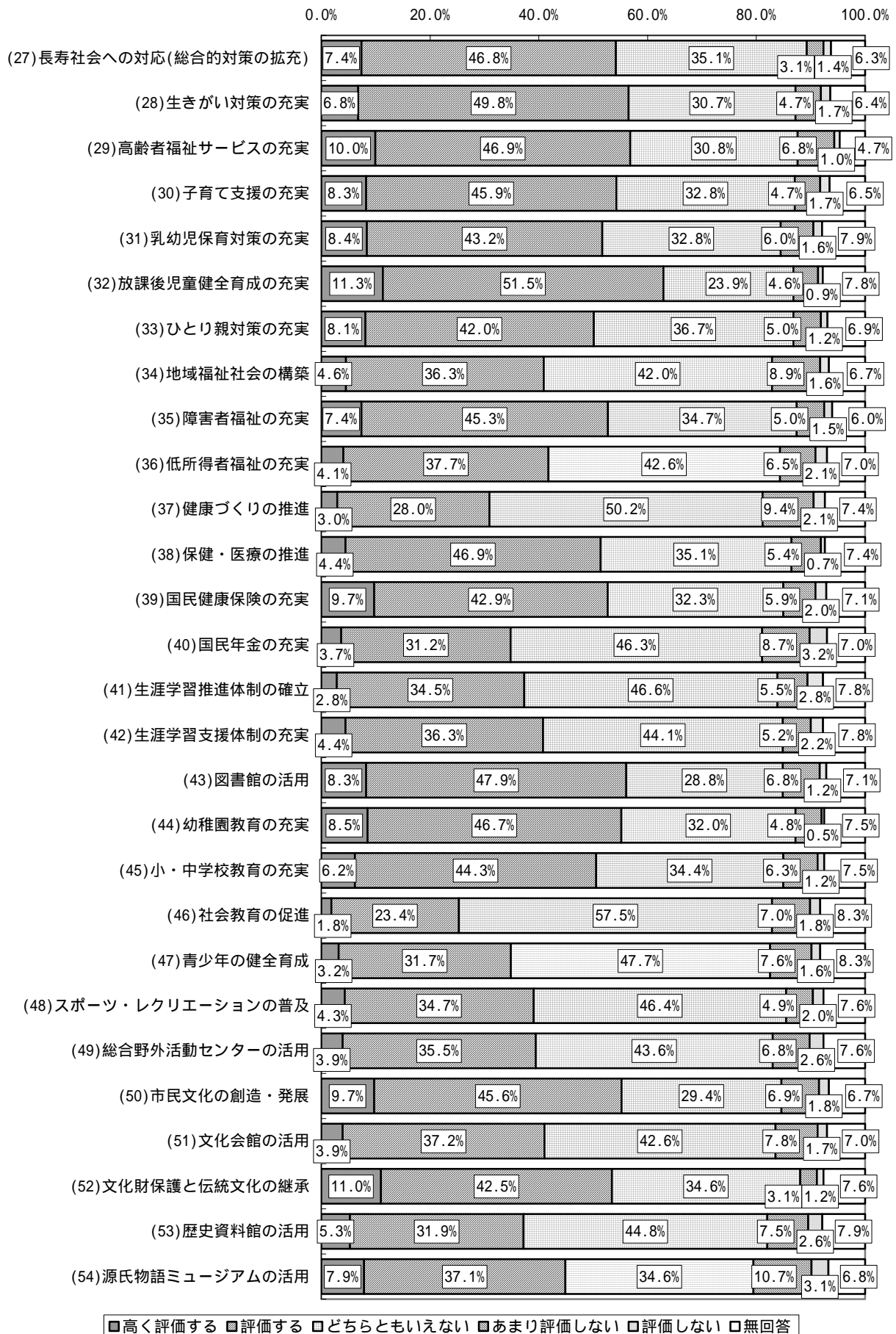
編	章	節
6 安全でうるおいのある環境をめざして	6-1 環境保全対策の推進	(55)環境保全対策の強化
		(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進
		(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進
	6-2 みどりとうるおいのある環境整備	(58)自然環境の保全
		(59)緑化の推進
		(60)植物公園の活用
	6-3 魅力ある都市空間の形成	(61)都市景観の形成
	6-4 安全・安心なまちづくりの推進	(62)安全・安心なまちづくりの推進
		(63)消防・救急の充実
		(64)交通安全の推進
7 快適で便利なたしをめざして	7-1 良好な市街地の整備	(65)拠点地区の整備促進
		(66)土地利用の規制・誘導
	7-2 山間地の振興	(67)山間地の整備促進
	7-3 都市基盤・生活基盤施設の整備	(68)公共交通機関の整備
		(69)道路の整備
		(70)上水道の整備
		(71)下水道(汚水)の整備
		(72)河川・下水道(雨水)の整備
		(73)公園・緑地の整備
	7-4 高度情報化社会への対応	(74)住宅の整備
(75)斎場・墓地の整備		
(76)地域情報化の推進		

(1)【調査票の分野区分別】これまでの施策に対する評価の回答傾向

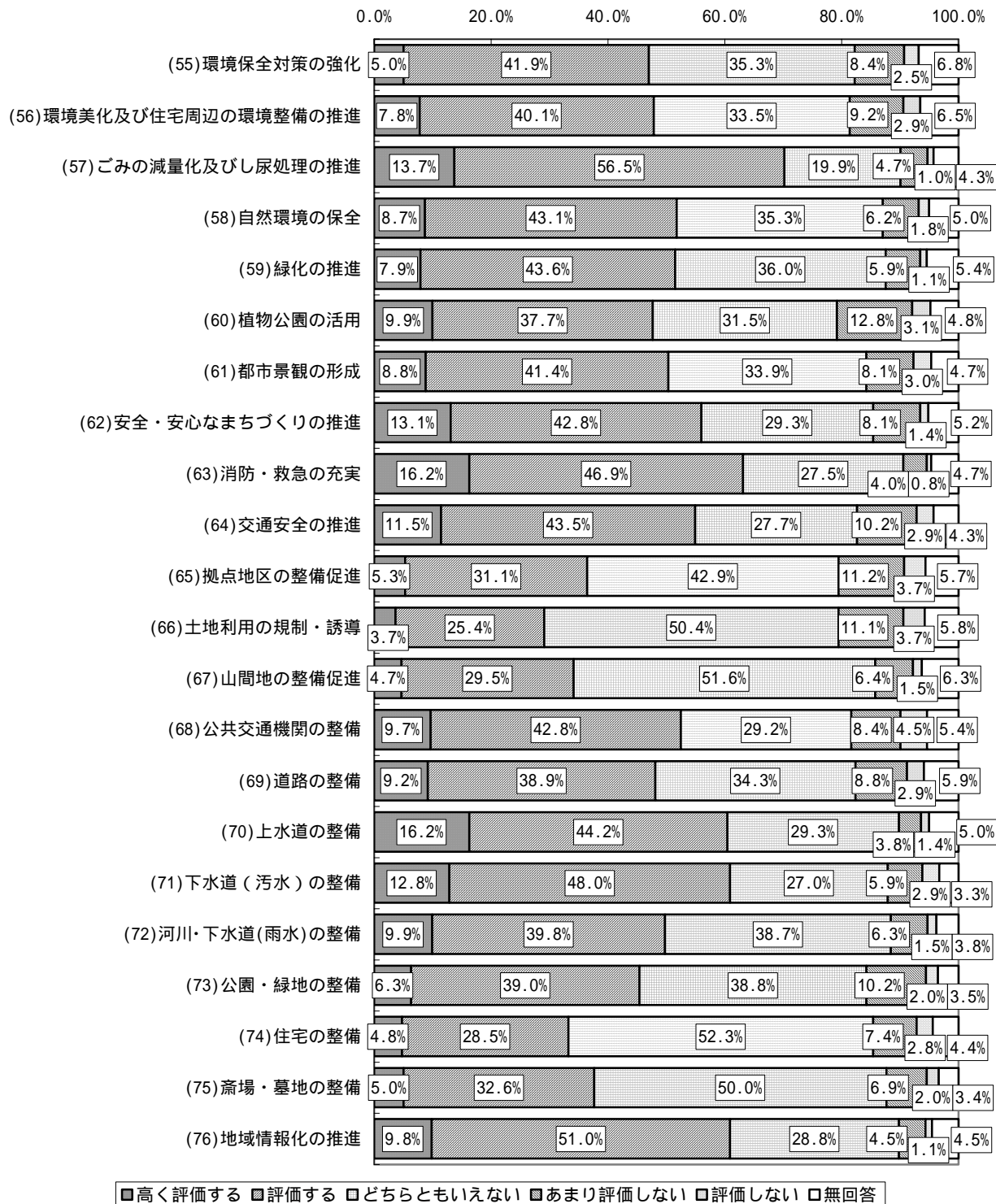
図表 これまでの施策に対する評価の回答傾向「行政・人権・経済」



図表 これまでの施策に対する評価の回答傾向「福祉・生涯学習」



図表 これまでの施策に対する評価の回答傾向「環境・安全・都市基盤整備」

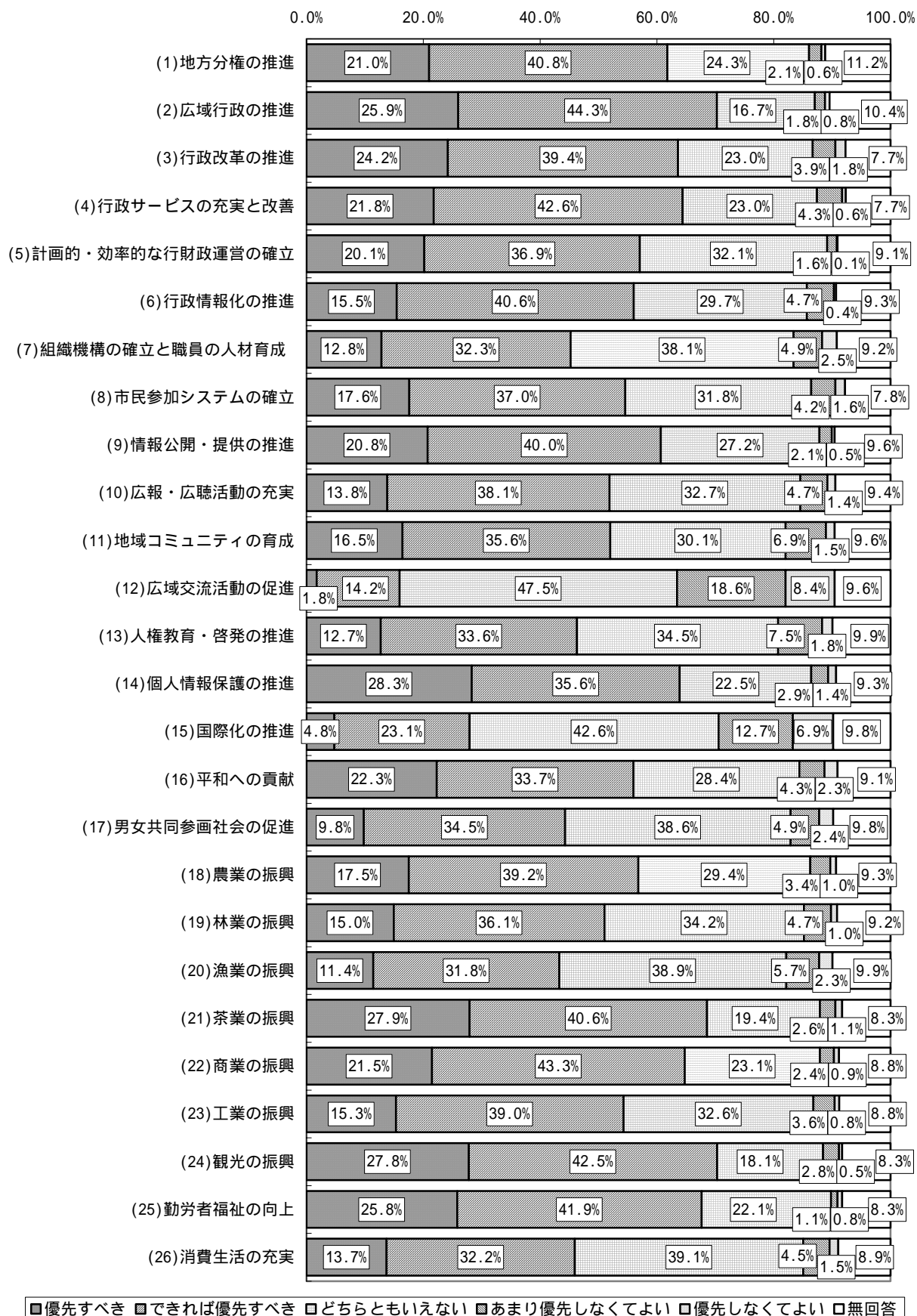


これまでの施策に対する評価の回答傾向をみると、まず、「高く評価する」と「評価する」を合わせた「評価している」人が最も多いのは「(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進」(70.3%)で、以下、「(24)観光の振興」(68.4%)、「(21)茶業の振興」(64.3%)などとなっている。逆に、「評価している」人が最も少ないのは「(12)広域交流活動の促進」(16.9%)で、以下、「(46)社会教育の促進」(25.2%)、「(66)土地利用の規制・誘導」(29.1%)、「(7)組織機構の確立と職員の人材育成」(29.9%)などとなっている。

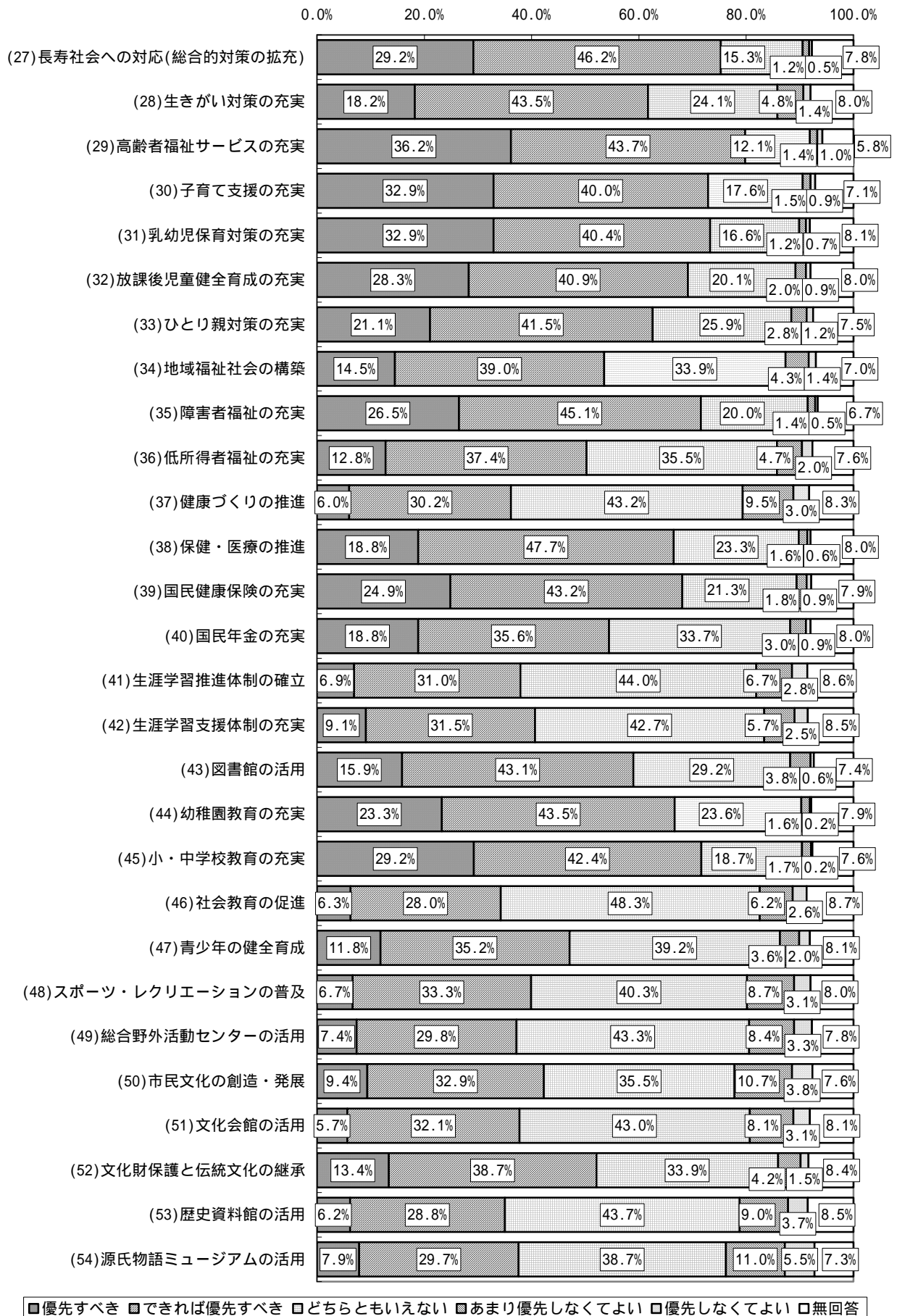
また、「評価しない」と「あまり評価しない」を合わせた「評価していない」人が最も多いのは、「(12)広域交流活動の促進」(23.1%)で、「評価している」が最も少ない項目と一致する結果となっている。

(2)【調査票の分野区分別】施策の今後の優先度の回答傾向

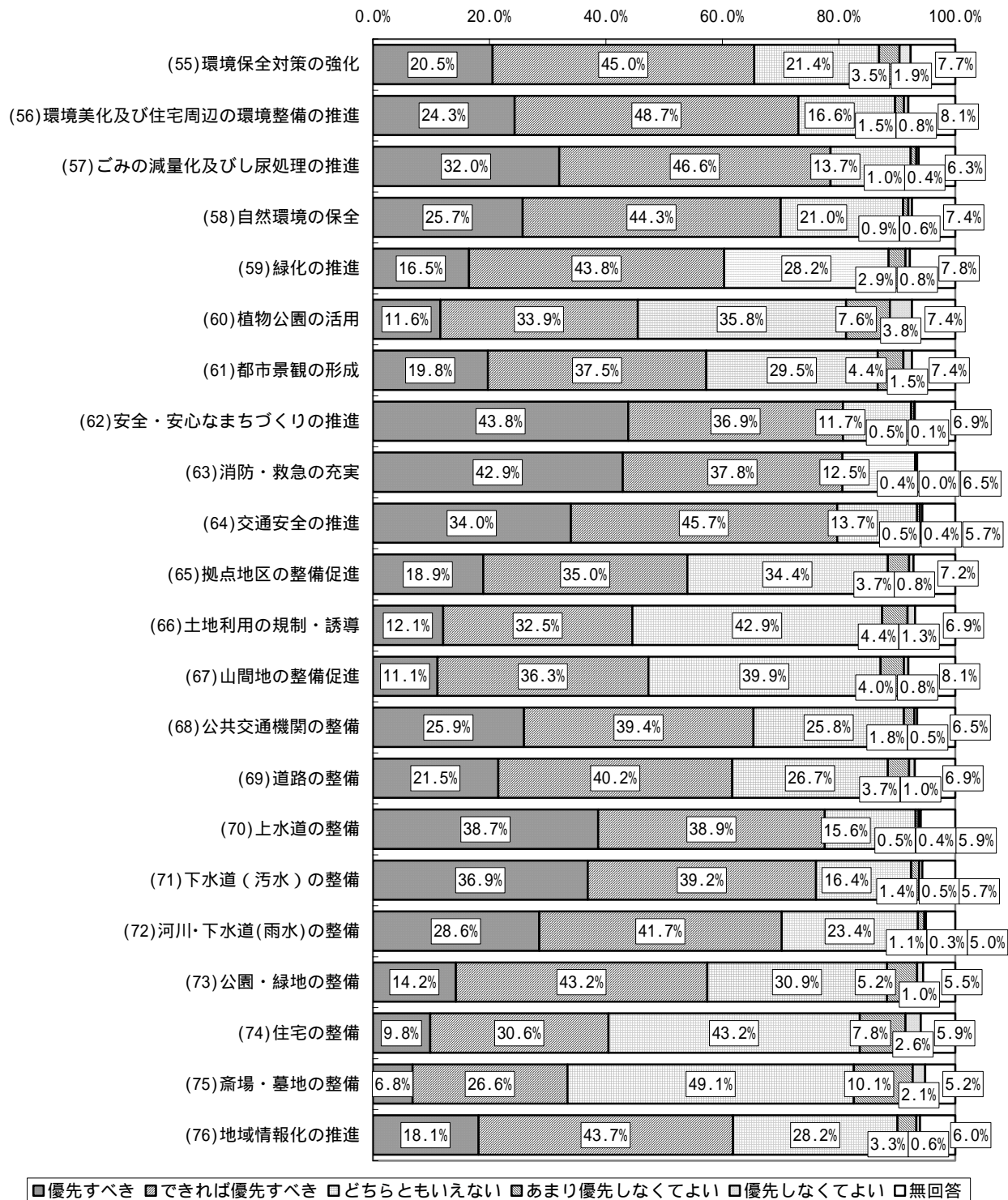
図表 施策の今後の優先度の回答傾向「行政・人権・経済」



図表 施策の今後の優先度の回答傾向「福祉・生涯学習」



図表 施策の今後の優先度の回答傾向「環境・安全・都市基盤整備」



施策の今後の優先度の回答傾向をみると、まず、「優先すべき」と「できれば優先すべき」を合わせた「優先したほうがよい」と考えている人が最も多いのは「(62)安全・安心なまちづくりの推進」と「(63)消防・救急の充実」(同率80.7%)で、以下、「(29)高齢者福祉サービスの充実」(79.9%)、「(64)交通安全の推進」(79.7%)などとなっている。逆に、「優先したほうがよい」と考えている人が最も少ないのは「(12)広域交流活動の促進」(16.0%)で、以下、「(15)国際化の推進」(27.9%)、「(75)斎場・墓地の整備」(33.4%)、「(46)社会教育の促進」(34.2%)などとなっている。

また、「優先しなくてよい」と「あまり優先しなくてよい」を合わせた「優先しなくてもよい」と考えている人が最も多いのは、「(12)広域交流活動の促進」(27.0%)で、「優先したほうがよい」と考えている人が最も少ない項目と一致する結果となっている。

(3)【調査票の分野区分別】これまでの施策に対する評価と今後の優先度の加重平均

これまでの施策に対する評価の加重平均の順位

図表 これまでの施策に対する評価の加重平均の順位

順位	施策分野	これまでの施策に対する評価	加重平均	順位	施策分野	これまでの施策に対する評価	加重平均
1		(24)観光の振興	43.9	39		(69)道路の整備	22.7
2		(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進	40.4	40		(10)広報・広聴活動の充実	22.4
3		(21)茶業の振興	40.1	41		(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	21.8
4		(63)消防・救急の充実	38.7	42		(55)環境保全対策の強化	20.7
5		(70)上水道の整備	36.9	43		(60)植物公園の活用	20.2
6		(32)放課後児童健全育成の充実	36.8	44		(6)行政情報化の推進	20.1
7		(4)行政サービスの充実と改善	36.0	45		(3)行政改革の推進	19.9
8		(16)平和への貢献	33.5	46		(23)工業の振興	19.5
9		(76)地域情報化の推進	33.4	47		(9)情報公開・提供の推進	19.4
10		(71)下水道(汚水)の整備	32.0	48		(73)公園・緑地の整備	19.4
11		(52)文化財保護と伝統文化の継承	31.9	49		(42)生涯学習支援体制の充実	19.3
12		(44)幼稚園教育の充実	31.3	50		(54)源氏物語ミュージアムの活用	19.3
13		(62)安全・安心なまちづくりの推進	30.7	51		(36)低所得者福祉の充実	18.9
14		(29)高齢者福祉サービスの充実	30.5	52		(48)スポーツ・レクリエーションの普及	18.7
15		(27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充)	29.8	53		(17)男女共同参画社会の促進	18.4
16		(43)図書館の活用	29.7	54		(51)文化会館の活用	18.2
17		(28)生きがい対策の充実	29.5	55		(8)市民参加システムの確立	18.0
18		(2)広域行政の推進	29.5	56		(34)地域福祉社会の構築	17.9
19		(50)市民文化の創造・発展	29.2	57		(49)総合野外活動センターの活用	17.0
20		(30)子育て支援の充実	29.1	58		(20)漁業の振興	16.5
21		(25)勤労者福祉の向上	28.4	59		(75)斎場・墓地の整備	16.4
22		(39)国民健康保険の充実	28.2	60		(53)歴史資料館の活用	16.2
23		(35)障害者福祉の充実	27.7	61		(13)人権教育・啓発の推進	16.1
24		(31)乳幼児保育対策の充実	27.5	62		(41)生涯学習推進体制の確立	15.7
25		(33)ひとり親対策の充実	27.2	63		(67)山間地の整備促進	15.7
26		(59)緑化の推進	27.1	64		(26)消費生活の充実	15.2
27		(11)地域コミュニティの育成	27.0	65		(47)青少年の健全育成	14.8
28		(58)自然環境の保全	26.7	66		(5)計画的・効率的な行財政運営の確立	13.6
29		(38)保健・医療の推進	26.4	67		(74)住宅の整備	13.1
30		(64)交通安全の推進	26.3	68		(40)国民年金の充実	12.6
31		(72)河川・下水道(雨水)の整備	26.2	69		(65)拠点地区の整備促進	12.3
32		(45)小・中学校教育の充実	25.9	70		(37)健康づくりの推進	11.0
33		(18)農業の振興	24.3	71		(1)地方分権の推進	10.8
34		(68)公共交通機関の整備	23.6	72		(7)組織機構の確立と職員の人材育成	9.5
35		(22)商業の振興	23.6	73		(46)社会教育の促進	8.9
36		(19)林業の振興	23.6	74		(15)国際化の推進	7.7
37		(61)都市景観の形成	23.6	75		(66)土地利用の規制・誘導	7.6
38		(14)個人情報保護の推進	23.4	76		(12)広域交流活動の促進	-6.3

(注)「・」の3つの記号は調査票の分野区分を表す。記号と分野区分の対応は、以下のとおりである。

：行政・人権・経済 / ：福祉・生涯学習 / ：環境・安全・都市基盤整備

網かけをした領域は、「これまでの施策に対する評価」76項目全体の平均22.9未満であることを意味する。

これまでの施策に対する評価と今後の優先度の加重平均について

これまでの施策に対する評価と今後の優先度の加重平均は、5段階評価の選択肢に重み付け(配点)をし、以下の式により求めている。

	施策評価	今後の優先度	配点
選 択 肢	高く評価する	優先すべき	+100点
	評価する	できれば優先すべき	+50点
	どちらともいえない	どちらともいえない	0点
	あまり評価しない	あまり優先しなくてよい	-50点
	評価しない	優先しなくてよい	-100点

$$\begin{aligned}
 \text{加重平均} = & \left[\left(\text{高く評価する} \cdot \text{優先すべきの回答数} \times +100 \right) \right. \\
 & + \left(\text{評価する} \cdot \text{できれば優先すべきの回答数} \times +50 \right) \\
 & + \left(\text{どちらともいえないの回答数} \times 0 \right) \\
 & + \left(\text{あまり評価しない} \cdot \text{あまり優先しなくてよいの回答数} \times -50 \right) \\
 & \left. + \left(\text{評価しない} \cdot \text{優先しなくてよいの回答数} \times -100 \right) \right] \div \text{無回答を除く回答数}
 \end{aligned}$$

今後の優先度の加重平均の順位

図表 今後の優先度の加重平均の順位

順位	施策分野	今後の優先度	加重平均	順位	施策分野	今後の優先度	加重平均
1		(62)安全・安心なまちづくりの推進	66.5	39	(18)農業の振興		37.9
2		(63)消防・救急の充実	66.0	40	(43)図書館の活用		37.7
3		(70)上水道の整備	61.1	41	(61)都市景観の形成		37.6
4		(29)高齢者福祉サービスの充実	59.9	42	(40)国民年金の充実		37.3
5		(64)交通安全の推進	59.6	43	(6)行政情報化の推進		36.5
6		(71)下水道(汚水)の整備	58.6	44	(65)拠点地区の整備促進		36.4
7		(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進	58.1	45	(23)工業の振興		35.4
8		(31)乳幼児保育対策の充実	56.3	46	(8)市民参加システムの確立		35.1
9		(27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充)	55.5	47	(73)公園・緑地の整備		34.1
10		(30)子育て支援の充実	55.2	48	(34)地域福祉社会の構築		32.8
11		(45)小・中学校教育の充実	53.3	49	(19)林業の振興		32.7
12		(2)広域行政の推進	51.8	50	(11)地域コミュニティの育成		32.4
13		(24)観光の振興	51.4	51	(10)広報・広聴活動の充実		32.2
14		(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	51.3	52	(52)文化財保護と伝統文化の継承		31.9
15		(35)障害者福祉の充実	51.3	53	(36)低所得者福祉の充実		29.5
16		(72)河川・下水道(雨水)の整備	51.2	54	(67)山間地の整備促進		28.8
17		(32)放課後児童健全育成の充実	51.0	55	(26)消費生活の充実		28.6
18		(58)自然環境の保全	50.5	56	(47)青少年の健全育成		27.9
19		(21)茶業の振興	49.9	57	(66)土地利用の規制・誘導		26.7
20		(25)勤労者福祉の向上	49.5	58	(13)人権教育・啓発の推進		26.6
21		(39)国民健康保険の充実	48.5	59	(7)組織機構の確立と職員の人材育成		26.5
22		(44)幼稚園教育の充実	47.7	60	(20)漁業の振興		24.7
23		(14)個人情報保護の推進	47.7	61	(17)男女共同参画社会の促進		24.6
24		(68)公共交通機関の整備	47.4	62	(60)植物公園の活用		22.7
25		(22)商業の振興	45.0	63	(42)生涯学習支援体制の充実		21.4
26		(38)保健・医療の推進	44.8	64	(74)住宅の整備		19.7
27		(1)地方分権の推進	44.7	65	(50)市民文化の創造・発展		18.0
28		(4)行政サービスの充実と改善	43.7	66	(41)生涯学習推進体制の確立		17.8
29		(3)行政改革の推進	43.5	67	(48)スポーツ・レクリエーションの普及		17.2
30		(9)情報公開・提供の推進	43.3	68	(49)総合野外活動センターの活用		16.0
31		(55)環境保全対策の強化	42.6	69	(46)社会教育の促進		16.0
32		(33)ひとり親対策の充実	42.3	70	(51)文化会館の活用		15.9
33		(69)道路の整備	41.7	71	(37)健康づくりの推進		14.6
34		(5)計画的・効率的な行財政運営の確立	41.4	72	(75)斎場・墓地の整備		13.6
35		(76)地域情報化の推進	40.1	73	(53)歴史資料館の活用		13.5
36		(28)生きがい対策の充実	39.4	74	(54)源氏物語ミュージアムの活用		12.6
37		(59)緑化の推進	39.3	75	(15)国際化の推進		3.4
38		(16)平和への貢献	38.2	76	(12)広域交流活動の促進		-9.8

(注)「・」の3つの記号は調査票の分野区分を表す。記号と分野区分の対応は、以下のとおりである。

：行政・人権・経済 / ：福祉・生涯学習 / ：環境・安全・都市基盤整備

網かけをした領域は、「今後の優先度」76項目全体の平均37.4以上であることを意味する。

評価と優先度の加重平均の比較

図表 評価と優先度の加重平均の比較

順位	施策分野	これまでの施策に対する評価	加重平均	施策分野	今後の優先度	加重平均
1		(24)観光の振興	43.9	(62)安全・安心なまちづくりの推進		66.5
2		(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進	40.4	(63)消防・救急の充実		66.0
3		(21)茶業の振興	40.1	(70)上水道の整備		61.1
4		(63)消防・救急の充実	38.7	(29)高齢者福祉サービスの充実		59.9
5		(70)上水道の整備	36.9	(64)交通安全の推進		59.6
6		(32)放課後児童健全育成の充実	36.8	(71)下水道(汚水)の整備		58.6
7		(4)行政サービスの充実と改善	36.0	(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進		58.1
8		(16)平和への貢献	33.5	(31)乳幼児保育対策の充実		56.3
9		(76)地域情報化の推進	33.4	(27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充)		55.5
10		(71)下水道(汚水)の整備	32.0	(30)子育て支援の充実		55.2
11		(52)文化財保護と伝統文化の継承	31.9	(45)小・中学校教育の充実		53.3
12		(44)幼稚園教育の充実	31.3	(2)広域行政の推進		51.8
13		(62)安全・安心なまちづくりの推進	30.7	(24)観光の振興		51.4
14		(29)高齢者福祉サービスの充実	30.5	(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進		51.3
15		(27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充)	29.8	(35)障害者福祉の充実		51.3
16		(43)図書館の活用	29.7	(72)河川・下水道(雨水)の整備		51.2
17		(28)生きがい対策の充実	29.5	(32)放課後児童健全育成の充実		51.0
18		(2)広域行政の推進	29.5	(58)自然環境の保全		50.5
19		(50)市民文化の創造・発展	29.2	(21)茶業の振興		49.9
20		(30)子育て支援の充実	29.1	(25)勤労者福祉の向上		49.5
21		(25)勤労者福祉の向上	28.4	(39)国民健康保険の充実		48.5
22		(39)国民健康保険の充実	28.2	(44)幼稚園教育の充実		47.7
23		(35)障害者福祉の充実	27.7	(14)個人情報保護の推進		47.7
24		(31)乳幼児保育対策の充実	27.5	(68)公共交通機関の整備		47.4
25		(33)ひとり親対策の充実	27.2	(22)商業の振興		45.0
26		(59)緑化の推進	27.1	(38)保健・医療の推進		44.8
27		(11)地域コミュニティの育成	27.0	(1)地方分権の推進		44.7
28		(58)自然環境の保全	26.7	(4)行政サービスの充実と改善		43.7
29		(38)保健・医療の推進	26.4	(3)行政改革の推進		43.5
30		(64)交通安全の推進	26.3	(9)情報公開・提供の推進		43.3
31		(72)河川・下水道(雨水)の整備	26.2	(55)環境保全対策の強化		42.6
32		(45)小・中学校教育の充実	25.9	(33)ひとり親対策の充実		42.3
33		(18)農業の振興	24.3	(69)道路の整備		41.7
34		(68)公共交通機関の整備	23.6	(5)計画的・効率的な行政運営の確立		41.4
35		(22)商業の振興	23.6	(76)地域情報化の推進		40.1
36		(19)林業の振興	23.6	(28)生きがい対策の充実		39.4
37		(61)都市景観の形成	23.6	(59)緑化の推進		39.3
38		(14)個人情報保護の推進	23.4	(16)平和への貢献		38.2
39		(69)道路の整備	22.7	(18)農業の振興		37.9
40		(10)広報・広聴活動の充実	22.4	(43)図書館の活用		37.7
41		(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	21.8	(61)都市景観の形成		37.6
42		(55)環境保全対策の強化	20.7	(40)国民年金の充実		37.3
43		(60)植物公園の活用	20.2	(6)行政情報化の推進		36.5
44		(6)行政情報化の推進	20.1	(65)拠点地区の整備促進		36.4
45		(3)行政改革の推進	19.9	(23)工業の振興		35.4
46		(23)工業の振興	19.5	(8)市民参加システムの確立		35.1
47		(9)情報公開・提供の推進	19.4	(73)公園・緑地の整備		34.1
48		(73)公園・緑地の整備	19.4	(34)地域福祉社会の構築		32.8
49		(42)生涯学習支援体制の充実	19.3	(19)林業の振興		32.7
50		(54)源氏物語ミュージアムの活用	19.3	(11)地域コミュニティの育成		32.4

(注)「・」の3つの記号は調査票の分野区分を表す。記号と分野区分の対応は、以下のとおりである。

：行政・人権・経済 / ：福祉・生涯学習 / ：環境・安全・都市基盤整備

網かけをした領域は、「これまでの施策に対する評価」では、76項目全体の平均22.9未満であることを意味し、「今後の優先度」では、76項目全体の平均37.4以上であることを意味する。

図表 評価と優先度の加重平均の比較

順位	施策分野	これまでの施策に対する評価	加重平均	施策分野	今後の優先度	加重平均
51		(36)低所得者福祉の充実	18.9		(10)広報・広聴活動の充実	32.2
52		(48)スポーツ・レクリエーションの普及	18.7		(52)文化財保護と伝統文化の継承	31.9
53		(17)男女共同参画社会の促進	18.4		(36)低所得者福祉の充実	29.5
54		(51)文化会館の活用	18.2		(67)山間地の整備促進	28.8
55		(8)市民参加システムの確立	18.0		(26)消費生活の充実	28.6
56		(34)地域福祉社会の構築	17.9		(47)青少年の健全育成	27.9
57		(49)総合野外活動センターの活用	17.0		(66)土地利用の規制・誘導	26.7
58		(20)漁業の振興	16.5		(13)人権教育・啓発の推進	26.6
59		(75)斎場・墓地の整備	16.4		(7)組織機構の確立と職員の人材育成	26.5
60		(53)歴史資料館の活用	16.2		(20)漁業の振興	24.7
61		(13)人権教育・啓発の推進	16.1		(17)男女共同参画社会の促進	24.6
62		(41)生涯学習推進体制の確立	15.7		(60)植物公園の活用	22.7
63		(67)山間地の整備促進	15.7		(42)生涯学習支援体制の充実	21.4
64		(26)消費生活の充実	15.2		(74)住宅の整備	19.7
65		(47)青少年の健全育成	14.8		(50)市民文化の創造・発展	18.0
66		(5)計画的・効率的な行財政運営の確立	13.6		(41)生涯学習推進体制の確立	17.8
67		(74)住宅の整備	13.1		(48)スポーツ・レクリエーションの普及	17.2
68		(40)国民年金の充実	12.6		(49)総合野外活動センターの活用	16.0
69		(65)拠点地区の整備促進	12.3		(46)社会教育の促進	16.0
70		(37)健康づくりの推進	11.0		(51)文化会館の活用	15.9
71		(1)地方分権の推進	10.8		(37)健康づくりの推進	14.6
72		(7)組織機構の確立と職員の人材育成	9.5		(75)斎場・墓地の整備	13.6
73		(46)社会教育の促進	8.9		(53)歴史資料館の活用	13.5
74		(15)国際化の推進	7.7		(54)源氏物語ミュージアムの活用	12.6
75		(66)土地利用の規制・誘導	7.6		(15)国際化の推進	3.4
76		(12)広域交流活動の促進	-6.3		(12)広域交流活動の促進	-9.8

(注)「 . . . 」の3つの記号は調査票の分野区分を表す。記号と分野区分の対応は、以下のとおりである。

：行政・人権・経済 / ：福祉・生涯学習 / ：環境・安全・都市基盤整備

網かけをした領域は、「これまでの施策に対する評価」では、76項目全体の平均22.9未満であることを意味し、「今後の優先度」では、76項目全体の平均37.4以上であることを意味する。

これまでの施策に対する評価を加重平均でみると、評価が最も高いのは「(24)観光の振興」で、以下、「(57)ごみの減量化及びし尿処理の推進」「(21)茶業の振興」(40.1)などとなっている。逆に、評価が最も低いのは「(12)広域交流活動の促進」で、以下、「(66)土地利用の規制・誘導」「(15)国際化の推進」「(46)社会教育の促進」「(7)組織機構の確立と職員の人材育成」などとなっている。

施策分野ごとに評価をみると、上位10項目には「：環境・安全・都市基盤整備」分野の施策が5項目含まれ、上下水道の整備といった都市基盤整備の評価が高い。逆に、下位10項目には、「：行政・人権・経済」分野の施策が4項目含まれ、交流活動や地方分権に対応した市政運営に関する項目の評価が低い。

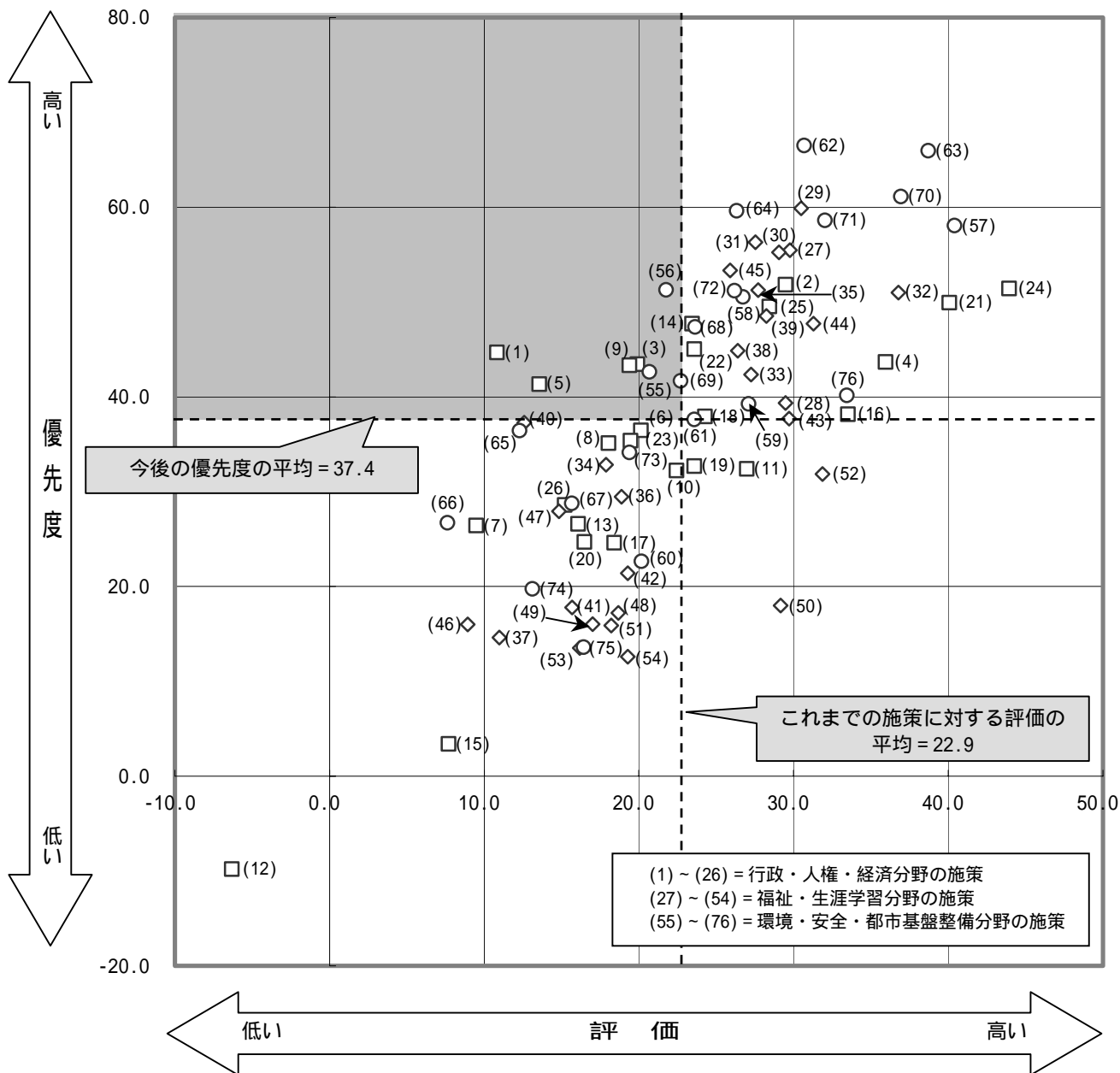
今後の優先度を加重平均でみると、最も優先度が高いのは「(62)安全・安心なまちづくりの推進」で、以下、「(63)消防・救急の充実」「(70)上水道の整備」などとなっている。逆に、優先度が最も低いのは「(12)広域交流活動の促進」で、以下、「(15)国際化の推進」「(54)源氏物語ミュージアムの活用」「(53)歴史資料館の活用」などとなっている。

施策分野ごとに優先度をみると、上位10項目には「：環境・安全・都市基盤整備」分野の施策が6項目含まれ、防犯・防災対策をはじめとする安全・安心のまちづくりや上下水道の整備の優先度が高い。逆に、下位10項目には「：福祉・生涯学習」分野の施策が7項目含まれ、歴史・文化施設の活用・充実や生涯学習・生涯スポーツ活動の振興に関する優先度が低い。

なお、これまでの施策に対する評価の76項目全体の平均は22.9で、平均未満の項目(上表の網かけ部分)は、特に評価が低い項目に相当するといえる。また、今後の優先度の76項目全体の平均は37.4で、平均以上の項目(上表の網かけ部分)は、特に優先度が高い項目に相当するといえる。

76施策全体の評価と優先度の関係

図表 76施策全体の評価と優先度の関係

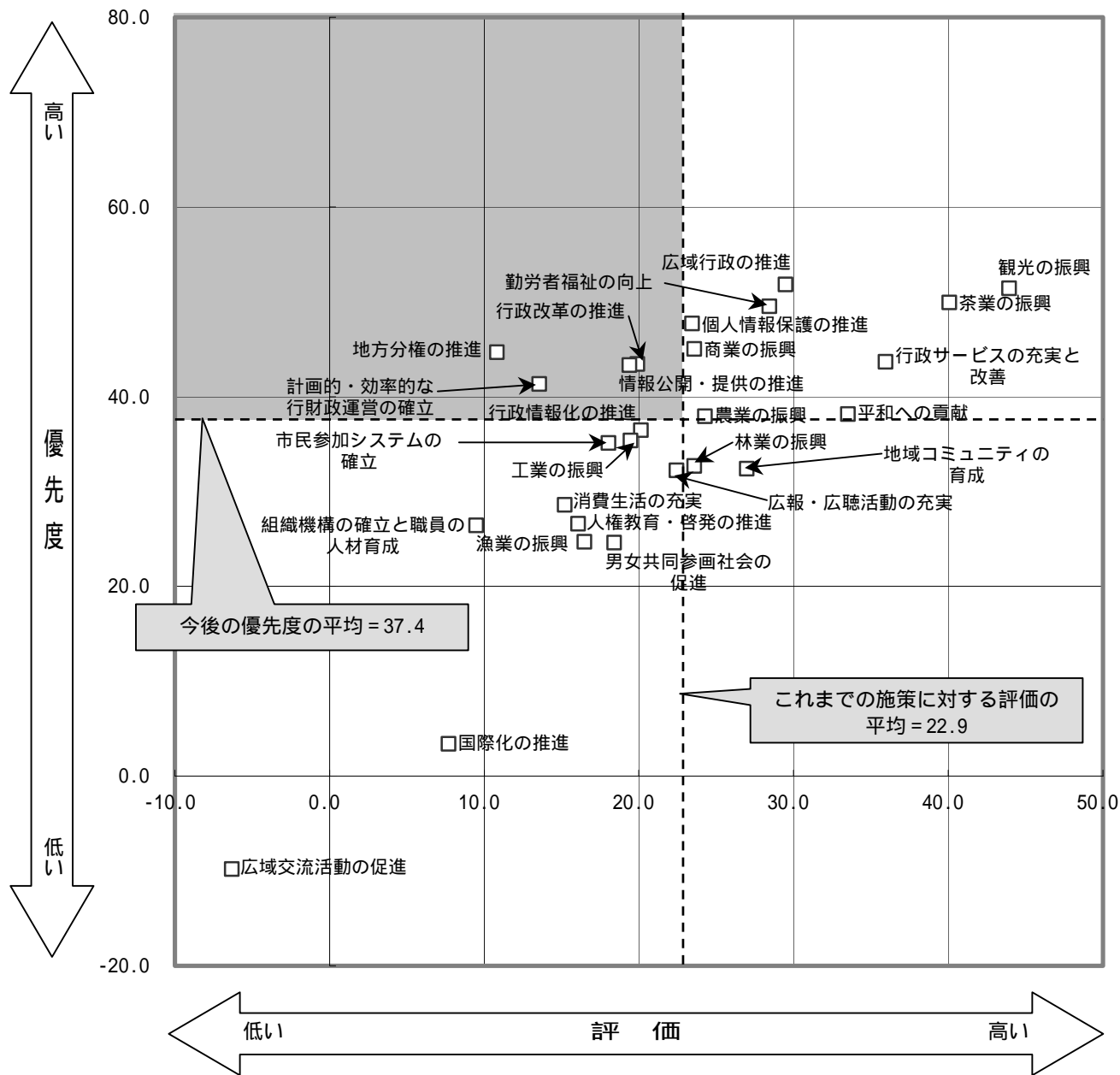


これまでの施策に対する評価と今後の優先度それぞれの加重平均に基づき、評価と優先度の関係を図式化すると上図のとおりとなる。

「(1)地方分権の推進」「(3)行政改革の推進」「(5)計画的・効率的な行財政運営の確立」「(9)情報公開・提供の推進」「(55)環境保全対策の強化」「(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進」「(69)道路の整備」の7項目は、評価が低く、優先度が高い領域（網かけ部分）に入っている。

行政・人権・経済分野の施策の評価と優先度の関係

図表 行政・人権・経済分野の施策の評価と優先度の関係

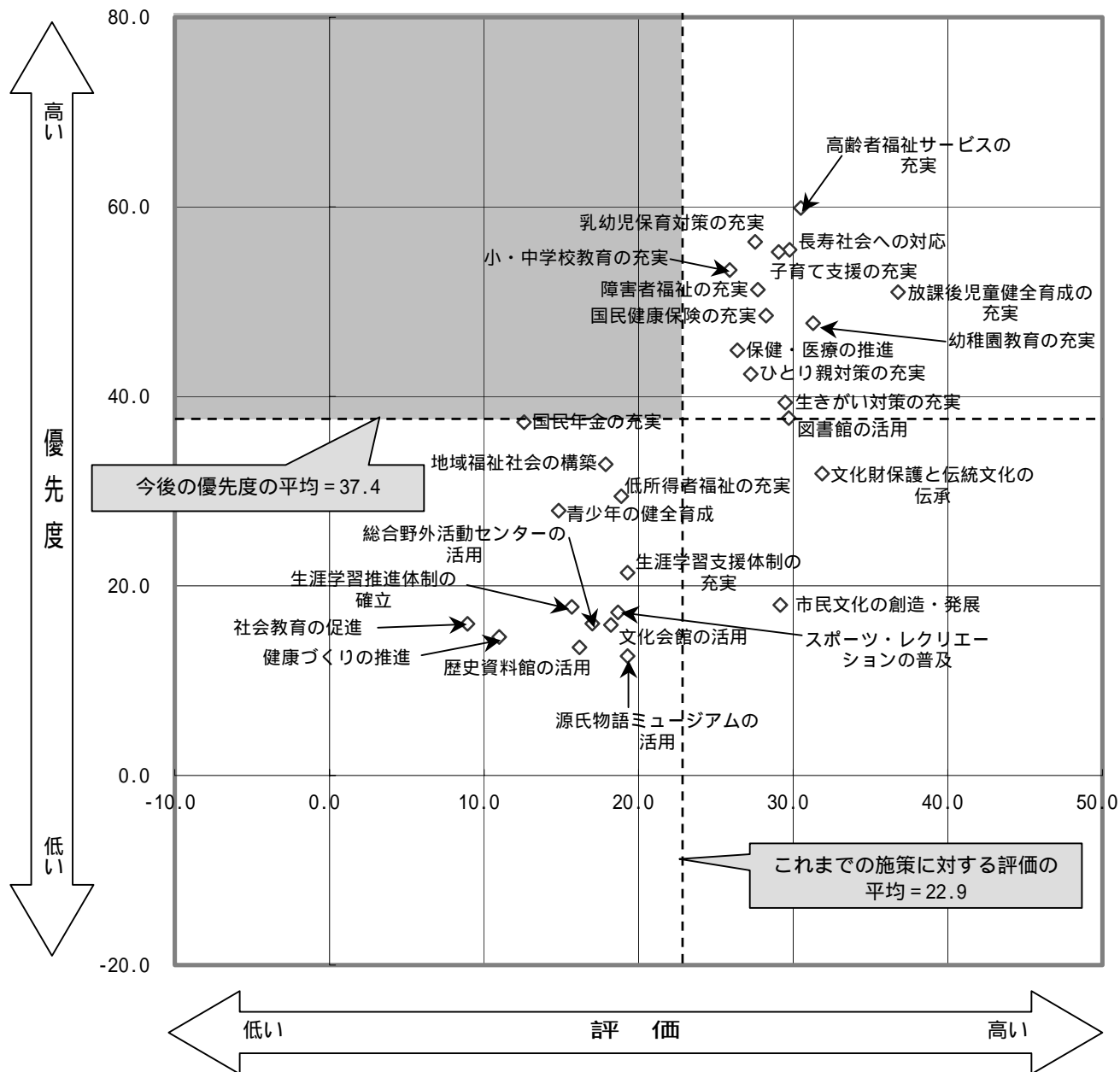


「行政・人権・経済」分野の施策のこれまでの施策に対する評価と今後の優先度それぞれの加重平均に基づき、評価と優先度の関係を図式化すると上図のとおりとなる。

「(1)地方分権の推進」「(3)行政改革の推進」「(5)計画的・効率的な行財政運営の確立」「(9)情報公開・提供の推進」の4項目は、評価が低く、優先度が高い領域（網かけ部分）に入っている。

福祉・生涯学習分野の施策の評価と優先度の関係

図表 福祉・生涯学習分野の施策の評価と優先度の関係

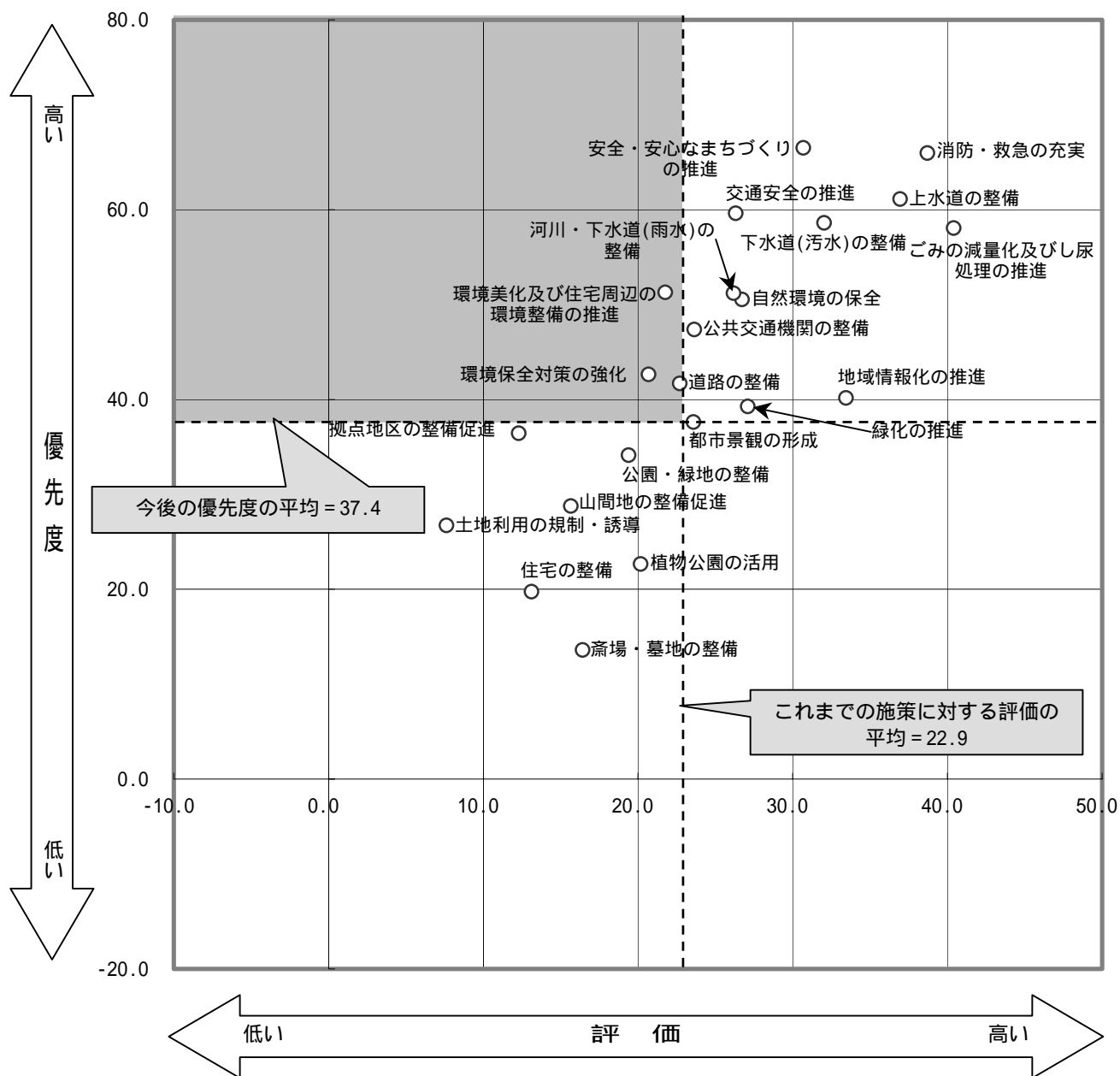


「福祉・生涯学習」分野の施策のこれまでの施策に対する評価と今後の優先度それぞれの加重平均に基づき、評価と優先度の関係を図式化すると上図のとおりとなる。

評価が低く、優先度が高い領域（網かけ部分）には、1項目も入っていないが、優先度が平均以上の項目は13項目あり、高齢者・障害者・児童の福祉をはじめ、子育て支援、保健・医療、教育に関する項目が含まれている。

環境・安全・都市基盤整備分野の施策の評価と優先度の関係

図表 環境・安全・都市基盤整備分野の施策の評価と優先度の関係



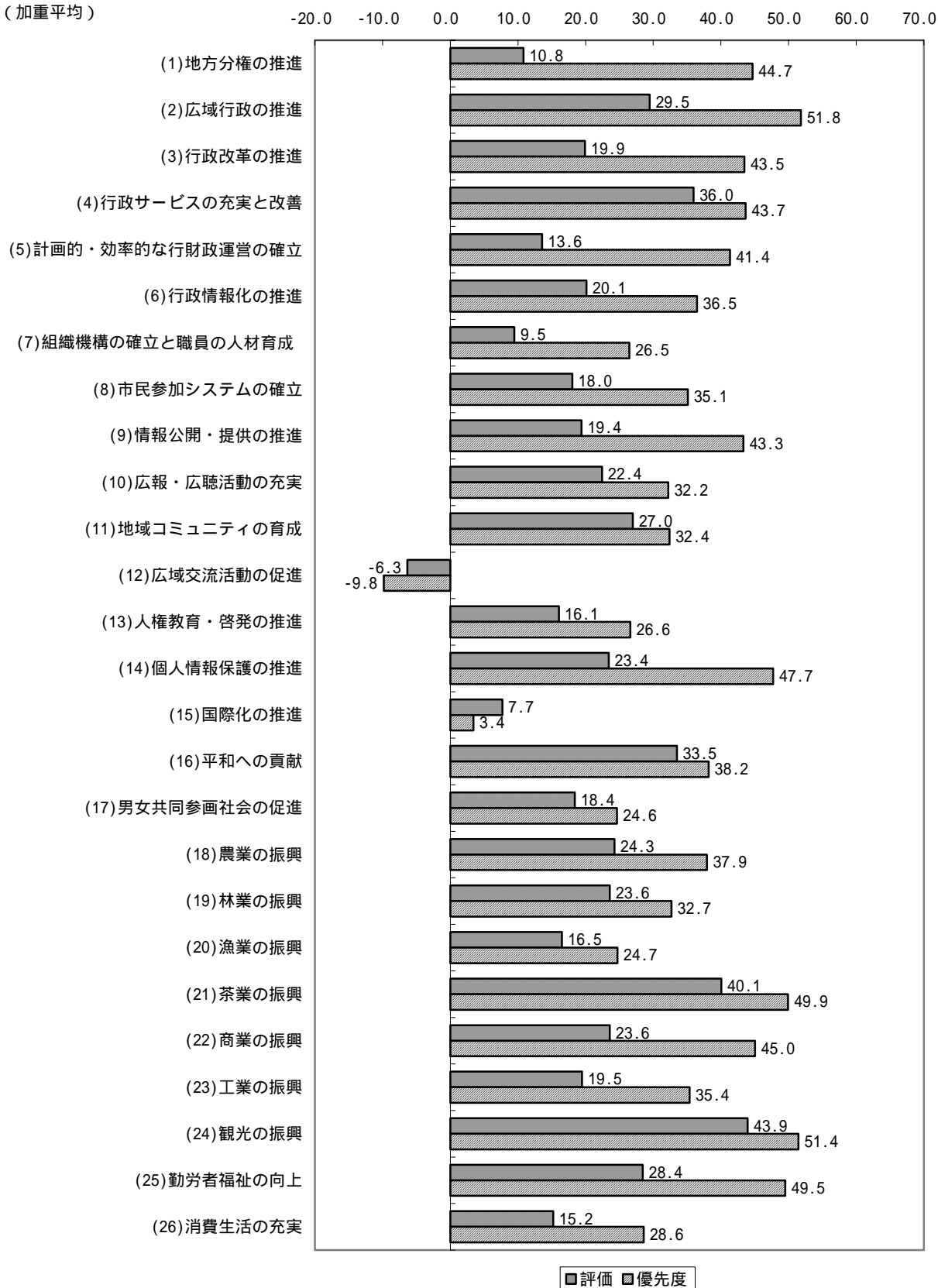
「環境・安全・都市基盤整備」分野の施策のこれまでの施策に対する評価と今後の優先度それぞれの加重平均に基づき、評価と優先度の関係を図式化すると上図のとおりとなる。

「(55)環境保全対策の強化」「(56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進」「(69)道路の整備」の3項目は、評価が低く、優先度が高い領域（網かけ部分）に入っている。

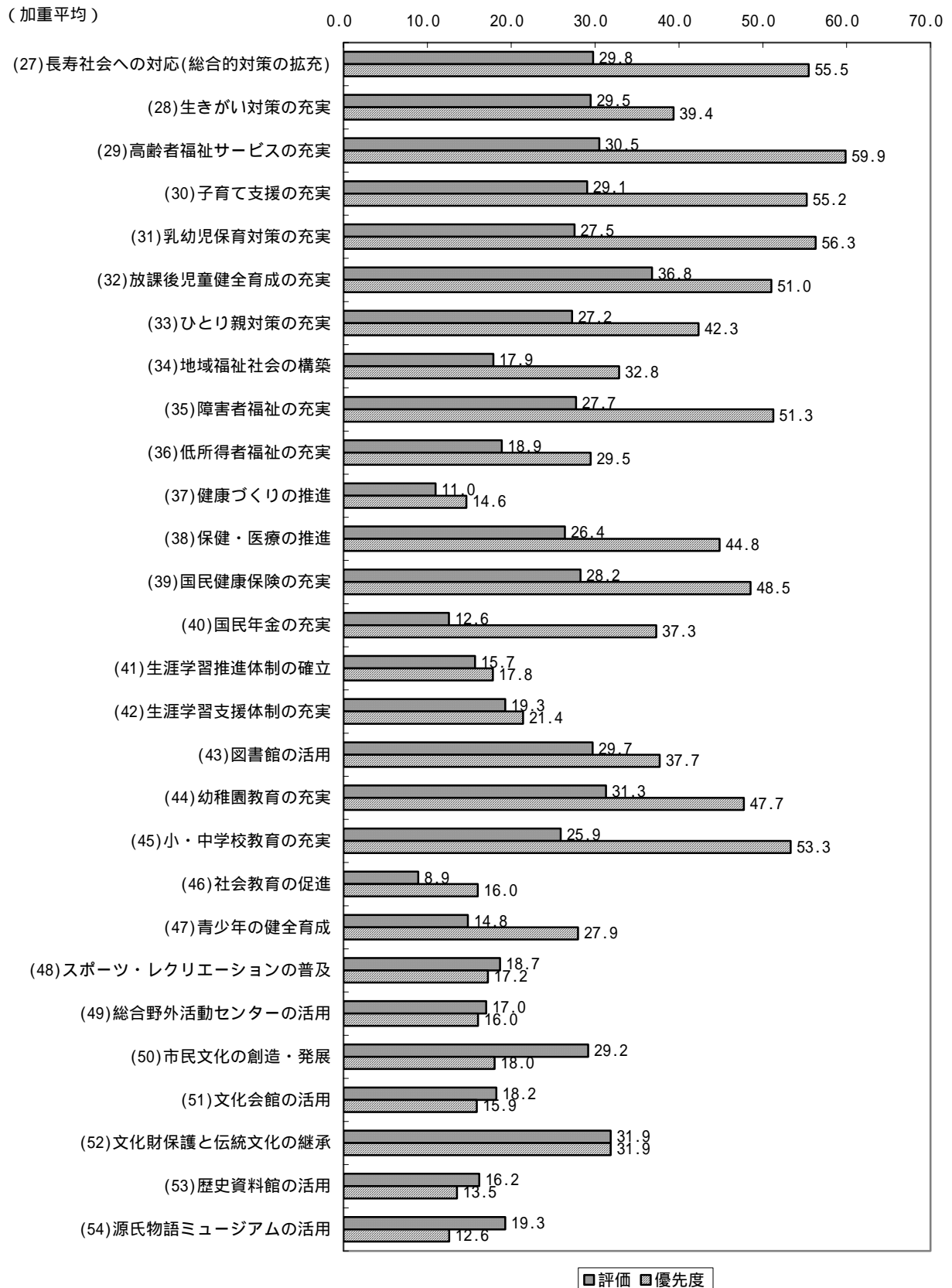
(4)【調査票の分野区別】これまでの施策に対する評価と今後の優先度の加重平均の比較

図表 施策の評価と優先度の比較「行政・人権・経済」

(加重平均)

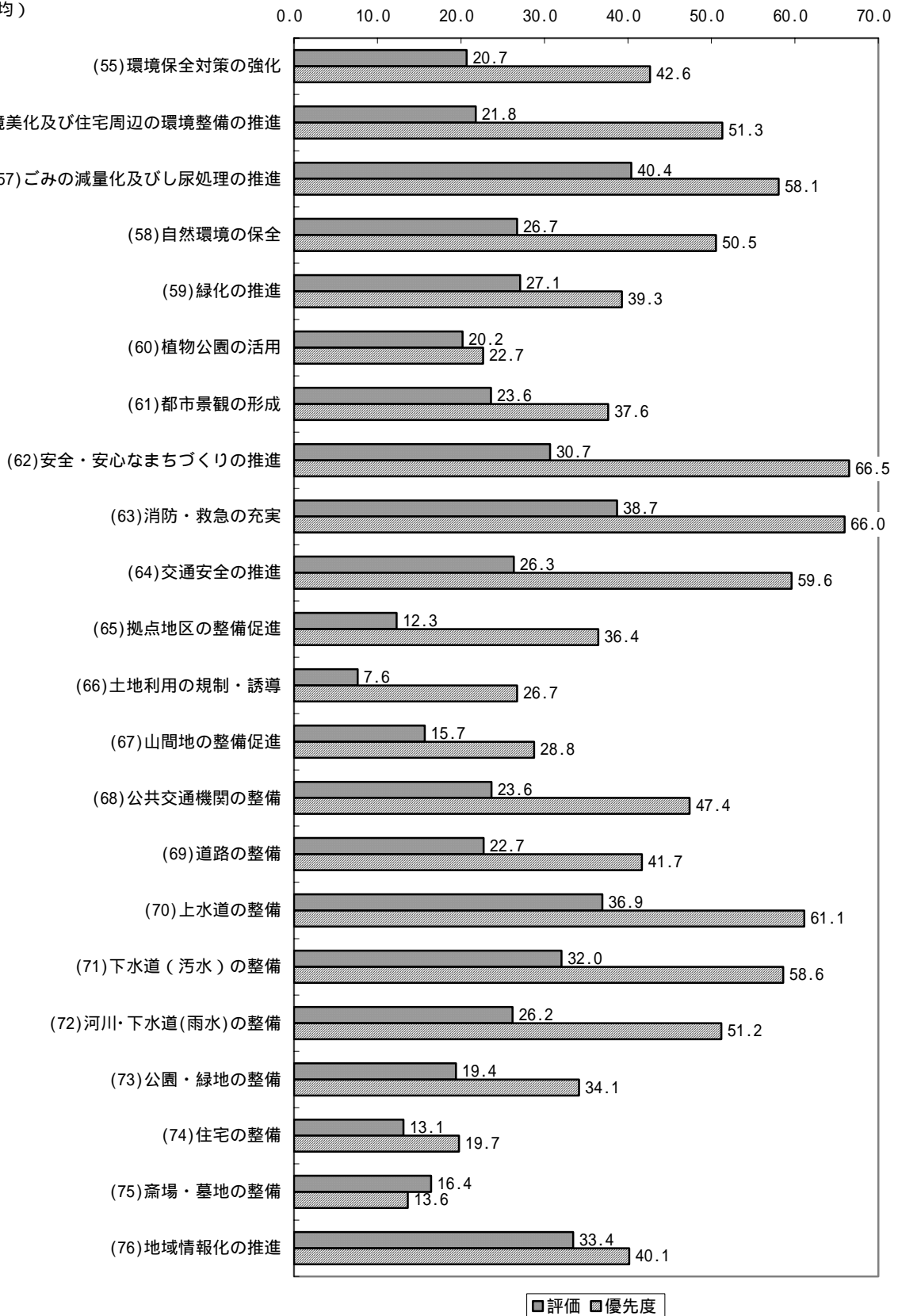


図表 施策の評価と優先度の比較「福祉・生涯学習」



図表 施策の評価と優先度の比較「環境・安全・都市基盤整備」

(加重平均)



これまでの施策に対する評価と今後の優先度を比較し、評価と優先度の差が大きかった上位10項目は、以下の項目となっている。

なお、以下の()内の値は、「優先度 - 評価」で求めた評価と優先度の差で、評価・優先度の加重平均の高低に関係なく、評価に対する優先度をみたときの期待の大きさといえる。

【行政・人権・経済】

- (1)地方分権の推進(33.9)
- (5)計画的・効率的な行財政運営の確立(27.8)
- (14)個人情報保護の推進(24.3)
- (9)情報公開・提供の推進(23.9)
- (3)行政改革の推進(23.6)
- (2)広域行政の推進(22.4)
- (22)商業の振興(21.4)
- (25)勤労者福祉の向上(21.1)
- (8)市民参加システムの確立(17.1)
- (7)組織機構の確立と職員の人材育成(17.0)

【福祉・生涯学習】

- (29)高齢者福祉サービスの充実(29.4)
- (31)乳幼児保育対策の充実(28.8)
- (45)小・中学校教育の充実(27.4)
- (30)子育て支援の充実(26.2)
- (27)長寿社会への対応(25.7)
- (40)国民年金の充実(24.7)
- (35)障害者福祉の充実(23.5)
- (39)国民健康保険の充実(20.3)
- (38)保健・医療の推進(18.4)
- (44)幼稚園教育の充実(16.4)

【環境・安全・都市基盤整備】

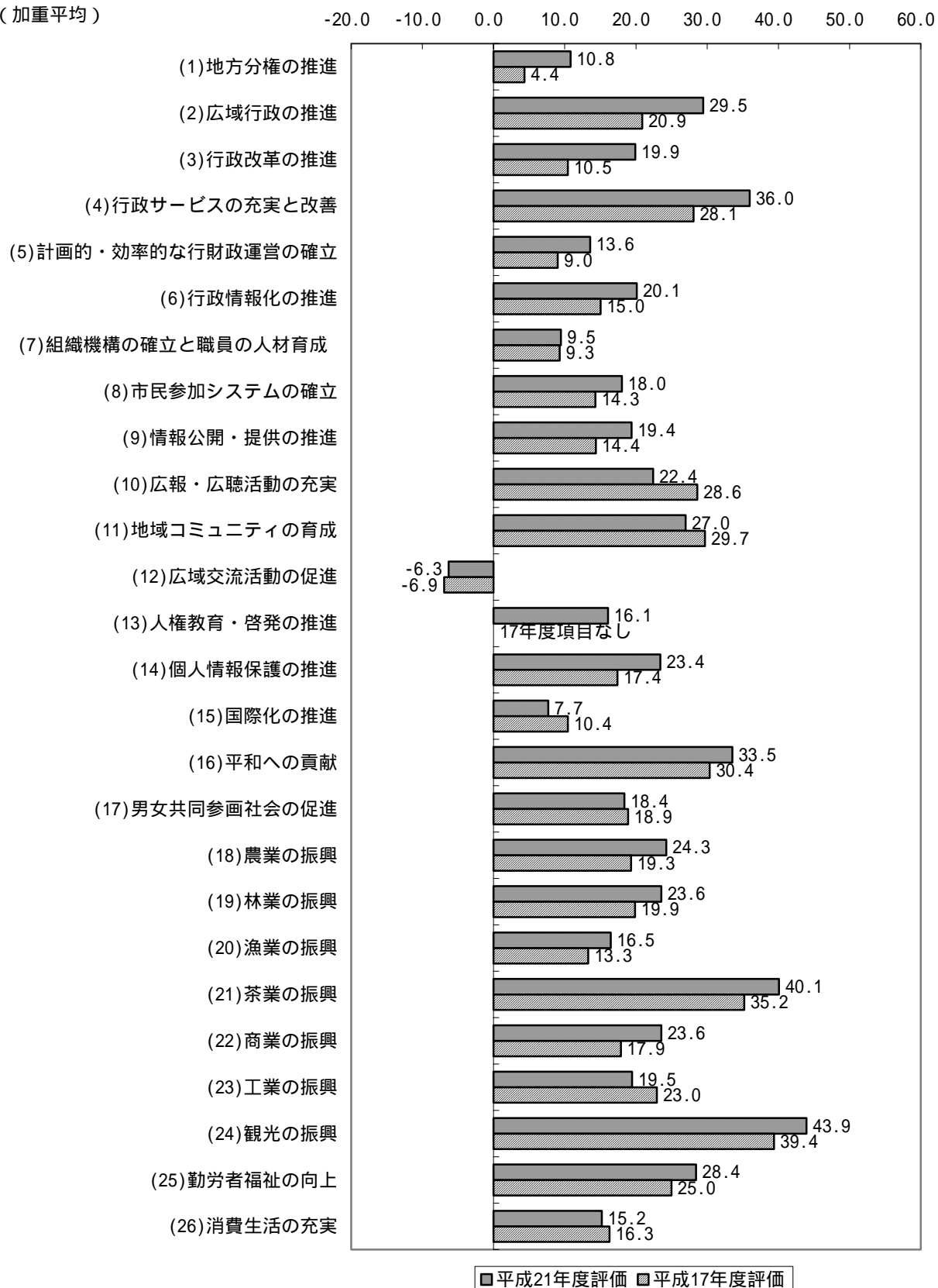
- (62)安全・安心なまちづくりの推進(35.8)
- (64)交通安全の推進(33.3)
- (56)環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進(29.5)
- (63)消防・救急の充実(27.3)
- (71)下水道(汚水)の整備(26.6)
- (72)河川・下水道(雨水)の整備(25.0)
- (70)上水道の整備(24.2)
- (65)拠点地区の整備促進(24.1)
- (58)自然環境の保全(23.8)
- (68)公共交通機関の整備(23.7)

(5)【調査票の分野区別】これまでの施策に対する評価と今後の優先度の加重平均の経年比較

これまでの施策に対する評価の経年比較

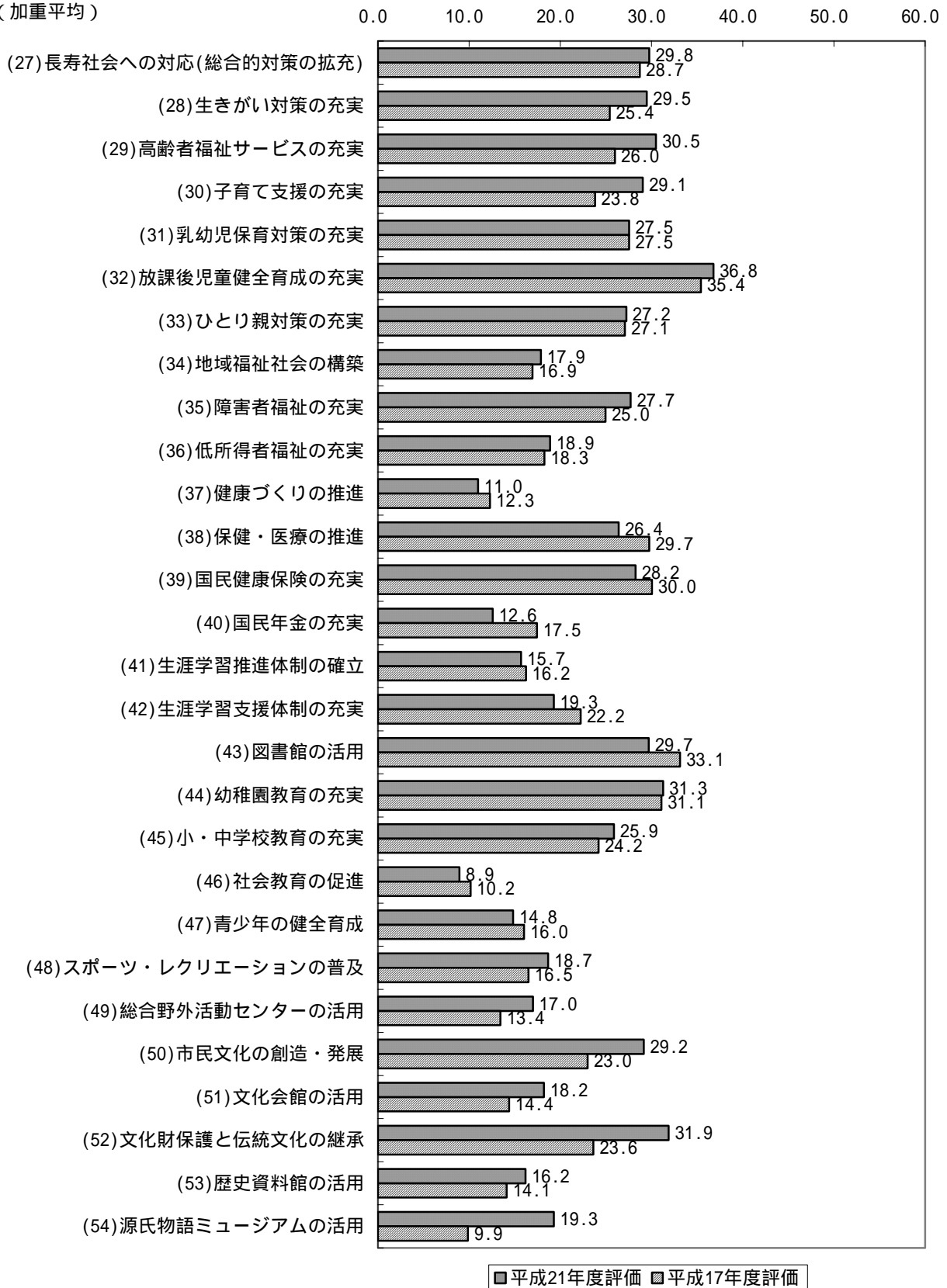
図表 施策の評価の経年比較「行政・人権・経済」

(加重平均)



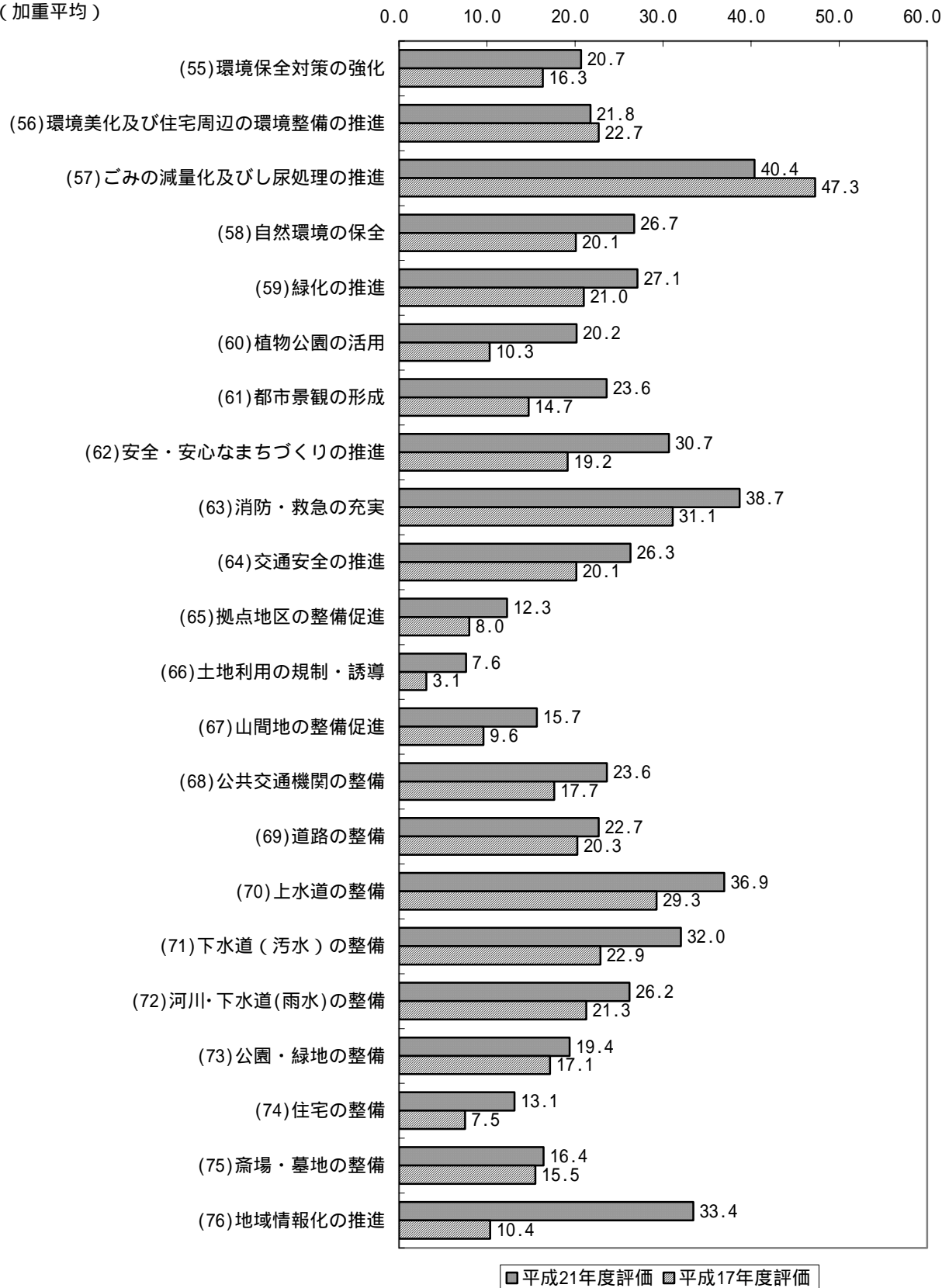
図表 施策の評価の経年比較「福祉・生涯学習」

(加重平均)



図表 施策の評価の経年比較「環境・安全・都市基盤整備」

(加重平均)



これまでの施策に対する評価を過去の調査と比較すると、加重平均の差の大きさに関係なく、評価が低下したのは、以下の項目となっている。

【行政・人権・経済】

(10) 広報・広聴活動の充実

(12) 広域交流活動の促進

(23) 工業の振興

(11) 地域コミュニティの育成

(15) 国際化の推進

(26) 消費生活の充実

【福祉・生涯学習】

(37) 健康づくりの推進

(39) 国民健康保険の充実

(41) 生涯学習推進体制の確立

(43) 図書館の活用

(47) 青少年の健全育成

(38) 保健・医療の推進

(40) 国民年金の充実

(42) 生涯学習支援体制の充実

(46) 社会教育の促進

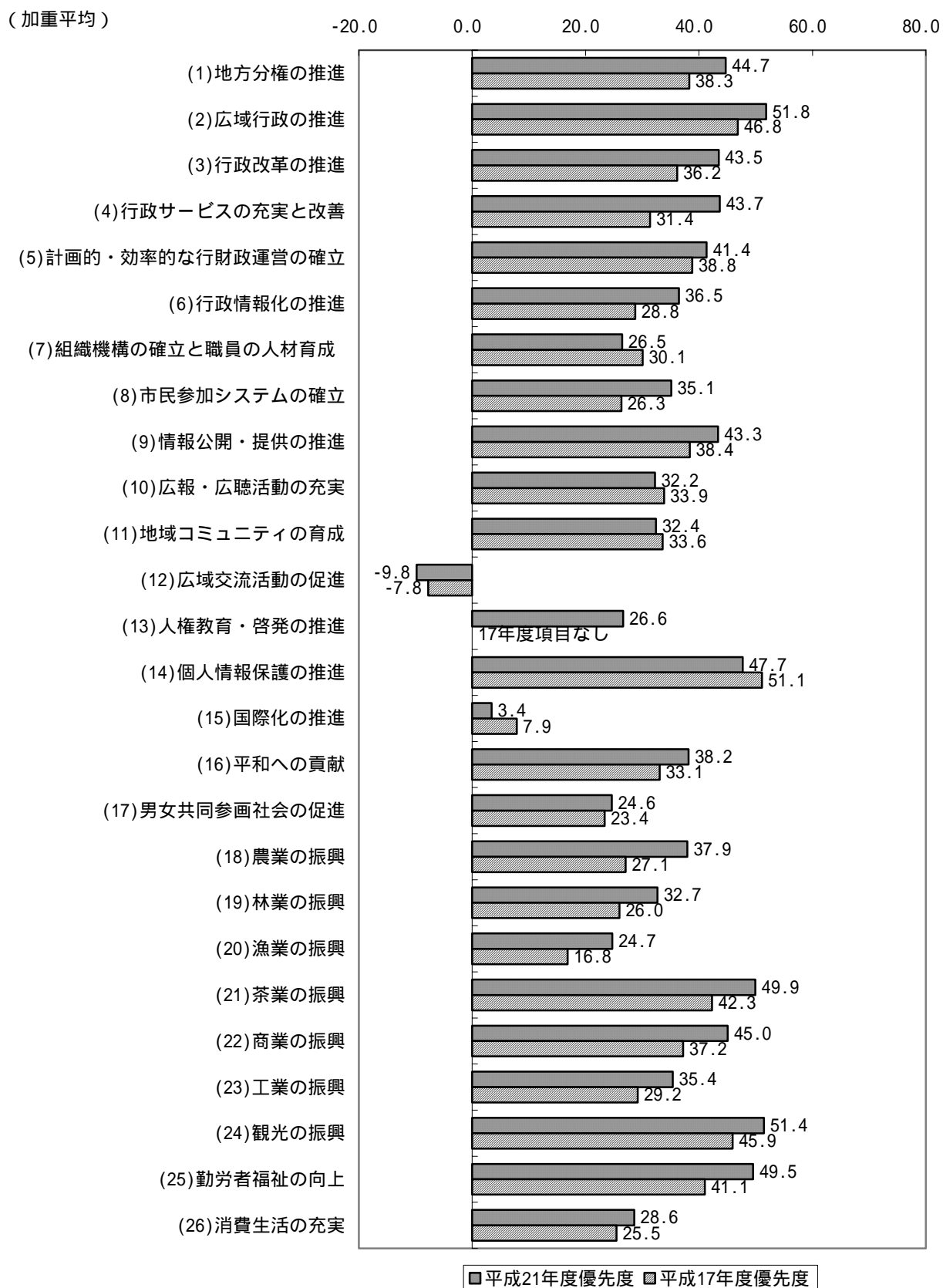
【環境・安全・都市基盤整備】

(56) 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

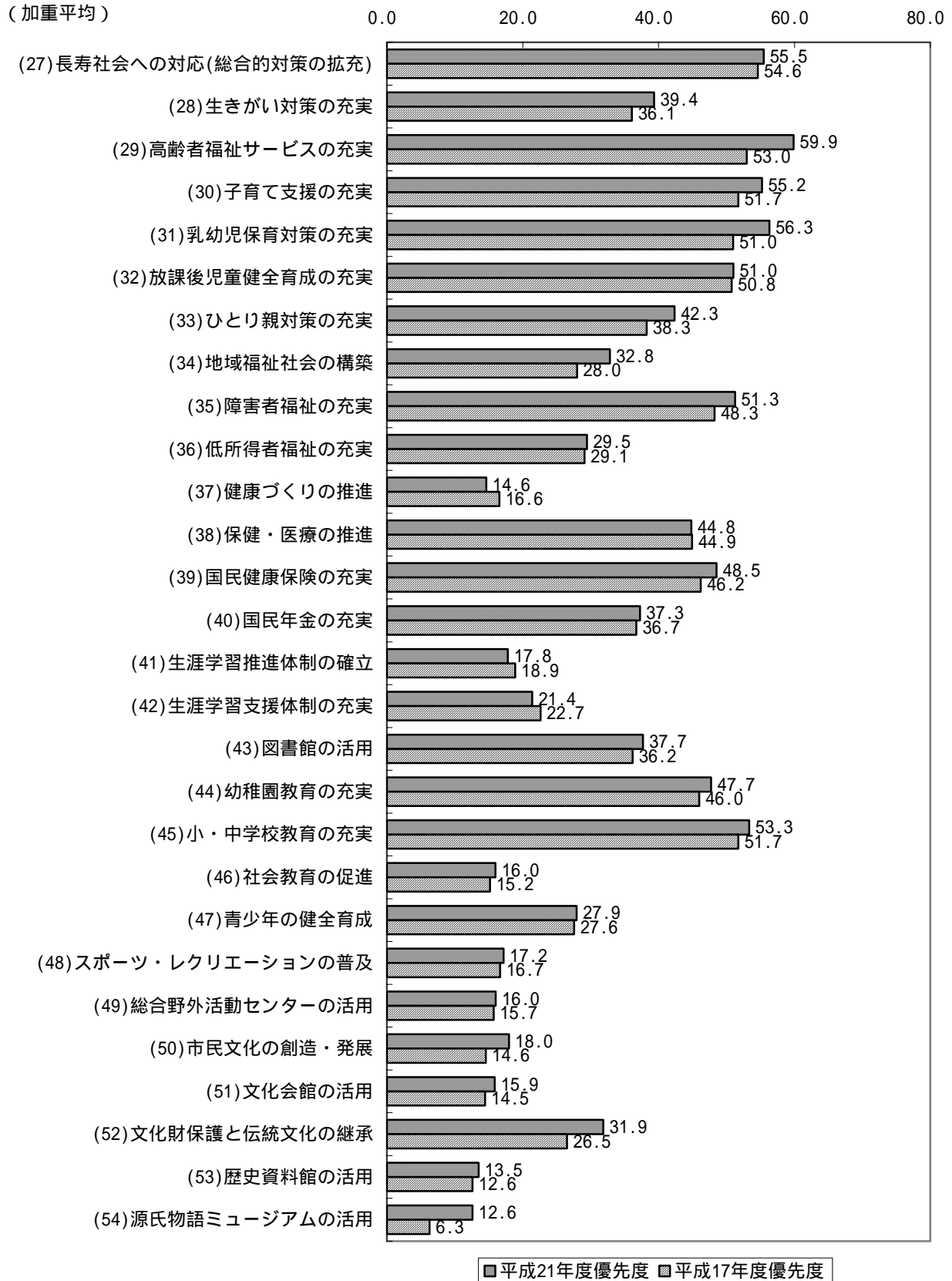
(57) ごみの減量化及びし尿処理の推進

今後の優先度の経年比較

図表 施策の今後の優先度の経年比較「行政・人権・経済」

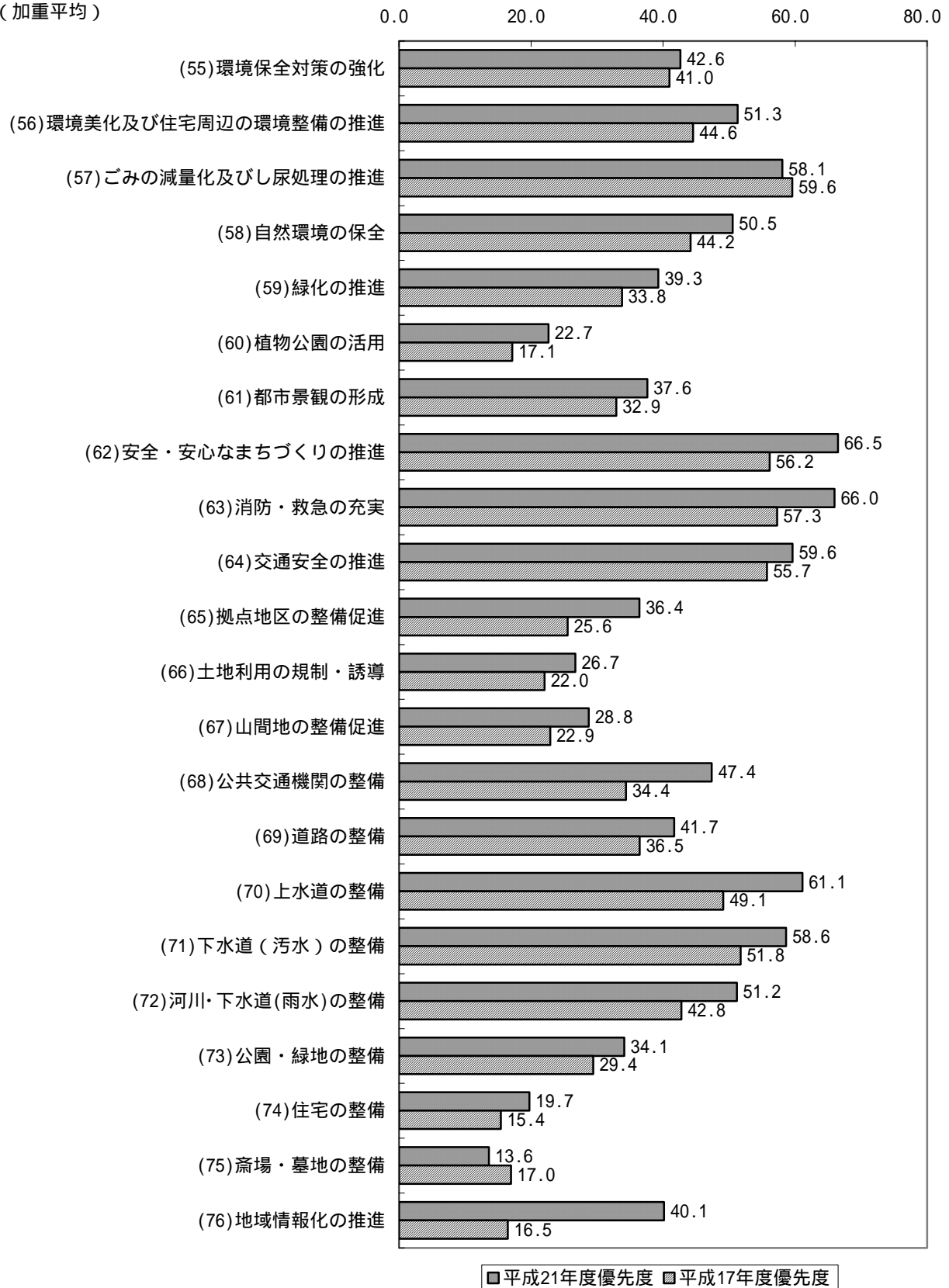


図表 施策の今後の優先度の経年比較「福祉・生涯学習」



図表 施策の今後の優先度の経年比較「環境・安全・都市基盤整備」

(加重平均)



今後の優先度を過去の調査と比較すると、加重平均の差の大きさに関係なく、優先度が上昇したのは、以下の項目となっている。

【行政・人権・経済】

- | | |
|---------------------|-----------------|
| (1)地方分権の推進 | (2)広域行政の推進 |
| (3)行政改革の推進 | (4)行政サービスの充実と改善 |
| (5)計画的・効率的な行財政運営の確立 | (6)行政情報化の推進 |
| (8)市民参加システムの確立 | (9)情報公開・提供の推進 |
| (16)平和への貢献 | (17)男女共同参画社会の促進 |
| (18)農業の振興 | (19)林業の振興 |
| (20)漁業の振興 | (21)茶業の振興 |
| (22)商業の振興 | (23)工業の振興 |
| (24)観光の振興 | (25)勤労者福祉の向上 |
| (26)消費生活の充実 | |

【福祉・生涯学習】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| (27)長寿社会への対応(総合的対策の拡充) | (28)生きがい対策の充実 |
| (29)高齢者福祉サービスの充実 | (30)子育て支援の充実 |
| (31)乳幼児保育対策の充実 | (32)放課後児童健全育成の充実 |
| (33)ひとり親対策の充実 | (34)地域福祉社会の構築 |
| (35)障害者福祉の充実 | (36)低所得者福祉の充実 |
| (39)国民健康保険の充実 | (40)国民年金の充実 |
| (43)図書館の活用 | (44)幼稚園教育の充実 |
| (45)小・中学校教育の充実 | (46)社会教育の促進 |
| (47)青少年の健全育成 | (48)スポーツ・レクリエーションの普及 |
| (49)総合野外活動センターの活用 | (50)市民文化の創造・発展 |
| (51)文化会館の活用 | (52)文化財保護と伝統文化の継承 |
| (53)歴史資料館の活用 | (54)源氏物語ミュージアムの活用 |

【環境・安全・都市基盤整備】

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| (55)環境保全対策の強化 | (56)環境美化及び住宅周辺環境整備の推進 |
| (58)自然環境の保全 | (59)緑化の推進 |
| (60)植物公園の活用 | (61)都市景観の形成 |
| (62)安全・安心なまちづくりの推進 | (63)消防・救急の充実 |
| (64)交通安全の推進 | (65)拠点地区の整備促進 |
| (66)土地利用の規制・誘導 | (67)山間地の整備促進 |
| (68)公共交通機関の整備 | (69)道路の整備 |
| (70)上水道の整備 | (71)下水道(汚水)の整備 |
| (72)河川・下水道(雨水)の整備 | (73)公園・緑地の整備 |
| (74)住宅の整備 | (76)地域情報化の推進 |

(6)【総合計画の編・章】「第4次総合計画」の編・章別にみた評価と優先度

「第4次総合計画」の編・章別の評価と優先度

図表 「第4次総合計画」の編・章別の評価と優先度（一覧表）

編	章	評価	優先度
1	市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざして	18.4	35.1
	1-1.地方分権の推進	20.1	48.3
	1-2.行政改革の推進	19.0	38.3
	1-3.市民参加と情報公開・提供の拡充	19.9	36.9
	1-4.住民自治の推進	10.4	11.3
2	人間性ゆたかで平和な社会を目指して	19.8	28.1
	2-1.基本的人権の尊重	19.8	37.2
	2-2.国際化の推進と平和への貢献	20.6	20.9
	2-3.男女共同参画社会の促進	18.4	24.6
3	活力ある地域経済の振興を目指して	26.2	39.5
	3-1.農林漁業・茶業の振興	26.2	36.4
	3-2.商工業・観光の振興	29.1	44.0
	3-3.市民生活の向上	21.8	39.1
4	健康でゆたかな暮らしをめざして	25.2	44.2
	4-1.長寿社会への対応	29.9	51.6
	4-2.少子化社会への対応	30.1	51.2
	4-3.地域福祉体制の確立	21.5	37.9
	4-4.健康づくりの推進	18.7	29.8
	4-5.社会保障制度の充実	20.4	42.9
5	歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざして	21.2	24.8
	5-1.生涯学習の推進	21.6	25.7
	5-2.学校教育の充実	28.6	50.5
	5-3.社会教育の充実	14.9	19.3
	5-4.市民文化の創造・発展と伝統文化の継承	22.9	18.4
6	安全でうるおいのある環境をめざして	27.6	49.5
	6-1.環境保全対策の推進	27.7	50.7
	6-2.緑とうるおいのある環境整備	24.7	37.5
	6-3.魅力ある都市空間の形成	23.6	37.6
	6-4.安全・安心なまちづくりの推進	31.9	64.0
7	快適で便利な都市をめざして	21.6	38.3
	7-1.良好な市街地の整備	10.0	31.6
	7-2.山間地の振興	15.7	28.8
	7-3.都市基盤・生活基盤施設の整備	23.8	40.9
	7-4.高度情報化社会への対応	33.4	40.1

76項目の「節」(施策)を「第4次総合計画」の「編」及び「章」のグループ単位で集計し直した評価と優先度の加重平均は、上記のとおりとなる。

「第4次総合計画」の編ごとの評価と優先度（各々加重平均の高い順）

図表 「第4次総合計画」の編ごとの評価と優先度（各々加重平均の高い順）

編	評価	編	優先度
6 安全でうるおいのある環境をめざして	27.6	6 安全でうるおいのある環境をめざして	49.5
3 活力ある地域経済の振興を目指して	26.2	4 健康でゆたかな暮らしをめざして	44.2
4 健康でゆたかな暮らしをめざして	25.2	3 活力ある地域経済の振興を目指して	39.5
7 快適で便利な都市をめざして	21.6	7 快適で便利な都市をめざして	38.3
5 歴史かある文化の創造と生涯学習の推進をめざして	21.2	1 市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざして	35.1
2 人間性ゆたかで平和な社会を目指して	19.8	2 人間性ゆたかで平和な社会を目指して	28.1
1 市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざして	18.4	5 歴史かある文化の創造と生涯学習の推進をめざして	24.8

（注）網かけをした領域は、「これまでの施策に対する評価」76項目全体の平均22.9未満であることを意味し、「今後の優先度」76項目全体の平均37.4以上であることを意味する。

76項目のこれまでの施策に対する評価と今後の優先度を「第4次総合計画」の「編」単位で集計し直し、評価・優先度それぞれの高い順に並べると上表のとおりとなる。

「第4次総合計画」の章ごとの評価と優先度（各々加重平均の高い順）

図表 「第4次総合計画」の章ごとの評価と優先度（各々加重平均の高い順）

順位	編	章	評価	編	章	優先度
1	7	7-4. 高度情報化社会への対応	33.4	6	6-4. 安全・安心なまちづくりの推進	64.0
2	6	6-4. 安全・安心なまちづくりの推進	31.9	4	4-1. 長寿社会への対応	51.6
3	4	4-2. 少子化社会への対応	30.1	4	4-2. 少子化社会への対応	51.2
4	4	4-1. 長寿社会への対応	29.9	6	6-1. 環境保全対策の推進	50.7
5	3	3-2. 商工業・観光の振興	29.1	5	5-2. 学校教育の充実	50.5
6	5	5-2. 学校教育の充実	28.6	1	1-1. 地方分権の推進	48.3
7	6	6-1. 環境保全対策の推進	27.7	3	3-2. 商工業・観光の振興	44.0
8	3	3-1. 農林漁業・茶業の振興	26.2	4	4-5. 社会保障制度の充実	42.9
9	6	6-2. 緑とうるおいのある環境整備	24.7	7	7-3. 都市基盤・生活基盤施設の整備	40.9
10	7	7-3. 都市基盤・生活基盤施設の整備	23.8	7	7-4. 高度情報化社会への対応	40.1
11	6	6-3. 魅力ある都市空間の形成	23.6	3	3-3. 市民生活の向上	39.1
12	5	5-4. 市民文化の創造・発展と伝統文化の継承	22.9	1	1-2. 行政改革の推進	38.3
13	3	3-3. 市民生活の向上	21.8	4	4-3. 地域福祉体制の確立	37.9
14	5	5-1. 生涯学習の推進	21.6	6	6-3. 魅力ある都市空間の形成	37.6
15	4	4-3. 地域福祉体制の確立	21.5	6	6-2. 緑とうるおいのある環境整備	37.5
16	2	2-2. 国際化の推進と平和への貢献	20.6	2	2-1. 基本的人権の尊重	37.2
17	4	4-5. 社会保障制度の充実	20.4	1	1-3. 市民参加と情報公開・提供の拡充	36.9
18	1	1-1. 地方分権の推進	20.1	3	3-1. 農林漁業・茶業の振興	36.4
19	1	1-3. 市民参加と情報公開・提供の拡充	19.9	7	7-1. 良好な市街地の整備	31.6
20	1	1-2. 行政改革の推進	19.9	4	4-4. 健康づくりの推進	29.8
21	2	2-1. 基本的人権の尊重	19.8	7	7-2. 山間地の振興	28.8
22	4	4-4. 健康づくりの推進	18.7	5	5-1. 生涯学習の推進	25.7
23	2	2-3. 男女共同参画社会の促進	18.4	2	2-3. 男女共同参画社会の促進	24.6
24	7	7-2. 山間地の振興	15.7	2	2-2. 国際化の推進と平和への貢献	20.9
25	5	5-3. 社会教育の充実	14.9	5	5-3. 社会教育の充実	19.3
26	1	1-4. 住民自治の推進	10.4	5	5-4. 市民文化の創造・発展と伝統文化の継承	18.4
27	7	7-1. 良好な市街地の整備	10.0	1	1-4. 住民自治の推進	11.3

（注）網かけをした領域は、「これまでの施策に対する評価」76項目全体の平均22.9未満であることを意味し、「今後の優先度」76項目全体の平均37.4以上であることを意味する。

76項目のこれまでの施策に対する評価と今後の優先度を「第4次総合計画」の「章」単位で集計し直し、評価・優先度それぞれの高い順に並べると上表のとおりとなる。

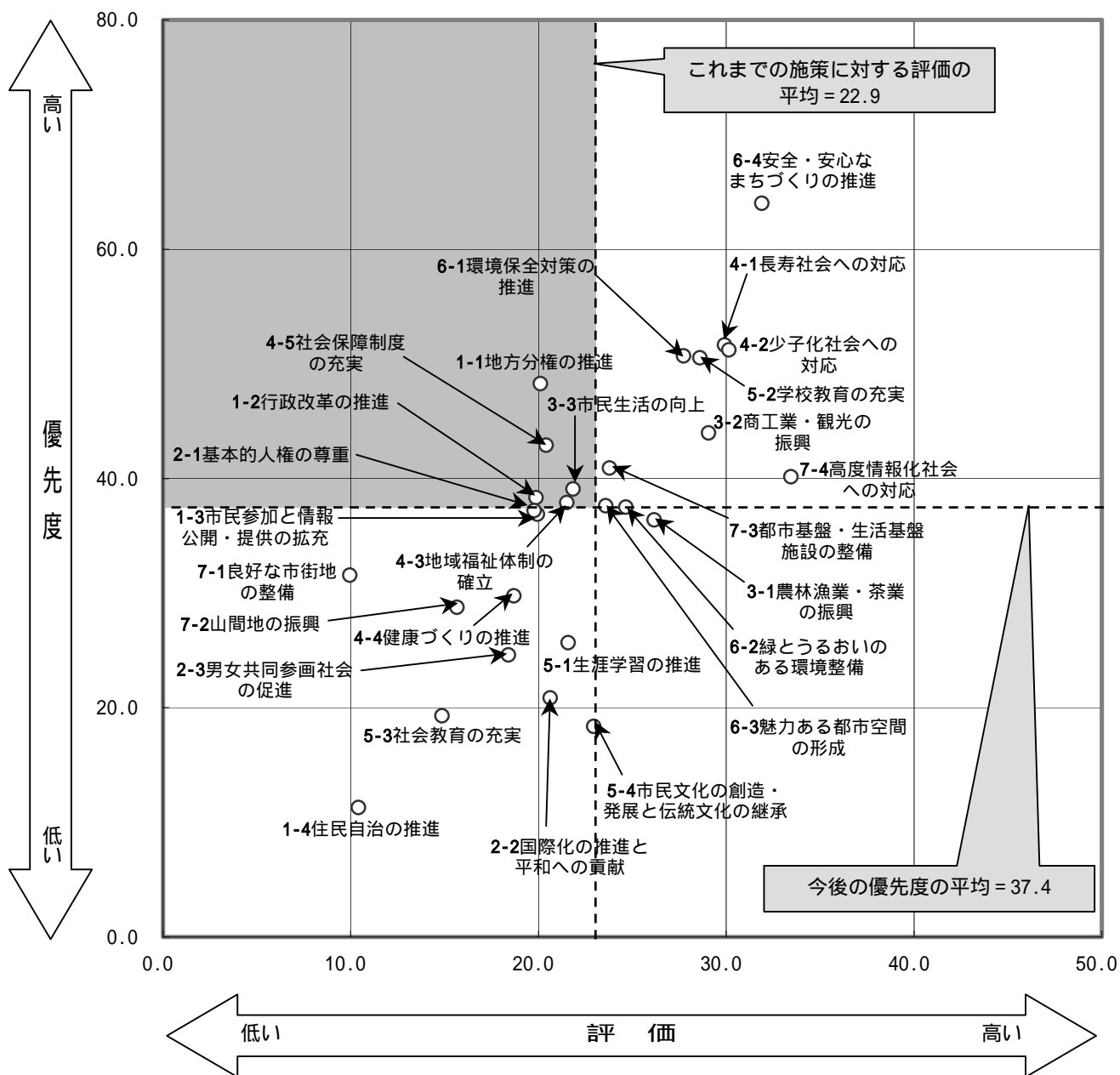
76項目全体の評価の平均22.9未満には、「1 市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざして」編に属する「1-1. 地方分権の推進」「1-2. 行政改革の推進」「1-3. 市民参加と情報公開・提供の拡充」「1-4. 住民自治の推進」の4つの章すべてが含まれており、「市民と行政のパートナーシップによるまちづくり」に係る取り組みは十分ではないという評価が現れている。

他方、76項目全体の優先度の平均37.4以上には、「4 健康でゆたかな暮らしをめざして」や「6 安全でうるおいのある環境をめざして」に属する章がそれぞれ4つずつ含まれており、「健康でゆたかな暮らし」「安全でうるおいのある環境」の実現に係る取り組みが特に重視されているといえる。

76項目全体の評価の平均以上に多く属している「4 健康でゆたかな暮らしをめざして」と「6 安全でうるおいのある環境をめざして」が優先度の平均以上にも多く属していることから、これまでの取り組みに対する評価が比較的高い上に、さらに引き続き対応が求められているといえる。

「第4次総合計画」の章別にみた施策の評価と優先度の関係

図表 「第4次総合計画」の章別にみた施策の評価と優先度の関係



「第4次総合計画」の章別にみた施策の評価と優先度の関係を図式化すると上図のとおりとなる。「1-1.地方分権の推進」「1-2.行政改革の推進」「3-3.市民生活の向上」「4-3.地域福祉体制の確立」「4-5.社会保障制度の充実」の5項目は、評価が低く、優先度が高い領域（網かけ部分）に入っている。

9 宇治市政全般に対する意見

最後に、宇治市政全般についてご意見がございましたら、以下にご自由にお書きください。

宇治市政全般に対する要望や提言等の意見を記述により求めたところ、意見総数864件の回答が寄せられた（1人の回答者が異なる複数の内容を記述している場合は、内容ごとに1件の回答として分類し、集計した）。

意見の分類は、「宇治市第4次総合計画」の基本計画の7つの「編」を大分類とし、各編に含まれる「節」（施策）ごとに分類を行った。

分類	件数
1. 市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざして	216
地方分権の推進	1
広域行政の推進	3
行政改革の推進	26
行政サービスの充実と改善	37
計画的・効率的な行財政運営の確立	45
組織機構の確立と職員の人材育成	23
市民参加システムの確立	13
情報公開・提供の推進	3
広報・広聴活動の充実	41
地域コミュニティの育成	2
その他	22
【行政サービスの充実や改善、行財政運営に関する主な意見】	
● 土日祝日の窓口開設	
● 夜間の窓口開設	
● 身近な公共施設での窓口サービスの提供（各種手続き等）	
【広報活動の充実に関する主な意見】	
● 行政情報の積極的な発信	
● 市政のPRの強化	
● 若い世代に市政（基本方針や施策）をPR	
● 市政だよりやホームページ以外の手段による情報発信の強化	
2. 人間性ゆたかで平和な社会をめざして	5
個人情報保護の推進	3
その他	2
3. 活力ある地域経済の振興をめざして	48
農業の振興	1
茶業の振興	8
観光の振興	24
勤労者福祉の向上	7
その他	8
【観光の振興に関する主な意見】	
● 商店街の活性化	
● 宇治の魅力をもっとアピール、世界に向けた情報発信	
● お茶・宇治川だけではだめ	
● 宇治橋周辺だけでなく黄檗山や三室戸寺も含めた観光地化	

分類	件数
4. 健康でゆたかな暮らしをめざして	129
総合的対策の拡充	18
生きがい対策の充実	3
高齢者福祉サービスの充実	12
子育て支援の充実	35
乳幼児保育対策の充実	12
放課後児童健全育成の充実	2
地域福祉社会の構築	1
障害者福祉の充実	9
低所得者福祉の充実	8
保健・医療の推進	8
国民健康保険の充実	5
国民年金の充実	4
その他	12
【子育て支援の充実に関する主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て医療費の充実 ● 子育てに魅力のあるまちづくり 	
5. 歴史かおる文化の創造と生涯学習の推進をめざして	64
生涯学習支援体制の充実	3
図書館の活用	7
小・中学校教育の充実	26
社会教育の促進	2
スポーツ・レクリエーションの普及	5
市民文化の創造・発展	5
文化会館の活用	2
文化財保護と伝統文化の継承	1
源氏物語ミュージアムの活用	3
その他	10
【小・中学校教育の充実に関する主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化した学校施設整備の最優先 ● 教育費の充実 ● 中学校給食の導入 	
6. 安全でうるおいのある環境をめざして	139
環境保全対策の強化	1
環境美化及び住宅周辺環境整備の推進	18
ごみの減量化及びし尿処理の推進	19
自然環境の保全	14
緑化の推進	4
植物公園の活用	3
都市景観の形成	18
安全・安心なまちづくりの推進	25
消防・救急の充実	3
交通安全の推進	25
その他	9
【安全・安心のまちづくりに関する主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して暮らせるまちづくり ● 子どもの安全 ● 犯罪防止 ● 警察のパトロール強化 	
【交通安全の推進に関する主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 府道宇治淀線の渋滞緩和 ● J R踏切の遮断時間の短縮 	

分類	件数
7. 快適で便利な都市をめざして	181
拠点地区の整備促進	15
山間地の整備促進	5
公共交通機関の整備	40
道路の整備	70
上水道の整備	4
下水道の整備	28
河川・下水道（雨水）の整備	7
公園・緑地の整備	5
住宅の整備	1
斎場・墓地の整備	1
その他	5
【公共交通期間の整備に関する主な意見】	
● バス路線の拡充	
● バスの運行回数の増便	
● 市内循環バスの運行	
● 新駅の設置（近鉄小倉・向島間）	
● 高齢者無料バス・優待パスの導入	
● 駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）	
【道路の整備に関する主な意見】	
● 歩道の拡幅や段差解消（乳母車、高齢者、車椅子の通行確保）	
● 歩行者の安全確保のための歩道の新設（乳母車、高齢者、車椅子）	
● 府道宇治淀線の拡幅（近鉄大久保～JR新田）	
● 宇治川堤防に遊歩道や自転車道の整備	
【下水道の整備に関する主な意見】	
● 下水道の早期整備（100%完成）	
● 下水道料金が低い	
8. その他	82
アンケートについて	52
定額給付金について	6
その他	24
回答数	729
意見総数	864

第3章 町内会・自治会調査の結果

第3章 町内会・自治会調査の結果

1 町内会・自治会の概要

(1) 町内会・自治会の地域

図表 居住地域別及び地域別有効回答数

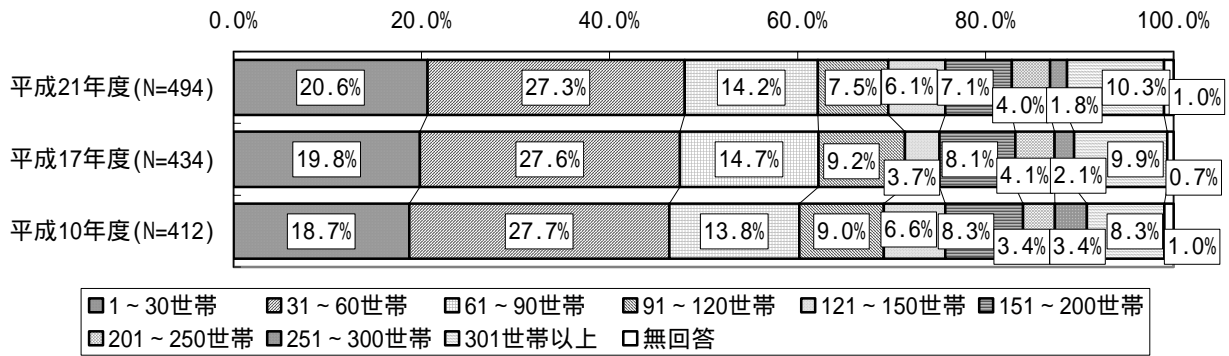
町内会・自治会別有効回答数		地域別有効回答数	
町内会・自治会の地域	回答数	地域区分	回答数
六地蔵	10	地域A	50
木幡	37		
平尾台	3		
木幡	50	地域B	50
五ヶ庄	53	地域C	53
菟道	26	地域D	39
明星町	1		
羽戸山	3		
宇治	9		
宇治	55	地域E	59
琵琶台	2		
天神台	1		
折居台	1		
槇島町	30	地域F	30
小倉町	21	地域G	21
宇治	19	地域H	35
小倉町	15		
南陵町	1		
伊勢田町	18	地域I	36
伊勢田町	16		
安田町	2		
神明	8	地域J	31
神明	13		
開町	6		
羽拍子町	4	地域K	48
大久保町	48		
広野町	26	地域L	27
寺山台	1		
白川	1	地域M	1
志津川	0		
炭山	1	地域N	5
東笠取	1		
西笠取	1		
二尾	1		
池尾	1		
無回答	9	地域区分不明	9
合計	494	合計	494

(注) 木幡 : 熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山 / 木幡 : 木幡 以外
 宇治 : 半白、蔭山、御廟 / 宇治 : 乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸 / 宇治 : 宇治、以外
 神明 : 石塚 / 神明 : 石塚以外
 小倉町 : 西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際 / 小倉町 : 小倉町 以外
 伊勢田町 : 北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田 / 伊勢田町 : 伊勢田町 以外

地域別の回答数は、上表のとおりとなっている。

(2) 町内会・自治会の世帯数

図表 町内会・自治会の世帯数

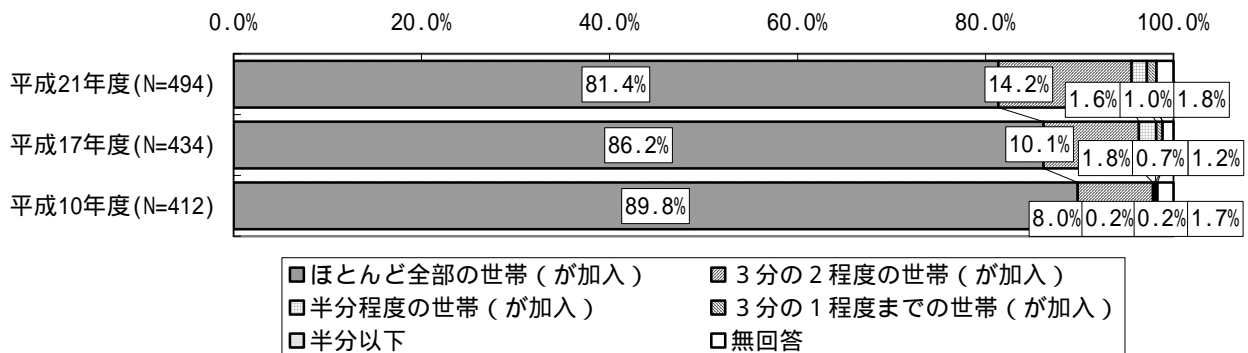


町内会・自治会の世帯数は、「31～60世帯」が27.3%で最も多く、以下、「1～30世帯」が20.6%、「61～90世帯」が14.2%、「301世帯以上」が10.3%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「1～30世帯」と「301世帯以上」が増加傾向となっている。

(3) 町内会・自治会の加入率

図表 町内会・自治会の加入率



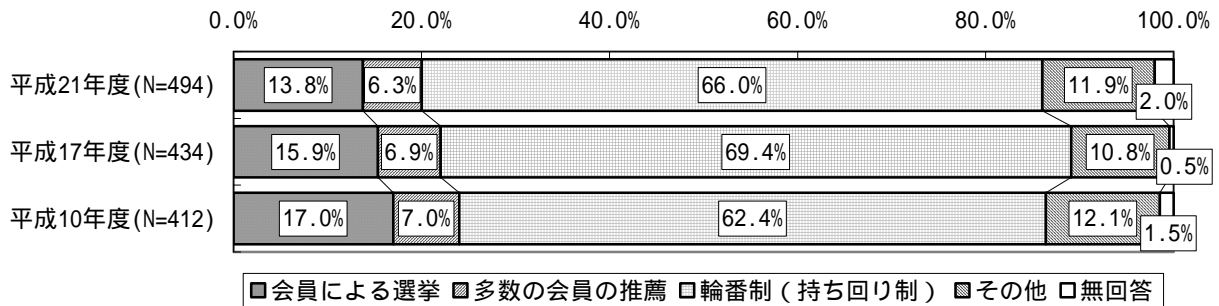
(注)「3分の1程度までの世帯(が加入)」は、平成10年度は選択肢なし。「半分以下」は、平成17年度及び21年度は選択肢なし。

町内会・自治会の加入率は、「ほとんど全部の世帯(が加入)」が81.4%で最も多く、次いで、「3分の2程度までの世帯(が加入)」が14.2%となっている。

過去の調査と比較すると、「3分の2程度までの世帯(が加入)」が増加傾向にある一方、「ほとんど全部の世帯(が加入)」が減少傾向となっている。

(4) 町内会・自治会の役員等の選出方法

図表 町内会・自治会の役員等の選出方法

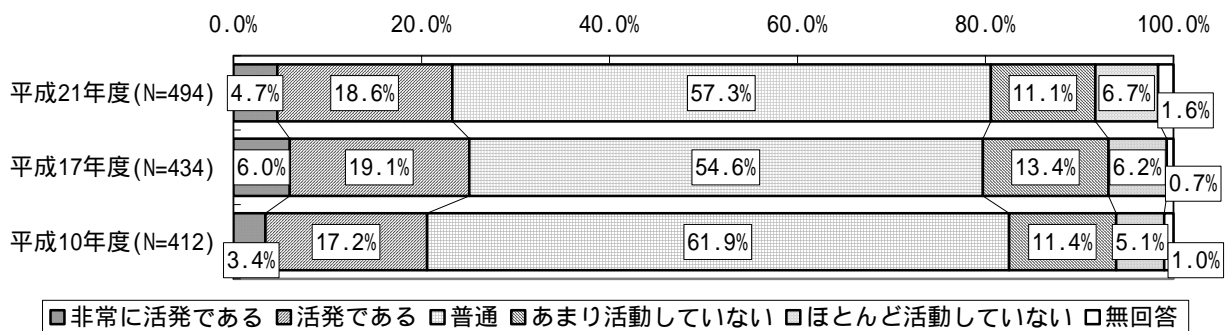


町内会・自治会の役員等の選出方法は、「輪番制(持ち回り制)」が66.0%で最も多く、以下、「会員による選挙」が13.8%、「多数の会員の推薦」が6.3%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「会員による選挙」と「多数の会員の推薦」は減少傾向となっている。

(5) 町内会・自治会の活動状況

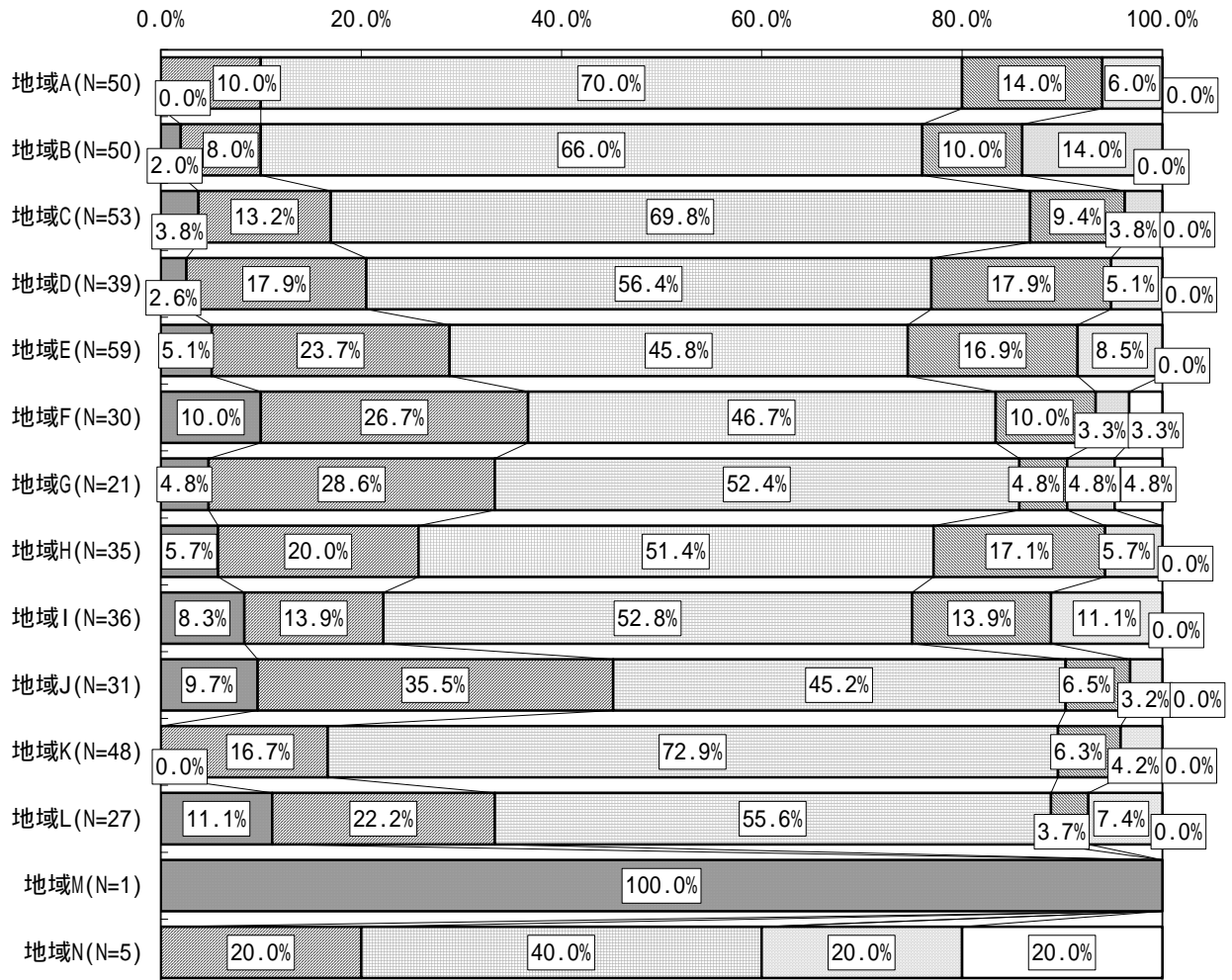
図表 町内会・自治会の活動状況



町内会・自治会の活動状況は、「普通」が57.3%で最も多い。「非常に活発である」(4.7%)と「活発である」(18.6%)を合わせた「活発に活動している」会は23.3%、「ほとんど活動していない」(6.7%)と「あまり活動していない」(11.1%)を合わせた「活発に活動していない」会は17.8%となり、80%程度の町内会・自治会では比較的活発な活動が展開されている。

過去の調査と比較すると、顕著な変化は見出せないが、「活発に活動している」会は、平成10年度の20.6%から2.7ポイント、「活発に活動していない」会は16.5%から1.3ポイントそれぞれ増加する程度となっている。

図表 地域別 町内会・自治会の活動状況



非常に活発である
 活発である
 普通
 あまり活動していない
 ほとんど活動していない
 無回答

地域区分と居住地域名との対応

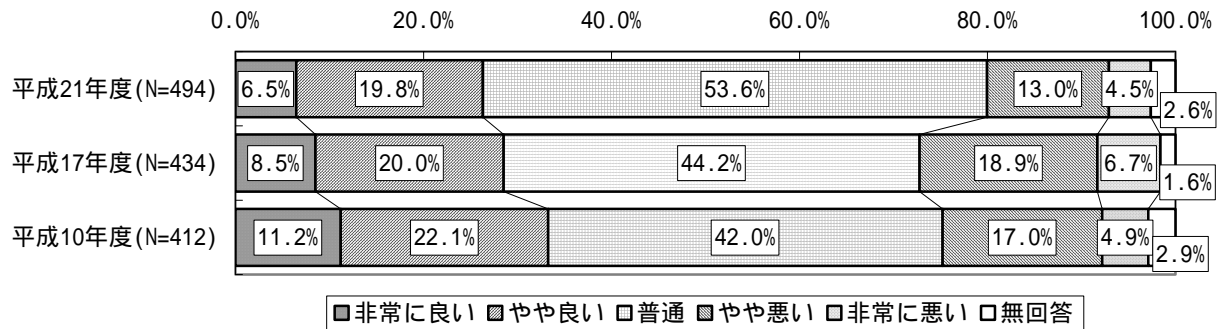
地域A：六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、最も「活発に活動している」会が多い地域は「地域F」で、次いで、「地域H」となっている。

逆に、最も「活発に活動していない」会が多い地域は「地域K」で、次いで、「地域G」となっている。

(6) 町内会・自治会での行事等への住民の参加状況

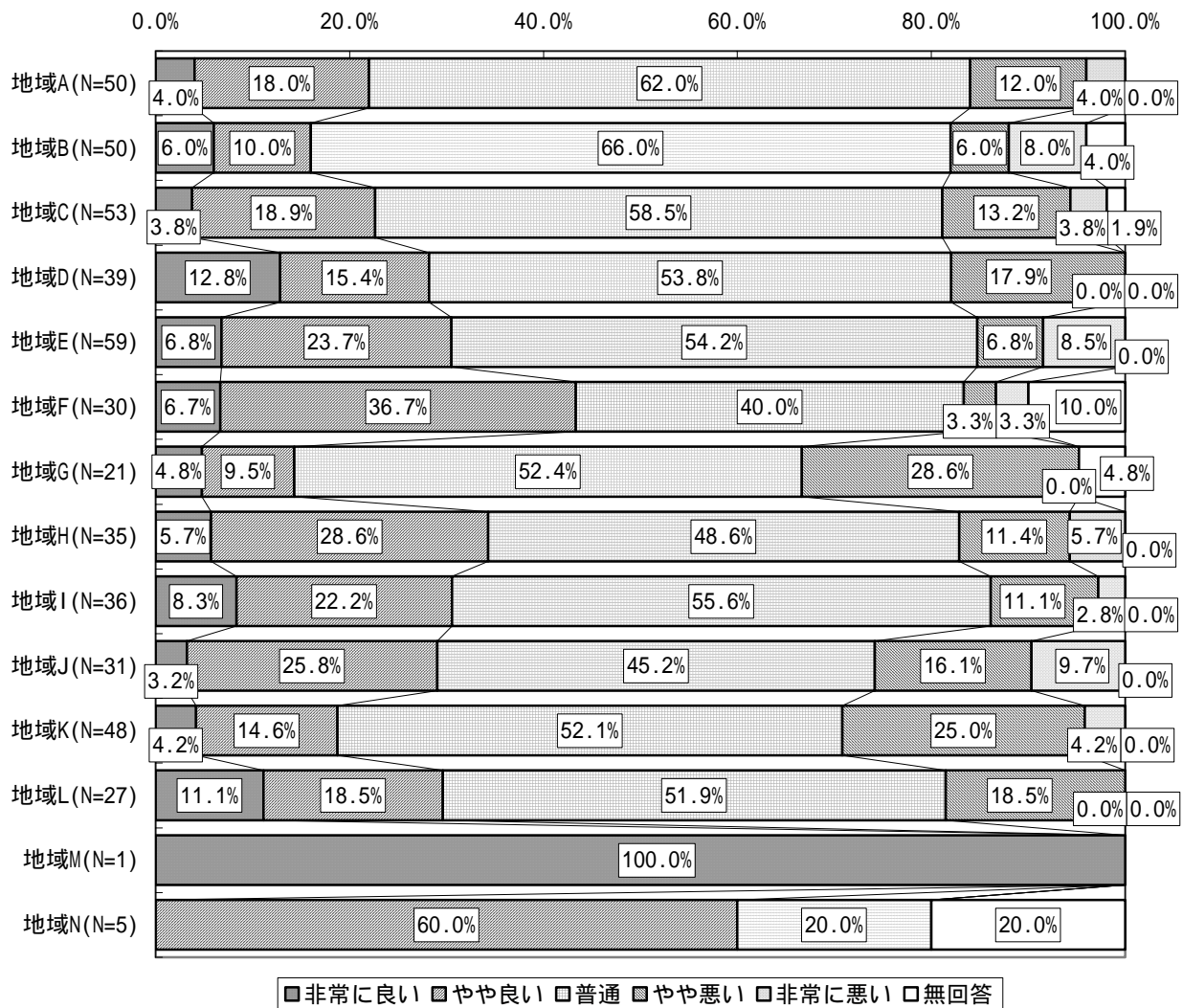
図表 町内会・自治会での行事等への住民の参加状況



町内会・自治会での行事等への住民の参加状況は、「普通」が53.6%で最も多い。「非常に良い」(6.5%)と「やや良い」(19.8%)を合わせた「良い」会は26.3%、「非常に悪い」(4.5%)と「やや悪い」(13.0%)を合わせた「悪い」会は17.5%となり、80%程度の町内会・自治会では住民の参加が比較的良好である。

過去の調査と比較すると、「普通」が増加傾向で推移しているため、参加状況の「良い」会と「悪い」会ともに減少傾向となっている。

図表 地域別 町内会・自治会での行事等への住民の参加状況



地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、最も住民の参加が「良い」地域は「地域J」で、次いで、「地域F」となっている。

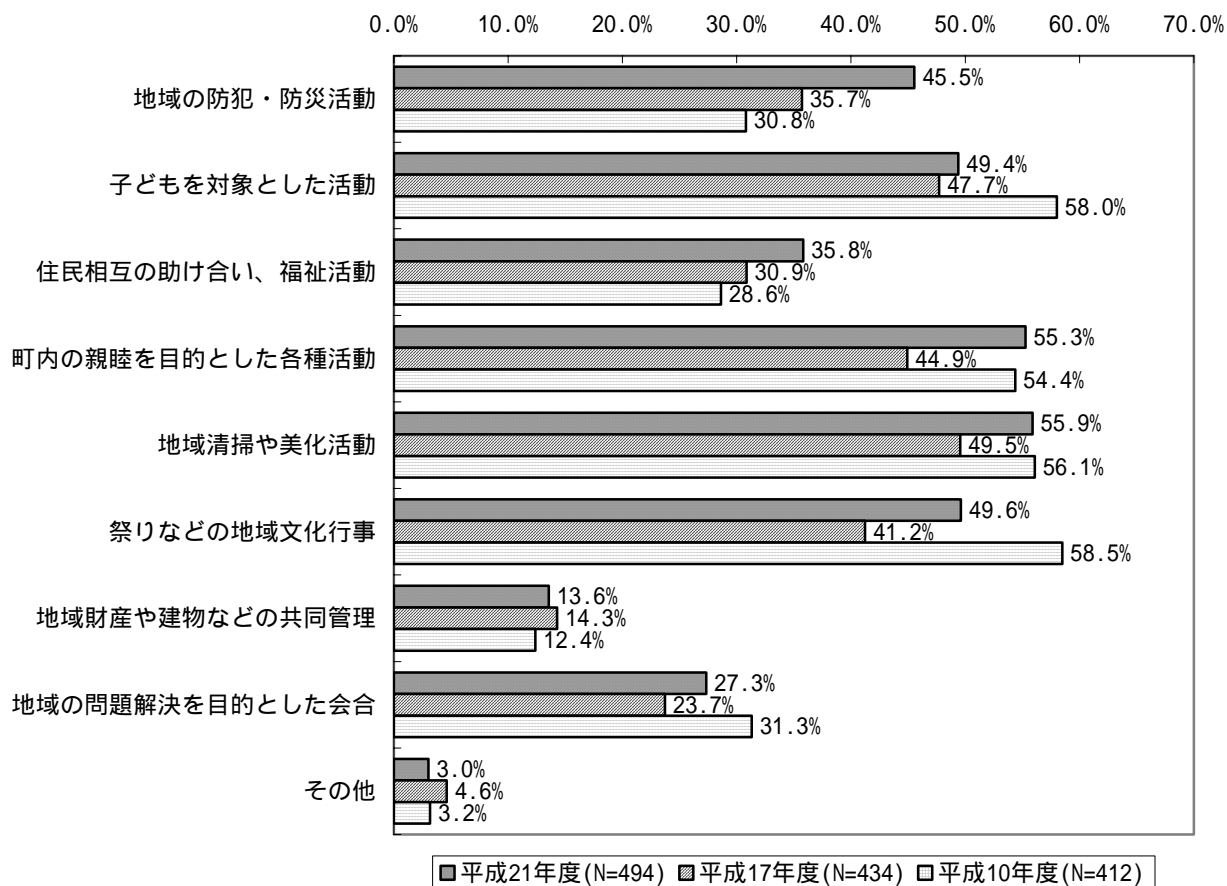
逆に、最も住民の参加が「悪い」地域は「地域E」で、次いで、「地域I」となっている。

2 町内会・自治会活動の内容や問題点について

問7 あなたの町内会・自治会では、どのような活動を行っていますか。当てはまるものすべてに 印を、その中でも特に力を入れているもの1つに 印をつけてください。

(1) 町内会・自治会での活動内容

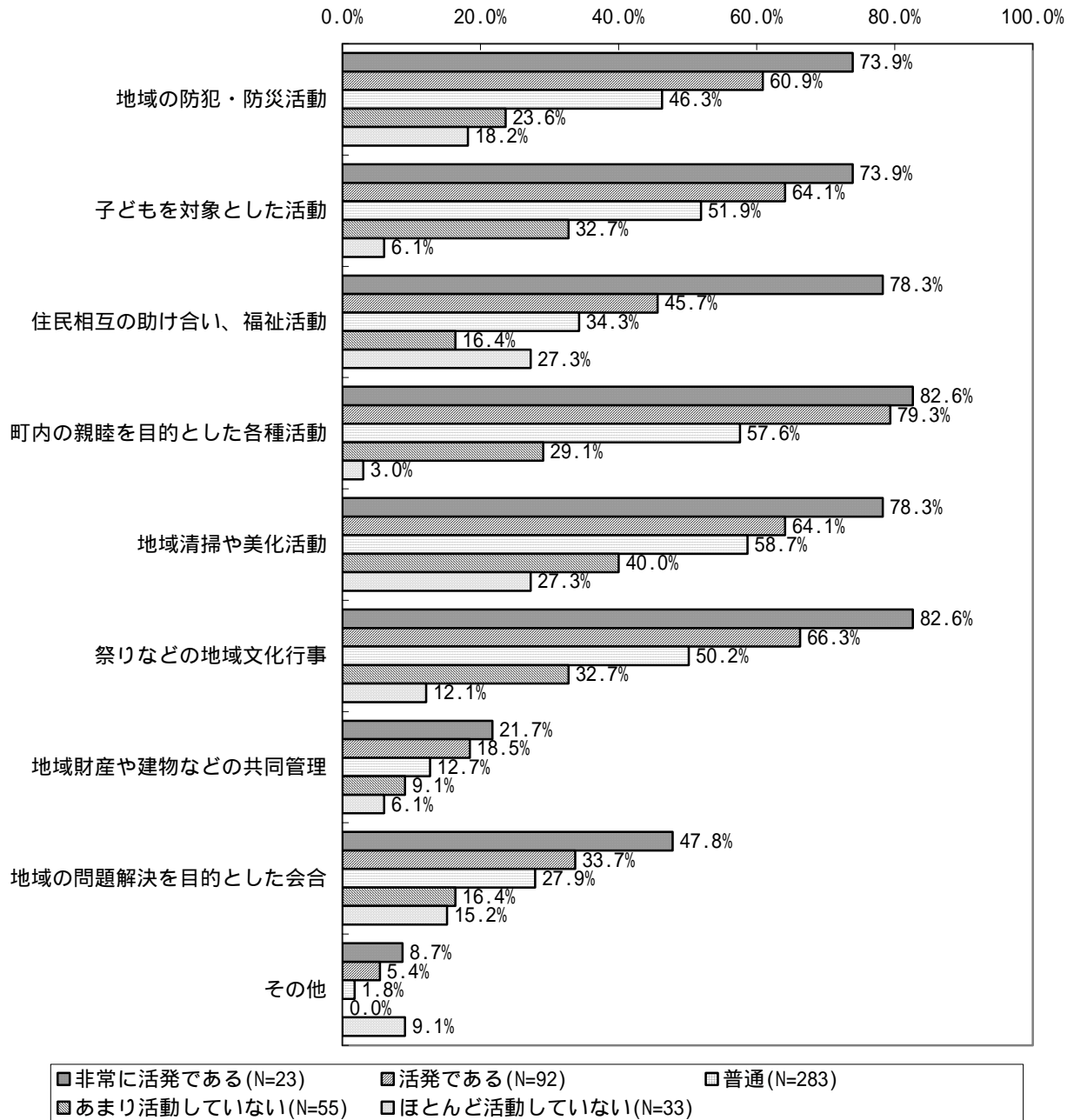
図表 町内会・自治会での活動内容



町内会・自治会での活動内容をたずねたところ、「地域清掃や美化活動」が55.9%で最も多く、以下、「町内の親睦を目的とした各種活動」が55.3%、「祭りなどの地域文化行事」が49.6%、「子どもを対象とした活動」が49.4%、「地域の防犯・防災活動」が45.5%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「地域の防犯・防災活動」と「住民相互の助け合い、福祉活動」が増加傾向となっている。

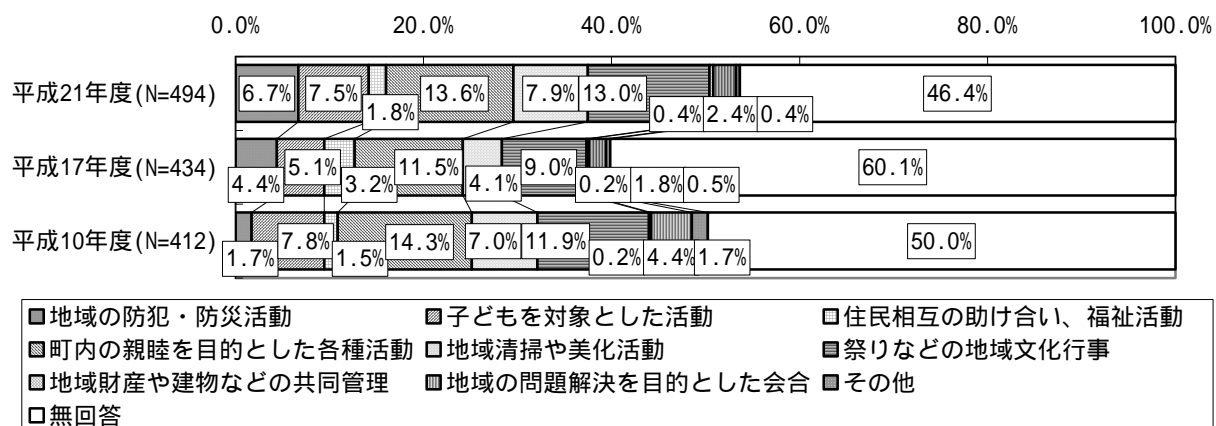
図表 町内会・自治会の活動状況別 町内会・自治会での活動内容



町内会・自治会の活動状況別にみると、各活動とも、活動が活発であるほど取り組まれている割合が大きくなっている。

(2) 特に力を入れている町内会・自治会の活動

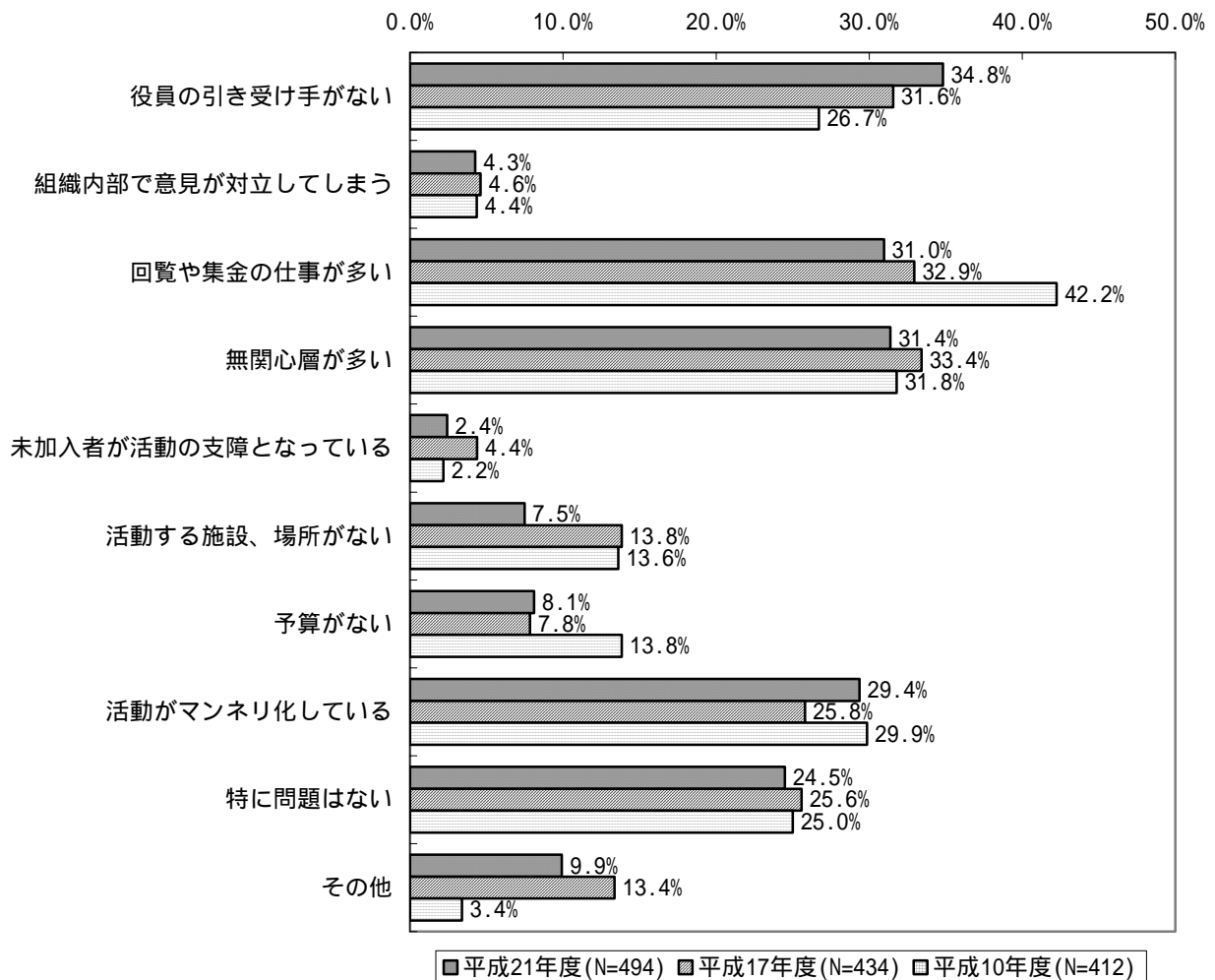
図表 特に力を入れている町内会・自治会の活動



町内会・自治会での活動内容のうち、特に力を入れている活動をたずねたところ、「無回答」を除き、「町内の親睦を目的とした各種活動」が13.6%で最も多く、以下、「祭りなどの地域文化行事」が13.0%、「地域清掃や美化活動」が7.9%、「子どもを対象とした活動」が7.5%などとなっている。過去の調査と比較すると、「地域の防犯・防災活動」が増加傾向となっている。

問 8 あなたの町内会・自治会の活動で、どのような問題がありますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

図表 町内会・自治会活動で生じている問題



町内会・自治会活動で生じている問題をたずねたところ、「役員の引き受け手がない」が34.8%で最も多く、以下、「無関心層が多い」が31.4%、「回覧や集金の仕事が多い」が31.0%、「活動がマンネリ化している」が29.4%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「役員の引き受け手がない」が増加傾向にある一方、「回覧や集金の仕事が多い」が減少傾向にあり、平成10年度に比べて11.2ポイント減少している。

図表 地域別 町内会・自治会活動で生じている問題

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
地域A(N=50)	役員の引き受け手がない	無関心層が多い	活動がマンネリ化している	回覧や集金の仕事が多い	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	活動する施設、場所がない	未加入者が活動の支障となっている
	36.0%	32.0%	32.0%	18.0%	10.0%	6.0%	4.0%	2.0%
地域B(N=50)	無関心層が多い	活動がマンネリ化している	役員の引き受け手がない	回覧や集金の仕事が多い	活動する施設、場所がない	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	未加入者が活動の支障となっている
	28.0%	26.0%	24.0%	20.0%	14.0%	4.0%	2.0%	2.0%
地域C(N=53)	役員の引き受け手がない	回覧や集金の仕事が多い	活動がマンネリ化している	無関心層が多い	活動する施設、場所がない	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	未加入者が活動の支障となっている
	35.8%	35.8%	32.1%	30.2%	9.4%	5.7%	1.9%	1.9%
地域D(N=39)	無関心層が多い	役員の引き受け手がない	活動がマンネリ化している	回覧や集金の仕事が多い	予算がない	未加入者が活動の支障となっている	活動する施設、場所がない	組織内部で意見が対立してしまう
	33.3%	30.8%	20.5%	15.4%	15.4%	5.1%	5.1%	2.6%
地域E(N=59)	回覧や集金の仕事が多い	役員の引き受け手がない	無関心層が多い	活動がマンネリ化している	活動する施設、場所がない	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	未加入者が活動の支障となっている
	39.0%	32.2%	28.8%	25.4%	11.9%	8.5%	5.1%	3.4%
地域F(N=30)	役員の引き受け手がない	活動がマンネリ化している	回覧や集金の仕事が多い	無関心層が多い	組織内部で意見が対立してしまう	活動する施設、場所がない	未加入者が活動の支障となっている	予算がない
	33.3%	30.0%	23.3%	16.7%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%
地域G(N=21)	役員の引き受け手がない	活動がマンネリ化している	回覧や集金の仕事が多い	無関心層が多い	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	未加入者が活動の支障となっている	活動する施設、場所がない
	61.9%	42.9%	33.3%	23.8%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%
地域H(N=35)	活動がマンネリ化している	役員の引き受け手がない	回覧や集金の仕事が多い	無関心層が多い	活動する施設、場所がない	組織内部で意見が対立してしまう	予算がない	未加入者が活動の支障となっている
	31.4%	25.7%	25.7%	25.7%	11.4%	5.7%	2.9%	0.0%
地域I(N=36)	無関心層が多い	回覧や集金の仕事が多い	役員の引き受け手がない	活動がマンネリ化している	組織内部で意見が対立してしまう	予算がない	未加入者が活動の支障となっている	活動する施設、場所がない
	30.6%	25.0%	22.2%	16.7%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%
地域J(N=31)	無関心層が多い	役員の引き受け手がない	回覧や集金の仕事が多い	活動がマンネリ化している	組織内部で意見が対立してしまう	予算がない	活動する施設、場所がない	未加入者が活動の支障となっている
	51.6%	41.9%	41.9%	32.3%	6.5%	6.5%	3.2%	0.0%
地域K(N=48)	役員の引き受け手がない	無関心層が多い	回覧や集金の仕事が多い	活動がマンネリ化している	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	未加入者が活動の支障となっている	活動する施設、場所がない
	52.1%	52.1%	45.8%	35.4%	20.8%	6.3%	4.2%	2.1%
地域L(N=27)	回覧や集金の仕事が多い	活動がマンネリ化している	役員の引き受け手がない	無関心層が多い	活動する施設、場所がない	未加入者が活動の支障となっている	組織内部で意見が対立してしまう	予算がない
	48.1%	33.3%	25.9%	14.8%	11.1%	3.7%	0.0%	0.0%
地域M(N=1)	役員の引き受け手がない	組織内部で意見が対立してしまう	回覧や集金の仕事が多い	無関心層が多い	未加入者が活動の支障となっている	活動する施設、場所がない	予算がない	活動がマンネリ化している
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域N(N=5)	役員の引き受け手がない	活動がマンネリ化している	回覧や集金の仕事が多い	活動する施設、場所がない	予算がない	組織内部で意見が対立してしまう	無関心層が多い	未加入者が活動の支障となっている
	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

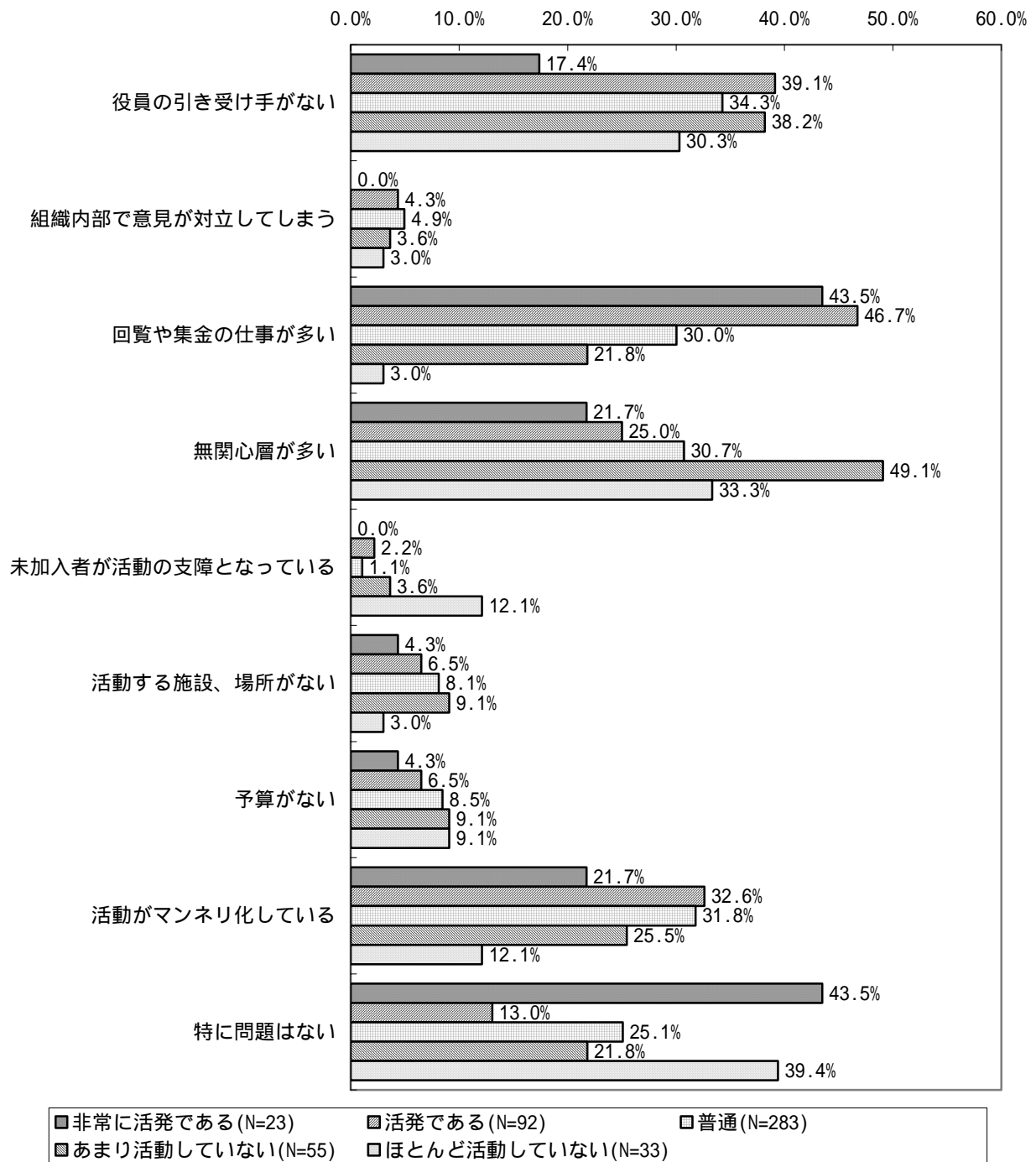
(注)「特に問題はない」と「その他」を除いた8項目。

地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、第3位までには多くの地域で「役員の引き受け手がない」「無関心層が多い」「回覧や集金の仕事が多い」「活動がマンネリ化している」がみられる。

図表 町内会・自治会の活動状況別 町内会・自治会活動で生じている問題

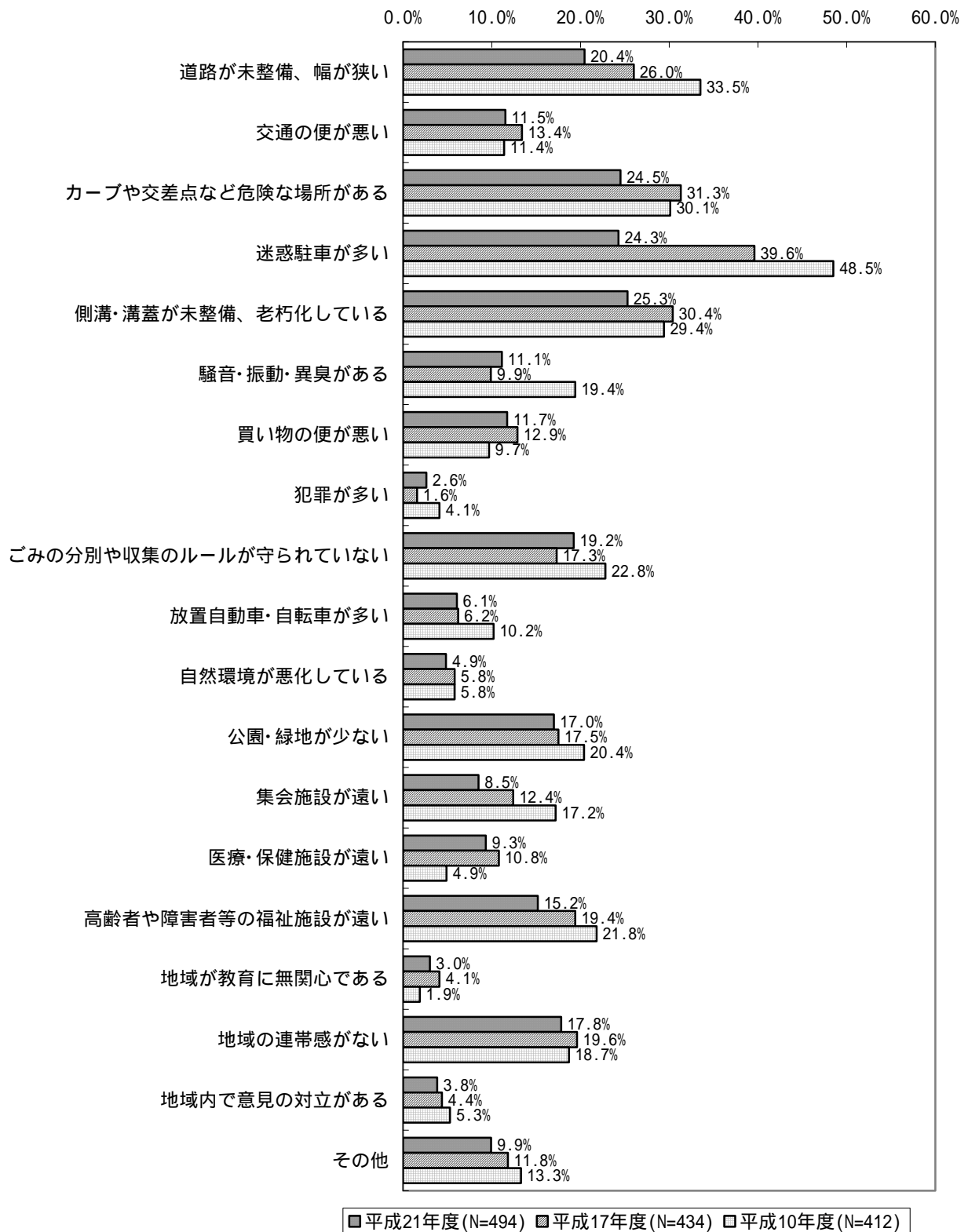


町内会・自治会の活動状況別にみると、活動が活発な会ほど「回覧や集金の仕事が多い」が多く、活動が活発ではない会ほど「無関心層が多い」が多い傾向となっている。

「非常に活発である」会では、「組織内部で意見が対立してしまう」と「未加入者が活動の支障となっている」は0.0%で、問題を感じられていない。

問9 あなたの住んでいる地域では、どのような地域課題がありますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

図表 地域課題



地域課題をたずねたところ、「側溝・溝蓋が未整備、老朽化している」が25.3%で最も多く、以下、「カーブや交差点など危険な場所がある」が24.5%、「迷惑駐車が多い」が24.3%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「道路が未整備、幅が狭い」「迷惑駐車が多い」「公園・緑地が少ない」「集会施設が遠い」「高齢者や障害者等の福祉施設が遠い」「地域内で意見が対立する」などが減少傾向となっている。

図表 地域別 地域課題（回答割合が20.0%以上のもの）

地域A(N=50)	カーブや交差点など危険な場所がある 道路が未整備、幅が狭い 迷惑駐車が多い	地域の連帯感がない 側溝・溝蓋が未整備、老朽化している 公園・緑地が少ない
地域B(N=50)	交通の便が悪い 買い物便が悪い	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している 公園・緑地が少ない
地域C(N=53)	道路が未整備、幅が狭い 迷惑駐車が多い	カーブや交差点など危険な場所がある 地域の連帯感がない
地域D(N=39)	カーブや交差点など危険な場所がある ごみの分別や収集のルールが守られていない	迷惑駐車が多い
地域E(N=59)	カーブや交差点など危険な場所がある 迷惑駐車が多い	ごみの分別や収集のルールが守られていない 道路が未整備、幅が狭い
地域F(N=30)	交通の便が悪い 医療・保健施設が遠い カーブや交差点など危険な場所がある 側溝・溝蓋が未整備、老朽化している	買い物便が悪い 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い 迷惑駐車が多い
地域G(N=21)	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している ごみの分別や収集のルールが守られていない	迷惑駐車が多い 公園・緑地が少ない
地域H(N=35)	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している カーブや交差点など危険な場所がある	迷惑駐車が多い 道路が未整備、幅が狭い
地域I(N=36)	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している 道路が未整備、幅が狭い	迷惑駐車が多い カーブや交差点など危険な場所がある
地域J(N=31)	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している カーブや交差点など危険な場所がある	迷惑駐車が多い 地域の連帯感がない
地域K(N=48)	ごみの分別や収集のルールが守られていない 地域の連帯感がない 騒音・振動・異臭がある	迷惑駐車が多い 側溝・溝蓋が未整備、老朽化している
地域L(N=27)	カーブや交差点など危険な場所がある 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い	側溝・溝蓋が未整備、老朽化している 道路が未整備、幅が狭い
地域M(N=1)	道路が未整備、幅が狭い カーブや交差点など危険な場所がある 買い物便が悪い 医療・保健施設が遠い	交通の便が悪い 迷惑駐車が多い 自然環境が悪化している 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い
地域N(N=5)	道路が未整備、幅が狭い 買い物便が悪い 医療・保健施設が遠い 自然環境が悪化している	交通の便が悪い カーブや交差点など危険な場所がある 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い 集会施設が遠い

地域区分と居住地域名との対応

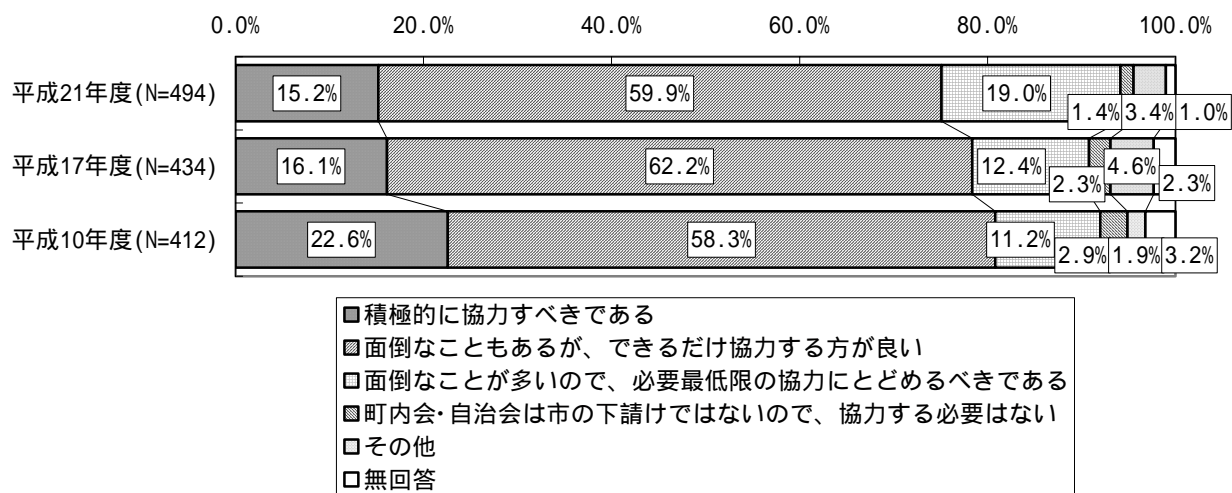
地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C：五ヶ庄
地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F：槇島町
地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、関町、羽拍子町
地域K：大久保町
地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川
地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別に回答割合が20.0%以上だった項目をみると、上表のとおりとなる。

3 町内会・自治会と市の関係、住民参加について

問10 町内会・自治会の市への協力について、あなたはどのようにお考えですか。

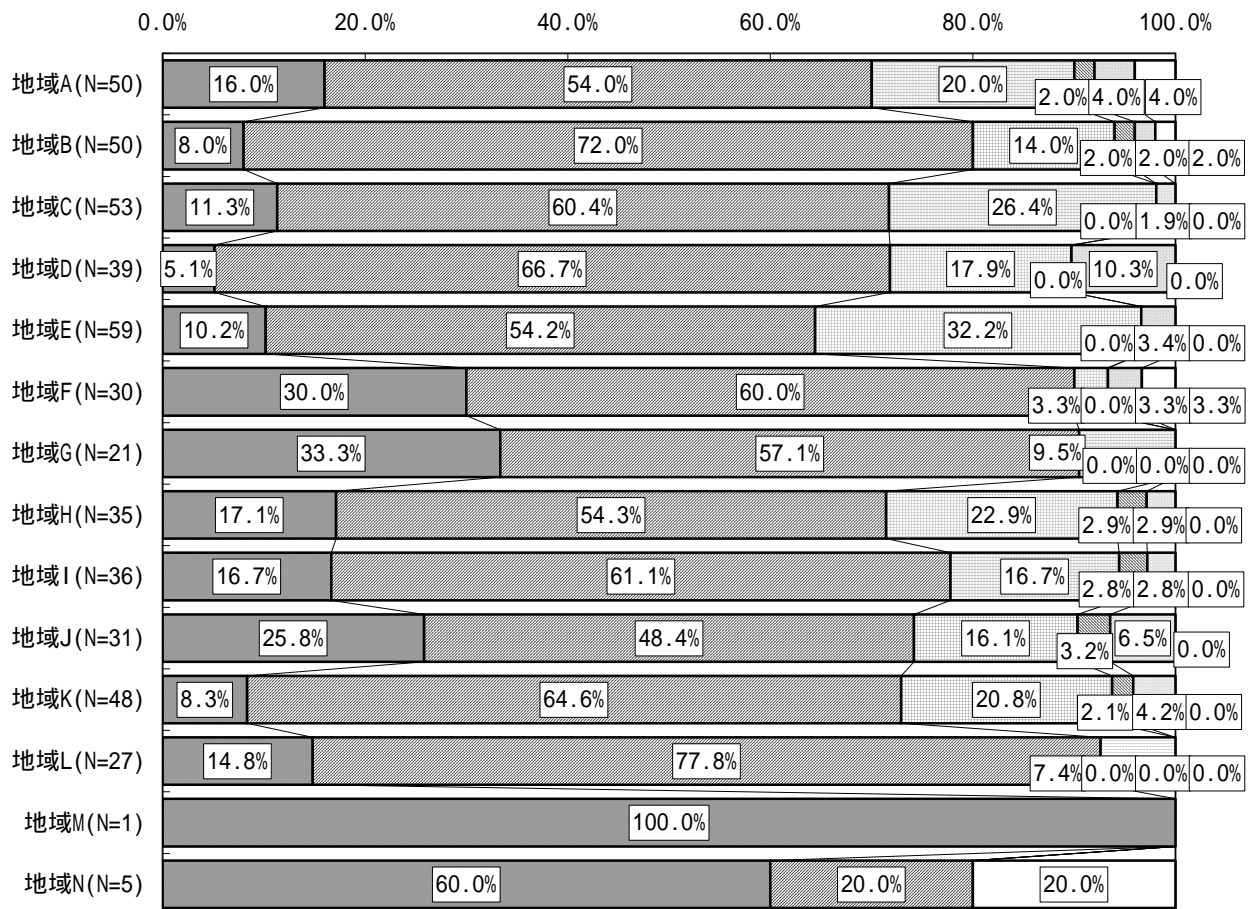
図表 町内会・自治会の市政への協力のあり方



町内会・自治会の市政への協力のあり方をたずねたところ、「面倒なこともあるが、できるだけ協力する方が良い」が59.9%で最も多く、「積極的に協力すべきである」(15.2%)と合わせると75.1%が「協力すべきである」と回答している。

過去の調査と比較すると、「積極的に協力すべきである」が減少傾向にあり、それに伴って「協力すべきである」と考えている会が減少傾向となっている。また、「面倒なことが多いので、必要最低限の協力にとどめるべきである」と「町内会・自治会は市の下請けではないので、協力する必要はない」を合わせた「協力すべきでない」と考えている会が増加傾向となっている。

図表 地域別 町内会・自治会の市政への協力のあり方



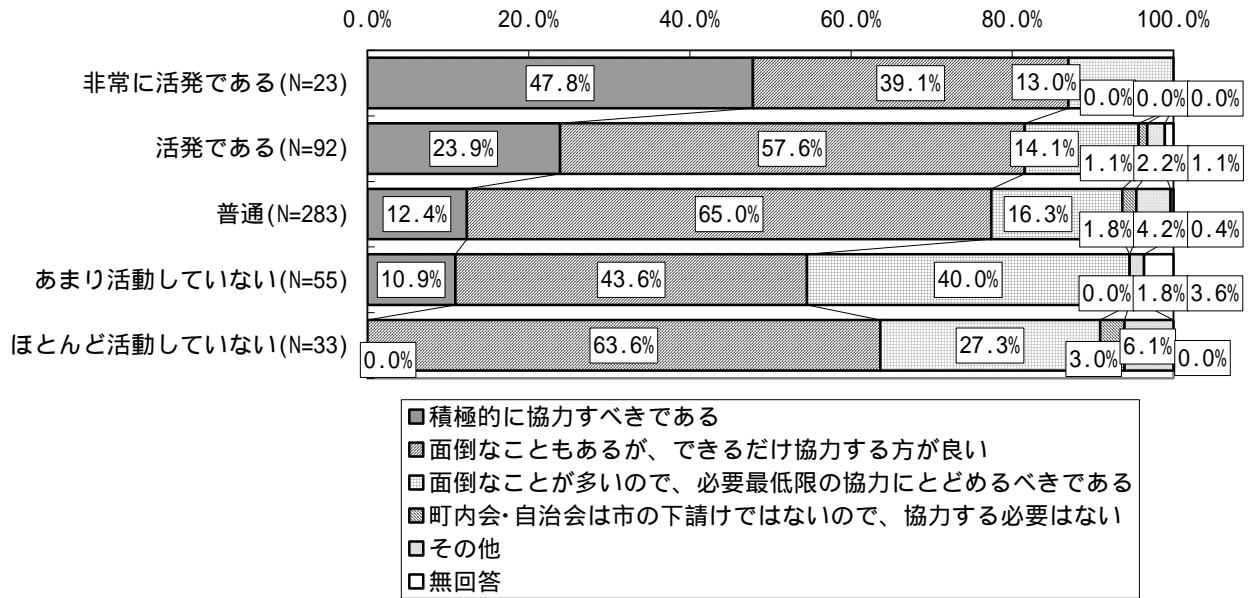
- 積極的に協力すべきである
- 面倒なこともあるが、できるだけ協力する方が良い
- 面倒なことが多いので、必要最低限の協力にとどめるべきである
- 町内会・自治会は市の下請けではないので、協力する必要はない
- その他
- 無回答

地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
 地域F：横島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、陰山、御廟）小倉町（小倉町 以外）南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）伊勢田町（伊勢田町 以外）安田町
 地域J：神明（石塚）神明（石塚以外）開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域F」と「地域G」では「積極的に協力すべきである」が30%以上を占め、他の地域に比べて多い。

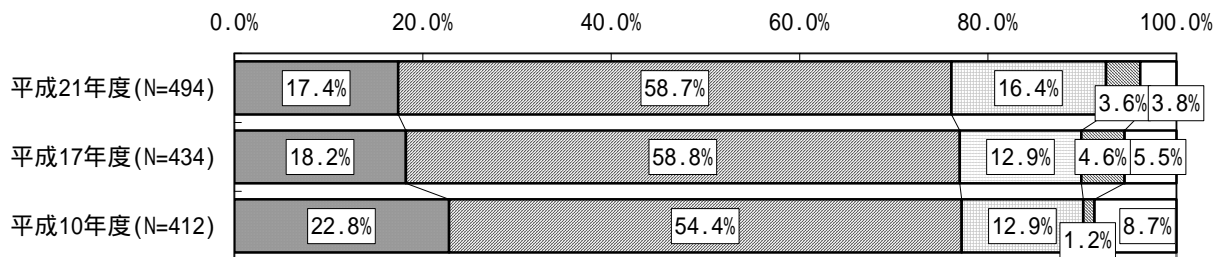
図表 町内会・自治会の活動状況別 町内会・自治会の市政への協力のあり方



町内会・自治会の活動状況別にみると、活動が活発な会ほど「積極的に協力すべきである」が多い傾向となっており、活動が「非常に活発である」「活発である」「普通」の会では「協力すべきである」と考えている会が4分の3以上を占めている。これに対し、「活発に活動していない」会では、「協力すべきである」と考えている会が過半数を占めてはいるものの、「協力すべきでない」と考えている会が30%～40%と多い。

問11 あなたは、町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」について、どのようにお考えですか。

図表 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」のあり方

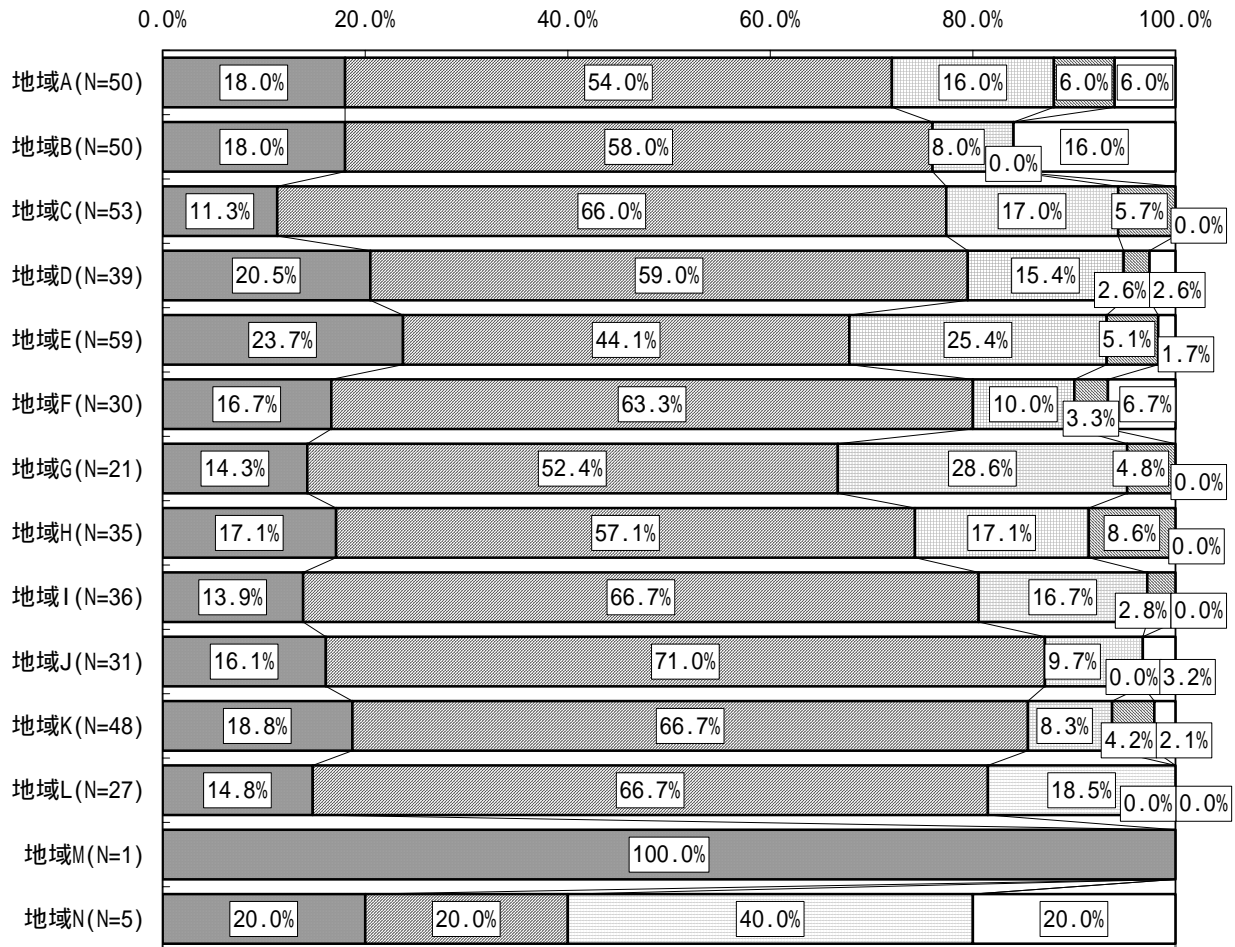


- まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
- まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
- まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
- その他
- 無回答

町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」のあり方をたずねたところ、「まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである」が58.7%で最も多く、以下、「まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである」が17.4%、「まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである」が16.4%などとなっている。

過去の調査と比較すると、「まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである」が減少傾向となっており、逆に、「まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである」が増加傾向となっている。

図表 地域別 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」のあり方



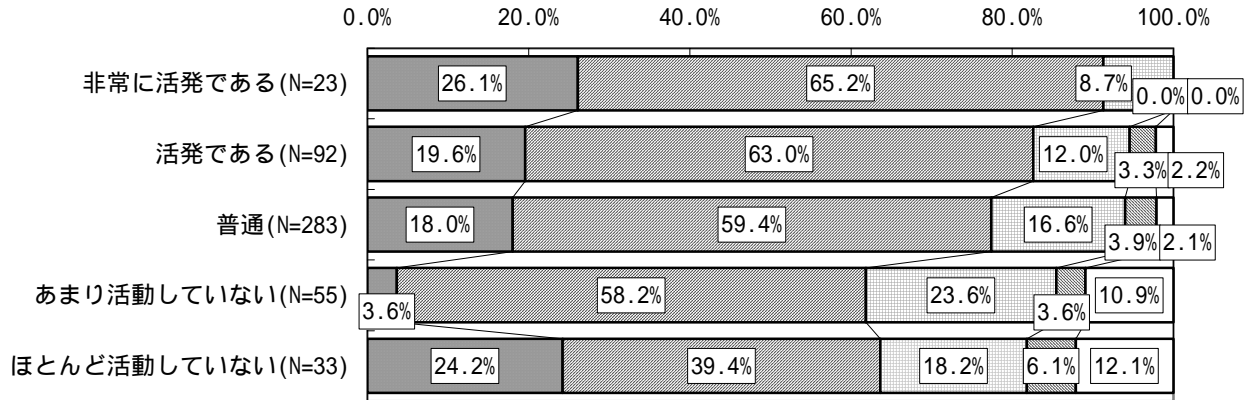
- まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
- まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
- まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
- その他
- 無回答

地域区分と居住地域名との対応

地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治（宇治、以外）琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）小倉町（小倉町 以外）南陵町
 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）伊勢田町（伊勢田町 以外）安田町
 地域J：神明（石塚）神明（石塚以外）開町、羽拍子町
 地域K：大久保町
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別では、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域E」と「地域G」では「まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである」が20%以上を占め、他の地域に比べて多い。

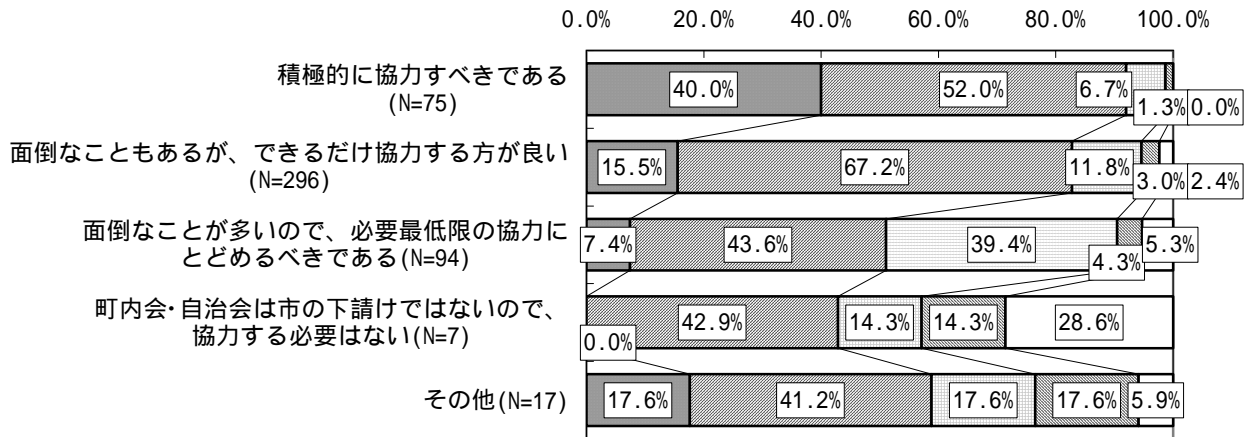
図表 町内会・自治会の活動状況別 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」のあり方



- まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
- まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
- まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
- その他
- 無回答

町内会・自治会の活動状況別にみると、「活発に活動していない」会では「まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである」が、「活発に活動している」会及び活動が「普通」の会に比べてやや多くなっている。

図表 町内会・自治会の市政への協力のあり方別 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」のあり方



- まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
- まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
- まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
- その他
- 無回答

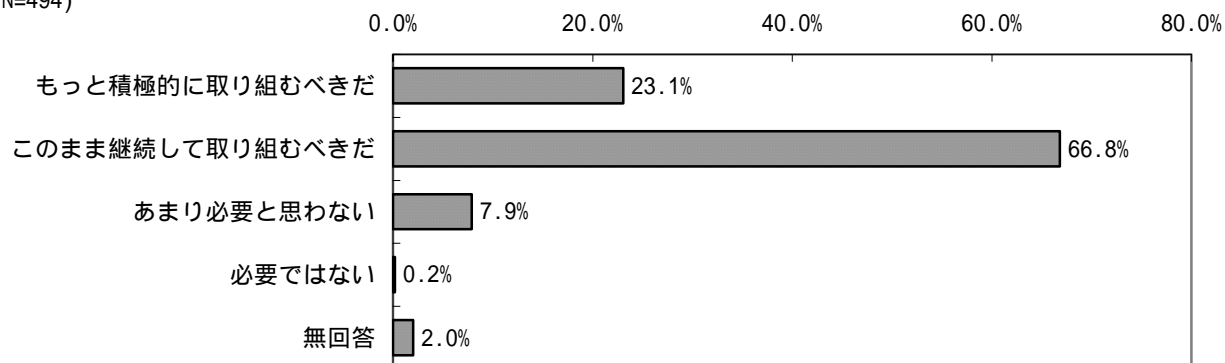
町内会・自治会の市政への協力のあり方別にみると、「協力すべきである」と考えている会ほど「まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである」が多い傾向となっている。

4 宇治市のまちづくりについて

問12 宇治市では、歴史・文化資源を大切に守るとともに、これらを活かしたまちづくりに取り組んでいます。最近では、中宇治地域が国から文化的景観に選定され、また宇治川太閤堤跡の活用に向けた取り組みを進めています。今後もこうした取り組みが必要と思われますか。

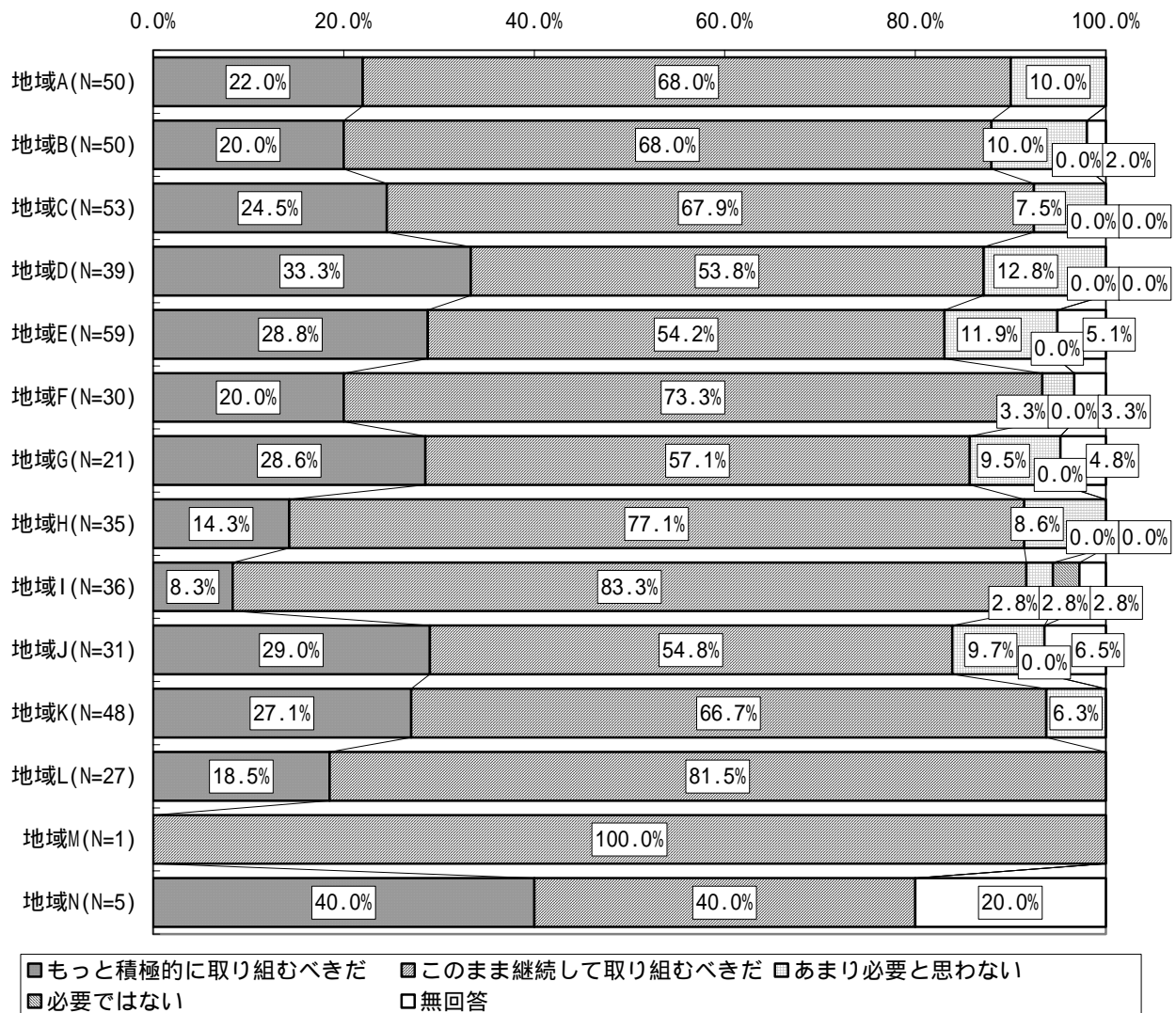
図表 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方

(N=494)



歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方をたずねたところ、「このまま継続して取り組むべきだ」が66.8%で最も多く、次いで、「もっと積極的に取り組むべきだ」が23.1%となっており、これらを合わせた「取り組みが必要である」と考えている人が89.9%となっている。

図表 地域別 歴史・文化資源の保全・活用したまちづくりのあり方



地域区分と居住地域名との対応

- 地域A：六地藏、木幡（木幡 以外）、平尾台
- 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
- 地域C：五ヶ庄
- 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
- 地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
- 地域F：槇島町
- 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
- 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
- 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
- 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
- 地域K：大久保町
- 地域L：広野町、寺山台
- 地域M：白川、志津川
- 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

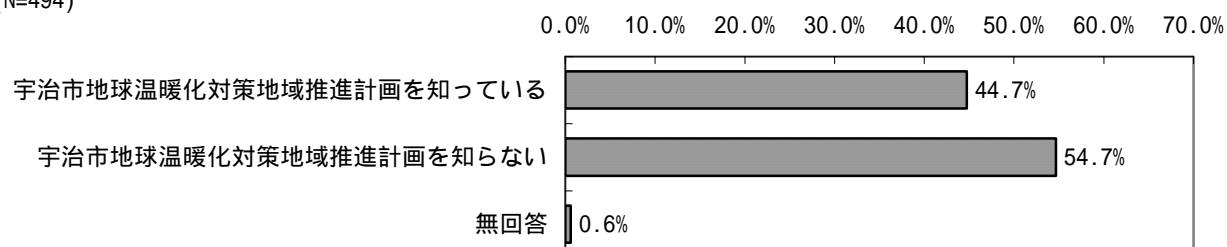
地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「取り組みが必要である」と考えている人が最も多いのは「地域L」で、全員が「取り組みが必要である」と考えている。逆に、「必要ではない」と「あまり必要と思わない」を合わせた「取り組みは必要でない」と考えている人が特に多いのは「地域D」と「地域E」で、それぞれ10%以上を占めている。

5 地球温暖化対策について

問13 宇治市が平成20年3月に地球温暖化を防止し、宇治市域における温室効果ガスの削減目標や市民・事業者・宇治市の各主体が取り組むべき役割等を明らかにするために策定した「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」についておたずねします。

図表 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況

(N=494)

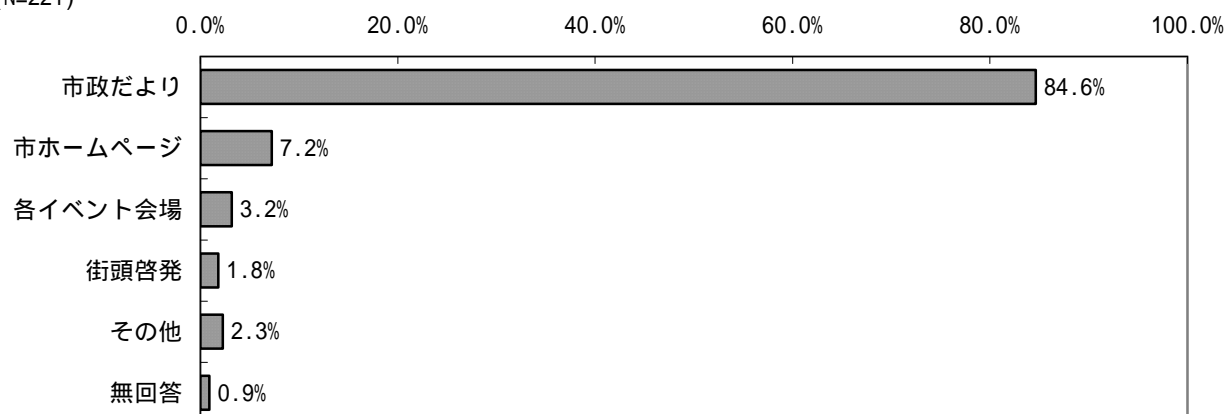


「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」の認知状況をたずねたところ、「知らない」が54.7%、「知っている」が44.7%となっている。

問13付問 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」をどこで知りましたか

図表 「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知ったきっかけ

(N=221)

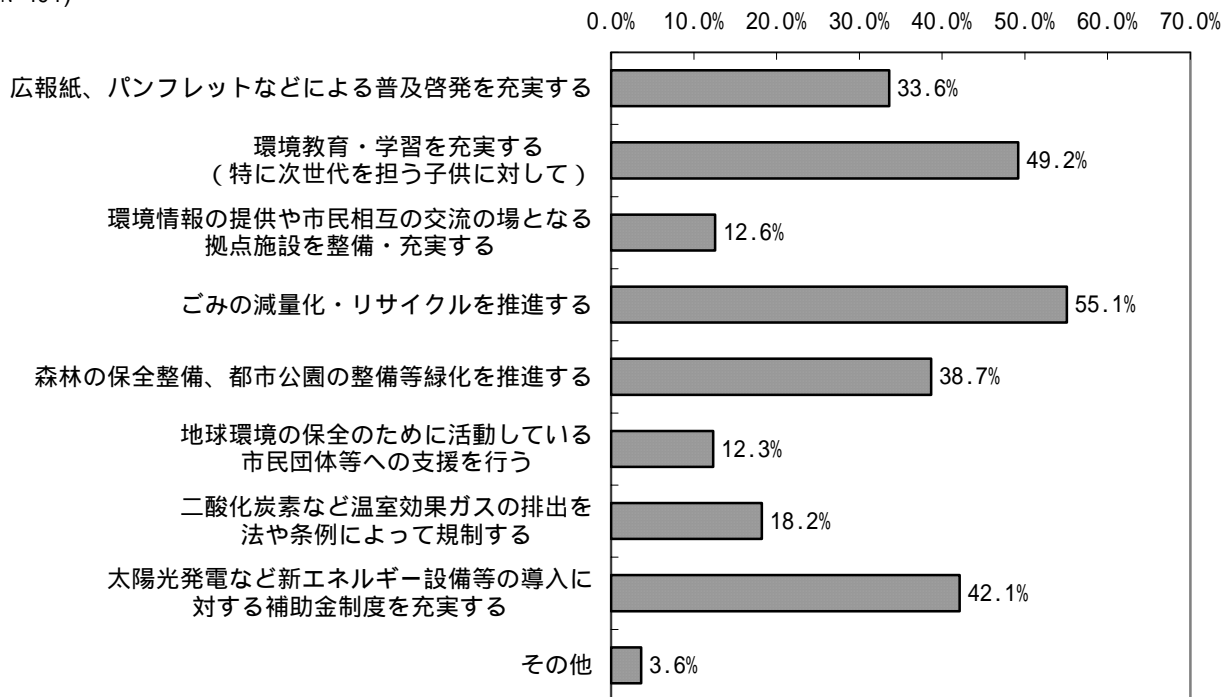


「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を知っている人に対し、計画を知ったきっかけをたずねたところ、「市政だより」が84.6%で最も多い。

問14 地球温暖化防止のために、あなたが宇治市に対して特に期待していることはなんですか。
次の中から当てはまるもの3つまで 印をつけてください。

図表 地球温暖化防止対策として市に期待していること

(N=494)

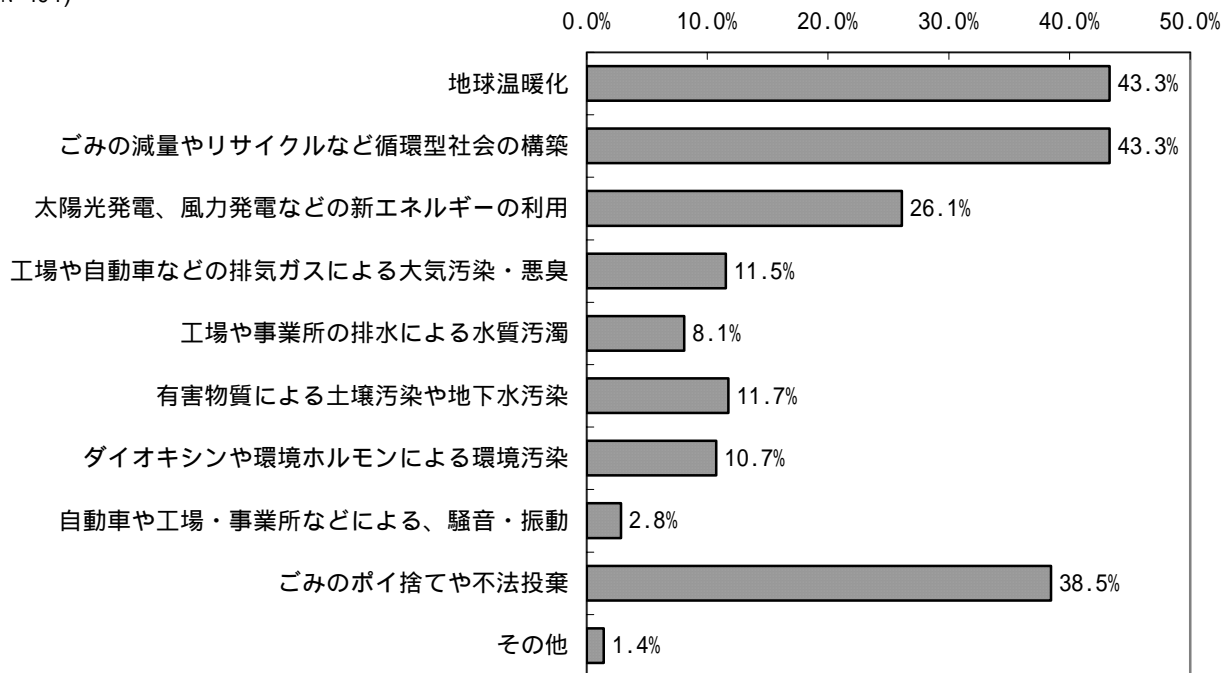


地球温暖化防止対策として市に期待していることをたずねたところ、「ごみの減量化・リサイクルを推進する」が55.1%で最も多く、以下、「環境教育・学習を充実する(特に次世代を担う子供に対して)」が49.2%、「太陽光発電など新エネルギー設備等の導入に対する補助金制度を充実する」が42.1%などとなっている。

問15 環境問題について、あなたが特に関心を持っている項目について、次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

図表 市民が関心のある環境問題

(N=494)

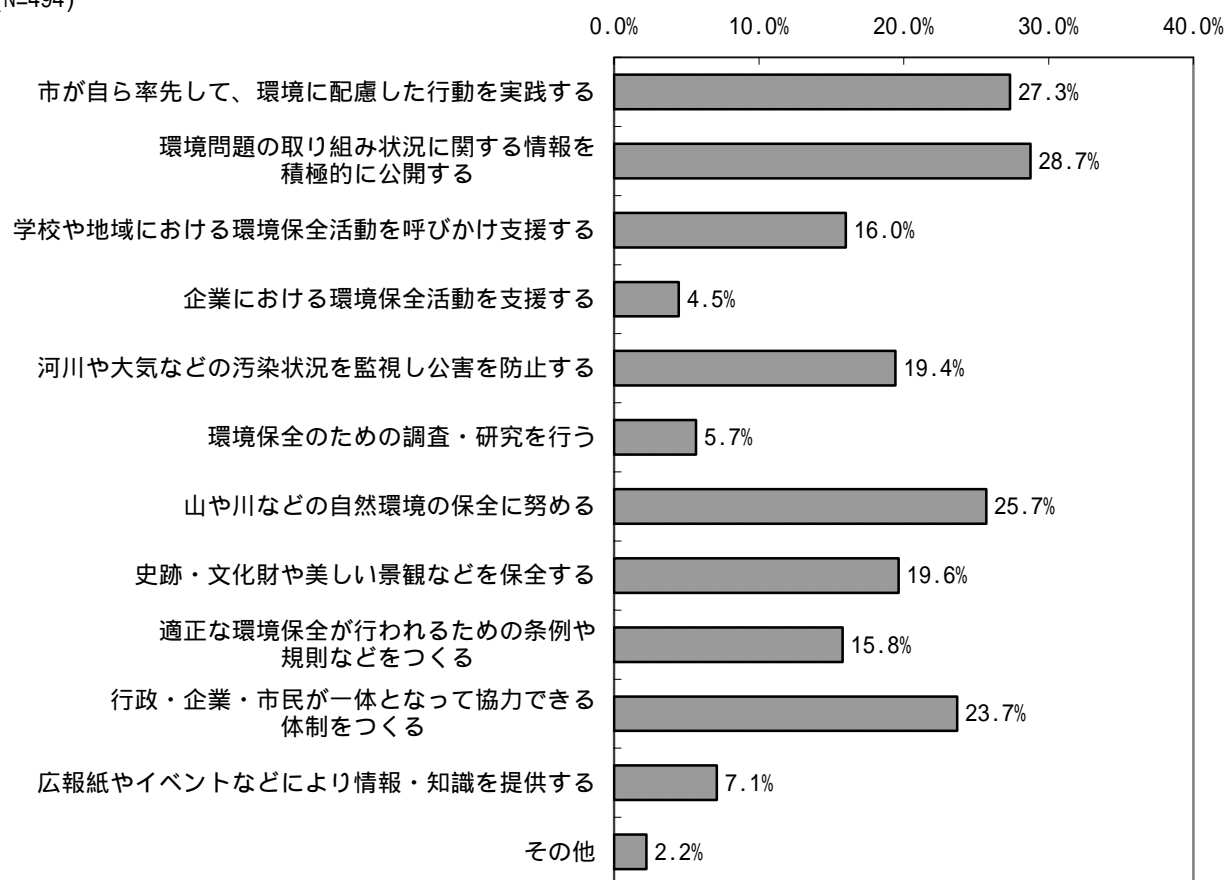


市民が関心のある環境問題をたずねたところ、「地球温暖化」と「ごみの減量やリサイクルなど循環型社会の構築」がともに43.3%で最も多く、以下、「ごみのポイ捨てや不法投棄」が38.5%、「太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用」が26.1%などとなっている。

問16 環境保全を推進するため、宇治市はどのようなことを中心に取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

図表 環境保全のために宇治市が取り組むべきこと

(N=494)

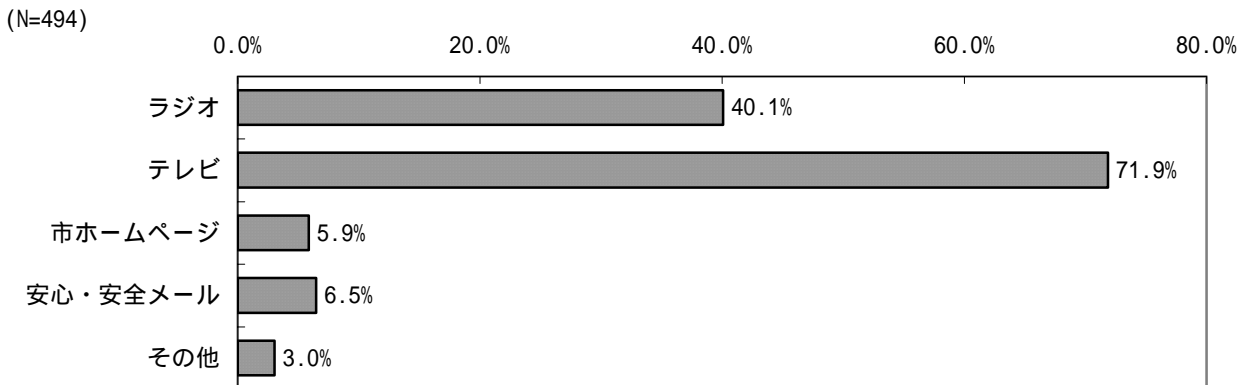


環境保全のために宇治市が取り組むべきことをたずねたところ、「環境問題の取り組み状況に関する情報を積極的に公開する」が28.7%で最も多く、以下、「市が自ら率先して、環境に配慮した行動を実践する」が27.3%、「山や川などの自然環境の保全に努める」が25.7%などとなっている。

6 災害時の情報入手について

問17 あなたは災害時に情報をどこから得ようとしていますか。

図表 災害時の情報の入手方法



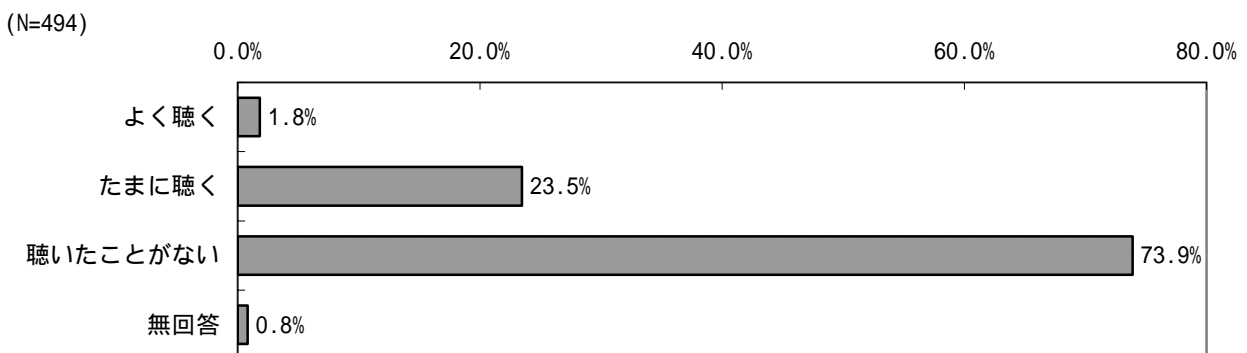
(注)本問は、単数回答設問として調査設計したが、複数回答が想定される設問であり、実際に複数回答が相当量みられたことから、複数回答設問として集計を行った。

災害時の情報の入手方法をたずねたところ、「テレビ」が71.9%で最も多く、以下、「ラジオ」が40.1%、「安心・安全メール」が6.5%、「市ホームページ」が5.9%などとなっている。

問18 災害発生時には「FMうじ（FMラジオ放送88.8MHz）」で災害情報を放送していますが、あなたは普段から「FMうじ」をお聴きになりますか。「1」または「2」とお答えの方はお聴きになる場所と時間帯をご記入ください。

(1)「FMうじ」の聴取状況

図表 「FMうじ」の聴取状況

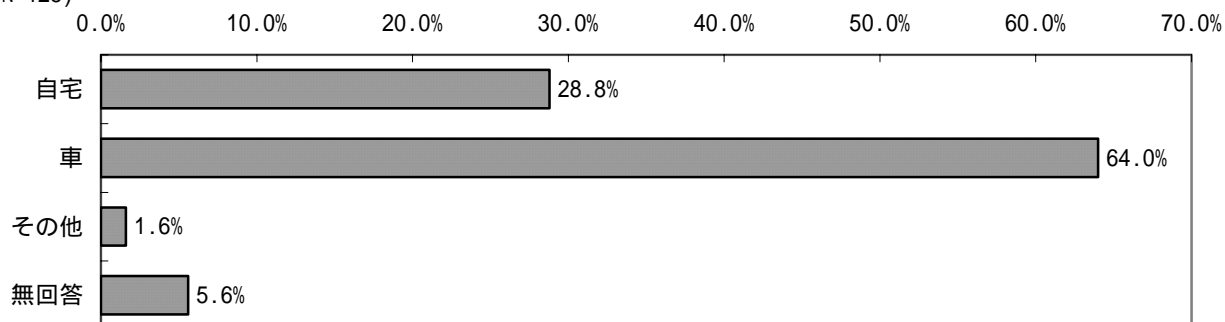


「FMうじ」の聴取状況をたずねたところ、「聴いたことがない」が73.9%で最も多く、以下、「たまに聴く」が23.5%、「よく聴く」が1.8%となっており、「聴いたことがある」人は25.3%となっている。

(2)「FMうじ」を聴く場所

図表 「FMうじ」を聴く場所

(N=125)

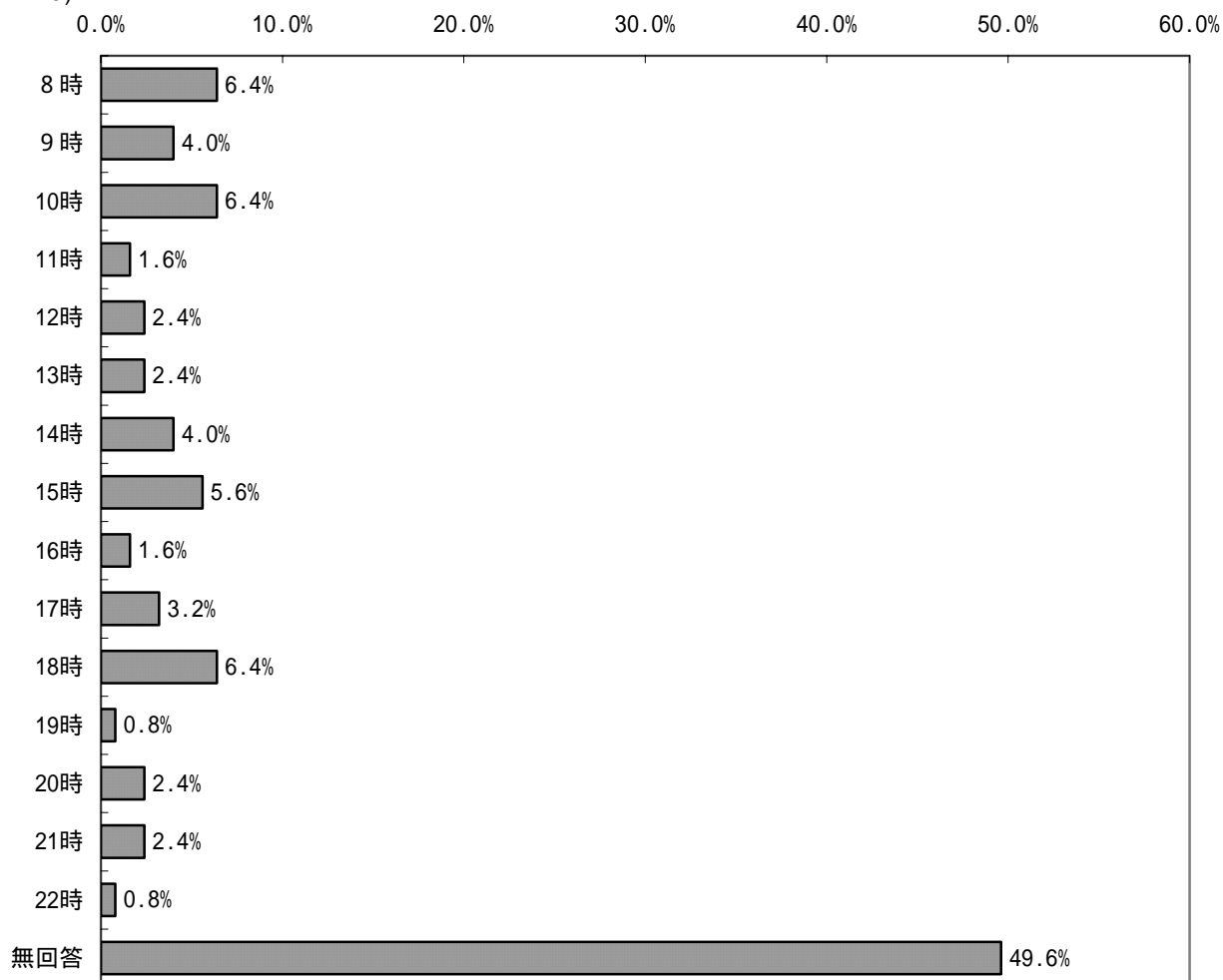


「FMうじ」を「よく聴く」人と「たまに聴く」人に対し、主に聴く場所をたずねたところ、「車」が64.0%で最も多く、次いで、「自宅」が28.8%となっている。

(3)「FMうじ」を聴く時間帯

図表 「FMうじ」を聴く時間帯

(N=125)



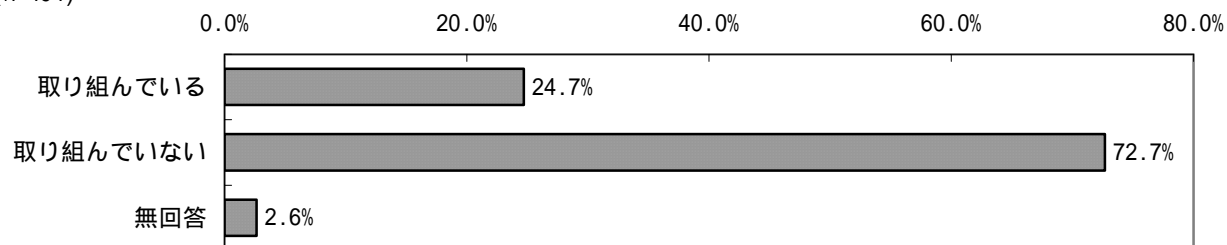
「FMうじ」を「よく聴く」人と「たまに聴く」人に対し、「FMうじ」を聴く時間帯をたずねたところ、「8時」「10時」「18時」がともに6.4%で最も多い。

7 子育て支援について

問19 現在、子育てのボランティアや子ども会活動など地域での子育て支援活動に取り組んでいますか。

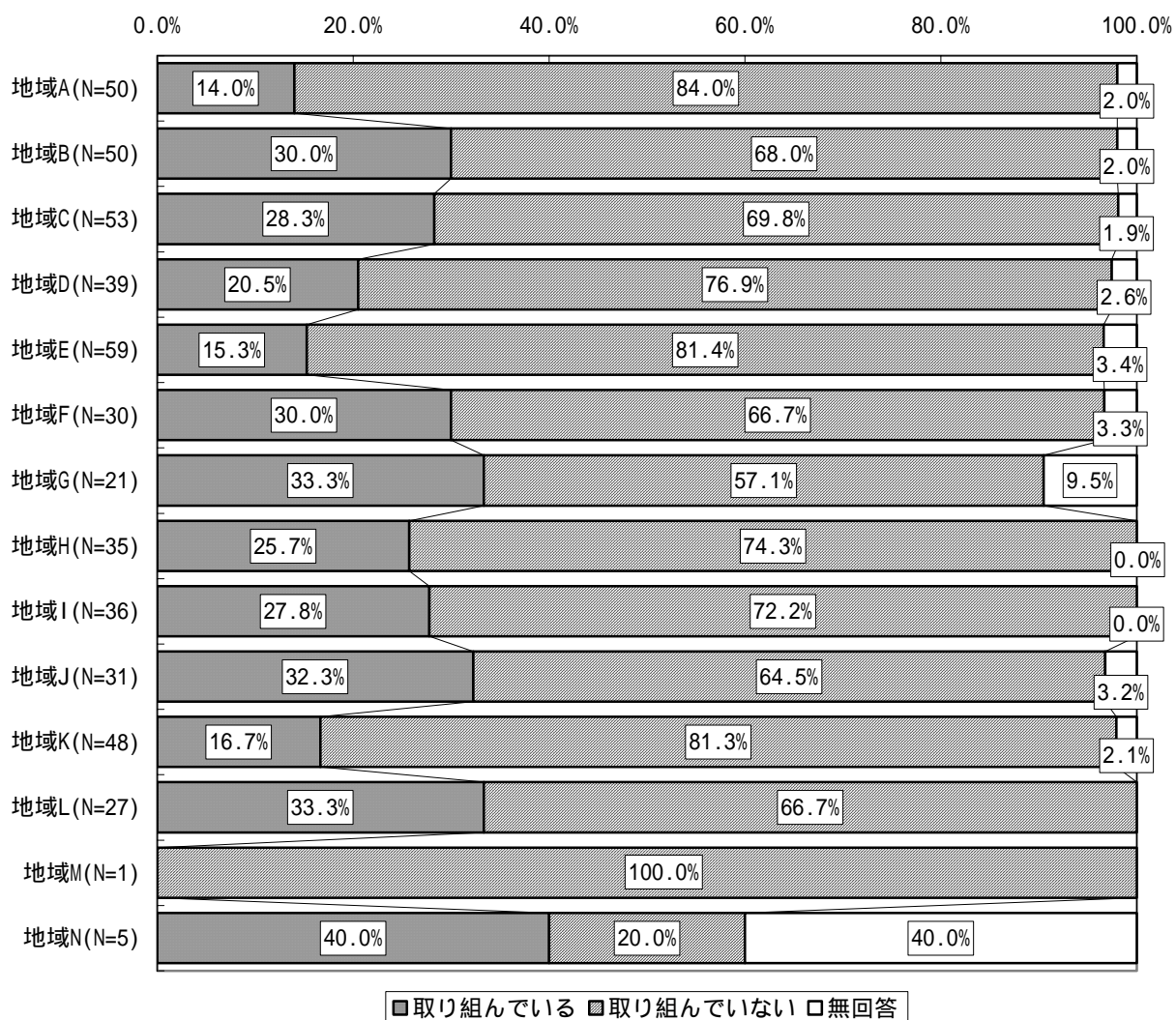
図表 地域での子育て支援活動の取り組み状況

(N=494)



地域での子育て支援活動の取り組み状況をたずねたところ、「取り組んでいない」が72.7%、「取り組んでいる」が24.7%となっている。

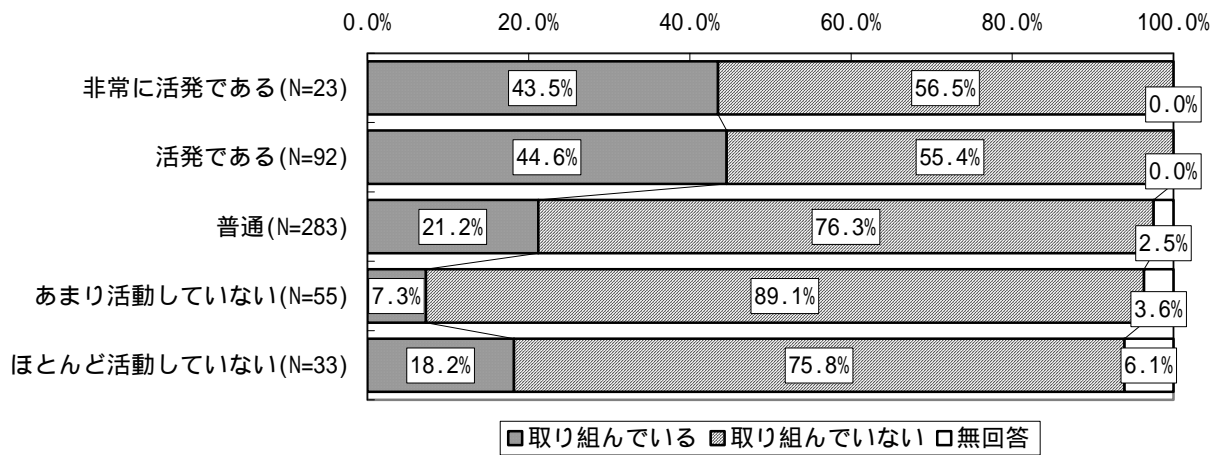
図表 地域別 地域での子育て支援活動の取り組み状況



地域区分と居住地域名との対応	
地域A	六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
地域B	木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
地域C	五ヶ庄
地域D	菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
地域E	宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
地域F	槇島町
地域G	小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
地域H	宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
地域I	伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
地域J	神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
地域K	大久保町
地域L	広野町、寺山台
地域M	白川、志津川
地域N	炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「地域A」「地域E」「地域K」では「取り組んでいない」が80%以上を占め、他の地域に比べて多い。

図表 町内会・自治会の活動状況別 地域での子育て支援活動の取り組み状況

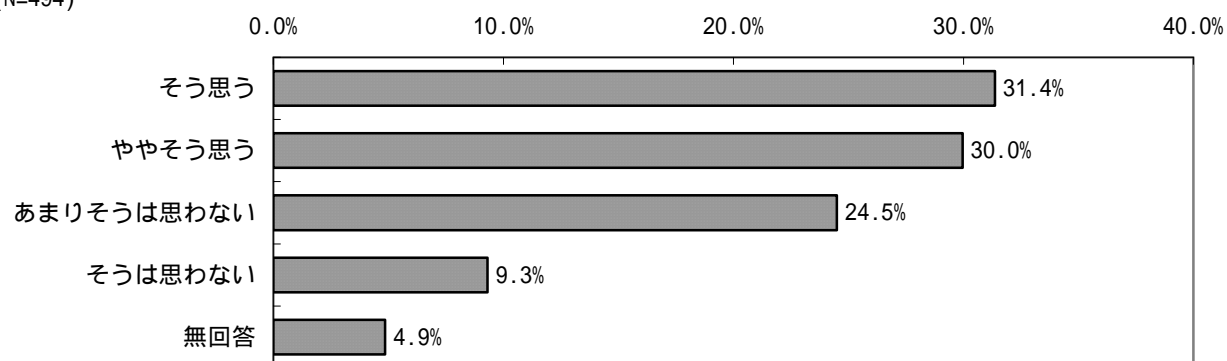


町内会・自治会の活動状況別にみると、活動状況に関係なく「取り組んでいない」が「取り組んでいる」を上回っているが、「活動が活発である」会では「取り組んでいる」が40%以上を占めているのに対し、活動が「普通」の会、「活動が活発でない」会では「取り組んでいない」が4分の3以上を占める状況となっている。

問20 今後、地域での子育て支援活動に取り組んでみたい、また引き続き取り組みたいですか。

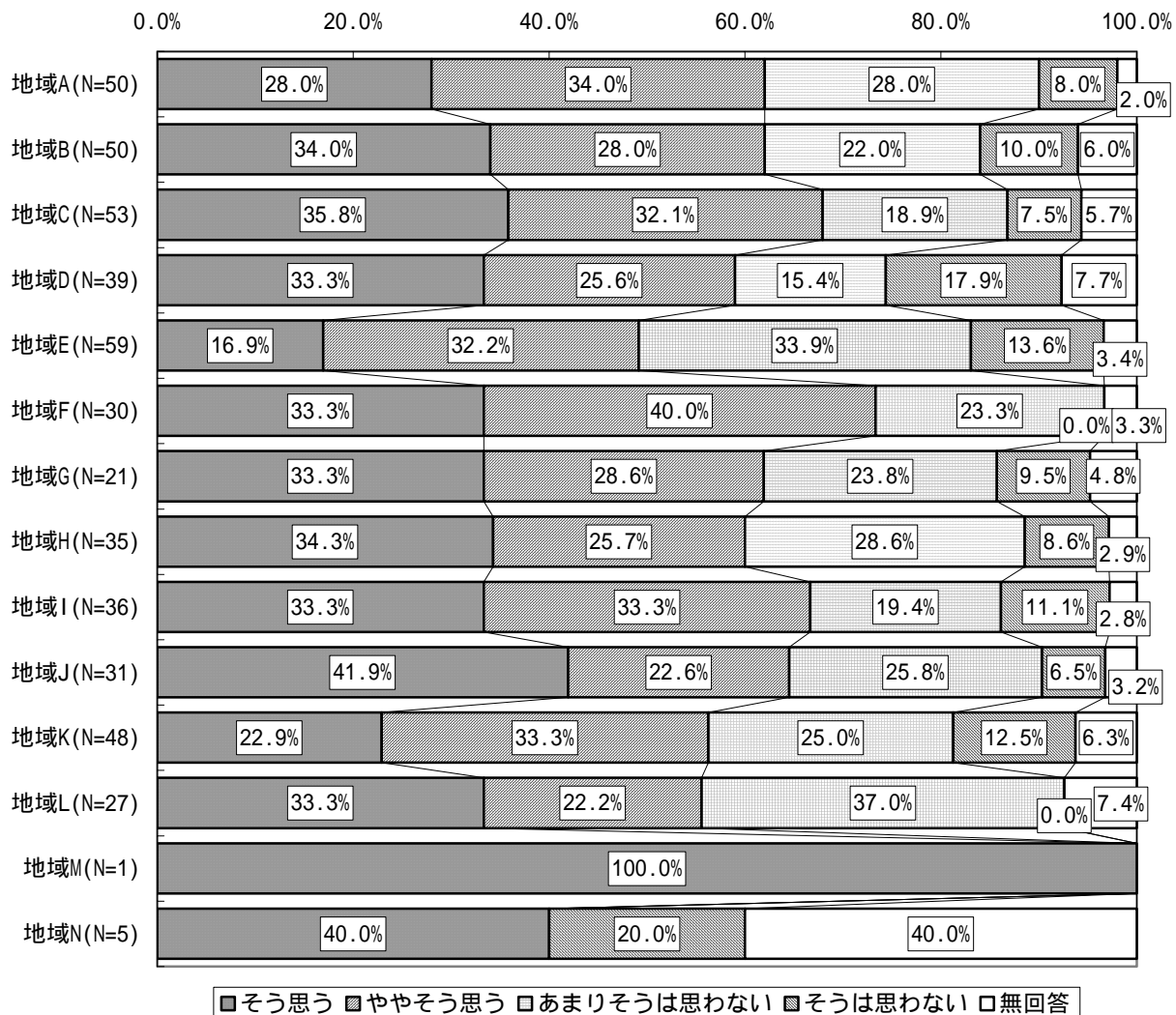
図表 地域での子育て支援活動への参加意向

(N=494)



地域での子育て支援活動への参加意向をたずねたところ、「そう思う」(31.4%)と「ややそう思う」(30.0%)を合わせた「取り組みたい」人は61.4%、「そうは思わない」(9.3%)と「あまりそうは思わない」(24.5%)を合わせた「取り組みたくない」人は33.8%となっている。

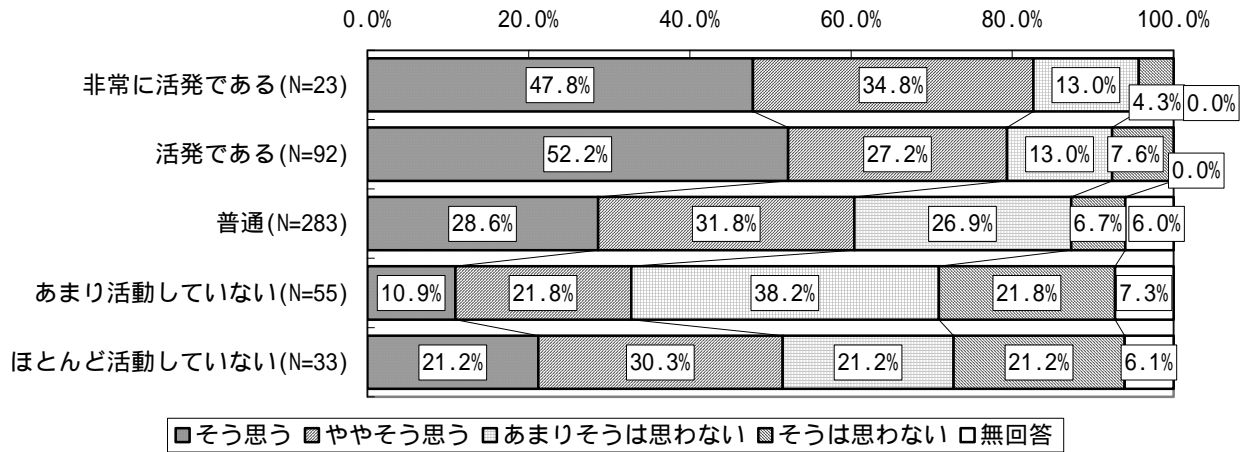
図表 地域別 地域での子育て支援活動への参加意向



- 地域区分と居住地域名との対応
- 地域A：六地蔵、木幡（木幡 以外）、平尾台
 - 地域B：木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
 - 地域C：五ヶ庄
 - 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 - 地域E：宇治（宇治、以外）、琵琶台、天神台、折居台
 - 地域F：槇島町
 - 地域G：小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 - 地域H：宇治（半白、蔭山、御廟）、小倉町（小倉町 以外）、南陵町
 - 地域I：伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）、伊勢田町（伊勢田町 以外）、安田町
 - 地域J：神明（石塚）、神明（石塚以外）、開町、羽拍子町
 - 地域K：大久保町
 - 地域L：広野町、寺山台
 - 地域M：白川、志津川
 - 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

地域別にみると、集計母数が少ない「地域M」と「地域N」を除き、「取り組みたい」人は「地域F」で最も多い。これに対し、「取り組みたくない」人は「地域E」で最も多く、「取り組みたい」とほぼ同数に迫っている。

図表 町内会・自治会の活動状況別 地域での子育て支援活動への参加意向

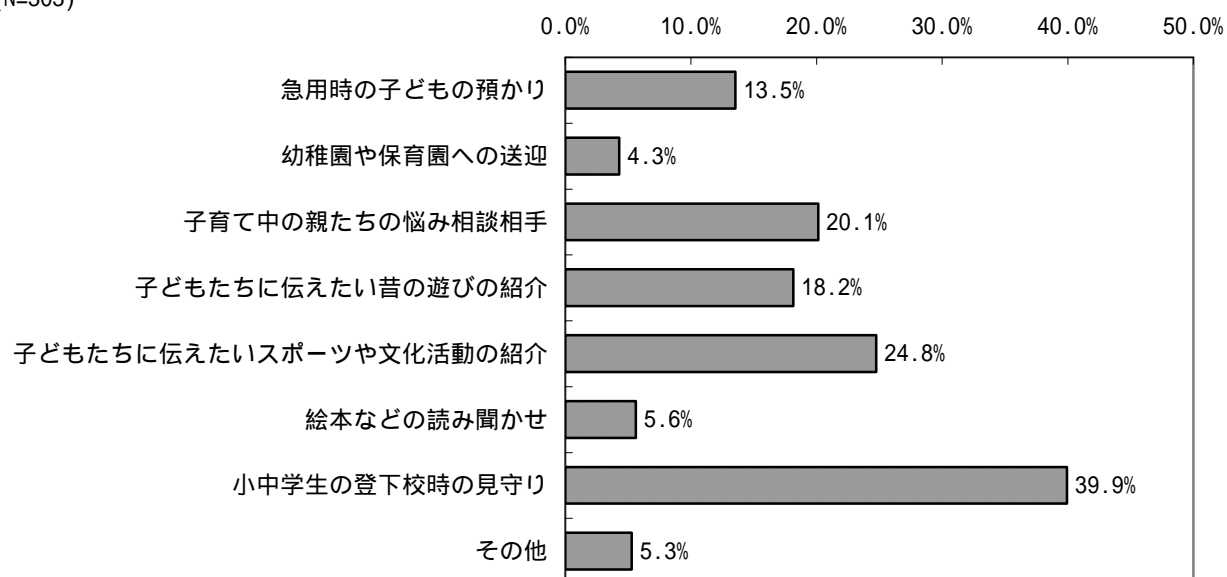


町内会・自治会の活動状況別にみると、活動が活発であるほど「取り組みたい」人が多い傾向となっている。「あまり活動していない」会では、「取り組みたくない」人が「取り組みたい」人を上回っている。

問21 前の問いで「1」、「2」とお答えの方にお伺いします。今後、取り組んでみたい活動、引き続き取り組みたい活動はなんですか。

図表 今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容

(N=303)



(注) 本問は、単数回答設問として調査設計したが、複数回答が想定される設問であり、実際に複数回答が相当量みられたことから、複数回答設問として集計を行った。

地域での子育て支援活動に「取り組みたい」人に対し、今後取り組んでみたい・取り組みを継続したい活動内容をたずねたところ、「小中学生の登下校時の見守り」が39.9%で最も多く、以下、「子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介」が24.8%、「子育て中の親たちの悩み相談相手」が20.1%などとなっている。

8 町内会・自治会活動に関する意見

最後に、町内会・自治会活動に関するお考えがございましたら、以下にご自由にお書きください。

町内会・自治会活動に関する考え等の意見を記述により求めたところ、意見総数138件の回答が寄せられた（1人の回答者が異なる複数の内容を記述している場合は、内容ごとに1件の回答として分類し、集計した）。

分類	件数
会員の高齢化、価値観の多様化、活動に対する無理解・無関心等について	40
町内会・自治会と市行政との関係について	19
高齢化社会への対応、子育て支援について	12
行財政運営について	11
町内会・自治会への未加入者について	10
町内会・自治会の活動状況・活動内容について	9
都市基盤整備等について	7
広報・情報提供・回覧物について	6
迷惑事象（迷惑駐車、ごみ等）について	6
防災について	3
連合組織について	3
その他	12
回答数	131
意見総数	138

資料 使用した調査票

「市民意識調査」の調査票は、「1 行政・人権・経済編」「2 福祉・生涯学習編」「3 環境・安全・都市基盤整備編」の政策分野ごとに3つの調査票に分かれている。

3つの調査票で設問が共通の問1～問26を除き、各調査票の表紙及び問27は記載内容・設問が異なるため、以下の目次の順序で資料を掲載している。

市民意識調査票.....	145
「1 行政・人権・経済編」の表紙.....	145
「2 福祉・生涯学習編」の表紙.....	145
「3 環境・安全・都市基盤整備編」の表紙.....	146
問1～問26（3つの調査票共通）.....	147
「1 行政・人権・経済編」の問27.....	151
「2 福祉・生涯学習編」の問27.....	154
「3 環境・安全・都市基盤整備編」の問27.....	157
町内会・自治会調査票.....	159

宇治市市民意識調査

- 調査へのご協力をお願い -

市民の皆様には、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、まちづくりを総合的かつ効果的に推進するため、市政の基本方針である「宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～32年度（予定）」の策定を行います。

その際には、市民の皆様のご意見やご意向をお伺いすることが必要不可欠であり、今回の意識調査を実施することにいたしました。

この意識調査は、政策分野ごとに「行政・人権・経済編」、「福祉・生涯学習編」、「環境・安全・都市基盤整備編」の3種類に分け、調査票を作成しています。20歳以上の市民の皆様から、それぞれの調査票につき1,500名ずつ、合計4,500名を無作為に選ばせていただいた結果、あなたに『市民意識調査「行政・人権・経済編」』のご回答をお願いすることとなりました。

ご回答いただきました調査票については統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。また、無記名方式で実施しますので、個人名や個人的な内容が明らかになることは一切ございません。ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年5月 宇治市長 久保田 勇

ご記入にあたってのお願い

1. この意識調査は、原則としてご本人（この用紙を入れた封筒の宛名の方）がご記入ください。ただし、ご本人が長期間ご不在や、病気等で記入できない場合は、ご家族の方がご記入ください。
2. ご回答は、指定のない限り、該当する番号に1つだけ 印をつけてください。
()や の部分には、語句や文章をご記入ください。
3. この調査は、無記名方式ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前をご記入いただく必要はございません。

調査用紙のご返送について

1. ご記入いただけましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成21年6月5日（金）までにご投函ください。
2. 返信用封筒は、受取人払いですので、切手を貼る必要はございません。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

宇治市役所 政策推進課 担当（吉田、兼久） TEL:0774-20-8698(直通)

宇治市市民意識調査

- 調査へのご協力をお願い -

市民の皆様には、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、まちづくりを総合的かつ効果的に推進するため、市政の基本方針である「宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～32年度（予定）」の策定を行います。

その際には、市民の皆様のご意見やご意向をお伺いすることが必要不可欠であり、今回の意識調査を実施することにいたしました。

この意識調査は、政策分野ごとに「行政・人権・経済編」、「福祉・生涯学習編」、「環境・安全・都市基盤整備編」の3種類に分け、調査票を作成しています。20歳以上の市民の皆様から、それぞれの調査票につき1,500名ずつ、合計4,500名を無作為に選ばせていただいた結果、あなたに『市民意識調査「福祉・生涯学習編」』のご回答をお願いすることとなりました。

ご回答いただきました調査票については統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。また、無記名方式で実施しますので、個人名や個人的な内容が明らかになることは一切ございません。ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年5月 宇治市長 久保田 勇

ご記入にあたってのお願い

1. この意識調査は、原則としてご本人（この用紙を入れた封筒の宛名の方）がご記入ください。ただし、ご本人が長期間ご不在や、病気等で記入できない場合は、ご家族の方がご記入ください。
2. ご回答は、指定のない限り、該当する番号に1つだけ 印をつけてください。
()や の部分には、語句や文章をご記入ください。
3. この調査は、無記名方式ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前をご記入いただく必要はございません。

調査用紙のご返送について

1. ご記入いただけましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成21年6月5日（金）までにご投函ください。
2. 返信用封筒は、受取人払いですので、切手を貼る必要はございません。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

宇治市役所 政策推進課 担当（吉田、兼久） TEL:0774-20-8698(直通)

宇治市市民意識調査

- 調査へのご協力をお願い -

市民の皆様には、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、まちづくりを総合的かつ効果的に推進するため、市政の基本方針である「宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～32年度（予定）」の策定を行います。

その際には、市民の皆様のご意見やご意向をお伺いすることが必要不可欠であり、今回の意識調査を実施することにいたしました。

この意識調査は、政策分野ごとに「行政・人権・経済編」、「福祉・生涯学習編」、「環境・安全・都市基盤整備編」の3種類に分け、調査票を作成しています。20歳以上の市民の皆様から、それぞれの調査票につき1,500名ずつ、合計4,500名を無作為に選ばせていただいた結果、あなたに『市民意識調査「環境・安全・都市基盤整備編」』のご回答をお願いすることとなりました。

ご回答いただきました調査票については統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。また、無記名方式で実施しますので、個人名や個人的な内容が明らかになることは一切ございません。ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年5月 宇治市長 久保田 勇

ご記入にあたってのお願い

1. この意識調査は、原則としてご本人（この用紙を入れた封筒の宛名の方）がご記入ください。ただし、ご本人が長期間ご不在や、病気等で記入できない場合は、ご家族の方がご記入ください。
2. ご回答は、指定のない限り、該当する番号に1つだけ 印をつけてください。
()や の部分には、語句や文章をご記入ください。
3. この調査は、無記名方式ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前をご記入いただく必要はございません。

調査用紙のご返送について

1. ご記入いただけましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成21年6月5日（金）までにご投函ください。
2. 返信用封筒は、受取人払いですので、切手を貼る必要はございません。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

宇治市役所 政策推進課 担当（吉田、兼久） TEL:0774-20-8698(直通)

．まず、あなたのことについてお伺いします。

問 1 . あなたのお住まいの地域

1. 六地蔵
2. 木幡 (熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山)
3. 木幡 (木幡 以外)
4. 平尾台
5. 五ヶ庄
6. 羽戸山
7. 菟道
8. 明星町
9. 志津川
10. 炭山
11. 二尾
12. 池尾
13. 東笠取
14. 西笠取
15. 宇治 (半白、藤山、御廟)
16. 宇治 (乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸)
17. 宇治 (宇治、以外)
18. 琵琶台
19. 折居台
20. 天神台
21. 白川
22. 神明 (石塚)
23. 神明 (石塚以外)
24. 羽拍子町
25. 南陵町
26. 槇島町
27. 小倉町 (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際)
28. 小倉町 (小倉町 以外)
29. 伊勢田町 (北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田)
30. 伊勢田町 (伊勢田町 以外)
31. 安田町
32. 開町
33. 大久保町
34. 広野町
35. 寺山台

問 2 . あなたの性別、年齢

(1)性別

1. 男性
2. 女性

(2)年齢

1. 20～29 歳
2. 30～39 歳
3. 40～49 歳
4. 50～59 歳
5. 60～69 歳
6. 70～79 歳
7. 80 歳以上

問 3 . あなたの家族構成

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 親子
4. 親・子・孫
5. その他 (具体的に)

問 4 . あなたの職業分野

1. 工業
2. 商業
3. 農林漁業
4. 公務員
5. サービス業
6. 学生
7. 無職
8. その他 (具体的に)

問 5 . あなたの通勤・通学地 (通勤・通学されている方のみお答えください。)

1. 宇治市内
2. 京都市内
3. 宇治市・京都市以外の京都市内
4. 大阪府
5. 滋賀県
6. その他 (具体的に)

問 6 . あなたの通勤・通学時間 (通勤・通学されている方のみお答えください。)

1. 自宅
2. 10分以内
3. 30分以内
4. 1時間以内
5. 1時間30分以内
6. 1時間30分超

問 7 . あなたの主な通勤・通学手段 (通勤・通学されている方のみ、利用しているものすべてに 印をつけてください。)

1. 徒歩
2. 自転車・バイク
3. 自家用車
4. 路線バス
5. 社員専用バス
6. 鉄道
7. その他 (具体的に)

．宇治市での居住年数や宇治市に対する思いについてお伺いします。

問 8 . あなたが宇治市にお住まいになってから何年になりますか。

1. 5年未満
2. 5～10年
3. 11～15年
4. 16～20年
5. 21年以上

問 9 . あなたは、これからも宇治市に住み続けたいと思いますか。

1. 住み続けたい
2. 市内の他の場所へ移りたい
3. 市外に移りたい
4. どちらともいえない

問 10 . あなたは、宇治市にふるさととしての愛着や誇りを持っていますか。

1. 持っている
2. 持っていない
3. どちらともいえない

問 11 . 宇治市のどんなところに魅力を感じますか。次の中から当てはまるもの2つまで印をつけてください。

1. 宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている
2. 世界遺産の宇治上神社・平等院をはじめとした歴史や文化に恵まれている
3. 太陽が丘や宇治市植物公園等のスポーツ・レクリエーション施設が整っている
4. 源氏物語のまちづくり等、まちづくりが魅力的である
5. 京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である
6. 住環境が整備されていて住みやすい
7. 子ども、高齢者や障害者に対する施策が充実しており、安心して暮らせる
8. 文化センター、コミュニティセンター、地域福祉センター、源氏物語ミュージアムなどの公共施設が充実している
9. 児童・生徒に対する教育や生涯学習の環境が充実している
10. 災害が少なく、気候が温順である
11. 医療施設が充実している
12. 地域でのコミュニティ活動が活発であり、安心して暮らせる
13. 宇治茶などのように全国に誇れるものがある
14. その他 ()

．総合計画についてお伺いします。

問 12 . あなたは総合計画についてご存知ですか。

1. 名前も内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
3. 名前を聞いたこともない

問13. 宇治市のめざすべき都市像は、宇治市第1次総合計画策定以来約35年間にわたり、『みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市』をキャッチフレーズに、市民の参加と連帯による地域社会づくりをめざす人間都市
ゆたかな自然環境との共生をめざす環境都市
健康でゆたかな暮らしをめざす福祉都市
歴史の継承と文化の創造をめざす歴史・文化都市
伝統産業の育成と新産業の創造をめざす産業都市
の5本柱で構成されています。このキャッチフレーズ及び、5本柱についてどう思われますか。

1. 都市像はめざすべき目標であるので、このままでよい
2. 基本的にはこのままでよいが、時代に対応した検討を加えるべき
3. 時代は変化しており、総合計画の10年に対応した都市像をその都度検討すべき
4. 抽象的な内容ではなく、もっと具体的な目標を設定すべき

具体的なキャッチフレーズがあれば、ご提案ください

()

宇治市の課題や問題についてお伺いします。

問14. 市民の皆さんの多様なニーズに応えるためには、必要な財源を確保していくことが不可欠ですが、今後の行政運営の根幹となる市民の負担のあり方についてどのように思いますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

1. 市民生活の向上に不可欠であれば、多少の負担増になっても必要な事業を実施すべきである
2. 事業の実施に必要な財源は、徹底した行政改革と内部努力によって生み出すべきであり、その枠内で事業を実施すればよい
3. 事業の実施に必要な財源は産業の活性化による法人税収の増額等、他の方法によって確保すべきであり、市民の直接的な負担増は好ましくない
4. 行政サービスのうち、民間でも実施可能なものについては民間委託を推進するとともに、事業の見直しによってコストを削減し、その財源で事業を実施すべきだ
5. 行政サービスは一時的に停滞しても、市民の負担は増やすべきでない
6. よくわからない
7. その他 ()

問15. 今後、次の ~ のようなまちづくりを考えた場合、どのような施策が重要になると思われますか。四角の中から、1つずつ必要だと思われる施策を選んで 印をつけてください。

「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」

1. 地方分権の推進
2. 行政改革の推進
3. 市民参加と情報公開、提供の拡充
4. 住民自治の推進

「歴史がある文化の創造と生涯学習の推進をめざす」

1. 生涯学習の推進
2. 学校教育の充実
3. 社会教育の充実
4. 市民文化の創造、発展と伝統文化の継承

「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」

1. 基本的人権の尊重
2. 国際化の推進と平和への貢献
3. 男女共同参画社会の促進

「安全でうるおいのある環境をめざす」

1. 環境保全対策の推進
2. みどりとうるおいのある環境整備
3. 魅力ある都市空間の形成
4. 安全、安心なまちづくりの推進

「活力ある地域経済の振興をめざす」

1. 農林漁業、茶業の振興
2. 商工業、観光の振興
3. 市民生活の向上

「快適で便利な都市をめざす」

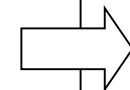
1. 良好な市街地の整備
2. 山間地の振興
3. 都市基盤、生活基盤施設の整備
4. 高度情報化社会への対応

「健康でゆたかな暮らしをめざす」

1. 長寿社会への対応
2. 少子化社会への対応
3. 地域福祉体制の確立
4. 健康づくりの推進
5. 社会保障制度の充実

問16. 前問の ~ の施策分野を総合的に見て、重要だと思われるものから上位1、2、3位をつけてください。

「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりをめざす」
「人間性ゆたかで平和な社会をめざす」
「活力ある地域経済の振興をめざす」
「健康でゆたかな暮らしをめざす」
「歴史がある文化の創造と生涯学習の推進をめざす」
「安全でうるおいのある環境をめざす」
「快適で便利な都市をめざす」



1位	_____
2位	_____
3位	_____

問17. 宇治市では、歴史・文化資源を大切に守るとともに、これらを活かしたまちづくりに取り組んでいます。最近では、中宇治地域が国から文化的景観に選定されまた宇治川太閤堤跡の活用に向けた取り組みを進めています。今後もこうした取り組みが必要と思われますか。

1. もっと積極的に取り組むべきだ
2. このまま継続して取り組むべきだ
3. あまり必要と思わない
4. 必要ではない

文化的景観とは、日本各地の農山漁村、都市や町場など、人々の生活や生業または自然風土の中で、長年かけてかたち作られてきた風景をいいます。

問18. 宇治市が平成20年3月に地球温暖化を防止し、宇治市域における温室効果ガスの削減目標や市民・事業者・宇治市の各主体が取り組むべき役割等を明らかにするために策定した「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」についておたずねします。

1. 宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知っている

どこで知りましたか

1. 市政だより
2. 市ホームページ
3. 各イベント会場
4. 街頭啓発
5. その他 ()

2. 宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知らない

問19. 地球温暖化防止のために、あなたが宇治市に対して特に期待していることはなんですか。次の中から当てはまるもの3つまで 印をつけてください。

1. 広報紙、パンフレットなどによる普及啓発を充実する
2. 環境教育・学習を充実する（特に次世代を担う子供に対して）
3. 環境情報の提供や市民相互の交流の場となる拠点施設を整備・充実する
4. ごみの減量化・リサイクルを推進する
5. 森林の保全整備、都市公園の整備等緑化を推進する
6. 地球環境の保全のために活動している市民団体等への支援を行う
7. 二酸化炭素など温室効果ガスの排出を法や条例によって規制する
8. 太陽光発電など新エネルギー設備等の導入に対する補助金制度を充実する
9. その他 ()

問20. 環境問題について、あなたが特に関心を持っている項目について、次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

1. 地球温暖化
2. ごみの減量やリサイクルなど循環型社会の構築
3. 太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用
4. 工場や自動車などの排気ガスによる大気汚染・悪臭
5. 工場や事業所の排水による水質汚濁
6. 有害物質による土壌汚染や地下水汚染
7. ダイオキシシンや環境ホルモンによる環境汚染
8. 自動車や工場・事業所などによる、騒音・振動
9. ごみのポイ捨てや不法投棄
10. その他 ()

問21. 環境保全を推進するため、宇治市はどのようなことを中心に取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。

1. 市が自ら率先して、環境に配慮した行動を実践する
2. 環境問題の取り組み状況に関する情報を積極的に公開する
3. 学校や地域における環境保全活動を呼びかけ支援する
4. 企業における環境保全活動を支援する
5. 河川や大気などの汚染状況を監視し公害を防止する
6. 環境保全のための調査・研究を行う
7. 山や川などの自然環境の保全に努める
8. 史跡・文化財や美しい景観などを保全する
9. 適正な環境保全が行われるための条例や規則などをつくる
10. 行政・企業・市民が一体となって協力できる体制をつくる
11. 広報紙やイベントなどにより情報・知識を提供する
12. その他 ()

問22. あなたは災害時に情報をどこから得ようと思いますか。

1. ラジオ
2. テレビ
3. 市ホームページ
4. 安心・安全メール
5. その他 ()

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや評価する	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	できれば優先しない	あまり優先しない	優先しない
(9)情報公開・提供の推進 市民の「知る権利」の保障と市の「説明する責務」を果たすために、情報公開制度の運用や行政情報の提供に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10)広報・広聴活動の充実 市政だよりやFMうじ、ホームページなどによる広報活動を進めています。 また、市民の意見を聴くために市政モニターや市民相談室、「市民の声」投書箱の設置、各種意識調査などを行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11)地域コミュニティの育成 町内会や自治会の活動を支援するために集会所やコミュニティセンターを設置しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12)広域交流活動の促進 山口県宇部市とのスポーツ交流を支援しています。また、2千円札の発行を契機に、沖縄県那覇市との市民団体相互の交流を支援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13)人権教育・啓発の推進 人権を尊重する意識の高揚を図るため、学校教育や生涯学習などのあらゆる場を通じ、人権に関する教育活動を推進するとともに、人権に対する市民の理解を深めるため、広報、市民交流、講座開催などの啓発活動に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14)個人情報保護の推進 行政が有する個人情報の保護のため、個人情報保護条例の施行、セキュリティシステムの確立に向けた取り組みを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15)国際化の推進 スリランカ・ヌワラエリヤ市、中国・咸陽市、カナダ・カムループス市と友好都市盟約を締結し、公式訪問団による相互訪問を行うほか、市民間交流の促進及び国際理解のための活動を支援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや評価する	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	できれば優先しない	あまり優先しない	優先しない
(16)平和への貢献 「核兵器廃絶平和都市宣言」都市として広島・長崎・沖縄への小中学生平和訪問団の派遣や平和の集い等を行っているほか、平和の鐘を設置し、平和啓発に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17)男女共同参画社会の促進 男女共同参画支援センター(JR宇治駅前市民交流プラザ内)を拠点に、「男女生き生きまちづくり条例」を制定し、各種相談の充実、人材育成、啓発活動などを行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18)農業の振興 都市近郊農業の振興、後継者の育成を図るとともに、転作田の有効活用や巨椋池干拓田の基盤整備を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19)林業の振興 森林の適正管理の啓発とともに、森林施策計画の策定支援や林業団体への支援を行っています。また、天ヶ瀬森林公園や林道の整備を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20)漁業の振興 稚魚放流による淡水魚の保護・増殖を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21)茶業の振興 「宇治茶」ブランドの名声を守り育てるため、茶品評会への出品、手摘み茶を奨励するとともに、各種イベントやPR活動などを行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22)商業の振興 中小企業向けの各種融資制度の充実を図るとともに、商店街が実施する空き店舗を利用した活性化対策等に支援を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや評価しない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	どちらともいえない	あまり優先しなくともよい	優先しなくともよい
(23)工業の振興 企業誘致を推進するとともに、産業振興センターを設置しベンチャー企業・既存企業の支援育成に取り組んでいます。また、工業集積地である横島地域では道路等の基盤整備を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24)観光の振興 世界遺産をはじめ、源氏物語や宇治川等の観光資源を生かすため、観光案内所の新設、散策道やトイレの整備を行ったほか、観光協会を通じた各種キャンペーンを実施しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25)勤労者福祉の向上 勤労者が安心して働けるよう住宅の融資制度等を設けています。また、技能功労者に対しては表彰を行っています。雇用対策としては、緊急雇用対策事業等の実施、職業訓練センター等の利用促進、相談窓口開設を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26)消費生活の充実 専門相談員による消費生活相談、消費者まつりの開催による啓発等を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

最後に、宇治市政全般についてご意見がございましたら、以下にご自由にお書きください。

*****ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて投函してください。*****

宇治市が進めている施策についてお伺いします。

問27. 下表の左欄の各施策に関して、あなたが感じている「これまでの施策に対する評価」と「今後の優先度」を、それぞれ5段階評価で印をつけてください。

回答例 問27は、次のように回答してください。

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(1) 長寿社会への対応(総合的対策の拡充) 高齢者に対し、給配食サービス等の地域での見守り活動を		4					5			

この内容は、宇治市第4次総合計画で定めた目標項目と、これまで進めてきた施策の概要です。この内容に対して、「これまでの施策に対する評価」と「今後の優先度」について、あなたのお考えに近い回答番号に印をつけてください。

あなたのお考え

記入例

(これまでの施策に対する評価の基準)

(今後の優先度の基準)

5：高く評価する

5 優先すべきである

4 評価する

4 . できれば優先すべきである

3：どちらともいえない

3 . どちらともいえない

2：あまり評価しない

2 . あまり優先しなくてよい

1：評価しない

1 . 優先しなくてよい

評価度、優先度の基準は左のように5段階評価としていますので、上記のように当てはまる数字に印をつけてください。

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	どちらともいえない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	どちらともいえない	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい
(1)長寿社会への対応(総合的対策の拡充) 高齢者に対し、給配食サービス等の地域での見守り活動を支援するとともに、地域包括支援センターを拠点とした介護予防に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2)生きがい対策の充実 高齢者が生き生きとした生活を営めるよう、老人クラブ等に対する助成のほか、敬老会の開催や敬老祝金の節目支給を行っています。また、地域福祉センターの整備を行ってきました。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	どちらともいえない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	どちらともいえない	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい
(3)高齢者福祉サービスの充実 介護サービスの充実を図るため、特別養護老人ホームやグループホーム等の整備を促進するとともに、認知症予防、介護家族支援、住宅改造助成等の介護保険外のサービスについても充実を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4)子育て支援の充実 子育て支援センターを拠点に、情報提供や相談体制の充実、子育てサークルの育成・支援を行うとともに、交流の場の提供や、ファミリーサポートセンターの開設を行っています。また、乳幼児医療費支給の対象年齢の拡大等、総合的な子育て支援施策を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5)乳幼児保育対策の充実 分園の整備や施設の増築など、保育所の定員拡大を図っています。また、延長保育、一時保育、病児・病後児保育等のサービス拡大に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6)放課後児童健全育成の充実 留守家庭児童対策として、山間部を除く各小学校で「育成学級」を開設しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7)ひとり親対策の充実 ひとり親家庭の生活の安定と健全な子育てが出来るよう、生活資金の貸付制度を父子家庭にも拡充したほか、様々な相談に応じています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8)地域福祉社会の構築 民生委員・児童委員活動の充実を図るとともに、社会福祉協議会等と連携し、住民主体の地域福祉を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9)障害者福祉の充実 障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう様々なサービスを提供しているほか、障害者施設の整備や障害者への理解を深めるための啓発活動を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや評価しない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	できれば優先しない	あまり優先しない	優先しなへい
(10)低所得者福祉の充実 生活保護世帯の自立を促すとともに、低所得者を対象とした貸付制度や奨学金制度を設けています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11)健康づくりの推進 市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組めるように、「健康づくりー茶ん連絡会」を設立して健康づくり活動の活性化を進めているほか、食生活改善推進員をはじめとした団体・グループの育成や啓発に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12)保健・医療の推進 宇治市健やかセンターを拠点として、母子・成人の保健事業や高齢者の介護予防事業の取り組みを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13)国民健康保険の充実 国保事業の安定運営を図るとともに、国保加入者の疾病予防・健康保持増進のため、人間ドック・脳ドックの受診補助、健康教室の実施や健康づくり講座等を実施しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14)国民年金の充実 国民年金制度の啓発や相談に応じています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15)生涯学習推進体制の確立 市民参加による生涯学習推進体制を充実するため、生涯学習推進プランに基づき「宇治まなびんぐ」や「夏休み子どもフェア」等のイベントや行事等を通じて市民のネットワーク作りを支援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16)生涯学習支援体制の充実 市民の多様な学習ニーズに応えるため、生涯学習センターを中心として公民館、コミュニティセンターで各種講座等を開催しています。 また、その成果を地域やボランティア活動に生かせるよう努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや評価しない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	できれば優先しない	あまり優先しない	優先しなへい
(17)図書館の活用 多様な読書ニーズに応える資料の充実や図書館蔵書予約システム、予約図書配本サービス等、図書館サービスの充実に努めています。また、学校図書館と連携し、子どもの読書活動を促進しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18)幼稚園教育の充実 午後保育の実施、園児と地域の高齢者との交流、未就園児への園庭開放、障害のある園児への巡回相談等、幼稚園教育の充実に努めています。また、防犯カメラの設置等、安全対策にも努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19)小・中学校教育の充実 基礎学力向上のほか、相談員の配置による不登校への対策や心のケア等、地域と学校の連携による子どもたちの安全対策を進めるとともに、計画的に学校施設の改修を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20)社会教育の促進 社会教育団体の育成と活動支援のほか、人権教育等の推進を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21)青少年の健全育成 青少年電話相談や少年補導委員による見守り活動を推進するとともに、青少年センターの各種活動や中学生の主張大会、成人式の開催を通じ、青少年の健全育成を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22)スポーツ・レクリエーションの普及 市民総合体育大会をはじめとする各種の大会や、スポーツ教室を通じて、スポーツ・レクリエーションの機会を提供しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23)総合野外活動センターの活用 総合野外活動センター(アクトバル宇治)では、様々な活動プログラムの提供をするなど、学校や市民が利用しやすい環境づくりに努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	どちらでもない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	どちらでもない	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい
(24)市民文化の創造・発展 紫式部文学賞・紫式部市民文化賞、宇治田楽まつりや宇治十帖スタンプラリーのイベントで構成する「源氏ろまん」を展開しています。また、市民文化芸術祭や市民交流ロビーコンサートの開催、少年少女合唱団の育成等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25)文化会館の活用 文化・芸術の鑑賞及び発表の機会を提供するため、市民ニーズや時代の変化に対応した施設運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26)文化財保護と伝統文化の継承 埋蔵文化財の発掘調査や世界遺産を中心とした文化財の保護・保全を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27)歴史資料館の活用 本市の豊富な歴史・文化資源を活用した展覧会や講座等を開催しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28)源氏物語ミュージアムの活用 魅力あるミュージアムとしての活用を図るため、源氏物語や平安時代をテーマにした企画展、講演会や講座の開催、図書資料の充実等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

最後に、宇治市政全般についてご意見がございましたら、以下にご自由にお書きください。

*****ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて投函してください。*****

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや高い評価がない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	とせらとせいな	あまり優先しなくともよい	優先しなくともよい
(10)交通安全の推進 歩道整備、カーブミラーやガードレール等の設置、交通指導員の配置等による安全対策を図っています。また、駅前の自転車放置防止のため駐輪場を設置しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11)拠点地区の整備促進 宇治、六地蔵、大久保、黄檗、小倉、横島の6地区をそれぞれの役割に応じた拠点として位置付け、地域の実情にあわせた整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12)土地利用の規制・誘導 良好な市街地を形成するため、開発指導や建築指導を行うとともに、「まちづくり・景観条例」の制定等、市民参加の仕組みづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13)山間地の整備促進 簡易水道の維持管理や道路・河川等の基盤整備を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14)公共交通機関の整備 京都市営地下鉄六地蔵駅の開業やそれに伴う駅前広場の整備を行いました。また、交通バリアフリー全体構想に基づき、重点整備地区である大久保・宇治地区の整備を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15)道路の整備 黄檗山手線や宇治横島線等の整備を図ったほか、生活道路等についても順次整備を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16)上水道の整備 安全で良質な水の安定供給のため、水質管理の徹底とともに耐震対策を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施 策	これまでの施策に対する評価					今後の優先度				
	高く評価する	評価する	やや高い評価がない	あまり評価しない	評価しない	優先すべき	できれば優先すべき	とせらとせいな	あまり優先しなくともよい	優先しなくともよい
(17)下水道（污水）の整備 生活環境の改善と水質保全のため、下水道の整備・普及を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18)河川・下水道（雨水）の整備 浸水被害を防ぐため、ポンプ場の整備や河川・排水路の改良等を進めているほか、公共施設の雨水流出抑制にも取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19)公園・緑地の整備 市民の憩いの場として、公園・緑地の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20)住宅の整備 市営住宅の計画的建替えにあわせ、戸数拡大やバリアフリー化を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21)斎場・墓地の整備 斎場の再整備に取り組み、また墓地公園を計画的に整備しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22)地域情報化の推進 地域イントラを整備し、各公共施設の情報ネットワークを構築しました。市内の行政サービスコーナーでは、そのネットワークを利用し、住民票や税証明書等を取得できます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

最後に、宇治市政全般についてご意見がございましたら、以下にご自由にお書きください。

*****ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて投函してください。*****

宇治市町内会・自治会意識調査

- 調査へのご協力をお願い -

町内会長・自治会長の皆様には、日頃より、市政に格別のご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、まちづくりを総合的かつ効果的に推進するため、市政の基本方針である「宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～32年度（予定）」の策定を行います。

その際には、市民の皆様のご意見やご意向をお伺いすることが必要不可欠であり、全ての町内会長・自治会長の皆様を対象として、「宇治市町内会・自治会意識調査」を実施することにいたしました。

ご回答いただきました調査票については統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。また、無記名方式で実施しますので、個人名や個人的な内容が明らかになることは一切ございません。また、この調査票のご回答は、あくまで町内会長・自治会長である皆様の個人のご意見で結構ですので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、別途「市民意識調査」として20歳以上の市民の皆様4,500名に調査をお願いしており、重複して配布されました場合は大変ご面倒ですが、あわせてご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年5月 宇治市長 久保田 勇

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、指定のない限り、該当する番号に1つだけ 印をつけてください。
() や の部分には、語句や文章をご記入いただく必要はございません。
- この調査は、無記名方式ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前をご記入いただく必要はございません。
- 本票は、平成21年度の町内会長・自治会長としてご報告いただいた方にお送りしております。

調査用紙のご返送について

- ご記入いただけましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成21年6月5日（金）までにご投函ください。
- 返信用封筒は、受取人払いですので、切手を貼る必要はございません。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

宇治市役所 政策推進課 担当（吉田、兼久） TEL:0774-20-8698(直通)

まず、あなたの町内会・自治会の概要についてお伺いします。

問1. あなたの町内会・自治会の地域

- 六地蔵
- 木幡（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
- 木幡（木幡 以外）
- 平尾台
- 五ヶ庄
- 羽戸山
- 菟道
- 明星町
- 志津川
- 炭山
- 二尾
- 池尾
- 東笠取
- 西笠取
- 宇治（半白、蔭山、御廟）
- 宇治（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
- 宇治（宇治、以外）
- 琵琶台
- 折居台
- 天神台
- 白川
- 神明（石塚）
- 神明（石塚以外）
- 羽拍子町
- 南陵町
- 槇島町
- 小倉町（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
- 小倉町（小倉町 以外）
- 伊勢田町（北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田）
- 伊勢田町（伊勢田町 以外）
- 安田町
- 開町
- 大久保町
- 広野町
- 寺山台

問2. あなたの町内会・自治会に属するおおよその世帯数

- 1～30世帯
- 31～60世帯
- 61～90世帯
- 91～120世帯
- 121～150世帯
- 151～200世帯
- 201～250世帯
- 251～300世帯
- 301世帯以上

問3. あなたの町内会・自治会のおおよその加入率

- ほとんど全部の世帯（が加入）
- 3分の2程度の世帯（が加入）
- 半分程度の世帯（が加入）
- 3分の1程度までの世帯（が加入）

問4. あなたの町内会・自治会での役員等（三役や組長）の選出方法

- 会員による選挙
- 多数の会員の推薦
- 輪番制（持ち回り制）
- その他（具体的に)

問5. あなたの町内会・自治会の活動状況

- 非常に活発である
- 活発である
- 普通
- あまり活動していない
- ほとんど活動していない

問6. あなたの町内会・自治会での行事等への住民の参加状況

- 非常に良い
- やや良い
- 普通
- やや悪い
- 非常に悪い

あなたの町内会・自治会の活動内容や問題点についてお伺いします。

問7. あなたの町内会・自治会では、どのような活動を行っていますか。当てはまるもの すべてに 印を、その中でも特に力を入れているもの 1つに 印をつけてください。

- 地域の防犯・防災活動
- 子どもを対象とした活動
- 住民相互の助け合い、福祉活動
- 町内の親睦を目的とした各種活動
- 地域清掃や美化活動
- 祭りなどの地域文化行事
- 地域財産や建物などの共同管理
- 地域の問題解決を目的とした会合
- その他（具体的に)

問 8 . あなたの町内会・自治会の活動で、どのような問題がありますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 役員の引き受け手がない | 2. 組織内部で意見が対立してしまう |
| 3. 回覧や集金の仕事が多い | 4. 無関心層が多い |
| 5. 未加入者が活動の支障となっている | 6. 活動する施設、場所がない |
| 7. 予算がない | 8. 活動がマンネリ化している |
| 9. 特に問題はない | |
| 10. その他（具体的に |) |

問 9 . あなたの住んでいる地域では、どのような地域課題がありますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 道路が未整備、幅が狭い | 2. 交通の便が悪い |
| 3. カーブや交差点など危険な場所がある | 4. 迷惑駐車が多い |
| 5. 側溝・溝蓋が未整備、老朽化している | 6. 騒音・振動・異臭がある |
| 7. 買い物物の便が悪い | 8. 犯罪が多い |
| 9. ごみの分別や収集のルールが守られていない | 10. 放置自動車・自転車が多い |
| 11. 自然環境が悪化している | 12. 公園・緑地が少ない |
| 13. 集会施設が遠い | 14. 医療・保健施設が遠い |
| 15. 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い | 16. 地域が教育に無関心である |
| 17. 地域の連帯感がない | 18. 地域内で意見の対立がある |
| 19. その他（具体的に |) |

・町内会・自治会と市の関係、住民参加についてお伺いします。

問 1 0 . 町内会・自治会の市への協力について、あなたはどのようにお考えですか。

- 積極的に協力すべきである
- 面倒なこともあるが、できるだけ協力する方が良い
- 面倒なことが多いので、必要最低限の協力にとどめるべきである
- 町内会・自治会は市の下請けではないので、協力する必要はない
- その他（具体的に

問 1 1 . あなたは、町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」について、どのようにお考えですか。

- まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
- まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
- まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
- その他（具体的に

・宇治市の課題や問題についてお伺いします。

問 1 2 . 宇治市では、歴史・文化資源を大切に守るとともに、これらを活かしたまちづくりに取り組んでいます。最近では、中宇治地域が国から文化的景観 に選定され、また宇治川太閤堤跡の活用に向けた取り組みを進めています。今後もこうした取り組みが必要と思われるか。

- もっと積極的に取り組むべきだ
- このまま継続して取り組むべきだ
- あまり必要と思わない
- 必要ではない

文化的景観とは、日本各地の農山漁村、都市や町場など、人々の生活や生業または自然風土の中で、長年かけてかたち作られてきた風景をいいます。

問 1 3 . 宇治市が平成 2 0 年 3 月に地球温暖化を防止し、宇治市域における温室効果ガスの削減目標や市民・事業者・宇治市の各主体が取り組むべき役割等を明らかにするために策定した「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」についておたずねします。

1. 宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知っている

どこで知りましたか

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 市政だより | 2. 市ホームページ | 3. 各イベント会場 |
| 4. 街頭啓発 | 5. その他（ |) |

2. 宇治市地球温暖化対策地域推進計画を知らない

問 1 4 . 地球温暖化防止のために、あなたが宇治市に対して特に期待していることはなんですか。次の中から当てはまるもの 3 つまで 印をつけてください。

- 広報紙、パンフレットなどによる普及啓発を充実する
- 環境教育・学習を充実する（特に次世代を担う子供に対して）
- 環境情報の提供や市民相互の交流の場となる拠点施設を整備・充実する
- ごみの減量化・リサイクルを推進する
- 森林の保全整備、都市公園の整備等緑化を推進する
- 地球環境の保全のために活動している市民団体等への支援を行う
- 二酸化炭素など温室効果ガスの排出を法や条例によって規制する
- 太陽光発電など新エネルギー設備等の導入に対する補助金制度を充実する
- その他（

問15. **環境問題について、あなたが特に関心を持っている項目について、次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。**

1. 地球温暖化
2. ごみの減量やリサイクルなど循環型社会の構築
3. 太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの利用
4. 工場や自動車などの排気ガスによる大気汚染・悪臭
5. 工場や事業所の排水による水質汚濁
6. 有害物質による土壌汚染や地下水汚染
7. ダイオキシシンや環境ホルモンによる環境汚染
8. 自動車や工場・事業所などによる、騒音・振動
9. ごみのポイ捨てや不法投棄
10. その他 ()

問16. **環境保全を推進するため、宇治市はどのようなことを中心に取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるもの2つまで 印をつけてください。**

1. 市が自ら率先して、環境に配慮した行動を実践する
2. 環境問題の取り組み状況に関する情報を積極的に公開する
3. 学校や地域における環境保全活動を呼びかけ支援する
4. 企業における環境保全活動を支援する
5. 河川や大気などの汚染状況を監視し公害を防止する
6. 環境保全のための調査・研究を行う
7. 山や川などの自然環境の保全に努める
8. 史跡・文化財や美しい景観などを保全する
9. 適正な環境保全が行われるための条例や規則などをつくる
10. 行政・企業・市民が一体となって協力できる体制をつくる
11. 広報紙やイベントなどにより情報・知識を提供する
12. その他 ()

問17. **あなたは災害時に情報をどこから得ようと思いますか。**

1. ラジオ
2. テレビ
3. 市ホームページ
4. 安心・安全メール
5. その他 ()

問18. **災害発生時には「FMうじ（FMラジオ放送88.8MHz）」で災害情報を放送していますが、あなたは普段から「FMうじ」をお聴きになりますか。「1」または「2」とお答えの方はお聴きになる場所と時間帯をご記入ください。**

1. よく聴く
2. たまに聴く
3. 聴いたことがない

場所	自宅・車・その他 ()
時間帯	午前 時ごろ 午後

問19. **現在、子育てのボランティアや子ども会活動など地域での子育て支援活動に取り組んでいますか。**

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない

問20. **今後、地域での子育て支援活動に取り組んでみたい、また引き続き取り組みたいと思いますか。**

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそうは思わない
4. そうは思わない

問21. **前の問いで「1」、「2」とお答えの方にお伺いします。今後、取り組んでみたい活動、引き続き取り組みたい活動はなんですか。**

1. 急用時の子どもの預かり
2. 幼稚園や保育園への送迎
3. 子育て中の親たちの悩み相談相手
4. 子どもたちに伝えたい昔の遊びの紹介
5. 子どもたちに伝えたいスポーツや文化活動の紹介
6. 絵本などの読み聞かせ
7. 小中学生の登下校時の見守り
8. その他 ()

最後に、町内会・自治会活動に関するお考えがございましたら、以下にご自由にお書きください。

*****ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて投函してください。*****

宇治市市民意識調査
報告書

平成21年9月

発行 宇治市政策経営部政策推進課
〒611-8501 宇治市宇治琵琶33番地
電話 0774-22-3141(代表)
